

# 行田市民意識調査



## 報告書

平成21年9月

行 田 市

# 行田市民意識調査



## 報告書

平成21年9月

行 田 市

# はじめに



平成21年9月  
行田市長 工藤正司

近年、地方分権の進展や少子高齢社会の進行、深刻化する環境問題、さらには景気の急激な後退等による社会状況の変化により、市民の意識や市政に対する意見は多様化・複雑化してきております。

このような状況の中、行田市は、今年、市制施行60周年を迎えております。この大きな節目の年を機に、元気な行田をさらに推進し、輝かしい未来に向けて新たにスタートするためには、社会情勢の動向や市民の意向を迅速かつ的確に把握することが重要であると考えます。

こうしたことから、市では、20歳以上の市民3,000人の方々に市政全般にわたる考えを広くお聴きするため、市民意識調査を実施いたしました。この調査結果は、今後の市政運営に反映させるとともに、現在、策定に入っている第5次行田市総合振興計画の基礎資料として活用してまいりたいと考えております。

今回の調査にご協力をいただいた多くの市民の皆様へ心から厚くお礼申し上げますとともに、市政に対するなお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

# 目次

## I. 調査の概要

---

1. 調査の目的.....	1
2. 調査の設計.....	1
3. 回収の結果.....	1
4. 本報告書の見方について.....	1
5. 回答者の属性.....	2
(1) 性別.....	2
(2) 年齢.....	2
(3) 職業.....	3
(4) 居住年数.....	3
(5) 居住地区.....	4
(6) 家族構成.....	5
(7) 住居形態.....	5

## II. 調査の結果

---

1. まちの暮らしやすさについて.....	7
(1) まちの住み心地.....	7
(2) 住みよい理由.....	9
(3) 住みにくい理由.....	12
(4) 今後の居住意向.....	14
(5) まちの生活環境や施設について.....	16
(6) 行政に力をいれてほしいもの.....	24
(7) 行田市の将来像.....	27
2. 地域との関わりについて.....	29
(1) 地域活動への参加意向.....	29
(2) 参加したい地域活動.....	31
(3) ボランティア活動への参加状況.....	33
(4) 参加しているボランティア活動.....	34
(5) 参加したいが機会がない理由.....	36
3. 今後のまちづくりについて.....	37
(1) 少子化社会に対応するために重要なこと.....	37
(2) 高齢化社会に対応するために重要なこと.....	39
(3) 行田市の環境の良さ.....	41
(4) 環境保全・改善のために強化すべき活動.....	43
(5) 市のごみ収集体制について.....	45
(6) 健康についてのイメージ.....	49

(7) 健康づくりのために重要なこと	50
(8) 歴史を生かした魅力ある景観づくりに重要なこと	52
(9) 商業や産業の振興に重要なこと	54
(10) 公園・緑地の維持管理について	56
(11) 詳しく知りたい情報	57
(12) インターネットが利用できるパソコンの保有状況	59
(13) インターネットを利用した国・県・市への申請届出の認知	60
(14) インターネットを使って利用したい市のサービスの有無	61
(15) インターネットを使って利用したい市のサービス	62
(16) 市のホームページの閲覧状況	63
(17) 市のホームページに掲載してほしい情報	64
(18) 市内循環バスの利用状況	65
(19) 市内循環バスの利用目的	67
(20) 市内循環バスの今後の利用条件	69
(21) 望ましい国際交流の促進方法	71
(22) 力を入れるべき教育	73
(23) 防災体制として重要なこと	75
(24) ものづくり大学施設の見学・利用状況	77
(25) ものづくり大学に期待すること	78
(26) 市民の通勤・通学、買物等の主な行き先	80
4. 男女平等意識について	81
(1) 男女の地位の平等感について	81
(2) 「男は仕事、女は家庭」という男女の役割分担の考え方について	84
(3) 家庭での作業分担	85
(4) 就業状況	87
(5) 職場での男女間の差	88
(6) 社会活動への参加状況	90
(7) 女性が政策立案や方針決定をする場に進出するために必要なこと	92
(8) DV（ドメスティックバイオレンス）の有無について	94
(9) DV（ドメスティックバイオレンス）についての相談の有無	96
(10) DV（ドメスティックバイオレンス）についての相談相手	97
(11) DV（ドメスティックバイオレンス）について相談できなかった理由	98
(12) 「ワーク・ライフ・バランス」の認知状況	100
(13) 男女共同参画社会の実現のために重要なこと	101
(14) 「VIVAぎょうだ」に期待すること	103
5. 市政や市役所について	105
(1) 行政への信頼度	105
(2) 各種施策の実行能力	106
(3) 市役所の利用しやすさ	107
(4) 窓口の対応	108

(5) 市民の声を反映しやすくするために必要なこと.....	109
(6) 市政への参加について.....	110
(7) 今後の行政運営について望ましいと思う方向.....	111
(8) 古代蓮（行田蓮）を第2の市の花にすることについて.....	112

### Ⅲ. 自由回答一覧

---

1. 自由回答意見記述者数.....	113
2. 分野別意見一覧.....	114

### Ⅳ. 調査票

---

調査票.....	119
----------	-----

### Ⅴ. 集計表

---

集計表.....	137
----------	-----

# **1. 調査の概要**

# 1. 調査の概要

## 1. 調査の目的

本調査は、まちづくりに取り組む上で、市民が市政に対してどのような意識をもっているか市政全般にわたる考えを広く聞き、その意向を行政に反映することを目的として実施したものである。

## 2. 調査の設計

(1) 調査対象	市内に在住する満20歳以上の男女
(2) 標本数	3,000人(無作為抽出)
(3) 調査方法	調査票を郵送の上、記入後に返送(郵送法)
(4) 調査期間	平成21年7月8日～7月22日
(5) 調査地区	市内全域

## 3. 回収の結果

	票 数	回収率
配布票数	3,000	—
回収票数	1,675	55.83%

## 4. 本報告書の見方について

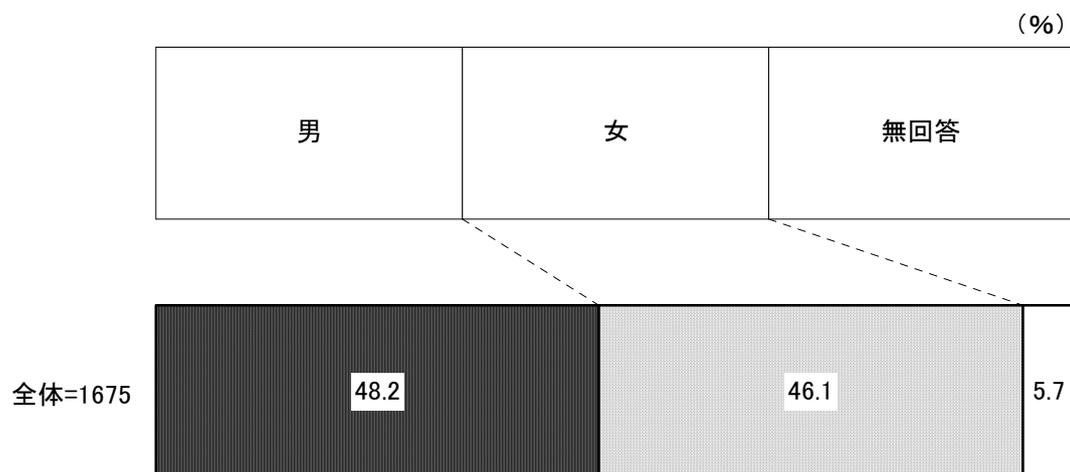
本報告書を理解する上で、次の点に留意が必要である。

- ① 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出した。従って合計が100%を上下する場合もある。
- ② 基数となるべき実数は、“全体(n)=〇〇〇”として掲載し、各比率は全体を100%として算出した。
- ③ 「(複数回答)」とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であり、従って、各回答の合計比率は100%を超える場合がある。
- ④ グラフとして示したのものの中には「無回答者」を省略した部分がある。そのため、区分ごとの標本数の合計(例えば、性別の合計、年齢別の合計)が全体の標本数と一致しないことがある。
- ⑤ 本報告書では、性別、年齢別、居住年数別、居住地区別などの比較分析を必要に応じて行っているが、居住年数別や居住地区別などにおいて、サンプル数が少ないものについては集計結果を参考程度に留める必要がある。

## 5. 回答者の属性

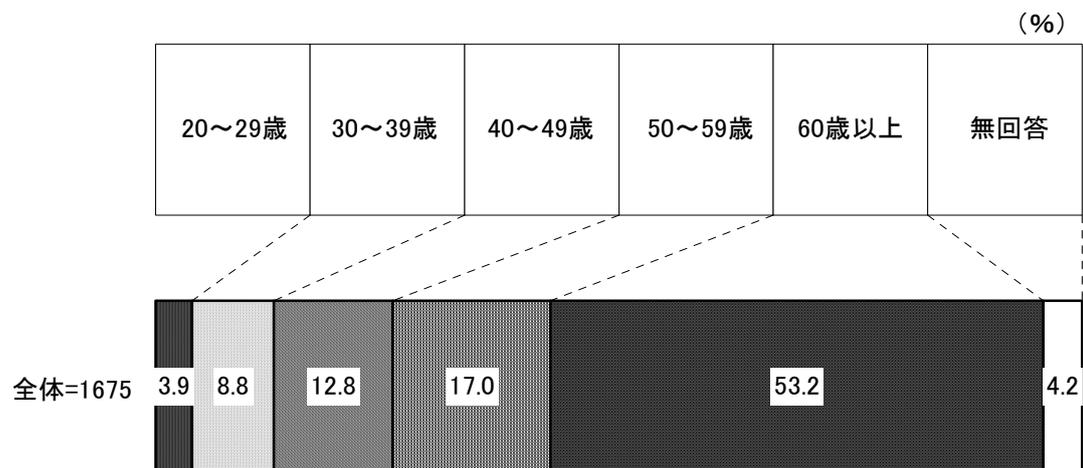
### (1) 性別

性別は、「男」が48.2%、「女」が46.1%となっている。



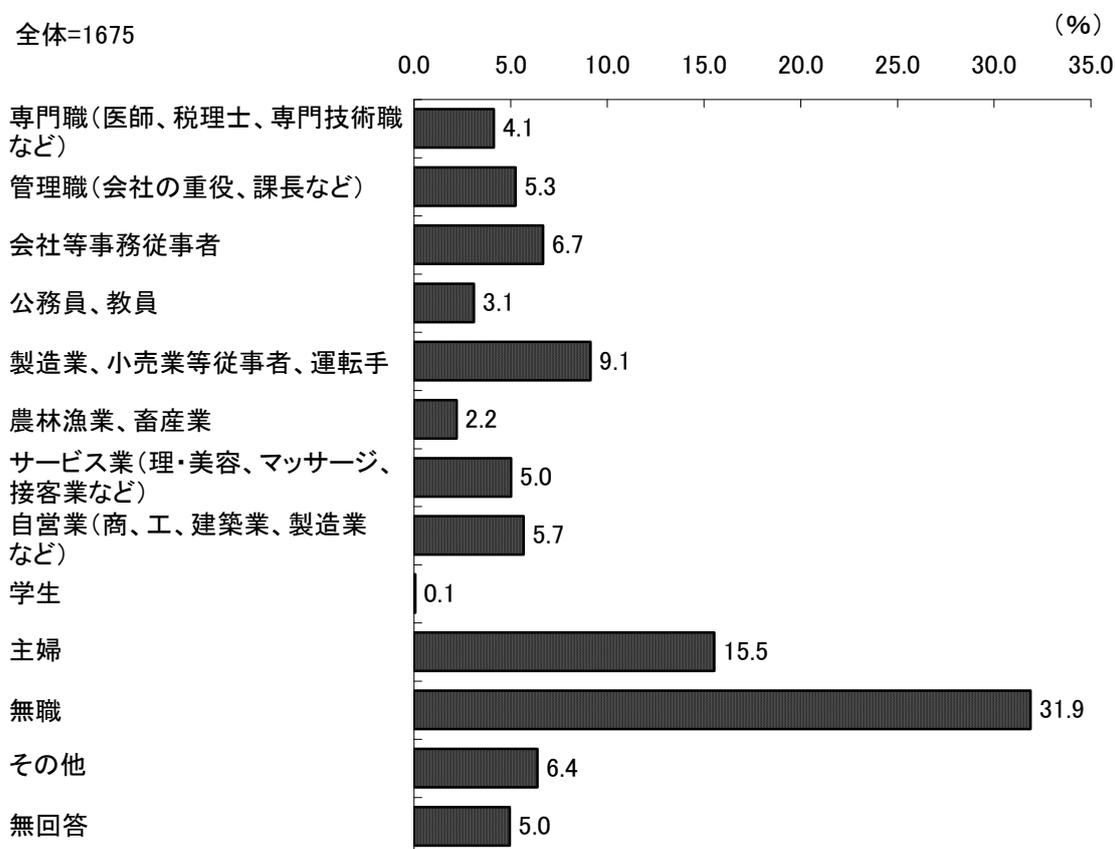
### (2) 年齢

年齢構成は、「60歳以上」が53.2%と半数強となっている。



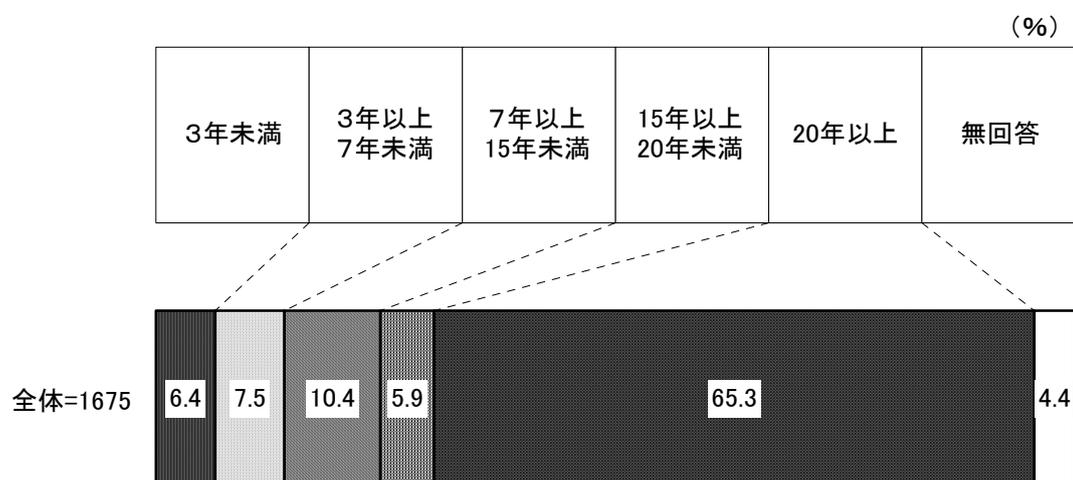
### (3) 職業

職業は、「無職」が31.9%と最も多く、ついで「主婦」が15.5%となっている。



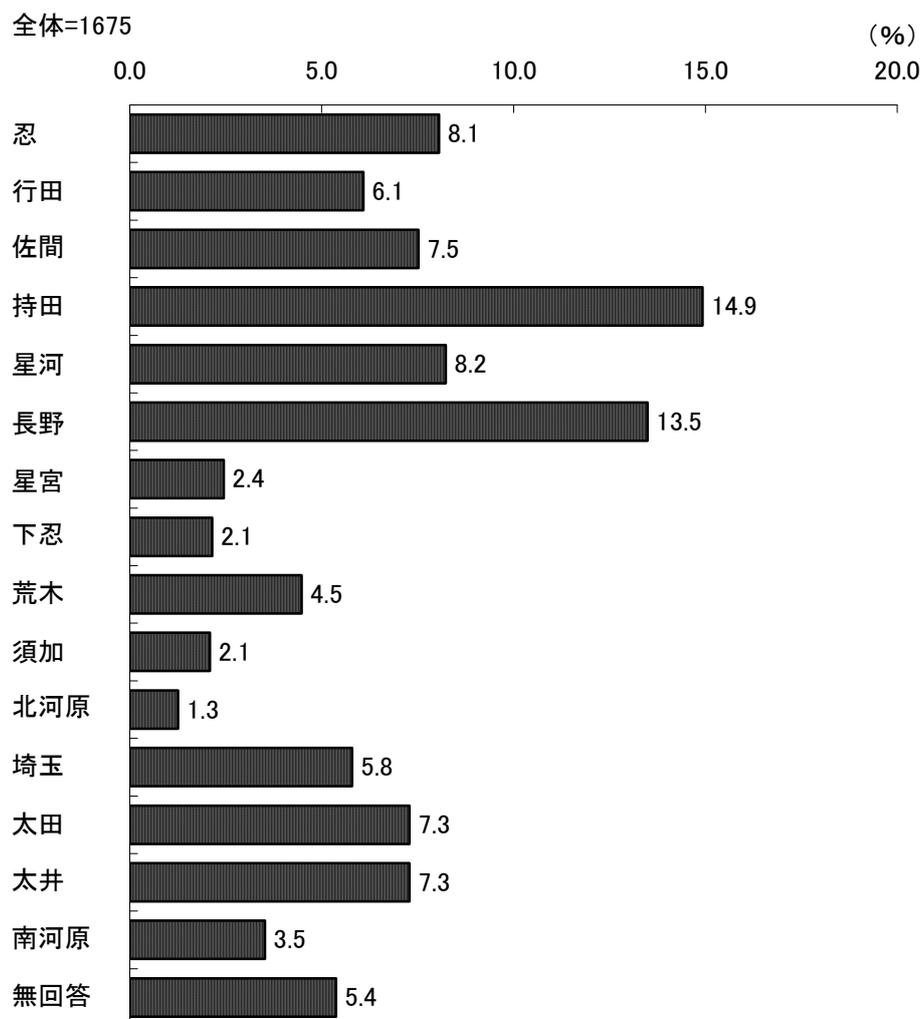
### (4) 居住年数

居住年数は、「20年以上」が65.3%と最も多くなっている。



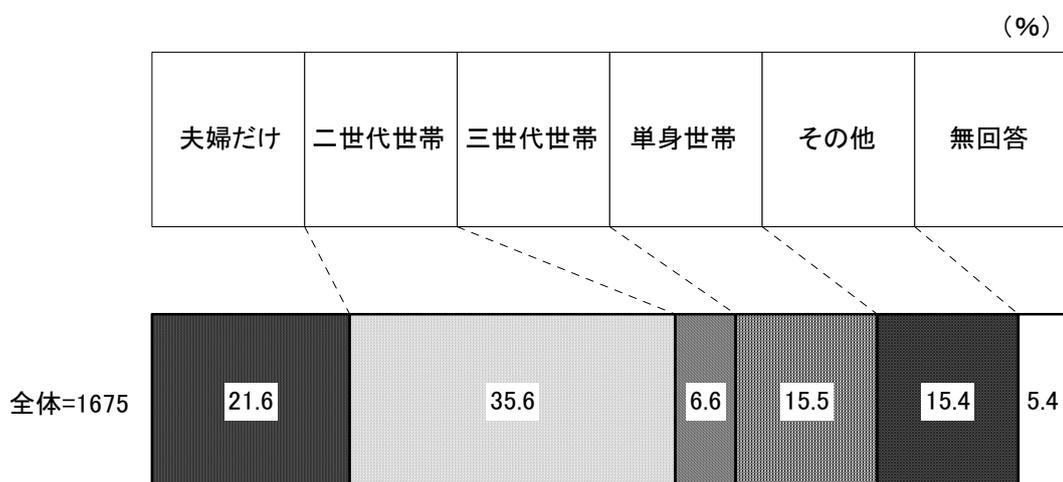
## (5) 居住地区

居住地区は、「持田」(14.9%)と「長野」(13.5%)が1割強で最も多く、ついで「星河」(8.2%)、「忍」(8.1%)、「佐間」(7.5%)、「太田」(7.3%)、「太井」(7.3%)が続いている。



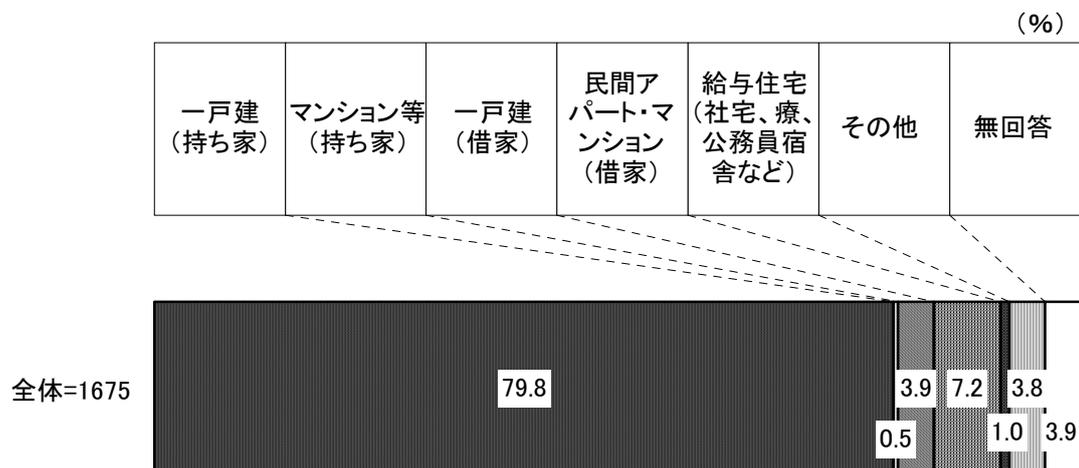
## (6) 家族構成

家族構成は、「二世世代世帯」が35.6%と最も多く、ついで「夫婦だけ」が21.6%、「単身世帯」が15.5%となっている。



## (7) 住居形態

住居形態は、「一戸建（持ち家）」が79.8%と8割を占めている。



## **II. 調査の結果**

## II. 調査の結果

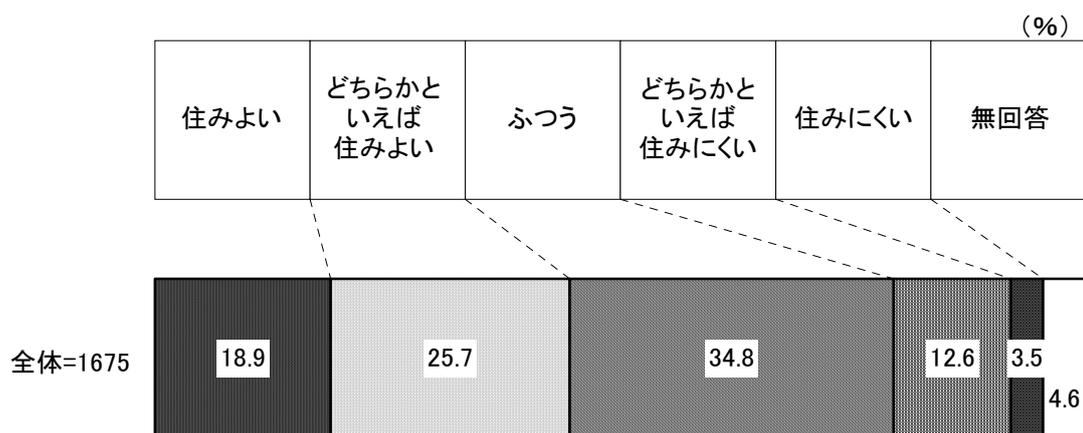
### 1. まちの暮らしやすさについて

#### (1) まちの住み心地

◆肯定派 44.6%、「ふつう」 34.8%、否定派 16.1%

まちの住み心地は、「ふつう」が34.8%と最も多く、「どちらかといえば住みよい」25.7%、「住みよい」18.9%、「どちらかといえば住みにくい」12.6%、「住みにくい」3.5%となっている。「住みよい」、「どちらかといえば住みよい」と回答した『肯定派』が44.6%と、『否定派』（「住みにくい」、「どちらかといえば住みにくい」と回答した人の割合）の16.1%より28.5ポイント上回っている。

問1(1)行田市の住み心地はいかがですか。次の中から1つ選び○をつけてください。



性別では、あまり大きな差はみられない。

年齢別では、40代では『否定派』が27.5%と他の年代に比べてやや多くなっている。

居住年数別では、3年未満では『肯定派』が35.2%と最も少なく、『否定派』が25.9%と最も多くなっている。一方、15年以上20年未満と20年以上では『肯定派』が5割近くを占め、『否定派』が1割強と少なくなっている。

居住地区別では、忍、佐間、長野、太井は『肯定派』が5割を超え、他地区に比べて多くなっている。一方、須加、北河原、埼玉は『否定派』が3割前後となっている。

(%)

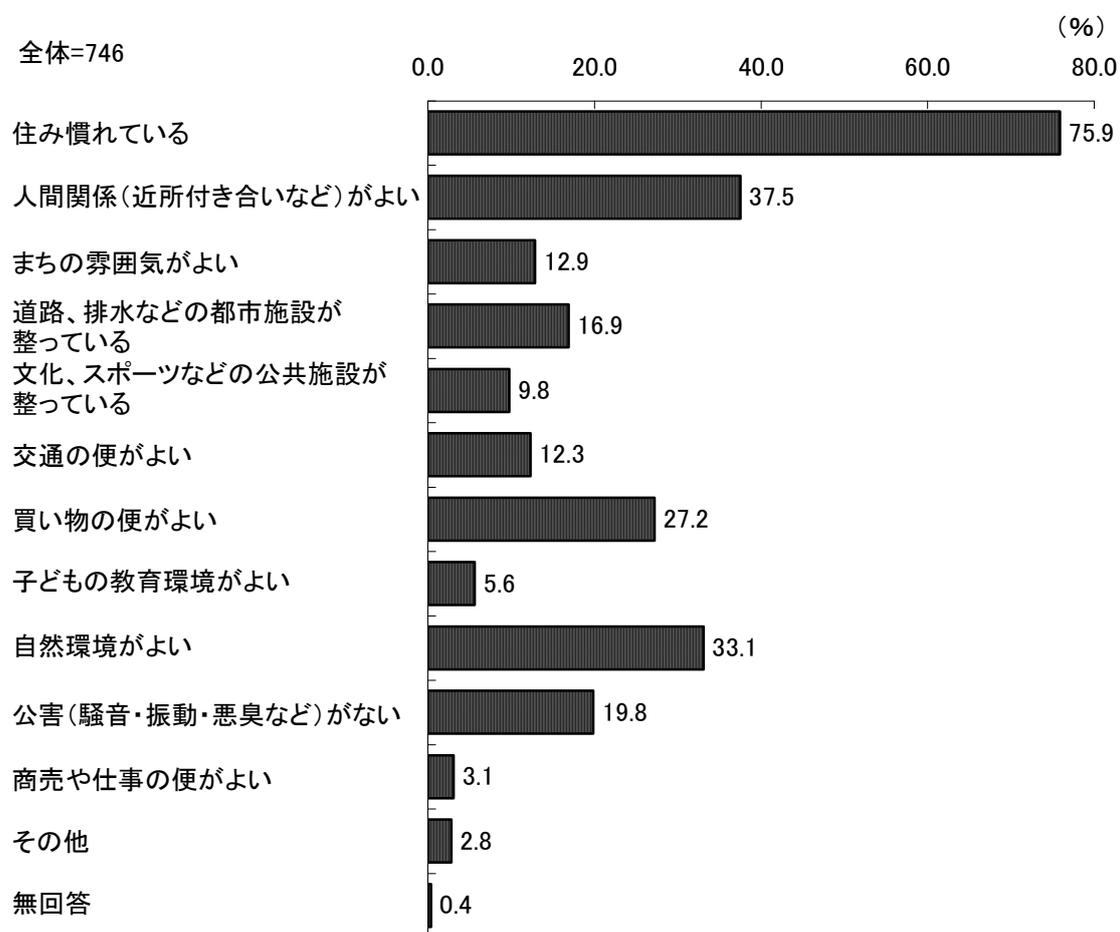
		n	住みよい	どちらかといえば住みよい	ふつう	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	無回答
全体		1675	18.9	25.7	34.8	12.6	3.5	4.6
性別	男	807	18.3	28.3	36.7	12.4	3.3	1.0
	女	773	20.6	25.5	35.1	14.0	3.6	1.3
年齢	20～29歳	66	16.7	24.2	37.9	13.6	4.5	3.0
	30～39歳	148	20.3	28.4	29.7	13.5	6.8	1.4
	40～49歳	215	13.0	31.2	28.4	23.3	4.2	0.0
	50～59歳	285	14.4	27.7	38.2	15.4	3.5	0.7
	60歳以上	891	22.7	25.3	37.9	9.7	2.8	1.7
居住年数	3年未満	108	14.8	20.4	37.0	21.3	4.6	1.9
	3年以上7年未満	126	17.5	28.6	32.5	15.1	5.6	0.8
	7年以上15年未満	175	13.7	28.6	33.1	17.7	5.7	1.1
	15年以上20年未満	98	18.4	27.6	39.8	12.2	2.0	0.0
	20年以上	1094	21.2	26.8	36.3	11.3	2.9	1.5
居住地区	忍	135	24.4	29.6	34.1	8.9	2.2	0.7
	行田	102	27.5	18.6	34.3	11.8	4.9	2.9
	佐間	126	21.4	34.9	32.5	7.9	2.4	0.8
	持田	250	16.0	25.6	42.0	13.2	2.4	0.8
	星河	138	23.2	23.9	33.3	15.2	3.6	0.7
	長野	226	18.1	32.3	35.4	11.5	2.2	0.4
	星宮	41	19.5	24.4	36.6	14.6	4.9	0.0
	下忍	36	5.6	25.0	55.6	8.3	5.6	0.0
	荒木	75	18.7	25.3	40.0	12.0	2.7	1.3
	須加	35	20.0	14.3	34.3	17.1	11.4	2.9
	北河原	21	14.3	23.8	28.6	33.3	0.0	0.0
	埼玉	97	17.5	21.6	32.0	19.6	8.2	1.0
	太田	122	18.9	23.0	36.9	14.8	4.1	2.5
	太井	122	20.5	33.6	31.1	13.1	0.8	0.8
南河原	59	13.6	20.3	40.7	8.5	10.2	6.8	

## (2) 住みよい理由（複数回答）

### ◆75.9%と多数の人が「住み慣れている」としている

住みよい理由は、「住み慣れている」が75.9%と最も多く、「人間関係（近所付き合いなど）がよい」（37.5%）、「自然環境がよい」（33.1%）、「買い物の便がよい」（27.2%）と続いている。

(2) <(1)で「1. 住みよい」「2. どちらかといえば住みよい」とお答えになった方にお尋ねします>  
そのように思われる理由を、次の中から3つまで選び○をつけてください。



性別では、男性は「自然環境がよい」とする人がやや多いのに対し、女性は「住み慣れている」とする人がやや多くなっている。

年齢別では、30代は「買い物の便がよい」(34.7%)、40代は「子どもの教育環境がよい」(12.6%)、50代は「自然環境がよい」(48.3%)、60歳以上は「人間関係(近所付き合いなど)がよい」(46.8%)と「道路、排水などの都市施設が整っている」(23.0%)が他の年齢と比べて高くなっている。また、40歳以上では「住み慣れている」とする人が約8割と多くなっている。

居住年数別では、居住年数が長くなるほど「住み慣れている」や「人間関係(近所付き合いなど)がよい」との回答が多くなっている。3年未満と3年以上7年未満では「まちなりの雰囲気がよい」、3年未満と15年以上20年未満では「買い物の便がよい」が多くなっている。

居住地区別にみると、行田、太井では「交通の便がよい」が約25%、行田、佐間、太井では「買い物の便がよい」が約4～6割、星宮、下忍、須加、北河原では「自然環境がよい」が5～6割強と多くなっている。また、佐間では「道路、排水などの都市施設が整っている」も31.0%と他の地区に比べて多くなっている。

(%)

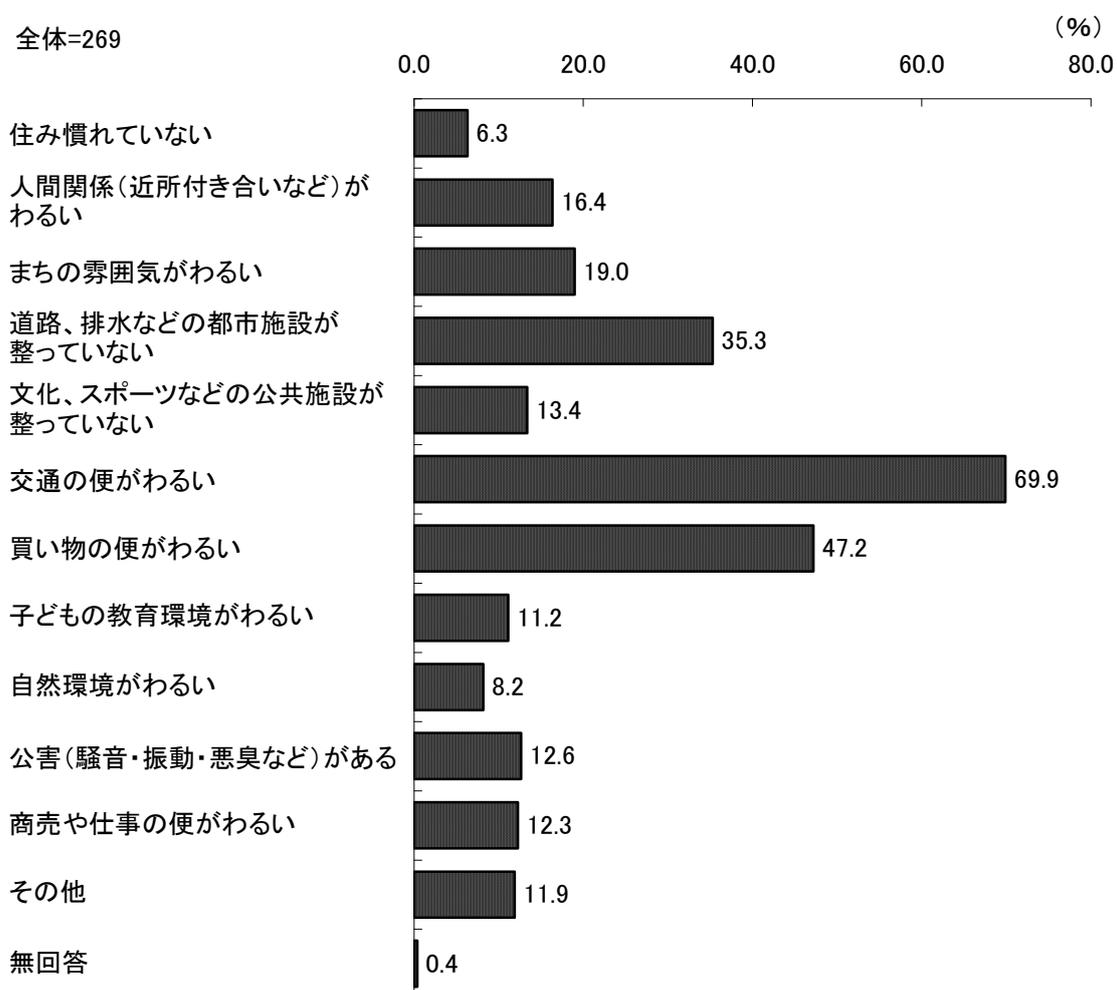
		n	住み慣れている	人間関係(近所付き合いなど)がよい	まちの雰囲気がよい	道路、排水などの都市施設が整っている	文化、スポーツなどの公共施設が整っている	交通の便がよい	買い物の便がよい	子どもの教育環境がよい	自然環境がよい	公害(騒音・振動・悪臭など)がない	商売や仕事の便がよい	その他	無回答
全体		746	75.9	37.5	12.9	16.9	9.8	12.3	27.2	5.6	33.1	19.8	3.1	2.8	0.4
性別	男	376	73.9	35.6	13.3	18.9	11.7	13.3	27.7	5.6	35.9	19.4	3.2	2.1	0.5
	女	356	78.9	37.9	12.1	14.9	8.1	11.5	26.7	5.9	30.9	20.8	3.1	3.7	0.3
年齢	20～29歳	27	63.0	29.6	11.1	14.8	14.8	18.5	25.9	3.7	29.6	18.5	3.7	3.7	0.0
	30～39歳	72	65.3	18.1	19.4	5.6	13.9	12.5	34.7	11.1	27.8	19.4	4.2	2.8	0.0
	40～49歳	95	77.9	23.2	11.6	7.4	9.5	9.5	29.5	12.6	29.5	18.9	6.3	2.1	0.0
	50～59歳	120	79.2	30.0	16.7	10.8	11.7	12.5	25.0	5.8	48.3	17.5	4.2	1.7	0.0
	60歳以上	427	77.8	46.8	11.2	23.0	8.4	12.6	26.5	3.3	30.7	21.1	1.9	3.0	0.7
居住年数	3年未満	38	31.6	18.4	26.3	10.5	15.8	10.5	44.7	0.0	34.2	10.5	5.3	2.6	0.0
	3年以上7年未満	58	56.9	20.7	22.4	6.9	12.1	12.1	29.3	8.6	34.5	22.4	6.9	3.4	0.0
	7年以上15年未満	74	62.2	28.4	12.2	9.5	20.3	8.1	36.5	8.1	35.1	29.7	6.8	2.7	1.4
	15年以上20年未満	45	62.2	26.7	15.6	13.3	11.1	15.6	46.7	6.7	37.8	20.0	2.2	2.2	0.0
	20年以上	525	84.6	42.9	10.9	19.4	7.6	12.6	22.9	5.3	32.4	19.0	2.1	2.9	0.4
居住地区	忍	73	86.3	28.8	11.0	19.2	11.0	16.4	24.7	6.8	31.5	19.2	4.1	2.7	0.0
	行田	47	59.6	40.4	14.9	19.1	6.4	23.4	38.3	4.3	14.9	21.3	2.1	8.5	0.0
	佐間	71	76.1	33.8	7.0	31.0	9.9	4.2	40.8	4.2	25.4	22.5	4.2	2.8	0.0
	持田	104	69.2	28.8	13.5	23.1	13.5	19.2	26.0	3.8	32.7	28.8	2.9	3.8	1.0
	星河	65	89.2	47.7	4.6	18.5	13.8	7.7	12.3	6.2	27.7	20.0	4.6	3.1	0.0
	長野	114	77.2	35.1	16.7	17.5	7.9	10.5	29.8	6.1	36.0	20.2	2.6	0.9	0.0
	星宮	18	83.3	44.4	16.7	0.0	0.0	0.0	5.6	11.1	61.1	27.8	0.0	0.0	5.6
	下忍	11	72.7	18.2	27.3	9.1	0.0	0.0	27.3	18.2	54.5	27.3	9.1	0.0	0.0
	荒木	33	78.8	54.5	15.2	9.1	12.1	12.1	9.1	3.0	36.4	6.1	3.0	9.1	3.0
	須加	12	83.3	41.7	0.0	8.3	8.3	0.0	8.3	8.3	66.7	50.0	0.0	0.0	0.0
	北河原	8	75.0	62.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	埼玉	38	86.8	55.3	18.4	10.5	0.0	0.0	2.6	5.3	42.1	15.8	0.0	0.0	0.0
	太田	51	76.5	45.1	15.7	3.9	13.7	11.8	25.5	3.9	27.5	7.8	3.9	3.9	0.0
	太井	66	65.2	27.3	12.1	19.7	9.1	25.8	57.6	4.5	33.3	19.7	4.5	1.5	0.0
	南河原	20	75.0	40.0	5.0	0.0	10.0	5.0	10.0	5.0	45.0	5.0	0.0	0.0	0.0

### (3) 住みにくい理由（複数回答）

#### ◆交通の便・買い物の便のわるさ、都市施設の未整備など利便性のわるさに集中

住みにくい理由は、「交通の便がわるい」が69.9%と最も多く、ついで「買い物の便がわるい」(47.2%)、「道路、排水などの都市施設が整っていない」(35.3%)となっている。

(3) <(1)で「4. どちらかといえば住みにくい」「5. 住みにくい」とお答えになった方にお尋ねします>  
そのように思われる理由を、次の中から3つまで選び○をつけてください。



性別では、男性では「道路、排水などの都市施設が整っていない」と「文化、スポーツなどの公共施設が整っていない」とする人が女性に比べて多くなっている。一方、女性では「住み慣れていない」とする人が多くなっている。

(%)

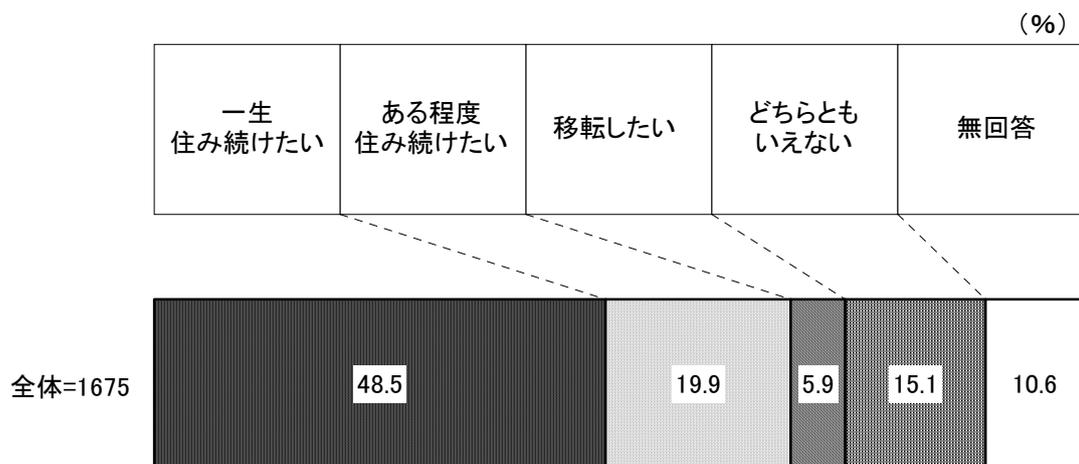
		n	住み慣れていない	人間関係(近所付き合いなど)がわるい	まちの雰囲気がわるい	道路、排水などの都市施設が整っていない	文化、スポーツなどの公共施設が整っていない	交通の便がわるい	買い物の便がわるい	子どもの教育環境がわるい	自然環境がわるい	公害(騒音・振動・悪臭など)がある	商売や仕事の便がわるい	その他	無回答
全体		269	6.3	16.4	19.0	35.3	13.4	69.9	47.2	11.2	8.2	12.6	12.3	11.9	0.4
性別	男	127	1.6	13.4	22.8	44.1	18.1	68.5	45.7	11.8	8.7	12.6	11.0	12.6	0.8
	女	136	10.3	18.4	15.4	27.2	9.6	72.1	48.5	10.3	8.1	11.8	14.0	11.0	0.0

#### (4) 今後の居留意向

##### ◆ 「一生住み続けたい」は約半数

今後の居留意向は、「一生住み続けたい」が 48.5%と最も多く、「ある程度住み続けたい」19.9%、「どちらともいえない」15.1%、「移転したい」5.9%となっている。「一生住み続けたい」と「ある程度住み続けたい」をあわせた『居住継続派』は68.4%となる。

(4) 今後も行田市に住み続けたいとお考えですか。次の中から1つ選び○をつけてください。



性別では、あまり大きな差はみられない。

年齢別では、年代が上がるほど「一生住み続けたい」との回答が多くなり、60歳以上では63.5%となっている。一方、20代では「移転したい」が16.7%、30代では「どちらともいえない」が26.4%と他の年代に比べ多くなっている。

居住年数別では、居住年数が長くなるほど「一生住み続けたい」との回答が多くなり、20年以上では58.8%となっている。これに対し、3年未満と3年以上7年未満では「どちらともいえない」が25%弱とやや多くなっている。

居住地区別にみると、北河原では「一生住み続けたい」は38.1%にとどまり、「どちらともいえない」が33.3%と多くなっている。また、下忍では「移転したい」が13.9%と他の地区に比べてやや多くなっている。

(%)

		n	一生住み 続けたい	ある程度住 み続けたい	移転したい	どちらとも いえない	無回答
全体		1675	48.5	19.9	5.9	15.1	10.6
性別	男	807	51.5	20.3	6.1	14.7	7.3
	女	773	47.7	21.6	6.0	16.8	7.9
年齢	20～29歳	66	19.7	34.8	16.7	22.7	6.1
	30～39歳	148	24.3	29.1	8.8	26.4	11.5
	40～49歳	215	28.8	34.0	10.2	19.5	7.4
	50～59歳	285	45.3	23.2	6.7	19.3	5.6
	60歳以上	891	63.5	14.3	3.7	11.0	7.5
居住年数	3年未満	108	20.4	38.9	12.0	24.1	4.6
	3年以上7年未満	126	28.6	33.3	5.6	24.6	7.9
	7年以上15年未満	175	35.4	26.9	13.7	16.6	7.4
	15年以上20年未満	98	40.8	30.6	8.2	15.3	5.1
	20年以上	1094	58.8	15.5	4.2	13.5	8.0
居住地区	忍	135	56.3	23.0	3.7	12.6	4.4
	行田	102	41.2	23.5	9.8	19.6	5.9
	佐間	126	48.4	24.6	4.8	14.3	7.9
	持田	250	43.2	28.4	4.0	16.4	8.0
	星河	138	55.8	16.7	5.8	18.8	2.9
	長野	226	55.3	19.5	3.1	12.8	9.3
	星宮	41	61.0	7.3	9.8	17.1	4.9
	下忍	36	52.8	25.0	13.9	5.6	2.8
	荒木	75	60.0	8.0	9.3	18.7	4.0
	須加	35	51.4	14.3	8.6	14.3	11.4
	北河原	21	38.1	9.5	0.0	33.3	19.0
	埼玉	97	50.5	14.4	9.3	11.3	14.4
	太田	122	49.2	15.6	9.0	16.4	9.8
	太井	122	44.3	28.7	4.9	17.2	4.9
南河原	59	49.2	13.6	10.2	16.9	10.2	

## (5) まちの生活環境や施設について

### ①道路・交通について

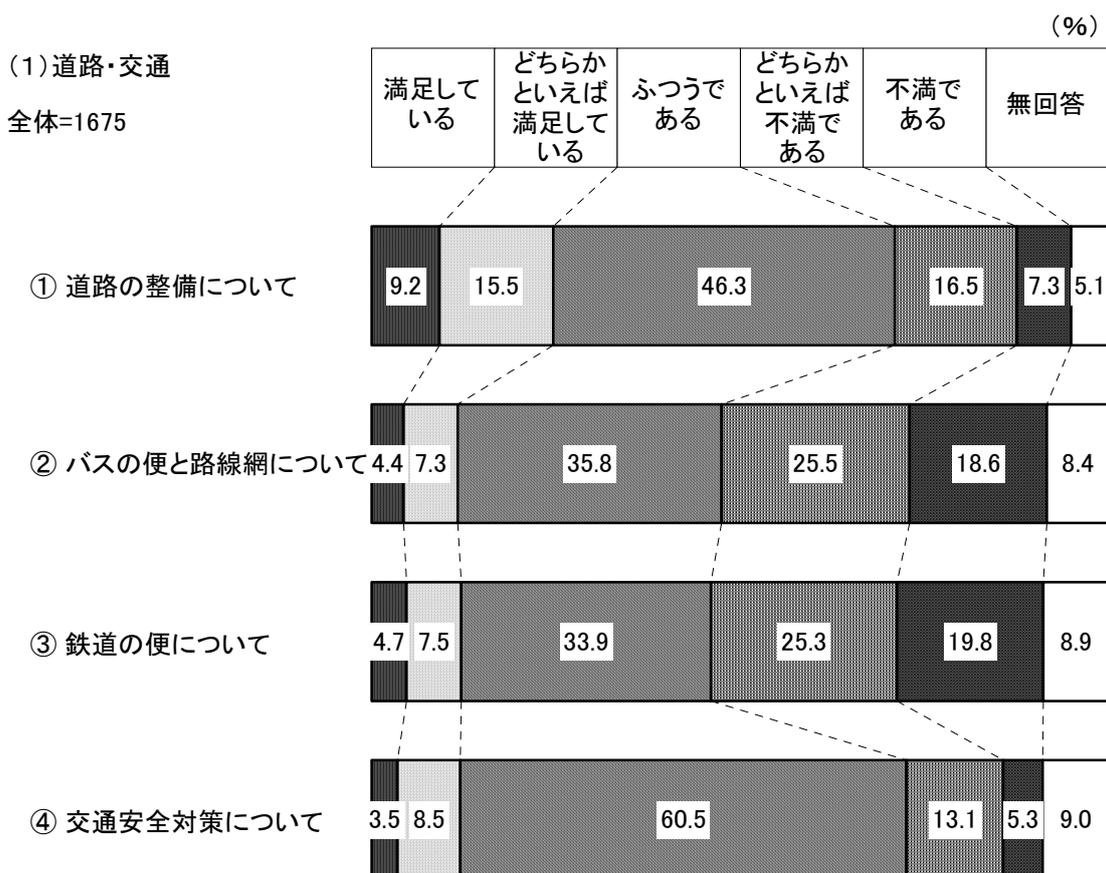
#### ◆「バスの便と路線網」・「鉄道の便」は『不満足層』が半数近くを占める

道路・交通については、「道路の整備について」で、『満足層』（「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合）が 24.7%と、他の項目に比べ高くなっているが、『不満足層』（「不満である」と「どちらかといえば不満である」と回答した人の割合）も 23.8%と『満足層』とほぼ同様の数字となっている。

一方、「バスの便と路線網について」と「鉄道の便について」は、『不満足層』が半数近くを占め、強い不満がうかがえる。

「交通安全対策について」は、『ふつうである』が 60.5%を占めているが、『不満足層』も 18.4%と少なくない。

問2 行田市の生活環境や市の施設についてどのように感じていますか。次の項目ごとに該当する番号をそれぞれ1つ選び○をつけてください。



性別では、特に大きな差はみられない。

年齢別では、40代ではすべての項目において『不満足層』の割合が他の年代に比べて多くなっている。特に「バスの便と路線網について」は61.4%と多くなっている。

居住地区別では、須加、埼玉、太田、南河原で「道路の整備について」「バスの便と路線網について」「鉄道の便について」の『不満足層』が他の地区に比べて多くなっている。また、持田と太井では「バスの便と路線網について」、荒木と北河原では「道路の整備について」が多くなっている。

道路・交通についての『不満足層』

(%)

		n	道路	バス	鉄道	交通安全対策
全体		1675	23.8	44.1	45.1	18.4
性別	男	807	24.3	44.4	44.7	19.9
	女	773	23.4	45.7	48.0	17.2
年齢	20～29歳	66	22.7	51.5	53.1	10.6
	30～39歳	148	25.7	37.8	49.3	18.9
	40～49歳	215	33.0	61.4	55.3	26.0
	50～59歳	285	23.9	53.7	55.1	25.3
	60歳以上	891	21.3	38.6	39.5	15.3
居住地区	忍	135	15.5	33.4	49.6	12.6
	行田	102	20.6	34.3	34.3	19.6
	佐間	126	15.9	28.5	46.1	14.3
	持田	250	20.4	54.4	32.4	19.6
	星河	138	28.3	40.6	52.9	18.8
	長野	226	18.1	35.0	52.2	14.1
	星宮	41	24.4	34.1	39.0	22.0
	下忍	36	27.8	44.5	38.9	27.8
	荒木	75	36.0	46.7	41.4	22.6
	須加	35	34.3	57.2	62.9	11.5
	北河原	21	33.3	42.9	47.6	28.5
	埼玉	97	38.1	61.8	60.8	28.8
	太田	122	33.6	57.4	69.7	21.3
	太井	122	18.1	52.5	17.2	15.5
南河原	59	32.2	55.9	64.4	15.3	

## ②生活環境について

◆「ごみの収集処理」は『満足層』が47.9%と高く、「子どもの遊び場」は『不満足層』が31.2%と高い

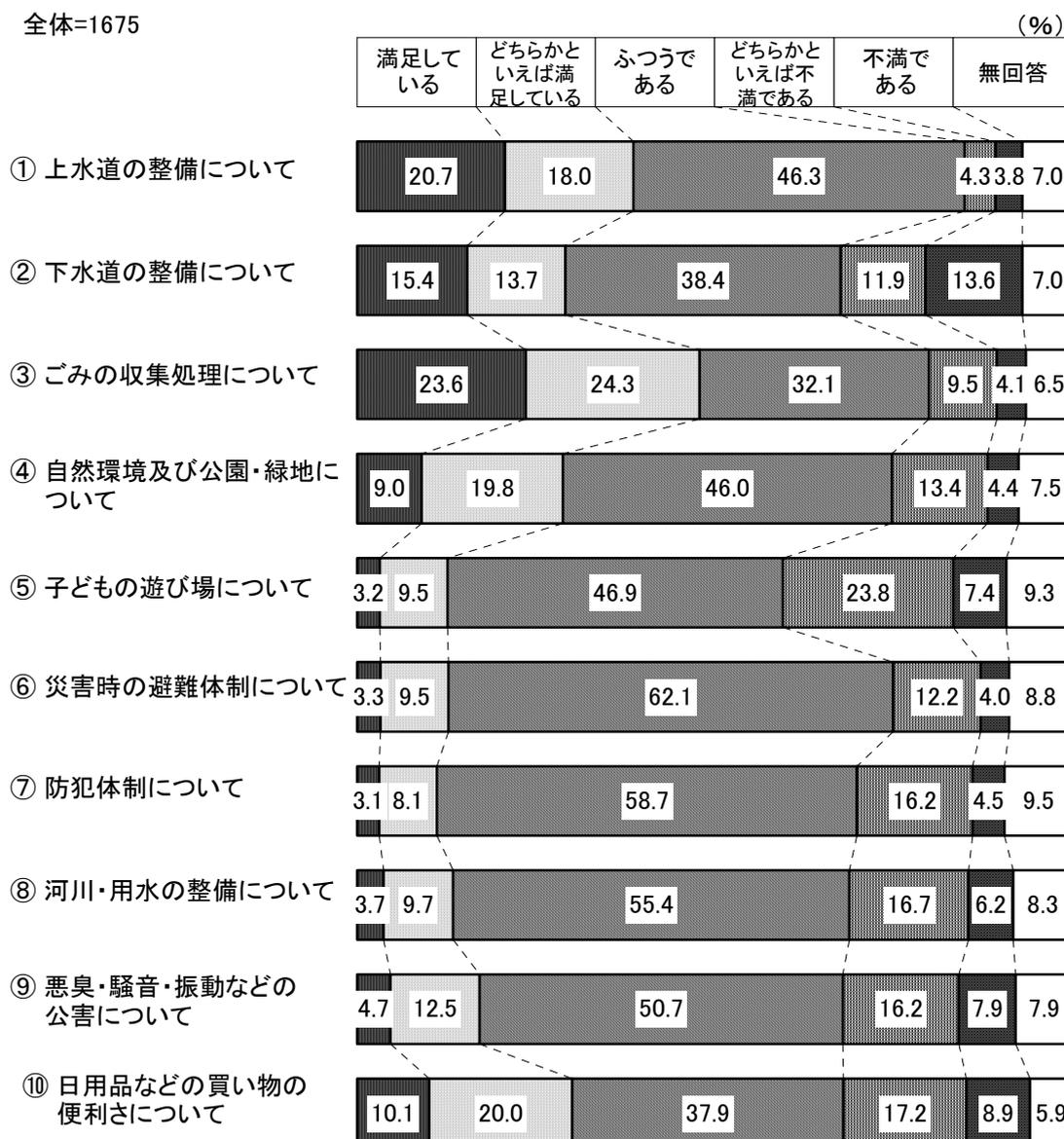
生活環境については、『満足層』が最も多いのが「ごみの収集処理について」(47.9%)であり、ついで「上水道の整備について」(38.7%)となっている。この2項目については、『不満足層』は1割前後にとどまり、比較的良好な評価を得ているといえる。

「日用品などの買い物の便利さについて」「下水道の整備について」「自然環境及び公園・緑地について」については『満足層』は約3割みられるものの、『不満足層』も2割前後あり、評価は分かれている。

これに対し、『不満足層』が最も多いのは「子どもの遊び場について」(31.2%)となっている。また、「災害時の避難体制について」「防犯体制について」「河川・用水の整備について」「悪臭・騒音・振動などの公害について」の4項目については『不満足層』が2割前後と約5人に1人の割合となっている。

### (2)生活環境

全体=1675



性別では、特に大きな差はみられない。

年齢別では、30代では「ごみの収集処理について」と「子どもの遊び場について」、40代では「子どもの遊び場について」と「日用品などの買い物の便利さについて」、50代では「下水道の整備について」「防犯体制について」「河川・用水の整備について」「悪臭・騒音・振動などの公害について」「日用品などの買い物の便利さについて」が約3～4割と他の年代に比べて多くなっている。

居住地区別では、「下水道の整備」と「買い物の便利さ」の2項目はかなり地区間の差が目立っており、大きな地域格差がみられる。

生活環境についての『不満足層』

(%)

		n	上水道	下水道	ごみの 処理	自然・ 公園	遊び場	避難 体制	防犯 体制	河川・ 用水の 整備	公害	買い物 の 便利さ
全体		1675	8.1	25.5	13.6	17.8	31.2	16.2	20.7	22.9	24.1	26.1
性別	男	807	9.5	29.1	13.0	18.2	32.0	16.9	21.7	24.4	24.9	24.6
	女	773	6.7	22.4	14.5	18.2	30.8	15.4	20.4	21.1	23.4	28.0
年齢	20～29 歳	66	7.5	18.2	18.2	16.6	31.8	12.1	21.2	15.1	24.2	21.2
	30～39 歳	148	7.5	19.0	30.4	26.4	39.9	13.5	22.9	21.0	20.3	20.9
	40～49 歳	215	12.6	29.7	18.1	25.6	39.1	18.6	21.8	21.9	25.5	34.5
	50～59 歳	285	11.6	35.8	17.5	19.0	34.4	21.1	29.5	30.9	33.0	27.7
	60 歳以上	891	6.0	23.0	8.2	14.8	27.2	14.9	17.5	21.1	22.0	24.6
居住地区	忍	135	3.7	9.7	8.1	12.6	25.2	16.3	22.2	23.7	17.8	20.7
	行田	102	2.9	10.8	13.7	12.8	24.5	14.7	20.6	19.6	19.6	16.7
	佐間	126	6.4	9.6	9.5	19.1	36.5	20.7	17.5	19.0	16.7	11.1
	持田	250	6.0	20.8	12.8	22.0	32.4	19.6	23.6	26.0	26.0	20.0
	星河	138	8.7	26.8	9.4	22.5	39.9	14.5	20.3	26.8	21.7	25.3
	長野	226	7.5	23.9	12.4	14.2	28.4	14.2	20.0	16.4	21.2	16.8
	星宮	41	9.8	24.4	14.6	24.4	31.7	17.1	19.5	31.7	19.5	24.4
	下忍	36	8.4	44.5	30.5	25.0	41.6	16.7	16.7	22.3	25.0	41.7
	荒木	75	10.6	41.3	21.4	25.3	33.4	12.0	22.6	20.0	33.3	42.7
	須加	35	22.8	48.5	11.4	8.6	22.8	14.3	20.0	11.4	14.3	62.8
	北河原	21	19.0	42.9	14.3	14.3	28.5	19.1	9.6	14.3	23.8	61.9
	埼玉	97	12.3	51.5	16.5	16.5	34.0	13.4	19.6	22.7	37.1	47.4
	太田	122	9.0	39.3	23.0	13.1	31.2	19.7	20.5	24.6	29.5	27.9
	太井	122	4.9	16.4	8.2	17.2	30.4	14.8	21.4	23.0	26.2	15.6
南河原	59	17.0	44.0	22.0	33.9	40.7	15.3	23.8	35.6	35.6	69.5	

### ③教育・文化・コミュニティについて

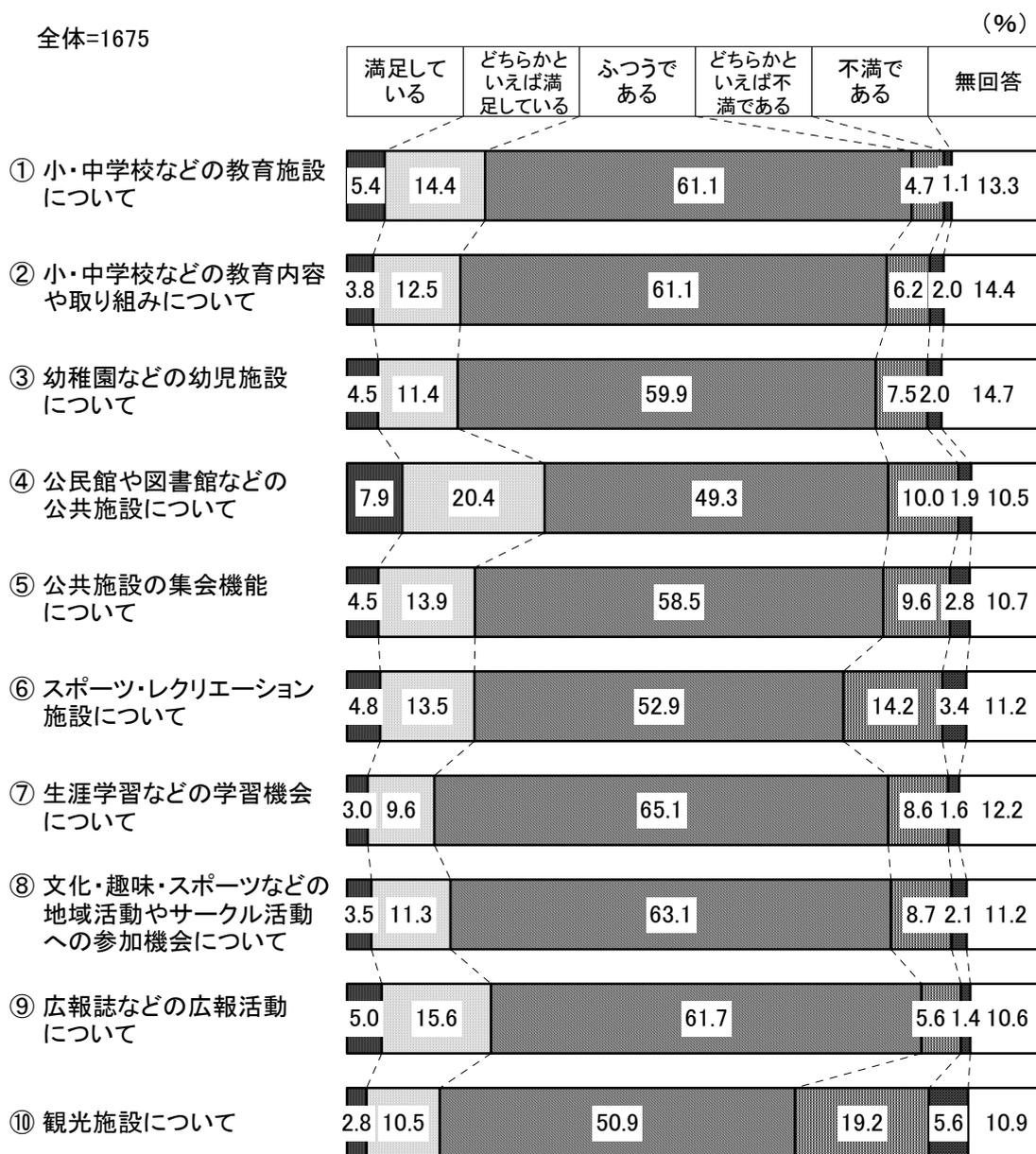
#### ◆「観光施設」に対する『不満足層』は24.8%と『満足層』13.3%を上回る

教育・文化・コミュニティについては、どの項目も「ふつうである」との評価が多数を占めている。『満足層』が『不満足層』を10%前後上回る項目としては、「小・中学校などの教育施設について」「公民館や図書館などの公共施設について」「広報誌などの広報活動について」の3項目があげられている。

一方、「観光施設について」は『満足層』が13.3%なのに対し、『不満足層』が24.8%と『満足層』を上回り、厳しい評価となっている。

### (3)教育・文化・コミュニティ

全体=1675



性別では、男性は「観光施設について」が29.1%とやや多くなっている。

年齢別では、40代では「小・中学校などの教育内容や取り組みについて」「スポーツ・レクリエーション施設について」「観光施設について」、50代では「観光施設について」が他の年代に比べて多くなっている。

教育・文化・コミュニティについての『不満足層』

(%)

		n	教育施設	教育内容	幼児施設	公共施設	公共施設の集会機能	スポーツ施設	学習機会	地域活動などへの参加機会	広報誌などの広報活動	観光施設
全体		1675	5.8	8.2	9.5	11.9	12.4	17.6	10.2	10.8	7.0	24.8
性別	男	807	5.8	8.3	11.6	12.1	14.2	19.5	11.7	11.8	8.2	29.1
	女	773	5.7	8.0	7.7	12.1	11.0	16.4	9.2	10.6	5.6	21.2
年齢	20～29歳	66	6.0	6.0	15.1	16.6	9.0	19.7	12.2	12.1	7.5	21.2
	30～39歳	148	9.4	10.8	16.2	12.9	6.8	16.9	7.4	10.1	4.8	25.0
	40～49歳	215	13.0	19.1	11.6	15.4	15.8	27.9	12.1	17.7	7.9	32.6
	50～59歳	285	7.4	9.8	11.6	14.1	15.1	23.1	14.1	14.4	11.3	32.0
	60歳以上	891	2.8	4.7	6.8	10.2	12.1	13.7	9.0	8.7	6.0	21.6

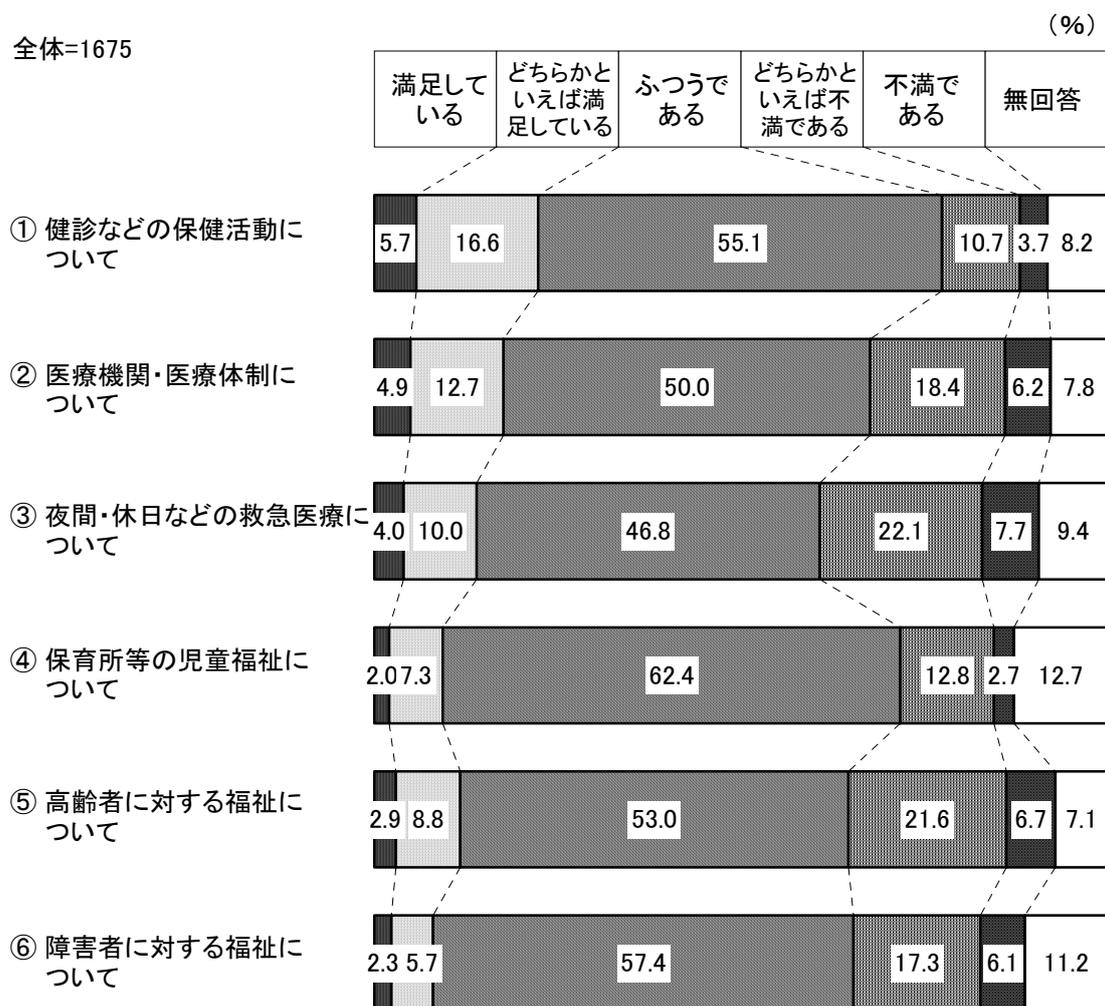
④保健・医療・福祉について

◆「ふつうである」との評価が半数前後を占めるが、医療・福祉分野では『不満足層』が目立っている

保健・医療・福祉についての中で、「健診などの保健活動について」は、『満足層』22.3%に対し、『不満足層』は14.4%と『満足層』が上回っているが、他の医療・福祉分野の項目は『不満足層』が『満足層』をかなり大きく上回り、厳しい評価がなされている。

(4)保健・医療・福祉

全体=1675



性別による大きな違いはみられない。

年齢別では、「医療機関・医療体制について」と「障害者に対する福祉について」は40代と50代、「夜間・休日などの救急医療について」は各年齢層とも多くなっているが、特に30代と40代でやや目立っている。「高齢者に対する福祉について」は40代以上で『不満足層』が多くなっている。

保健・医療・福祉についての『不満足層』の割合

(%)

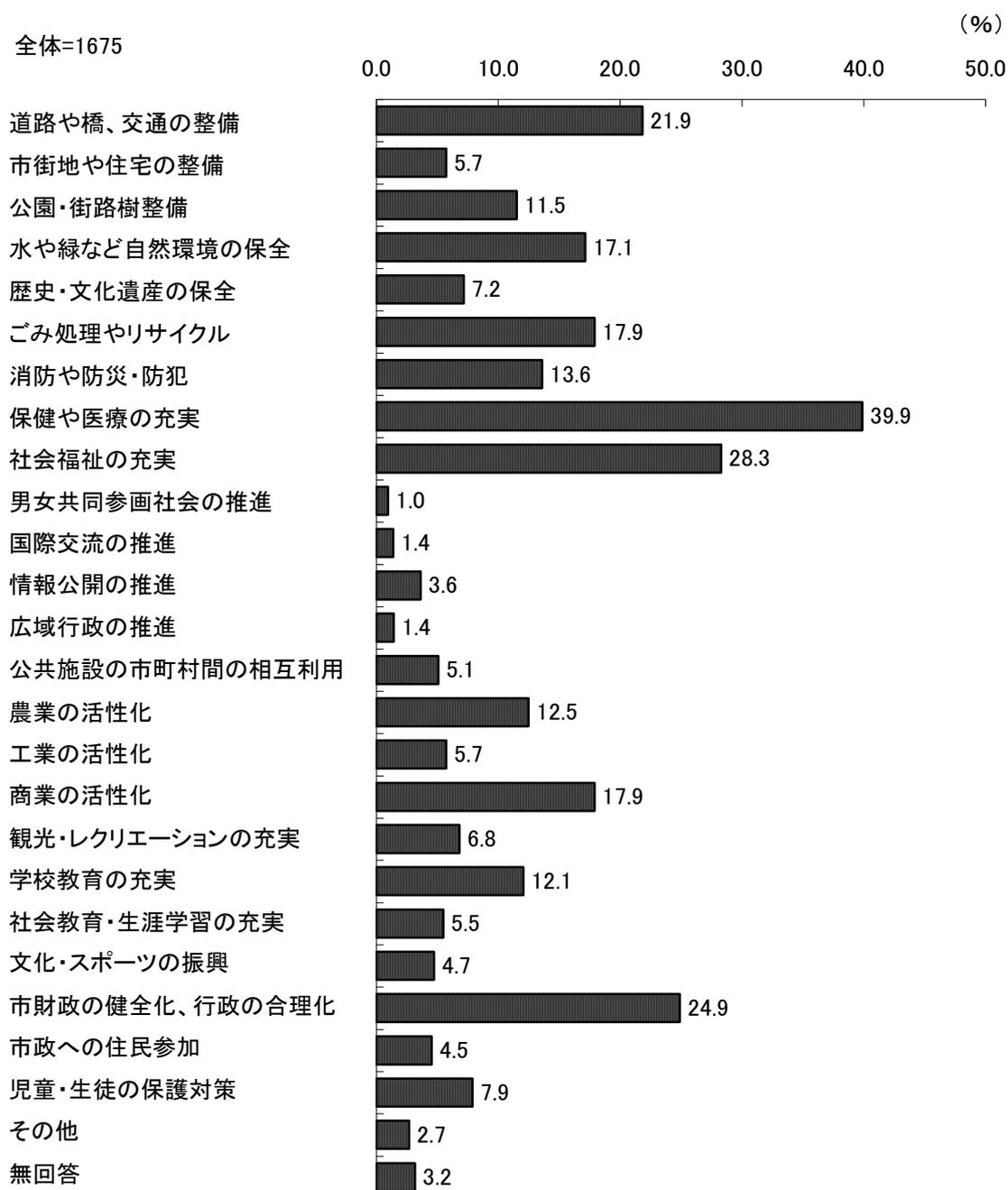
		n	保健活動	医療機関・ 医療体制	救急医療	児童福祉	高齢者福祉	障害者福祉
全体		1675	14.4	24.6	29.8	15.5	28.3	23.4
性別	男	807	15.8	26.4	30.5	17.9	30.7	25.9
	女	773	13.6	23.4	29.5	13.4	26.6	21.4
年齢	20～29 歳	66	21.3	27.3	34.8	16.7	16.7	16.6
	30～39 歳	148	16.9	24.3	41.3	26.4	14.9	12.9
	40～49 歳	215	20.0	32.6	40.0	22.8	29.3	28.4
	50～59 歳	285	17.9	35.8	35.5	20.0	33.0	30.6
	60 歳以上	891	11.5	19.7	23.2	10.7	30.1	22.4

## (6) 行政に力をいれてほしいもの（複数回答）

◆保健・医療・社会福祉の充実を求める声が多く、続いて道路交通の整備、行政の合理化などが続いている

行政に力をいれてほしいものは、「保健や医療の充実」が39.9%と最も多く、ついで「社会福祉の充実」(28.3%)、「市財政の健全化、行政の合理化」(24.9%)、「道路や橋、交通の整備」(21.9%)が続いている。

問3 これからの市政において、特に力を入れてほしいものは何ですか。次の中から3つまで選び○をつけてください。



性別では、男性で「市財政の健全化、行政の合理化」がやや多くなっている。

年齢別では、20代と30代では「公園・街路樹整備」「観光・レクリエーションの充実」「児童・生徒の保護対策」、50代以上では「社会福祉の充実」「市財政の健全化、行政の合理化」をあげる人が多くなっている。また、「学校教育の充実」は30代と40代で多くなっている。

居住年数別では、3年未満では「道路や橋、交通の整備」「市街地や住宅の整備」「公園・街路樹整備」が他の年数よりやや多くなっている。また、3年以上7年未満では「学校教育の充実」と「児童・生徒の保護対策」が2割前後とやや多くなっている。

居住地区別では、忍、佐間は「保健や医療の充実」が5割前後とかなり多くなっている。また、下忍、荒木、須加、埼玉、南河原は「道路や橋、交通の整備」、北河原は「ごみ処理やリサイクル」、星宮、荒木、須加は「農業の活性化」をあげる人が3割前後と他の地区に比べて多くなっている。

(%)

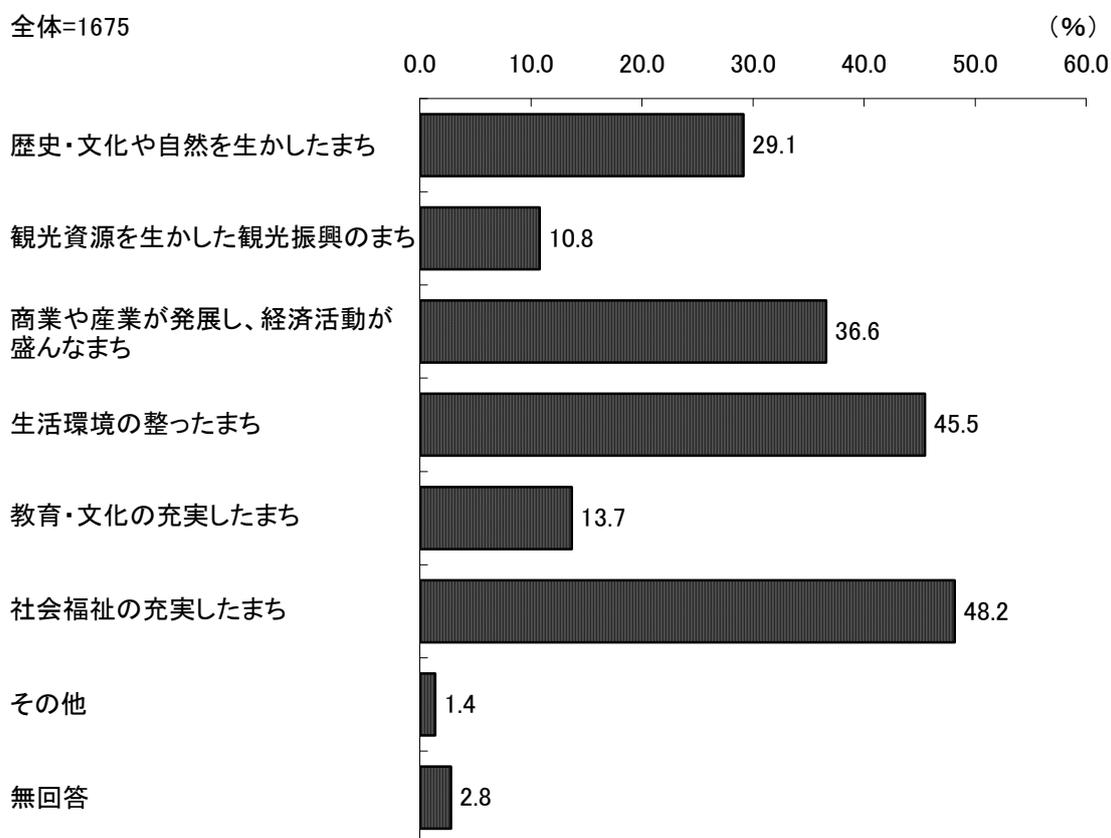
		n	道路や橋、交通の整備	市街地や住宅の整備	公園・街路樹整備	水や緑など自然環境の保全	歴史・文化遺産の保全	ごみ処理やリサイクル	消防や防災・防犯	保健や医療の充実	社会福祉の充実	男女共同参画社会の推進	国際交流の推進	情報公開の推進	広域行政の推進	公共施設の市町村間の相互利用	農業の活性化	工業の活性化	商業の活性化	観光・レクリエーションの充実	学校教育の充実	社会教育・生涯学習の充実	文化・スポーツの振興	市財政の健全化、行政の合理化	市政への住民参加	児童・生徒の保護対策
全体		1675	21.9	5.7	11.5	17.1	7.2	17.9	13.6	39.9	28.3	1.0	1.4	3.6	1.4	5.1	12.5	5.7	17.9	6.8	12.1	5.5	4.7	24.9	4.5	7.9
性別	男	807	22.6	5.7	11.3	18.7	7.8	16.5	14.4	38.3	29.2	0.7	1.6	5.6	1.7	5.0	13.5	7.4	16.5	7.6	9.8	5.0	5.8	29.9	6.6	5.7
	女	773	21.2	6.0	12.4	16.0	6.7	19.7	13.5	42.4	29.0	1.3	1.3	1.8	1.2	5.2	11.6	3.2	19.5	6.3	15.1	6.1	4.1	20.1	2.3	10.1
年齢	20～29歳	66	27.3	10.6	19.7	22.7	7.6	21.2	13.6	45.5	15.2	3.0	4.5	1.5	3.0	4.5	7.6	7.6	21.2	16.7	9.1	7.6	12.1	7.6	3.0	19.7
	30～39歳	148	19.6	8.8	24.3	12.2	4.1	19.6	9.5	34.5	16.2	0.7	0.7	1.4	0.0	8.1	4.1	2.7	16.9	12.8	27.0	4.1	8.1	11.5	1.4	22.3
	40～49歳	215	23.3	8.8	14.0	12.6	7.9	15.8	11.2	36.7	23.7	1.4	2.3	1.9	0.9	2.8	8.4	5.6	21.4	7.4	25.1	4.7	7.4	20.0	2.3	14.0
	50～59歳	285	22.1	4.6	7.4	15.1	6.7	19.3	15.8	43.2	31.6	1.1	1.4	4.2	1.4	4.9	11.2	6.3	19.6	6.0	10.5	7.7	6.7	27.4	4.2	4.9
	60歳以上	891	21.4	4.6	9.7	19.8	7.6	17.4	14.6	40.6	32.5	0.8	1.0	4.6	1.6	5.2	15.7	5.5	16.4	5.3	7.5	5.1	2.7	28.8	5.9	4.0
居住年数	3年未満	108	26.9	11.1	18.5	18.5	7.4	21.3	10.2	38.0	13.9	1.9	2.8	1.9	0.9	5.6	4.6	4.6	15.7	11.1	15.7	3.7	5.6	13.9	0.0	13.9
	3年以上 7年未満	126	18.3	9.5	15.9	16.7	4.0	19.0	10.3	38.9	23.8	0.0	1.6	2.4	0.8	4.8	7.9	3.2	17.5	10.3	23.0	5.6	7.9	15.9	2.4	19.0
	7年以上 15年未満	175	20.0	9.1	16.0	21.1	8.0	12.6	13.7	40.0	27.4	0.0	2.3	4.0	0.6	4.6	6.3	4.0	15.4	10.9	17.7	5.7	6.9	20.6	7.4	12.0
	15年以上 20年未満	98	23.5	5.1	10.2	19.4	13.3	20.4	11.2	33.7	27.6	1.0	1.0	4.1	1.0	1.0	15.3	6.1	18.4	7.1	14.3	3.1	7.1	24.5	4.1	4.1
	20年以上	1094	22.0	4.5	10.0	16.6	6.9	17.9	14.7	41.0	31.4	1.2	1.2	4.0	1.7	5.5	14.6	6.0	18.5	5.4	9.7	5.9	3.9	27.7	4.8	5.9
居住地区	忍	135	12.6	3.7	9.6	16.3	13.3	17.0	16.3	46.7	29.6	0.7	0.7	8.1	2.2	5.9	6.7	5.2	20.0	8.1	11.9	3.0	6.7	26.7	3.0	8.1
	行田	102	19.6	7.8	12.7	24.5	5.9	16.7	15.7	39.2	20.6	1.0	2.0	3.9	0.0	6.9	6.9	3.9	17.6	10.8	6.9	2.9	4.9	19.6	4.9	8.8
	佐間	126	18.3	4.8	16.7	17.5	5.6	15.1	13.5	51.6	26.2	1.6	0.8	3.2	0.8	4.0	8.7	6.3	21.4	5.6	15.9	5.6	4.8	28.6	1.6	6.3
	持田	250	16.0	6.0	14.8	19.2	6.4	17.2	18.0	39.2	33.2	1.2	0.4	3.2	1.6	4.0	7.6	8.0	21.6	6.0	11.2	9.2	6.0	24.8	3.2	6.0
	星河	138	27.5	5.1	11.6	13.8	8.7	15.9	10.9	44.2	25.4	0.7	1.4	0.7	1.4	5.8	13.8	5.1	18.8	7.2	16.7	2.9	3.6	26.8	5.1	12.3
	長野	226	16.4	6.2	11.1	17.3	6.2	15.5	13.7	39.4	30.1	1.8	2.2	3.5	0.0	5.3	9.7	5.3	23.0	7.5	16.4	6.6	3.5	26.1	5.8	8.4
	星宮	41	9.8	9.8	12.2	26.8	2.4	17.1	7.3	39.0	26.8	0.0	0.0	14.6	2.4	2.4	26.8	4.9	4.9	4.9	7.3	4.9	2.4	34.1	7.3	2.4
	下忍	36	33.3	8.3	13.9	22.2	11.1	22.2	13.9	33.3	25.0	0.0	2.8	0.0	0.0	2.8	11.1	0.0	13.9	5.6	8.3	2.8	2.8	27.8	2.8	8.3
	荒木	75	37.3	4.0	9.3	9.3	4.0	21.3	14.7	36.0	29.3	0.0	0.0	2.7	1.3	2.7	26.7	8.0	16.0	2.7	9.3	4.0	6.7	18.7	4.0	4.0
	須加	35	31.4	0.0	8.6	0.0	11.4	20.0	14.3	34.3	22.9	0.0	2.9	0.0	2.9	5.7	31.4	5.7	11.4	14.3	11.4	0.0	2.9	17.1	5.7	2.9
	北河原	21	28.6	0.0	4.8	9.5	4.8	33.3	4.8	38.1	23.8	0.0	0.0	9.5	4.8	9.5	23.8	4.8	9.5	4.8	14.3	0.0	4.8	19.0	4.8	4.8
	埼玉	97	33.0	5.2	3.1	20.6	10.3	22.7	11.3	32.0	32.0	0.0	2.1	2.1	2.1	3.1	19.6	2.1	15.5	8.2	8.2	5.2	1.0	23.7	2.1	9.3
	太田	122	28.7	6.6	5.7	11.5	6.6	21.3	9.0	36.1	32.8	0.8	1.6	3.3	0.8	7.4	21.3	9.0	14.8	5.7	6.6	2.5	4.1	25.4	8.2	4.1
	太井	122	18.9	5.7	14.8	23.8	9.0	16.4	15.6	41.8	31.1	0.8	1.6	3.3	1.6	4.1	7.4	4.1	13.1	3.3	13.9	7.4	7.4	27.9	5.7	10.7
南河原	59	35.6	11.9	11.9	16.9	1.7	16.9	11.9	35.6	27.1	1.7	3.4	5.1	5.1	8.5	15.3	1.7	13.6	11.9	13.6	11.9	11.9	22.0	8.5	11.9	

## (7) 行田市の将来像（複数回答）

### ◆「社会福祉の充実」と「生活環境の整ったまち」を求める人が半数近くを占める

行田市の将来像は、「社会福祉の充実したまち」（48.2%）と「生活環境の整ったまち」（45.5%）の2つをあげる人が半数近くを占めた。ついで、「商業や産業が発展し、経済活動が盛んなまち」（36.6%）、「歴史・文化や自然を生かしたまち」（29.1%）となっている。

問4 行田市が、将来どんなまちになったらよいとお考えですか。次の中から2つまで選び○をつけてください。



性別では、「社会福祉の充実したまち」は女性にやや多くなっている。

年齢別では、50代、60歳以上は「社会福祉の充実したまち」をあげる人が半数強と多くなっているが49歳以下では3割強にとどまり、「教育・文化の充実したまち」をあげる人が多くなっている。また、20～29歳では「歴史・文化や自然を生かしたまち」が40.9%と目立っている。

居住年数別では、居住年数が長くなるほど「社会福祉の充実したまち」が多くなっている。3年未満と3年以上7年未満では「教育・文化の充実したまち」をあげる人が2割前後とやや多くなっている。

(%)

		n	歴史・文化や自然を生かしたまち	観光資源を生かした観光振興のまち	商業や産業が発展し、経済活動が盛んなまち	生活環境の整ったまち	教育・文化の充実したまち	社会福祉の充実したまち	その他	無回答
全体		1675	29.1	10.8	36.6	45.5	13.7	48.2	1.4	2.8
性別	男	807	30.5	12.6	37.8	46.3	14.1	45.7	1.1	1.4
	女	773	27.8	9.2	34.7	46.1	14.2	52.0	1.7	2.5
年齢	20～29歳	66	40.9	9.1	25.8	51.5	24.2	30.3	4.5	0.0
	30～39歳	148	31.8	11.5	26.4	48.0	28.4	35.1	2.7	0.0
	40～49歳	215	35.3	9.3	33.5	47.0	24.7	30.2	2.3	0.5
	50～59歳	285	25.6	11.6	35.4	52.6	9.5	53.7	0.7	1.4
	60歳以上	891	27.0	11.2	40.1	43.1	9.7	55.3	1.0	3.3
居住年数	3年未満	108	35.2	8.3	27.8	46.3	19.4	31.5	6.5	0.0
	3年以上7年未満	126	36.5	10.3	24.6	49.2	26.2	40.5	0.0	0.0
	7年以上15年未満	175	32.0	14.3	33.7	49.7	14.9	42.3	2.9	0.0
	15年以上20年未満	98	26.5	13.3	39.8	45.9	14.3	42.9	1.0	1.0
	20年以上	1094	27.2	10.5	38.8	45.3	11.9	53.0	0.9	2.8

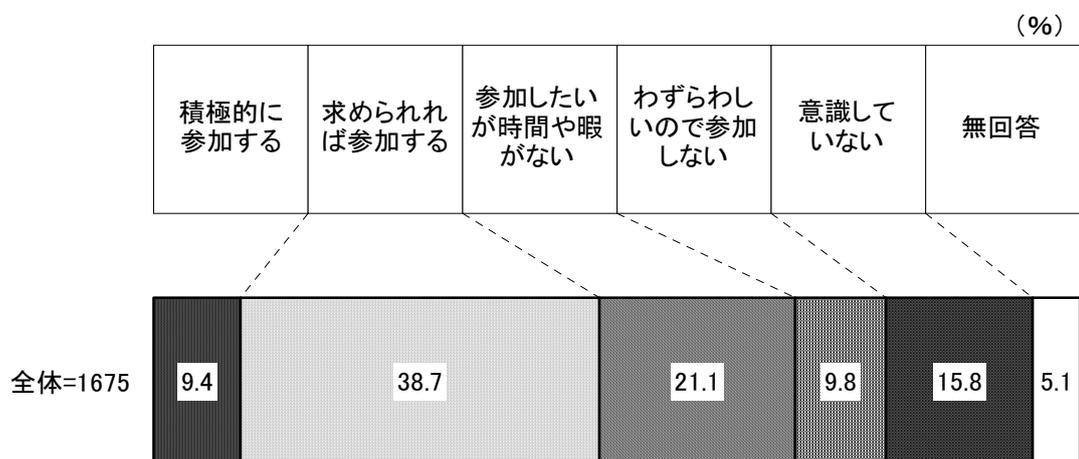
## 2. 地域との関わりについて

### (1) 地域活動への参加意向

◆「求められれば参加する」が38.7%、「参加したいが時間や暇がない」が21.1%

地域活動への参加意向は、「求められれば参加する」が38.7%と最も多く、「参加したいが時間や暇がない」21.1%、「意識していない」15.8%、「わずらわしいので参加しない」9.8%、「積極的に参加する」9.4%となっている。参加意思を示した（「積極的に参加する」、「求められれば参加する」、「参加したいが時間や暇がない」と回答した）割合は69.2%となっている。

問5(1)地域的な活動への参加についてどのようにお考えですか。次の中から1つ選び○をつけてください。



性別では、男性で「積極的に参加する」とする人がやや多くなっている。  
 年齢別では、年齢が高くなるほど「積極的に参加する」とする人が多くなっている。  
 居住年数別では、居住年数が長くなるほど「積極的に参加する」とする人が多くなっている。  
 居住地区別では、星宮で「積極的に参加する」とする人が 17.1%とやや多くなっている。

(%)

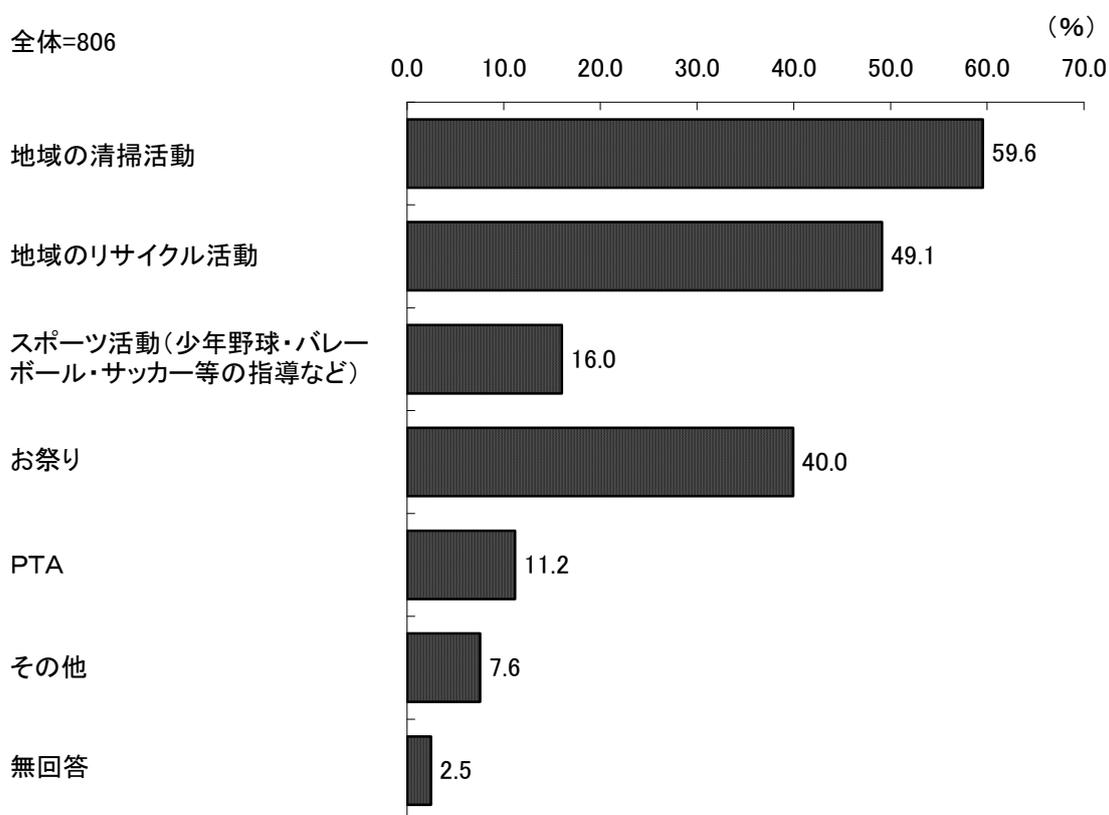
		n	積極的に参加する	求められれば参加する	参加したいが時間や暇がない	わずらわしいので参加しない	意識していない	無回答
全体		1675	9.4	38.7	21.1	9.8	15.8	5.1
性別	男	807	12.0	40.6	20.7	8.9	14.4	3.3
	女	773	6.7	36.6	22.1	11.4	18.4	4.8
年齢	20～29 歳	66	4.5	34.8	19.7	7.6	27.3	6.1
	30～39 歳	148	4.7	30.4	32.4	11.5	20.3	0.7
	40～49 歳	215	7.0	36.7	31.6	14.4	9.3	0.9
	50～59 歳	285	9.5	40.0	30.9	7.4	10.2	2.1
	60 歳以上	891	11.0	40.6	14.3	9.7	18.3	6.2
居住年数	3年未満	108	2.8	29.6	22.2	14.8	26.9	3.7
	3年以上7年未満	126	5.6	34.9	31.0	9.5	18.3	0.8
	7年以上15年未満	175	8.6	33.1	29.1	9.7	16.6	2.9
	15年以上20年未満	98	9.2	32.7	28.6	9.2	17.3	3.1
	20年以上	1094	10.3	41.8	18.3	9.6	14.9	5.1
居住地区	忍	135	11.1	36.3	23.7	6.7	19.3	3.0
	行田	102	4.9	33.3	19.6	11.8	18.6	11.8
	佐間	126	6.3	41.3	17.5	16.7	15.9	2.4
	持田	250	8.8	38.8	26.8	8.0	16.4	1.2
	星河	138	9.4	42.8	17.4	9.4	18.1	2.9
	長野	226	7.5	39.8	22.6	10.2	16.8	3.1
	星宮	41	17.1	34.1	17.1	7.3	19.5	4.9
	下忍	36	2.8	41.7	36.1	5.6	13.9	0.0
	荒木	75	12.0	42.7	12.0	9.3	18.7	5.3
	須加	35	5.7	37.1	11.4	11.4	20.0	14.3
	北河原	21	9.5	42.9	28.6	4.8	9.5	4.8
	埼玉	97	11.3	40.2	18.6	6.2	17.5	6.2
	太田	122	9.8	36.9	19.7	12.3	12.3	9.0
	太井	122	14.8	39.3	23.8	11.5	8.2	2.5
南河原	59	13.6	37.3	20.3	13.6	10.2	5.1	

## (2) 参加したい地域活動（複数回答）

### ◆地域の清掃活動・リサイクル活動をあげる人が多い

参加したい地域活動は、「地域の清掃活動」が59.6%と最も多く、ついで「地域のリサイクル活動」（49.1%）、「お祭り」（40.0%）が続いている。

(2) <(1)で「1. 積極的に参加する」「2. 求められれば参加する」とお答えになった方にお尋ねします>  
主にどのような地域活動に参加したいとお考えですか。次の中から該当するものすべてを選び○をつけてください。



性別では、男性では「スポーツ活動(少年野球・バレーボール・サッカー等の指導など)」、女性では「PTA」をあげる人がやや多くなっている。

年齢別では、20代と40代で「スポーツ活動」が約35%、20代と30代で「お祭り」が60%台、30代と40代で「PTA」が40%前後と高くなっている。

居住年数別では、3年未満で「お祭り」が65.7%と目立っている。また、3年以上7年未満と15年以上20年未満では「地域の清掃活動」が7割弱、15年未満では「PTA」が20%台となっている。

(%)

		n	地域の 清掃活動	地域のリ サイクル 活動	スポーツ 活動(少 年野球・ バレーボ ール・サッ カー等の 指導など)	お祭り	PTA	その他	無回答
全体		806	59.6	49.1	16.0	40.0	11.2	7.6	2.5
性別	男	425	60.5	49.4	19.5	42.4	6.4	8.9	1.4
	女	335	57.6	49.9	10.7	37.9	17.9	6.3	3.3
年齢	20～29歳	26	53.8	46.2	34.6	69.2	15.4	0.0	0.0
	30～39歳	52	50.0	34.6	23.1	65.4	36.5	3.8	1.9
	40～49歳	94	64.9	56.4	35.1	51.1	42.6	2.1	0.0
	50～59歳	141	59.6	50.4	24.8	40.4	12.1	7.8	2.8
	60歳以上	460	59.1	49.6	7.2	33.5	1.5	9.6	2.8
居住年数	3年未満	35	48.6	45.7	22.9	65.7	20.0	0.0	5.7
	3年以上7年未満	51	66.7	41.2	17.6	49.0	27.5	2.0	0.0
	7年以上15年未満	73	50.7	45.2	23.3	46.6	20.5	6.8	1.4
	15年以上20年未満	41	68.3	46.3	22.0	41.5	14.6	4.9	0.0
	20年以上	570	59.6	51.4	14.0	36.8	8.1	9.1	2.6

### (3) ボランティア活動への参加状況

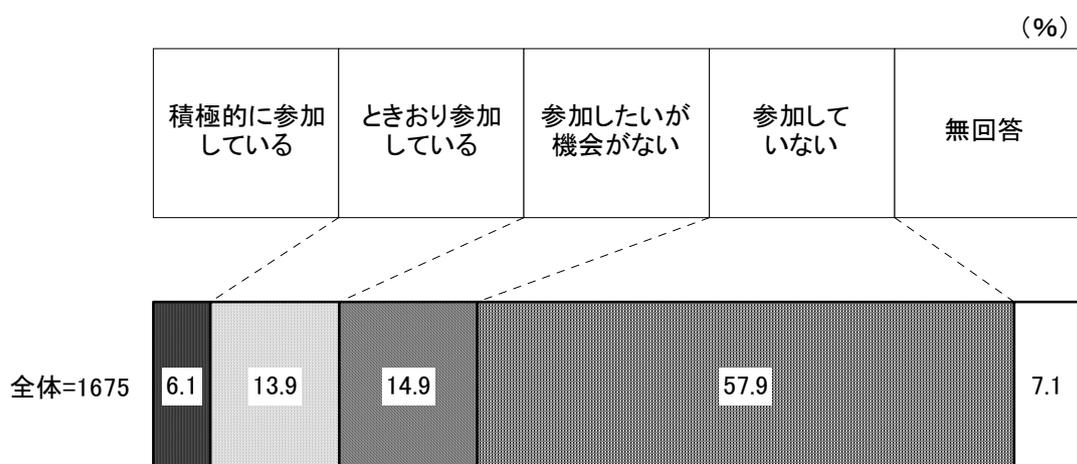
#### ◆ボランティア活動に参加している市民は20.0%

ボランティア活動の参加状況を見ると、「参加していない」(57.9%)、「参加したいが機会がない」(14.9%)を合わせた不参加率は72.8%となっている。「積極的に参加している」(6.1%)、「ときおり参加している」(13.9%)を合わせた参加率は20.0%にとどまっている。

性別では、男性の参加率は24.5%と、女性の参加率(15.9%)を8.6ポイント上回っている。

年齢別では、40代以上での参加率が高くなっており、20代や30代の参加率は1割を切っている。

問6(1)あなたは、ボランティア活動に参加していますか。次の中から1つ選び○をつけてください。



(%)

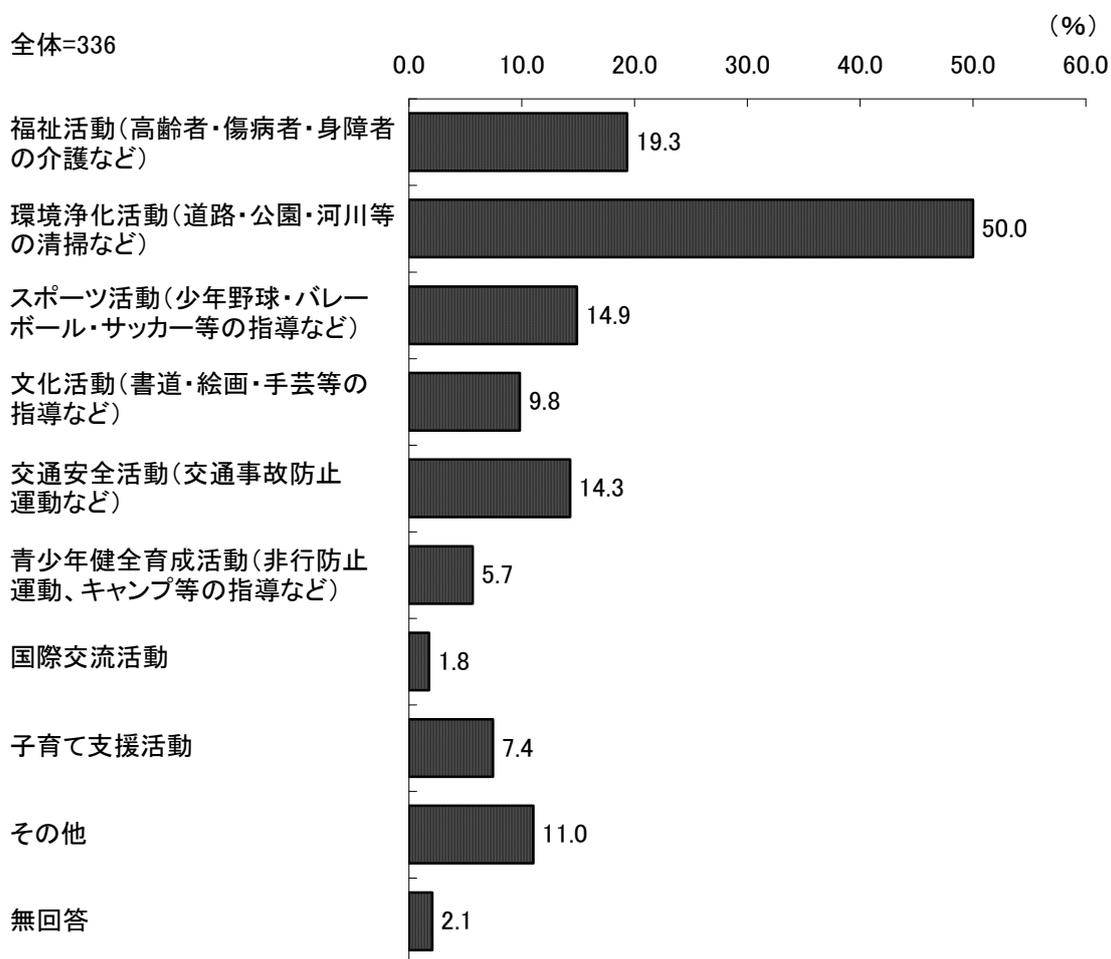
		n	積極的に参加している	ときおり参加している	参加したいが機会がない	参加していない	無回答
全体		1675	6.1	13.9	14.9	57.9	7.1
性別	男	807	9.0	15.5	14.4	54.4	6.7
	女	773	3.5	12.4	15.5	63.8	4.8
年齢	20～29歳	66	1.5	3.0	19.7	74.2	1.5
	30～39歳	148	1.4	5.4	18.9	73.0	1.4
	40～49歳	215	6.0	15.3	17.7	59.1	1.9
	50～59歳	285	4.2	17.2	21.8	52.3	4.6
	60歳以上	891	8.3	14.9	11.1	57.1	8.5

#### (4) 参加しているボランティア活動（複数回答）

##### ◆参加経験者のうち、5割が「環境浄化活動」

参加しているボランティア活動は、「環境浄化活動（道路・公園・河川等の清掃など）」が50.0%と最突出して多くなっている。ついで「福祉活動（高齢者・傷病者・身障者の介護など）」（19.3%）、「スポーツ活動（少年野球・バレーボール・サッカー等の指導など）」（14.9%）、「交通安全活動（交通事故防止運動など）」（14.3%）と続いている。

(2) <(1)で「1. 積極的に参加している」「2. ときおり参加している」とお答えになった方にお尋ねします>  
主にどのようなボランティア活動に参加されていますか。次の中から該当するものすべてを選び○をつけてください。



性別では、男性は「環境浄化活動（道路・公園・河川等の清掃など）」「交通安全活動（交通事故防止運動など）」が、女性より大幅に多くなっている。一方、女性は「福祉活動（高齢者・傷病者・身障者の介護など）」「文化活動（書道・絵画・手芸等の指導など）」「子育て支援活動」が、男性を上回っている。

(%)

		n	福祉活動(高齢者・傷病者・身障者の介護など)	環境浄化活動(道路・公園・河川等の清掃など)	スポーツ活動(少年野球・バレーボール・サッカー等の指導など)	文化活動(書道・絵画・手芸等の指導など)	交通安全活動(交通事故防止運動など)	青少年健全育成活動(非行防止運動、キャンプ等の指導など)	国際交流活動	子育て支援活動	その他
全体		336	19.3	50.0	14.9	9.8	14.3	5.7	1.8	7.4	11.0
性別	男	198	12.6	56.6	17.7	7.1	19.7	7.1	1.0	4.5	11.1
	女	123	30.1	37.4	11.4	15.4	6.5	4.1	2.4	12.2	12.2

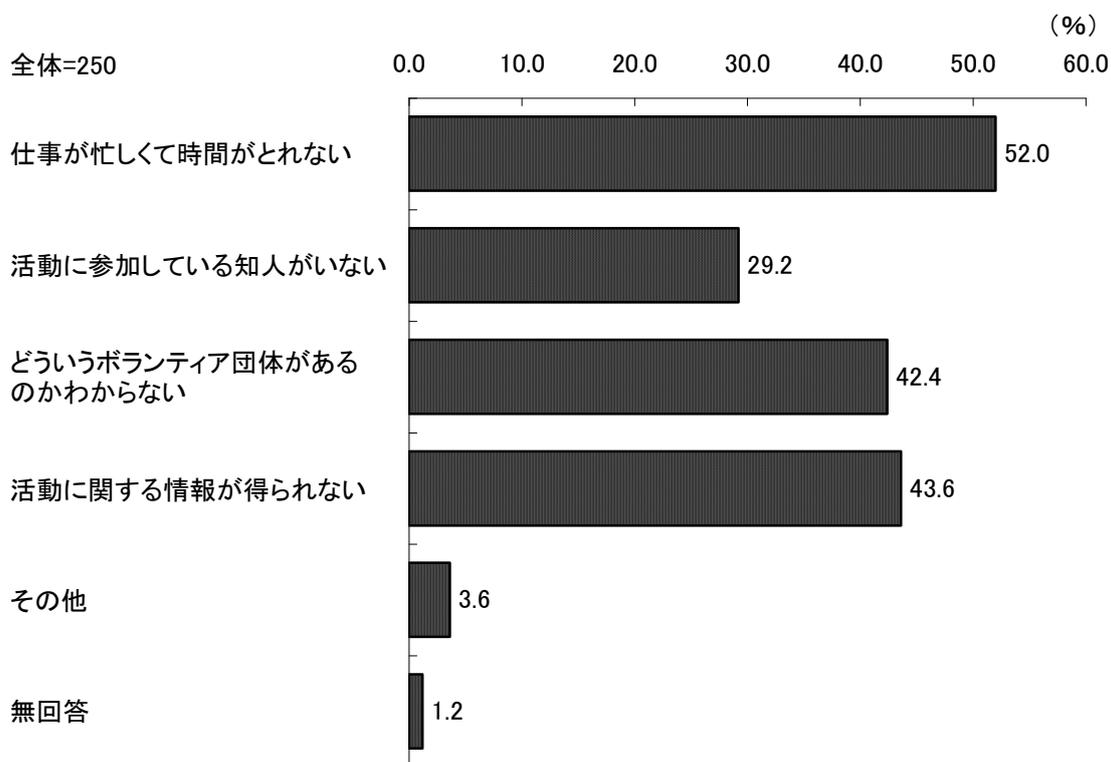
### (5) 参加したいが機会がない理由（複数回答）

◆「仕事が忙しくて時間がとれない」が52.0%、「どういうボランティア団体があるのかわからない」「活動に関する情報が得られない」が40%強

ボランティア活動に参加したいが機会がない理由としては、「仕事が忙しくて時間がとれない」が52.0%と最も多く、以下「活動に関する情報が得られない」（43.6%）、「どういうボランティア団体があるのかわからない」（42.4%）、「活動に参加している知人がいない」（29.2%）となっている。

性別では、男性で「仕事が忙しくて時間がとれない」とする人が約6割と多くなっている。

(3) <(1)で「3. 参加したいが機会がない」とお答えになった方にお尋ねします>  
どのような理由なのか、次の中から該当するものすべてを選び○をつけてください。



		n	仕事が忙しくて時間がとれない	活動に参加している知人がいない	どういうボランティア団体があるのかわからない	活動に関する情報が得られない	その他
全体		250	52.0	29.2	42.4	43.6	3.6
性別	男	116	58.6	25.0	38.8	40.5	0.9
	女	120	48.3	33.3	45.8	45.0	5.8

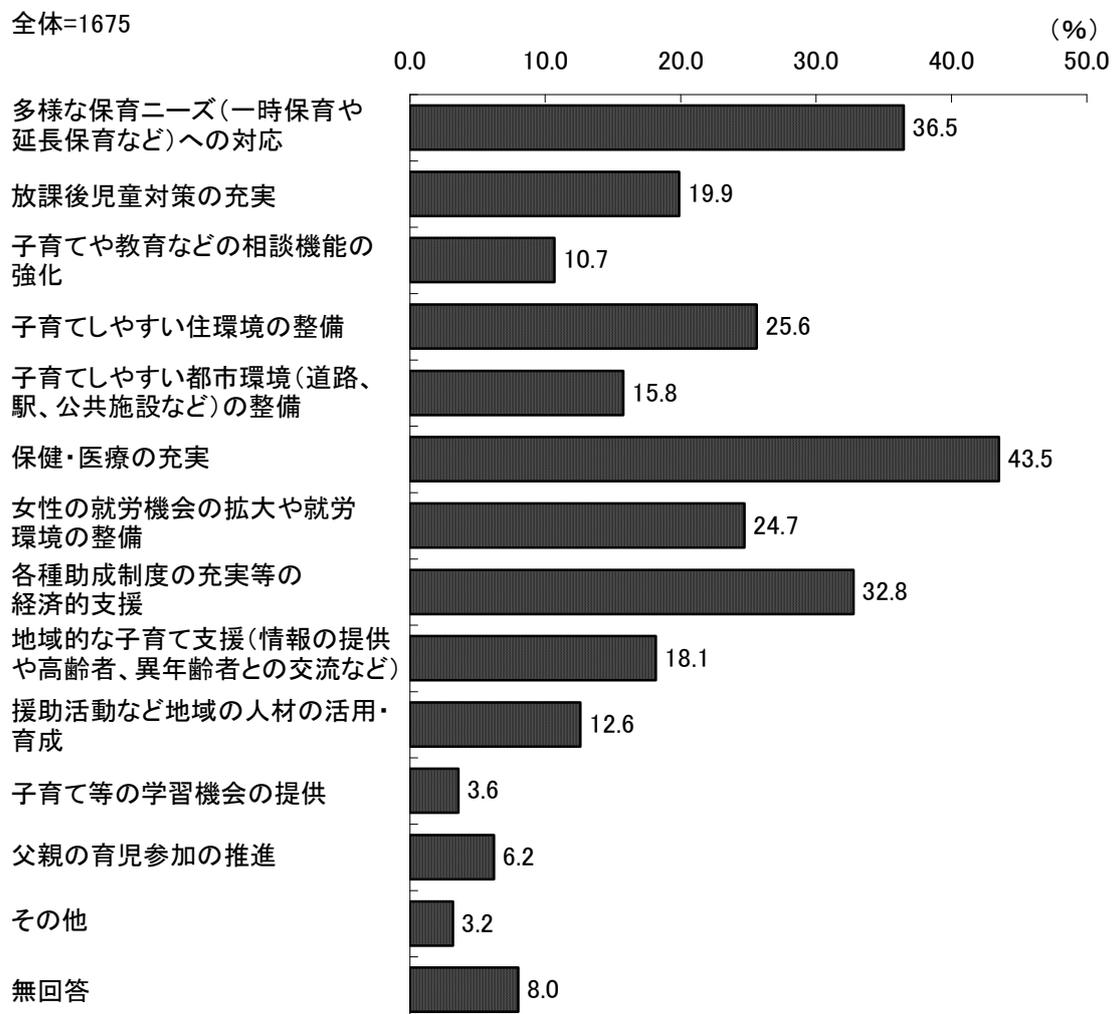
### 3. 今後のまちづくりについて

#### (1) 少子化社会に対応するために重要なこと（複数回答）

##### ◆「保健・医療の充実」と「多様な保育ニーズへの対応」が4割前後

少子化社会に対応するために重要なことは、「保健・医療の充実」(43.5%)と「多様な保育ニーズ（一時保育や延長保育など）への対応」(36.5%)が4割前後で最も多く、ついで「各種助成制度の充実等の経済的支援」(32.8%)、「子育てしやすい住環境の整備」(25.6%)、「女性の就労機会の拡大や就労環境の整備」(24.7%)となっている。

問7(1) 今後の少子化社会に対応するためにはどのような施策が重要だとお考えですか。次の中から3つまで選び○をつけてください。



性別では、男性は「各種助成制度の充実等の経済的支援」をあげる人がやや多くなっている。一方、女性は「多様な保育ニーズ（一時保育や延長保育など）への対応」や「放課後児童対策の充実」、「女性の就労機会の拡大や就労環境の整備」をあげる人がやや多くなっている。

年齢別では、20代で「多様な保育ニーズ（一時保育や延長保育など）への対応」（50.0%）や「子育てしやすい住環境の整備」（33.3%）、「各種助成制度の充実等の経済的支援」（47.0%）、30代で「多様な保育ニーズ（一時保育や延長保育など）への対応」（52.0%）や「放課後児童対策の充実」（34.5%）が、他の年代に比べ多くなっている。

(%)

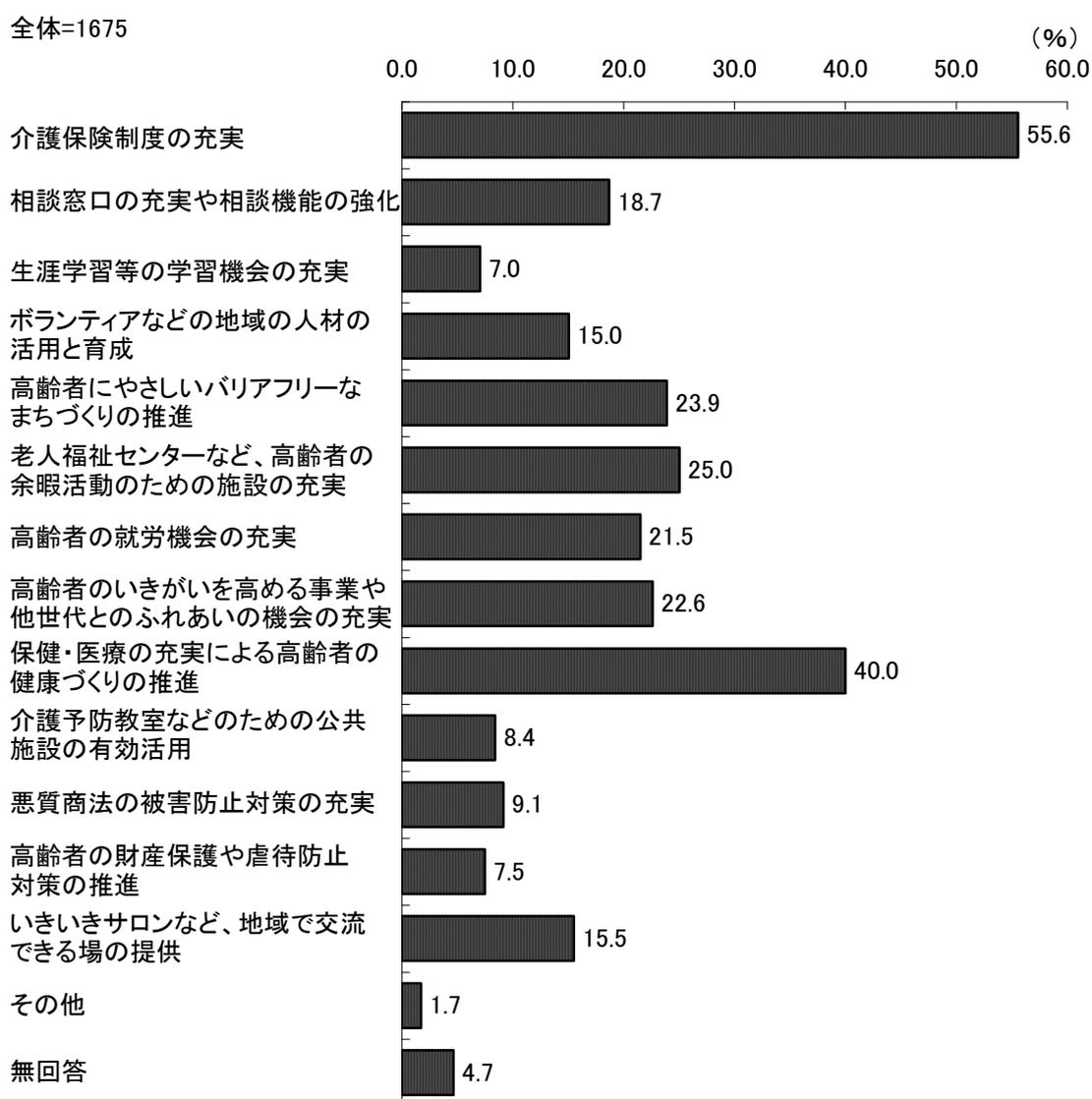
		n	多様な保育ニーズ（一時保育や延長保育など）への対応	放課後児童対策の充実	子育てや教育などの相談機能の強化	子育てしやすい住環境の整備	駅、公共施設などの整備	子育てしやすい都市環境（道路、保健・医療の充実	就業環境の整備	女性の就労機会の拡大や経済的支援	各種助成制度の充実等の経済的支援	地域的な子育て支援（情報の提供や高齢者、異年齢者との交流など）	活用・育成	援助活動など地域の人材の活用・育成	子育て等の学習機会の提供	父親の育児参加の推進	その他
全体		1675	36.5	19.9	10.7	25.6	15.8	43.5	24.7	32.8	18.1	12.6	3.6	6.2	3.2		
性別	男	807	34.8	18.3	10.4	28.0	16.9	46.0	21.4	39.3	16.6	12.6	3.7	5.5	3.7		
	女	773	40.6	23.2	10.9	23.3	15.5	42.7	29.0	27.3	19.4	12.5	2.8	7.0	2.7		
年齢	20～29歳	66	50.0	18.2	16.7	33.3	18.2	36.4	30.3	47.0	16.7	7.6	3.0	10.6	4.5		
	30～39歳	148	52.0	34.5	8.8	27.0	16.9	37.8	25.0	43.9	11.5	6.8	3.4	5.4	8.1		
	40～49歳	215	41.4	28.4	6.0	25.6	22.3	37.2	32.1	36.3	14.0	8.8	1.9	6.5	4.7		
	50～59歳	285	38.6	16.8	12.6	26.7	15.8	48.8	29.5	33.7	20.0	14.7	2.8	6.3	3.9		
	60歳以上	891	32.5	17.6	11.3	24.4	14.4	46.0	21.3	29.5	19.9	13.7	3.8	6.1	1.7		

## (2) 高齢化社会に対応するために重要なこと（複数回答）

◆「介護保険制度の充実」55.6%、「保健・医療の充実による高齢者の健康づくりの推進」40.0%

高齢化社会に対応するために重要なことは、「介護保険制度の充実」が55.6%で最も多く、ついで「保健・医療の充実による高齢者の健康づくりの推進」が40.0%となっている。

(2) 今後の高齢化社会に対応するためにはどのような施策が重要だとお考えですか。次の中から3つまで選び○をつけてください。



性別では、男性は「高齢者の就労機会の充実」と「保健・医療の充実による高齢者の健康づくりの推進」、女性は「高齢者にやさしいバリアフリーなまちづくりの推進」をあげる人がやや多くなっている。

年齢別では、20代は「高齢者にやさしいバリアフリーなまちづくりの推進」、30～50代は「高齢者の就労機会の充実」が、他の年代に比べ多くなっている。

(%)

		n	介護保険制度の充実	相談窓口の充実や相談機能の強化	生涯学習等の学習機会の充実	ボランティアなどの地域の 人材の活用と育成	高齢者にやさしいバリアフリーな まちづくりの推進	余暇活動のための施設の充実	高齢者の就労機会の充実	他世代とのふれあいの機会の充実	健康づくりの推進	保健・医療の充実による高齢者の 健康づくりの推進	介護予防教室などのための 公共施設の有効活用	悪質商法の被害防止対策の充実	高齢者の財産保護や虐待防止 対策の推進	いきいきサロンなど、地域で交流 できる場の提供	その他
全体		1675	55.6	18.7	7.0	15.0	23.9	25.0	21.5	22.6	40.0	8.4	9.1	7.5	15.5	1.7	
性別	男	807	56.4	17.6	8.7	14.0	21.4	25.4	26.3	22.7	43.4	8.2	9.3	6.8	12.4	1.7	
	女	773	56.7	21.0	5.7	16.2	27.4	24.8	18.4	23.3	37.4	8.9	8.3	7.6	18.6	1.9	
年齢	20～29歳	66	40.9	19.7	10.6	16.7	39.4	30.3	18.2	27.3	39.4	10.6	16.7	9.1	10.6	3.0	
	30～39歳	148	58.1	15.5	4.7	14.9	24.3	32.4	29.7	18.9	35.8	7.4	12.2	6.1	17.6	1.4	
	40～49歳	215	59.1	17.2	6.0	12.6	20.9	20.0	32.1	24.7	41.4	6.5	7.9	8.4	14.4	1.4	
	50～59歳	285	52.3	20.4	5.6	19.3	21.8	21.4	29.8	22.8	39.3	10.9	6.7	6.7	15.4	1.8	
	60歳以上	891	57.2	19.8	8.0	14.3	24.4	26.2	16.4	22.7	41.5	8.3	8.8	7.3	15.8	1.8	

### (3) 行田市の環境の良さ

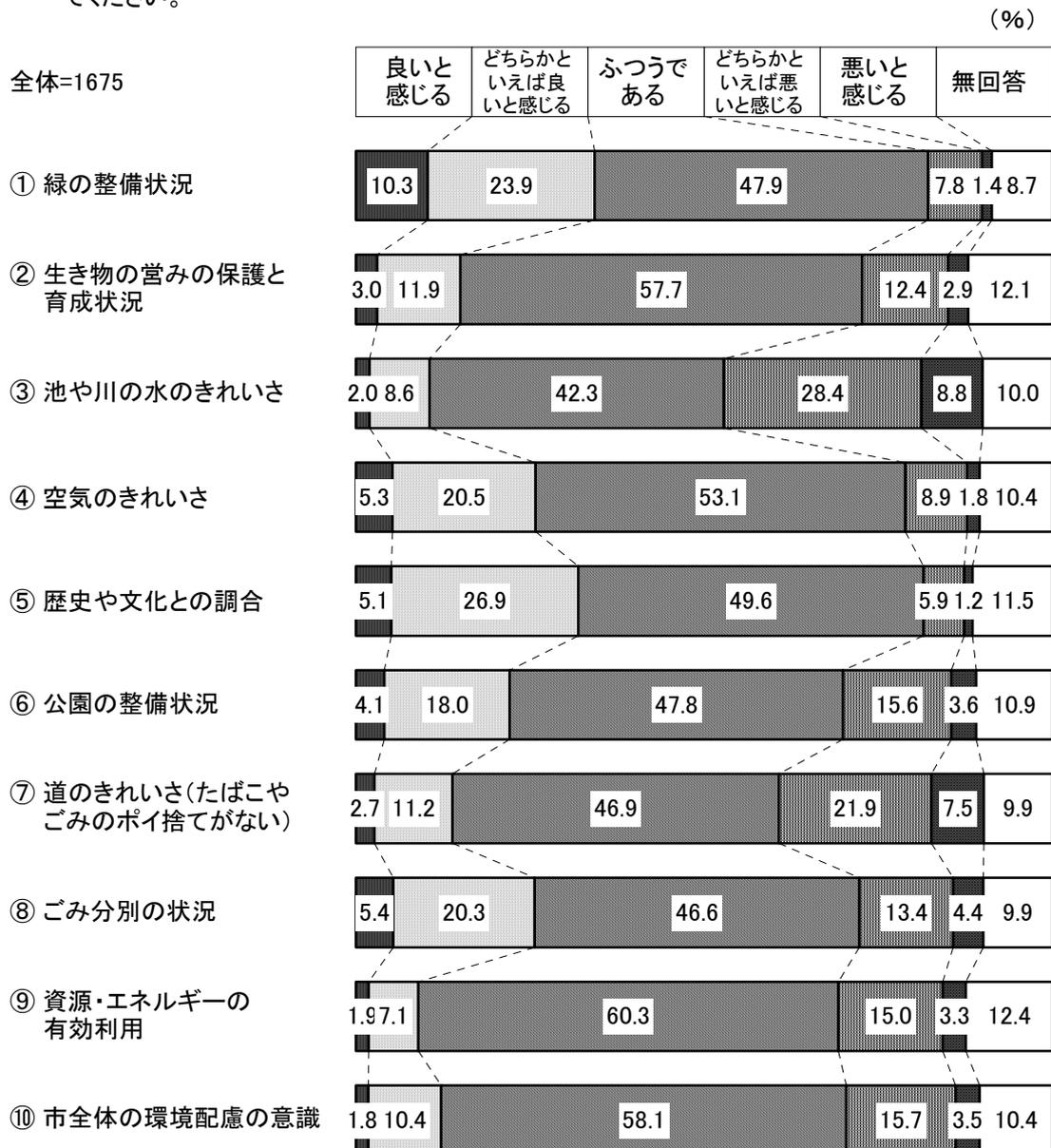
#### ◆「緑の整備状況」「歴史や文化との調合」「空気のきれいさ」の満足層は3割前後

行田市の環境の良さについては、「緑の整備状況」で、『満足層』（「良いと感じる」、「どちらかといえば良いと感じる」と回答した人の割合）が34.2%、「歴史や文化との調合」32.0%、「空気のきれいさ」25.8%と、他の項目に比べ高くなっている。「ごみ分別の状況」については『満足層』が25.7%みられるが、『不満足層』も17.8%と多く、評価が分かれている。

一方、「池や川の水のきれいさ」と「道のきれいさ」では、『不満足層』（「悪いと感じる」、「どちらかといえば悪いと感じる」と回答した人の割合）が約3～4割と強い不満がうかがえる。

この他、「公園の整備状況」や「資源・エネルギーの有効利用」、「市全体の環境配慮の意識」は『不満足層』が約2割おり評価は低いといえる。

問8(1)行田市の環境は良いと感じますか。次の項目ごとに該当する番号をそれぞれ1つ選び○をつけてください。



性別では、女性で「ごみ分別の状況」がやや多くなっている。  
 年齢別では、全体的に20代で『不満足層』が多くなっている。  
 居住年数別では、7年未満で「公園の整備状況」、3年未満と15年以上20年未満で「資源・エネルギーの有効活用」が約3割弱と他の居住年数に比べて多くなっている。また、7年以上15年未満では「池や川の水のきれいさ」が44.6%となっている。  
 居住地区別では、南河原で「公園の整備状況」が32.2%、北河原で「ごみ分別の状況」が28.6%と多くなっている。

行田市の環境の『不満足層』

(%)

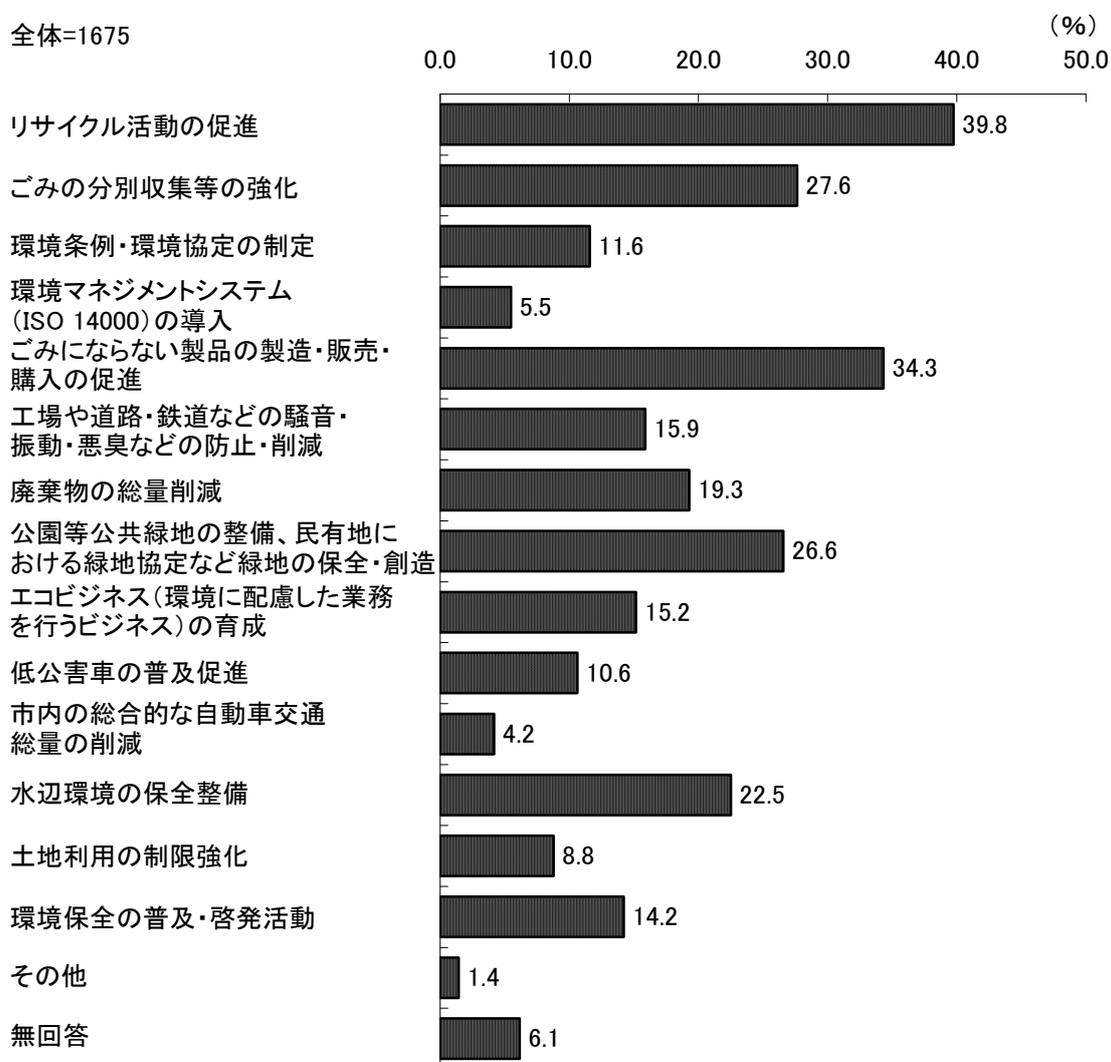
		n	緑の整備状況	生育物の営みの保護と育成状況	池や川の水のきれいさ	空気のきれいさ	歴史や文化との調合	公園の整備状況	道のきれいさ	ごみ分別の状況	資源・エネルギーの有効利用	市全体の環境配慮の意識
全体		1675	9.2	15.3	37.2	10.7	7.1	19.2	29.4	17.8	18.3	19.2
性別	男	807	10.0	18.5	39.7	9.6	7.3	19.2	28.8	15.0	20.8	21.2
	女	773	8.0	12.2	36.1	12.2	7.3	20.2	30.9	21.5	16.3	18.0
年齢	20～29歳	66	16.6	25.7	53.0	21.2	6.0	31.8	37.9	28.8	28.8	25.8
	30～39歳	148	8.8	12.2	41.3	17.6	6.7	23.0	30.4	21.6	23.0	23.0
	40～49歳	215	11.6	17.2	40.4	18.1	10.7	25.1	32.6	23.3	21.9	29.3
	50～59歳	285	10.9	18.6	40.7	8.8	8.4	22.8	36.5	21.4	24.2	24.9
	60歳以上	891	7.6	13.4	34.2	8.0	6.2	15.7	25.6	14.5	14.5	14.7
居住年数	3年未満	108	10.2	16.7	41.7	17.6	4.6	28.7	33.3	24.1	25.9	26.9
	3年以上7年未満	126	11.9	15.9	30.9	15.9	11.1	26.9	28.5	16.7	16.7	19.1
	7年以上15年未満	175	11.4	16.0	44.6	17.2	10.3	22.3	32.6	23.5	16.5	21.2
	15年以上20年未満	98	8.1	16.4	35.7	14.2	7.1	14.3	35.7	16.3	27.6	25.5
	20年以上	1094	8.5	14.5	36.7	8.4	6.6	17.7	27.9	17.0	17.5	18.3
居住地区	忍	135	5.9	14.1	31.1	8.8	8.8	14.1	26.7	14.0	17.0	17.1
	行田	102	10.8	22.6	45.1	14.7	5.9	20.6	27.4	17.6	19.6	20.6
	佐間	126	9.5	14.3	35.7	7.9	6.4	23.8	25.4	15.1	14.3	15.1
	持田	250	12.0	16.0	36.4	12.0	8.4	19.6	28.8	17.2	18.8	21.6
	星河	138	6.5	20.3	45.7	9.4	8.6	23.9	29.7	16.6	19.5	21.7
	長野	226	6.2	14.1	37.6	10.6	7.5	17.3	31.4	20.0	18.6	18.2
	星宮	41	14.6	17.1	41.5	9.8	4.8	19.5	26.9	12.2	17.0	19.5
	下忍	36	0.0	2.8	38.9	2.8	11.1	22.2	38.9	25.0	19.4	16.7
	荒木	75	13.3	20.0	46.7	17.3	2.7	20.0	34.7	24.0	24.0	18.7
	須加	35	5.7	5.8	31.4	8.6	8.6	25.7	31.5	17.1	17.2	20.0
	北河原	21	9.5	14.3	42.8	4.8	9.5	23.8	33.3	28.6	14.3	23.8
	埼玉	97	9.3	13.4	29.9	5.2	3.1	10.4	29.9	17.5	16.5	18.5
	太田	122	4.9	9.8	34.4	12.3	4.9	15.6	29.5	22.9	18.0	20.5
	太井	122	13.1	16.4	34.4	10.6	5.8	20.5	26.2	16.4	15.6	19.6
南河原	59	17.0	17.0	37.3	18.7	15.3	32.2	32.2	20.4	25.4	27.1	

#### (4) 環境保全・改善のために強化すべき活動（複数回答）

◆「リサイクル活動の促進」が4割、「ごみにならない製品の製造・販売・購入の促進」「ごみの分別収集等の強化」「公園等公共緑地の整備、民有地における緑地協定など緑地の保全・創造」が3割前後

環境保全・改善のために強化すべき活動は、「リサイクル活動の促進」が39.8%と最も多く、ついで「ごみにならない製品の製造・販売・購入の促進」(34.3%)、「ごみの分別収集等の強化」(27.6%)、「公園等公共緑地の整備、民有地における緑地協定など緑地の保全・創造」(26.6%)が3割前後で続いている。

(2) 市の環境を保全・改善するためにはどのような施策が重要だとお考えですか。次の中から3つまで選び○をつけてください。



性別では、男性は「水辺環境の保全整備」をあげる人がやや多くなっている。一方、女性は「ごみにならない製品の製造・販売・購入の促進」が40.5%と多くなっている。

年齢別では、20代は「リサイクル活動の促進」が47.0%、30代は「工場や道路・鉄道などの騒音・振動・悪臭などの防止・削減」が26.4%と他の年代と比較して多くなっている。

(%)

		n	リサイクル活動の促進	ごみの分別収集等の強化	環境条例・環境協定の制定	環境マネジメントシステム (ISO 14000) の導入	ごみにならない製品の製造・販売・購入の促進	工場や道路・鉄道などの騒音・振動・悪臭などの防止・削減	廃棄物の総量削減	おける緑地協定など緑地の保全・創造	公園等公共緑地の整備、民有地における緑地協定など緑地の保全・創造	エコビジネス(環境に配慮した業務を行うビジネス)の育成	低公害車の普及促進	市内の総合的な自動車交通総量の削減	水辺環境の保全整備	土地利用の制限強化	環境保全の普及・啓発活動	その他
全体		1675	39.8	27.6	11.6	5.5	34.3	15.9	19.3	26.6	15.2	10.6	4.2	22.5	8.8	14.2	1.4	
性別	男	807	43.0	27.0	14.7	7.2	29.4	14.4	17.8	29.4	15.5	11.9	3.6	27.0	8.3	16.6	1.2	
	女	773	37.3	28.1	9.1	3.9	40.5	17.2	20.6	25.4	15.9	10.0	4.7	18.4	8.7	11.8	1.8	
年齢	20～29 歳	66	47.0	24.2	7.6	7.6	33.3	21.2	24.2	30.3	15.2	15.2	1.5	27.3	12.1	10.6	3.0	
	30～39 歳	148	39.2	24.3	8.8	8.8	29.7	26.4	16.2	34.5	21.6	12.8	3.4	22.3	4.7	9.5	2.0	
	40～49 歳	215	39.5	27.4	13.0	7.0	33.0	15.8	20.5	25.1	18.6	14.4	1.9	16.3	11.2	11.2	2.3	
	50～59 歳	285	36.8	27.4	14.7	7.7	34.4	19.6	19.3	30.2	18.9	9.5	3.9	26.0	7.4	13.0	0.7	
	60 歳以上	891	40.3	28.4	11.6	3.9	35.6	12.7	18.9	25.3	12.6	9.7	5.4	22.9	9.0	16.5	1.3	

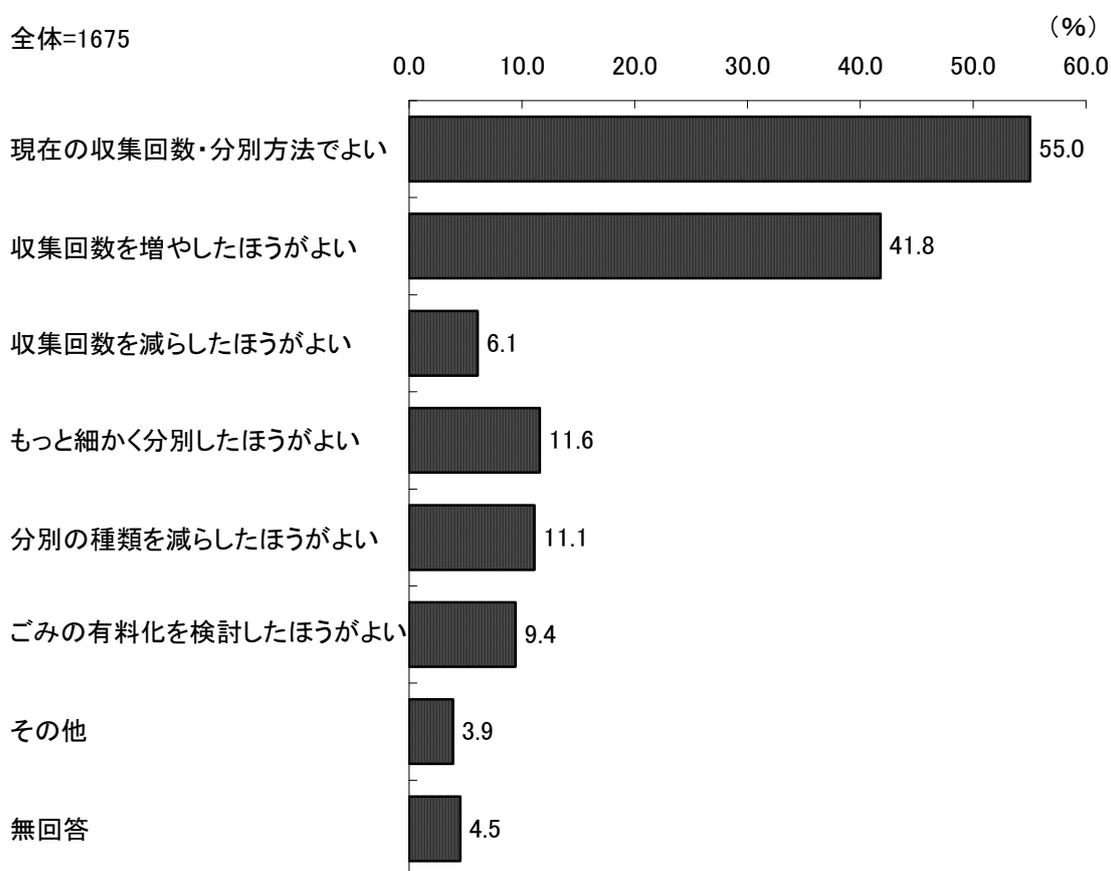
## (5) 市のごみ収集体制について

### ①収集回数や分別方法について（複数回答）

◆ごみ収集回数は「現在の収集回数・分別方法でよい」が55.0%、「収集回数を増やしたほうがよい」が41.8%

ごみの収集回数について、「現在の収集回数・分別方法でよい」が55.0%で最も多いが、「収集回数を増やしたほうがよい」とする人も41.8%にのぼる。

(3)市のごみ収集体制(収集回数や分別方法など)についてどのようにお考えですか。次の中から2つまで選び○をつけてください。



性別では、あまり大きな差はみられない。

年齢別では、20～40代では「収集回数を増やしたほうがよい」とする人が5割を超えているが、50代以上では「現在の収集回数・分別方法でよい」とする人が約5～7割となっている。

居住年数別では、20年未満では「収集回数を増やしたほうがよい」とする人が5割前後となっているが、20年以上では37.7%にとどまり、「現在の収集回数・分別方法でよい」が60.5%となっている。

居住地区別では、太田と南河原で「収集回数を増やしたほうがよい」とする人が5割を超えている。

(%)

		n	現在の収集回数・ 分別方法でよい	収集回数を増やした ほうがよい	収集回数を減らした ほうがよい	もっと細かく分別した ほうがよい	分別の種類を減らした ほうがよい	ごみの有料化を検討 したほうがよい	その他	無回答
全体		1675	55.0	41.8	6.1	11.6	11.1	9.4	3.9	4.5
性別	男	807	57.2	39.7	5.7	14.0	12.0	10.9	3.3	3.1
	女	773	54.6	45.0	5.6	9.4	9.6	7.9	4.8	3.6
年齢	20～29歳	66	42.4	54.5	10.6	15.2	6.1	3.0	3.0	1.5
	30～39歳	148	32.4	64.9	9.5	12.8	8.1	4.1	10.8	0.7
	40～49歳	215	39.5	52.1	5.1	14.0	7.4	7.4	4.7	2.3
	50～59歳	285	49.5	44.6	5.3	11.9	12.6	12.3	3.5	2.1
	60歳以上	891	66.6	34.0	5.1	10.4	12.2	10.5	2.9	5.3
居住年数	3年未満	108	39.8	57.4	6.5	15.7	9.3	5.6	7.4	1.9
	3年以上7年未満	126	46.0	52.4	6.3	16.7	11.1	3.2	4.8	1.6
	7年以上15年未満	175	47.4	48.0	8.0	9.1	8.6	9.1	5.7	2.9
	15年以上20年未満	98	44.9	51.0	5.1	15.3	9.2	11.2	2.0	2.0
	20年以上	1094	60.5	37.7	5.4	10.7	11.6	10.5	3.5	4.6
居住地区	忍	135	69.6	36.3	3.7	8.1	6.7	10.4	2.2	3.0
	行田	102	56.9	40.2	6.9	11.8	13.7	2.0	5.9	5.9
	佐間	126	59.5	42.1	4.8	11.1	7.1	10.3	1.6	3.2
	持田	250	63.6	37.2	6.8	12.0	12.4	7.6	6.8	1.2
	星河	138	58.7	44.9	8.0	10.9	10.9	13.8	2.9	2.2
	長野	226	58.0	42.0	5.3	14.2	11.9	10.6	4.4	3.1
	星宮	41	39.0	39.0	9.8	17.1	12.2	9.8	4.9	9.8
	下忍	36	55.6	33.3	0.0	8.3	19.4	16.7	2.8	5.6
	荒木	75	44.0	40.0	6.7	8.0	9.3	10.7	4.0	8.0
	須加	35	54.3	25.7	2.9	11.4	14.3	8.6	2.9	14.3
	北河原	21	42.9	47.6	0.0	4.8	14.3	4.8	4.8	9.5
	埼玉	97	46.4	45.4	2.1	14.4	9.3	7.2	2.1	5.2
	太田	122	40.2	53.3	3.3	13.9	16.4	9.8	4.1	4.1
	太井	122	59.0	43.4	11.5	9.0	4.1	10.7	2.5	1.6
南河原	59	35.6	57.6	3.4	15.3	13.6	8.5	3.4	5.1	

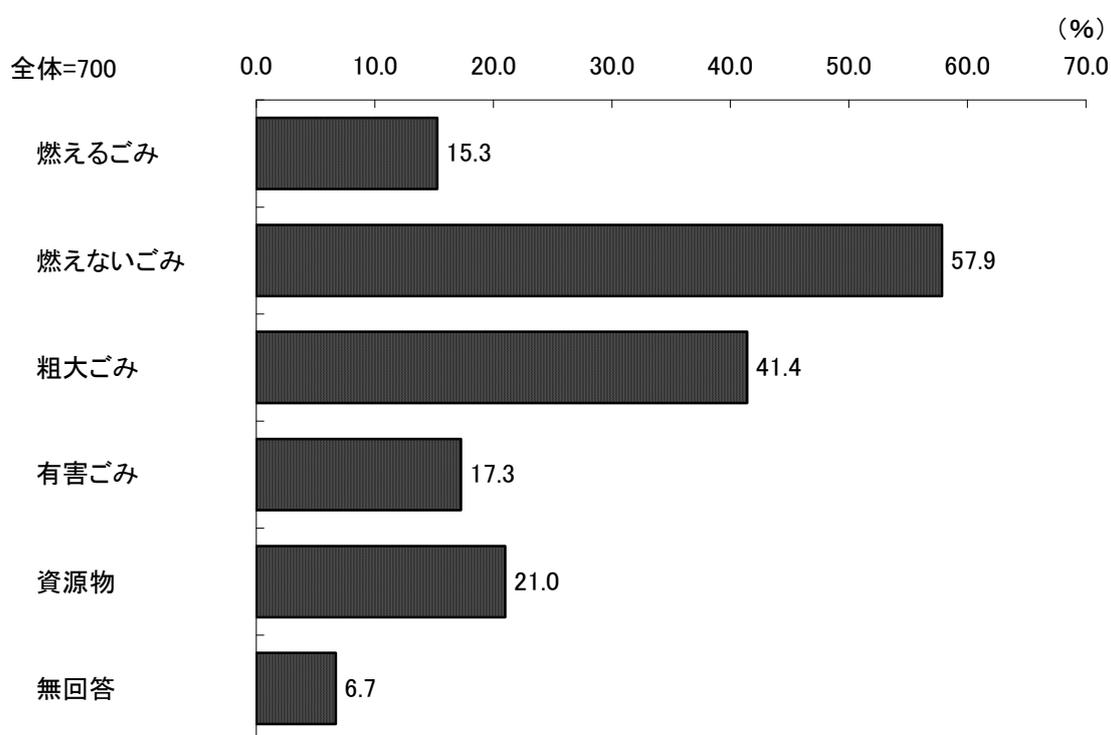
②ごみ収集回数を増やしたほうがよいもの（複数回答）

◆収集回数の増加を求める人の57.9%は、燃えないごみの回数増をあげている

ごみ収集回数を増やしたほうがよいものとしては、「燃えないごみ」が57.9%と最も多く、ついで「粗大ごみ」が41.4%となっている。

性別では、男性は「粗大ごみ」、「有害ごみ」をあげる人が多く、女性は「燃えないごみ」をあげる人が多くなっている。

※<(3)で「2. 収集回数を増やしたほうがよい」とお答えになった方にお尋ねします>  
増やしたほうがよいものを次の①～⑤の中からすべて選び○をつけてください。



(%)

		n	燃えるごみ	燃えないごみ	粗大ごみ	有害ごみ	資源物	無回答
全体		700	15.3	57.9	41.4	17.3	21.0	6.7
性別	男	320	14.4	53.1	46.6	20.9	20.6	7.5
	女	348	15.8	64.1	37.1	14.9	22.1	4.9

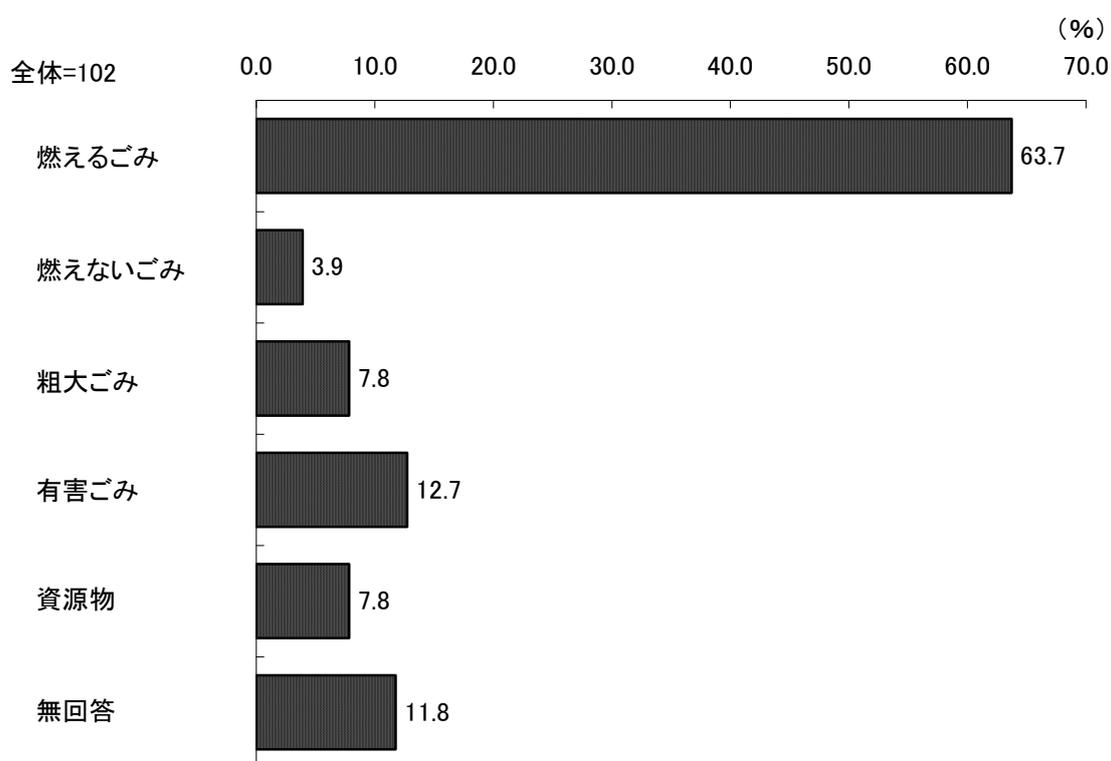
③ごみ収集回数を減らしたほうがよいもの（複数回答）

◆収集回数の減少を求める人の大半は、燃えるごみをあげている

ごみ収集回数を減らしたほうがよいとする人は少ないが、減らしたほうがよいとしているのは「燃えるごみ」が63.7%を占めている。

性別による大きな差はみられない。

※<(3)で「3. 収集回数を減らしたほうがよい」とお答えになった方にお尋ねします>  
減らしたほうがよいものを次の①～⑤の中からすべて選び○をつけてください。



(%)

		n	燃えるごみ	燃えないごみ	粗大ごみ	有害ごみ	資源物	無回答
全体		102	63.7	3.9	7.8	12.7	7.8	11.8
性別	男	46	67.4	4.3	8.7	13.0	8.7	8.7
	女	43	69.8	2.3	7.0	9.3	9.3	7.0

## (6) 健康についてのイメージ (複数回答)

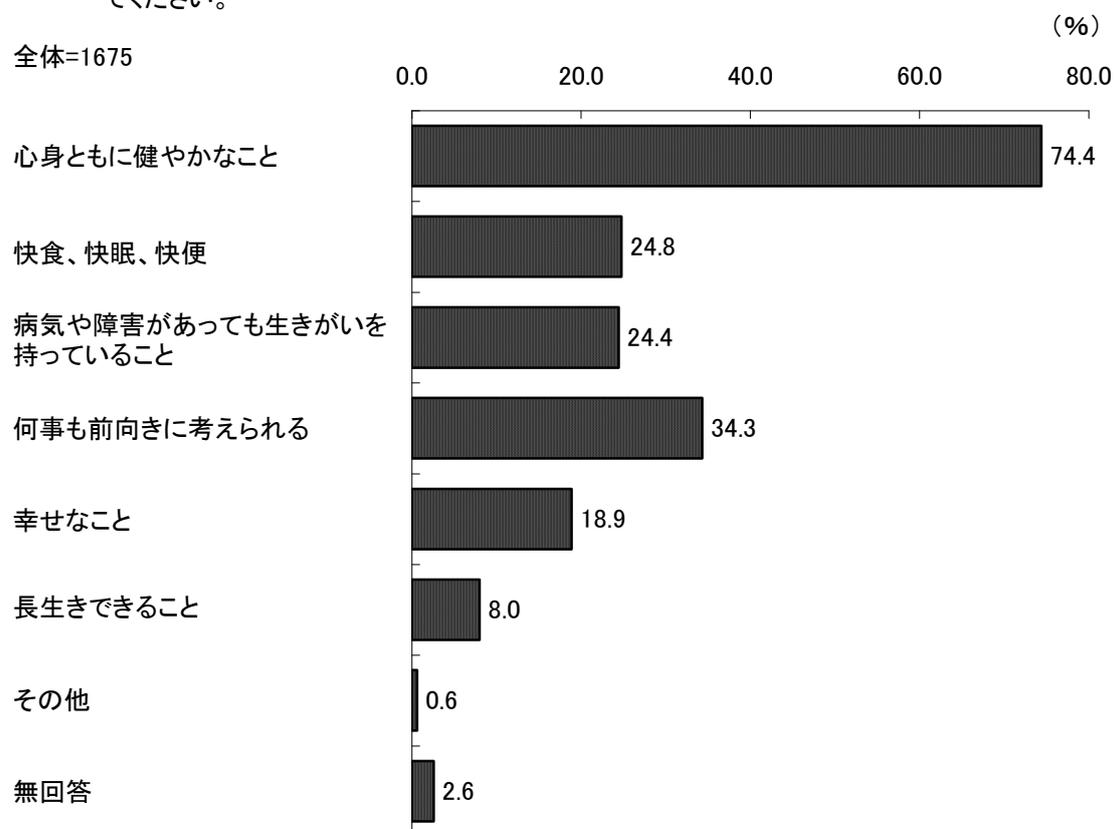
### ◆「心身ともに健やかなこと」が74.4%

健康についてのイメージとしては、「心身ともに健やかなこと」が74.4%と大半を占め、ついで「何事も前向きに考えられる」が34.3%となっている。

性別にみても大きな差はみられない。

年齢別にみると、20代では「幸せなこと」が3割となっているのに対し、50代以上では「何事も前向きに考えられる」が4割近くとなっている。

問9(1)あなたは、健康についてどのようなイメージをもっていますか。次の中から2つまで選び○をつけてください。



(%)

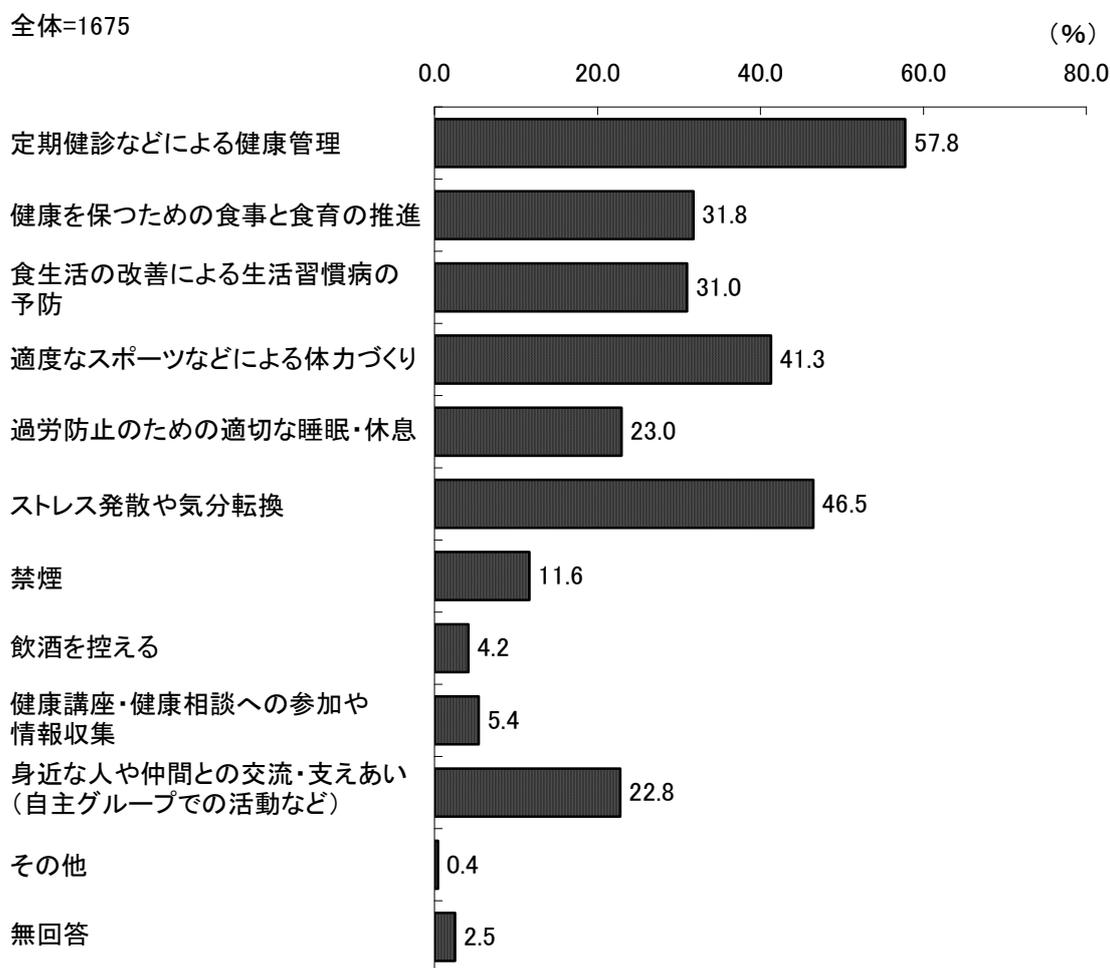
		n	心身ともに 健やかな こと	快食 快眠 快便	病気や障 害があっ ても生きが いを持つて いること	何事も前 向きに考 えられる	幸せなこと	長生き できること	その他
全体		1675	74.4	24.8	24.4	34.3	18.9	8.0	0.6
性別	男	807	75.8	25.3	25.7	32.6	18.3	9.0	0.6
	女	773	75.7	23.5	23.3	36.9	19.5	6.7	0.6
年齢	20～29歳	66	81.8	21.2	16.7	21.2	30.3	3.0	4.5
	30～39歳	148	78.4	29.1	21.6	21.6	23.6	8.1	0.0
	40～49歳	215	81.4	20.5	20.5	30.2	24.7	6.0	0.9
	50～59歳	285	83.9	19.3	23.9	37.9	18.2	4.9	0.4
	60歳以上	891	70.4	26.7	26.8	37.8	16.0	9.7	0.4

## (7) 健康づくりのために重要なこと（複数回答）

### ◆「定期健診などによる健康管理」が57.8%

健康づくりのために重要なことは、「定期健診などによる健康管理」が57.8%で最も多く、ついで「ストレス発散や気分転換」（46.5%）、「適度なスポーツなどによる体力づくり」（41.3%）、「健康を保つための食事と食育の推進」（31.8%）、「食生活の改善による生活習慣病の予防」（31.0%）が続いている。

(2) 健康づくりのためには何が重要だとお考えですか。次の中から3つまで選び○をつけてください。



性別にみると、男性で「適度なスポーツなどによる体力づくり」が 47.2%と女性に比べて多くなっている。

年齢別では、20～40代では「ストレス発散や気分転換」が6割近くにのに対し、60歳以上では4割にとどまり、「身近な人や仲間との交流・支えあい（自主グループでの活動など）」が約3割と多くなっている。

(%)

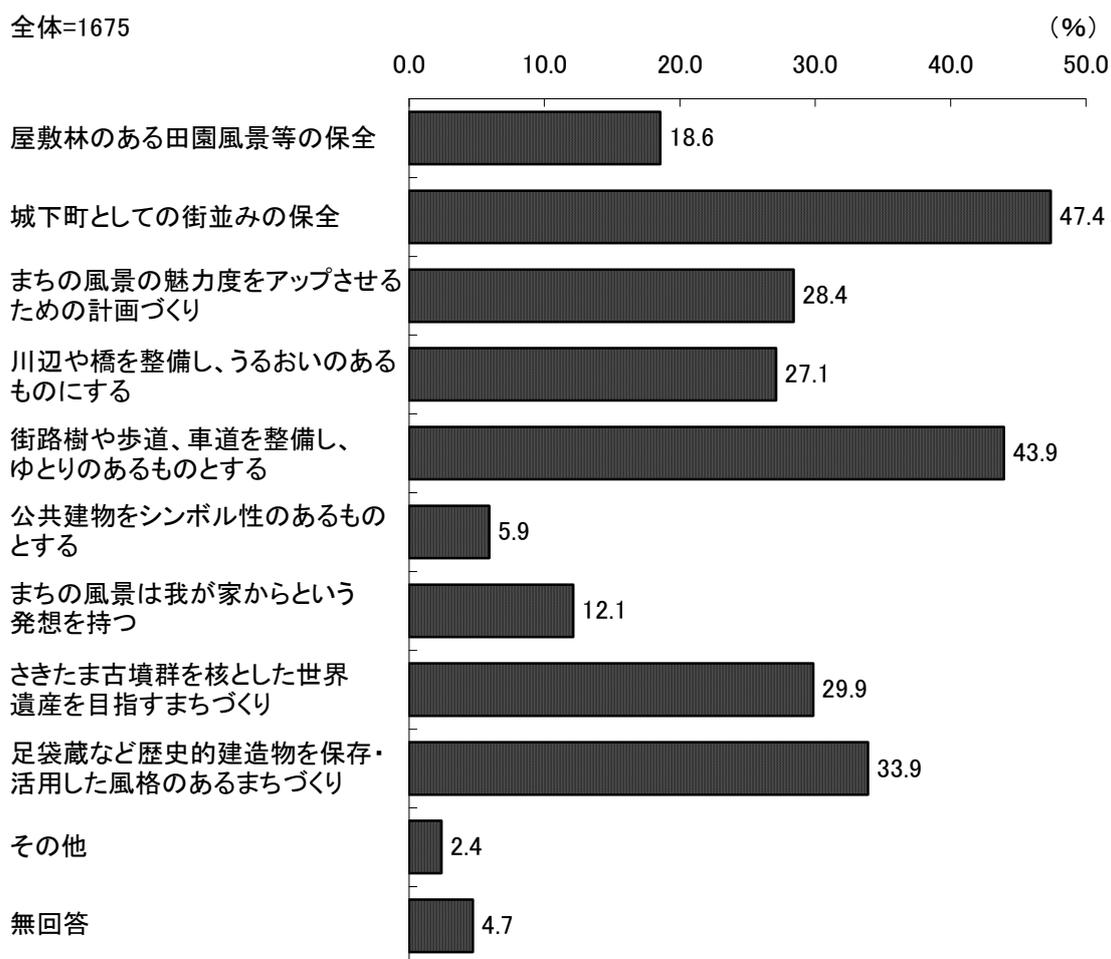
		n	定期健診などによる健康管理	健康を保つための食事と食育の推進	食生活の改善による生活習慣病の予防	適度なスポーツなどによる体力づくり	過労防止のための適切な睡眠・休息	ストレス発散や気分転換	禁煙	飲酒を控える	健康講座・健康相談への参加や情報収集	身近な人や仲間との交流・支えあい (自主グループでの活動など)
全体		1675	57.8	31.8	31.0	41.3	23.0	46.5	11.6	4.2	5.4	22.8
性別	男	807	59.4	29.5	32.2	47.2	20.8	43.4	14.5	5.9	5.3	20.0
	女	773	57.2	35.3	31.0	36.5	25.2	51.0	8.9	1.7	5.6	25.0
年齢	20～29歳	66	51.5	27.3	34.8	53.0	34.8	59.1	7.6	4.5	4.5	10.6
	30～39歳	148	50.7	35.1	31.8	50.0	25.0	57.4	12.8	3.4	4.1	10.8
	40～49歳	215	55.3	29.8	34.4	47.0	24.2	58.1	11.6	2.8	1.9	10.7
	50～59歳	285	56.1	30.2	31.9	47.7	21.8	50.2	12.6	1.8	6.7	20.7
	60歳以上	891	61.4	32.9	30.3	36.1	22.1	40.5	11.6	5.5	6.2	28.5

## (8) 歴史を生かした魅力ある景観づくりに重要なこと（複数回答）

◆「城下町としての街並みの保全」と「街路樹や歩道、車道を整備し、ゆとりのあるものとする」が4割台

歴史を生かした魅力ある景観づくりに重要なことは、「城下町としての街並みの保全」(47.4%)と「街路樹や歩道、車道を整備し、ゆとりのあるものとする」(43.9%)が40%台で最も多く、ついで「足袋蔵など歴史的建造物を保存・活用した風格のあるまちづくり」(33.9%)、「さきたま古墳群を核とした世界遺産を目指すまちづくり」(29.9%)、「まちの風景の魅力度をアップさせるための計画づくり」(28.4%)、「川辺や橋を整備し、うるおいのあるものにする」(27.1%)が30%前後となっている。

問 10 歴史や文化遺産を生かしたまちづくりのためにはどのような施策が重要だとお考えですか。次の中から3つまで選び○をつけてください。



性別にみると、男性では「まちの風景の魅力度をアップさせるための計画づくり」と「川辺や橋を整備し、うるおいのあるものにする」が約3割と女性に比べやや多くなっている。一方、女性では「足袋蔵など歴史的建造物を保存・活用した風格のあるまちづくり」が4割弱と男性に比べやや多くなっている。

年齢別では、30代以上では「街路樹や歩道、車道を整備し、ゆとりのあるものとする」が4割前後となっているが、20代では33.3%にとどまり、「川辺や橋を整備し、うるおいのあるものにする」が39.4%と多くなっている。

(%)

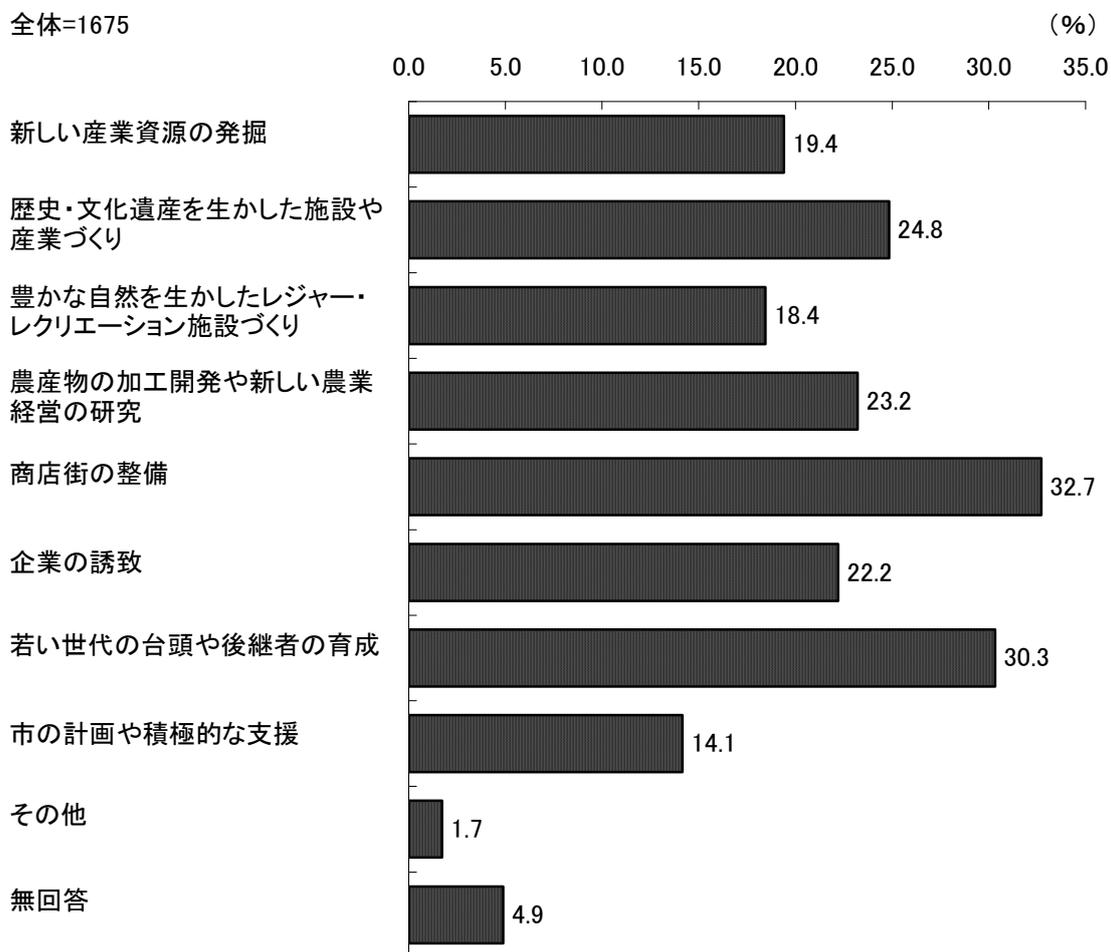
		n	屋敷林のある田園風景等の保全	城下町としての街並みの保全	まちの風景の魅力度をアップさせるための計画づくり	川辺や橋を整備し、うるおいのあるものにする	街路樹や歩道、車道を整備し、ゆとりのあるものとする	公共建物をシンボル性のあるものとする	まちの風景は我が家からという発想を持つ	さきたま古墳群を核とした世界遺産を目指すまちづくり	足袋蔵など歴史的建造物を保存・活用した風格のあるまちづくり
全体		1675	18.6	47.4	28.4	27.1	43.9	5.9	12.1	29.9	33.9
性別	男	807	19.2	49.1	32.5	30.2	45.0	5.6	11.6	31.5	31.1
	女	773	18.0	47.1	25.1	24.1	43.3	6.2	12.8	28.6	37.9
年齢	20～29歳	66	18.2	53.0	27.3	39.4	33.3	10.6	1.5	33.3	28.8
	30～39歳	148	16.9	50.7	33.1	22.3	45.3	4.1	9.5	31.1	32.4
	40～49歳	215	17.7	49.3	30.2	27.4	39.1	7.4	9.3	24.7	34.0
	50～59歳	285	15.4	48.8	31.6	27.7	44.6	5.3	11.2	27.7	33.3
	60歳以上	891	20.3	45.8	27.0	27.0	45.5	5.7	14.4	31.6	35.2

## (9) 商業や産業の振興に重要なこと（複数回答）

### ◆「商店街の整備」「後継者の育成」が重要と考える市民が3割強

商業や産業の振興に重要なことは、「商店街の整備」(32.7%)と「若い世代の台頭や後継者の育成」(30.3%)が3割強と最も多く、ついで「歴史・文化遺産を生かした施設や産業づくり」(24.8%)、「農産物の加工開発や新しい農業経営の研究」(23.2%)、「企業の誘致」(22.2%)など、意見が分散している。

問 11 市の商業や産業の振興のためにはどのような施策が重要だとお考えですか。次の中から2つまで選び○をつけてください。



性別では、男性は「新しい産業資源の発掘」「企業の誘致」をあげる人がやや多くなっている。

年齢別では、20代は「商店街の整備」と「若い世代の台頭や後継者の育成」、30代は「豊かな自然を生かしたレジャー・レクリエーション施設づくり」と「商店街の整備」が多くなっている。

職業別では、会社等事務従事者は「商店街の整備」が45.5%、公務員、教員は「歴史・文化遺産を生かした施設や産業づくり」と「商店街の整備」が38.5%、農林漁業、畜産業は「農産物の加工開発や新しい農業経営の研究」が48.6%と多くなっている。

(%)

		n	新しい産業資源の発掘	歴史・文化遺産を生かした施設や産業づくり	豊かな自然を生かしたレジャー・レクリエーション施設づくり	農産物の加工開発や新しい農業経営の研究	商店街の整備	企業の誘致	若い世代の台頭や後継者の育成	市の計画や積極的な支援
全体		1675	19.4	24.8	18.4	23.2	32.7	22.2	30.3	14.1
性別	男	807	24.3	24.3	17.6	25.0	30.6	27.0	28.3	13.6
	女	773	15.5	26.0	19.8	21.9	35.6	17.2	32.7	15.1
年齢	20～29歳	66	15.2	33.3	19.7	16.7	40.9	12.1	40.9	16.7
	30～39歳	148	12.8	27.7	33.1	13.5	39.9	18.9	29.1	16.9
	40～49歳	215	14.0	26.0	22.3	21.4	35.8	25.1	26.0	14.9
	50～59歳	285	23.2	26.3	15.4	26.3	29.8	24.9	27.4	15.4
	60歳以上	891	21.5	23.2	16.0	25.5	31.4	21.8	31.6	13.5
職業	専門職	69	21.7	30.4	24.6	20.3	21.7	23.2	30.4	11.6
	管理職	88	23.9	30.7	13.6	20.5	33.0	31.8	27.3	18.2
	会社等事務従事者	112	11.6	22.3	21.4	25.0	45.5	18.8	33.9	15.2
	公務員、教員	52	17.3	38.5	15.4	17.3	38.5	19.2	25.0	13.5
	製造業、小売業等従事者、運転手	153	20.9	28.1	22.2	19.0	33.3	30.7	27.5	11.1
	農林漁業、畜産業	37	27.0	16.2	5.4	48.6	10.8	24.3	43.2	2.7
	サービス業	84	26.2	20.2	17.9	17.9	36.9	22.6	28.6	15.5
	自営業	95	21.1	27.4	14.7	30.5	21.1	23.2	33.7	22.1
	学生	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0
	主婦	260	13.8	26.5	21.2	22.3	38.8	17.7	35.4	15.0
	無職	534	22.1	21.7	18.5	24.2	30.0	21.5	27.7	13.5
その他	107	19.6	24.3	13.1	27.1	40.2	17.8	28.0	19.6	
居住年数	3年未満	108	17.6	26.9	24.1	22.2	38.0	18.5	25.9	17.6
	3年以上7年未満	126	15.9	31.7	27.8	15.1	33.3	19.0	31.7	15.9
	7年以上15年未満	175	15.4	25.1	22.9	20.6	38.9	27.4	25.1	16.6
	15年以上20年未満	98	22.4	27.6	23.5	27.6	25.5	28.6	27.6	11.2
	20年以上	1094	20.7	23.6	15.9	24.6	32.0	21.5	31.8	14.1

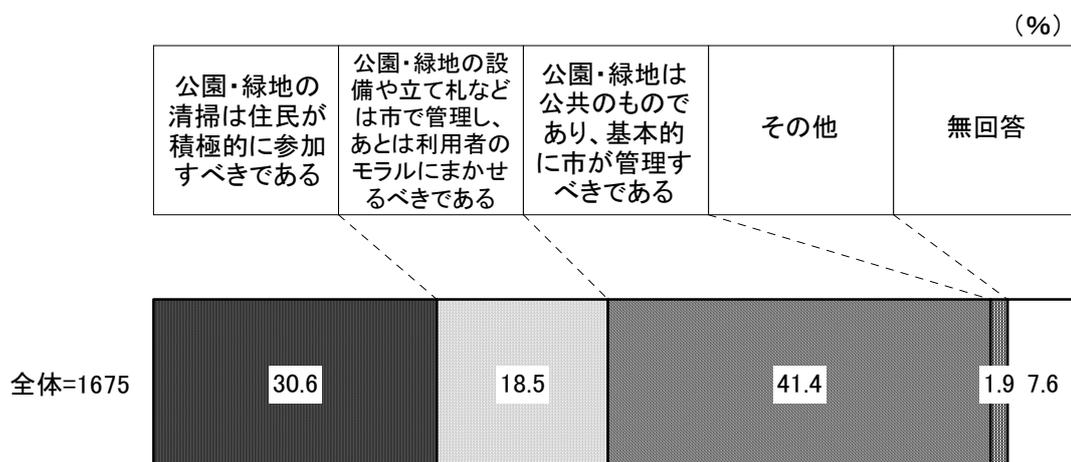
## (10) 公園・緑地の維持管理について

◆「基本的に市が管理すべきである」が41.4%、「住民が積極的に参加すべきである」が30.6%

公園・緑地の維持管理については、「公園・緑地は公共のものであり、基本的に市が管理すべきである」が41.4%なのに対し、「公園・緑地の清掃は住民が積極的に参加すべきである」が30.6%となっている。「公園・緑地の設備や立て札などは市で管理し、あとは利用者のモラルにまかせるべきである」は18.5%である。

性別にみても大きな差はみられない。

問 12 市民の憩いの場であり、また子どもたちの遊び場である公園・緑地の維持管理についてどのようにすべきだとお考えですか。次の中から1つ選び○をつけてください。



(%)

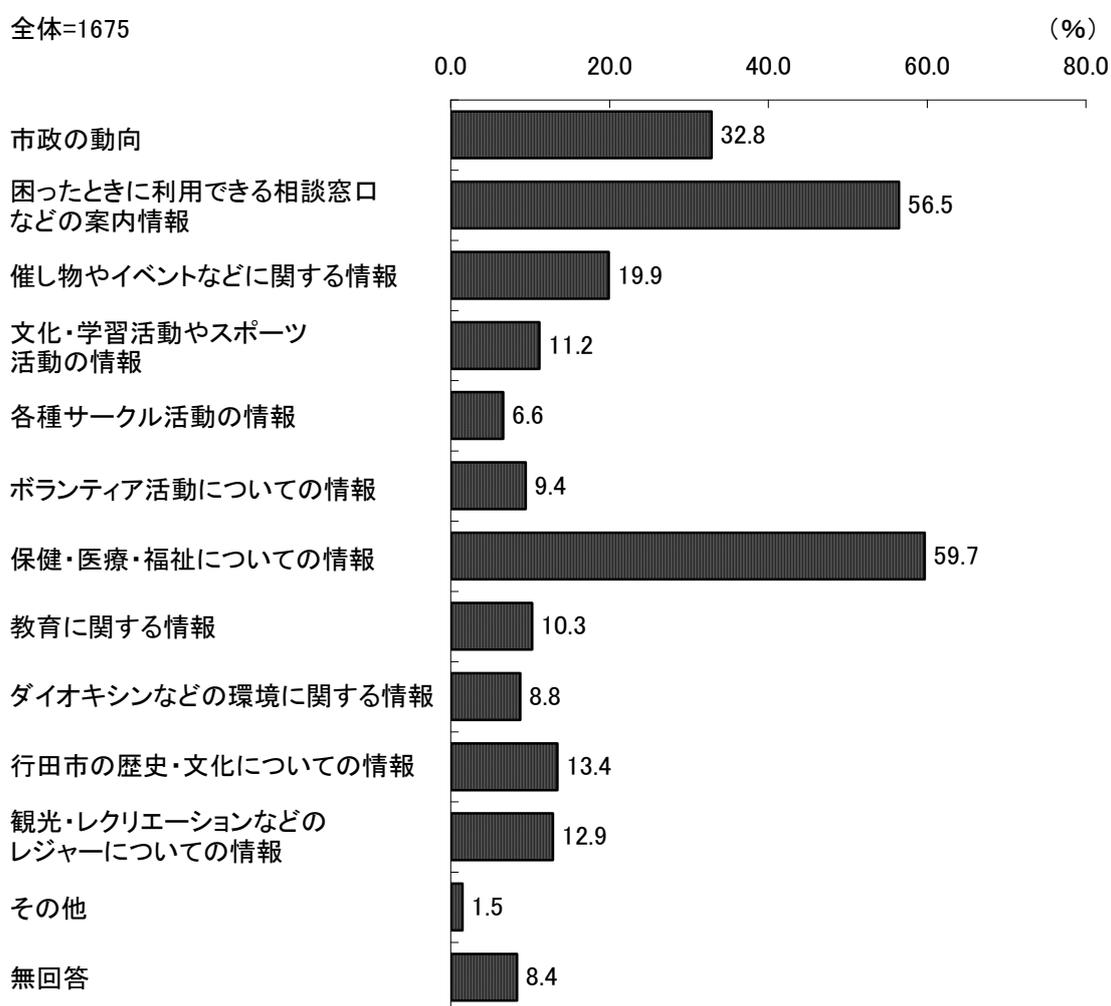
		n	公園・緑地の清掃は住民が積極的に参加すべきである	公園・緑地の設備や立て札などは市で管理し、あとは利用者のモラルにまかせるべきである	公園・緑地は公共のものであり、基本的に市が管理すべきである	その他	無回答
全体		1675	30.6	18.5	41.4	1.9	7.6
性別	男	807	33.3	17.6	41.3	1.9	5.9
	女	773	28.5	19.8	43.1	2.1	6.6

## (11) 詳しく知りたい情報（複数回答）

### ◆「保健・医療・福祉についての情報」と「相談窓口などの案内情報」が半数以上

市から提供される情報の中で詳しく知りたい情報としては、「保健・医療・福祉についての情報」（59.7%）と「困ったときに利用できる相談窓口などの案内情報」（56.5%）が半数以上と最も多く、ついで「市政の動向」が32.8%となっている。

問 13 あなたは、市から提供される情報でもっと詳しく知りたいものがありますか。次の中から3つまで選び○をつけてください。



性別では、男性は「市政の動向」をあげる人が40.6%と多くなっている。

年齢別では、20代は「保健・医療・福祉についての情報」が68.2%、30代は「教育に関する情報」が27.7%と他の年代に比べて多くなっている。また、20代と30代では「催し物やイベントなどに関する情報」も3割前後と他の年代に比べて多い。

居住年数別では、居住年数が長くなるほど「市政の動向」が多くなっている。また、7年未満は「教育に関する情報」が2割前後と多くなっている。

(%)

		n	市政の動向	困ったときに利用できる相談窓口などの案内情報	催し物やイベントなどに関する情報	文化・学習活動やスポーツ活動の情報	各種サークル活動の情報	ボランティア活動についての情報	保健・医療・福祉についての情報	教育に関する情報	ダイオキシンなどの環境に関する情報	行田市の歴史・文化についての情報	観光・レクリエーションなどのレジャーについての情報
全体		1675	32.8	56.5	19.9	11.2	6.6	9.4	59.7	10.3	8.8	13.4	12.9
性別	男	807	40.6	56.0	19.8	13.9	4.7	8.8	59.0	10.7	7.7	15.9	13.9
	女	773	25.9	58.3	20.3	9.2	8.7	10.0	62.4	10.7	9.8	10.6	11.9
年齢	20～29歳	66	25.8	60.6	28.8	13.6	12.1	10.6	68.2	15.2	6.1	7.6	13.6
	30～39歳	148	15.5	52.0	35.1	12.2	8.1	7.4	60.1	27.7	6.8	5.4	16.9
	40～49歳	215	24.7	52.6	21.9	14.9	7.4	6.5	52.1	22.3	8.4	6.0	15.8
	50～59歳	285	34.0	60.4	16.5	16.1	9.5	11.9	54.7	7.7	9.5	10.2	15.1
	60歳以上	891	38.5	57.7	17.3	8.6	4.7	9.7	64.0	5.5	9.3	17.4	10.8
居住年数	3年未満	108	20.4	58.3	26.9	9.3	9.3	12.0	56.5	19.4	9.3	7.4	17.6
	3年以上7年未満	126	24.6	56.3	26.2	12.7	8.7	4.8	65.9	21.4	4.8	14.3	14.3
	7年以上15年未満	175	25.1	56.0	21.7	12.6	10.3	6.3	55.4	13.1	12.6	9.7	17.7
	15年以上20年未満	98	32.7	54.1	20.4	12.2	10.2	10.2	45.9	12.2	10.2	18.4	12.2
	20年以上	1094	36.7	57.2	18.2	11.2	5.2	10.1	62.5	7.9	8.5	13.8	11.5

## (12) インターネットが利用できるパソコンの保有状況

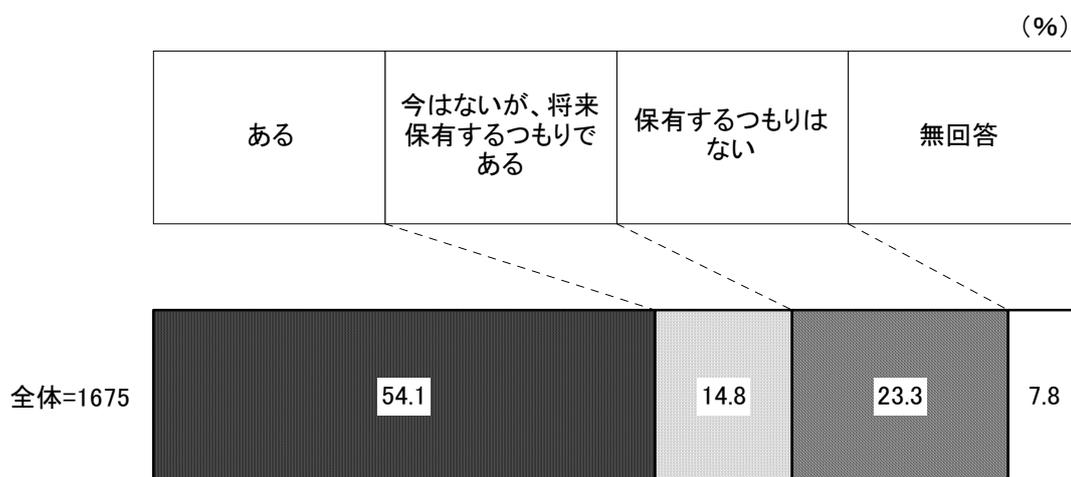
### ◆インターネットの利用できるパソコンが「ある」は54.1%

インターネットが利用できるパソコンが「ある」としている人は54.1%と半数以上を占めている。「今はないが、将来保有するつもりである」は14.8%、「保有するつもりはない」は23.3%となっている。

性別では、大きな差は特にみられない。

年齢別では、30～50代は「ある」とする人が7割強と多いが、60歳以上では41.6%と少なく、「保有するつもりはない」が35.7%となっている。

問14(1)あなたの家庭にインターネットが利用できるパソコンはありますか。次の中から1つ選び○をつけてください。



(%)

		n	ある	今はないが、将来保有するつもりである	保有するつもりはない	無回答
全体		1675	54.1	14.8	23.3	7.8
性別	男	807	54.6	17.6	21.9	5.8
	女	773	55.4	12.4	25.4	6.9
年齢	20～29歳	66	65.2	25.8	7.6	1.5
	30～39歳	148	73.0	18.2	7.4	1.4
	40～49歳	215	72.1	14.9	8.4	4.7
	50～59歳	285	71.9	13.3	9.1	5.6
	60歳以上	891	41.6	14.0	35.7	8.6

### (13) インターネットを利用した国・県・市への申請届出の認知

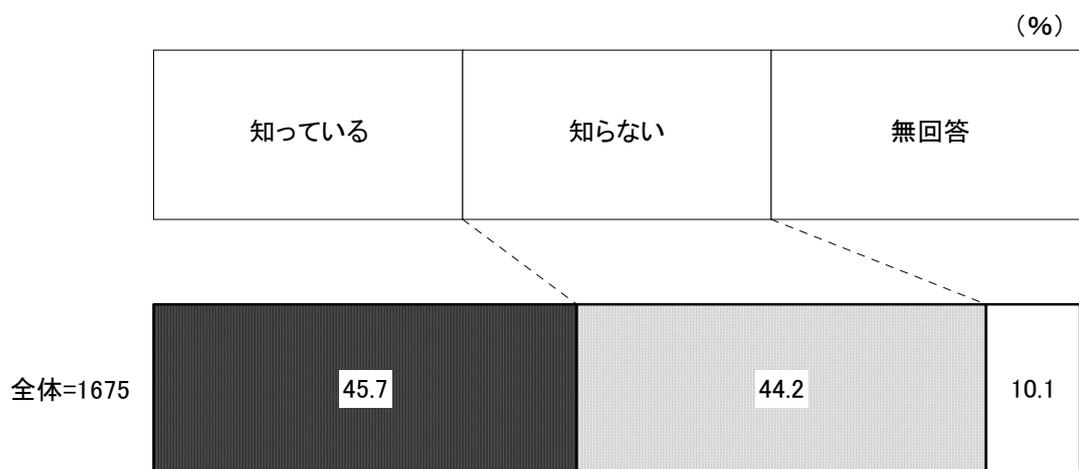
#### ◆インターネットを利用した申請届出の認知率は45.7%

インターネットを利用して国・県・市への申請届出ができることを「知っている」人は45.7%、「知らない」人は44.2%と半数ずつとなっている。

性別では、男性は「知っている」とする人が54.2%と半数以上を占めている。

年齢別では、20代で「知らない」とする人が54.5%と最も多くなっている。

(2) インターネットに接続されたパソコンを利用して、国・県・市へ申請届出することができる手続きがあることを知っていますか。



(%)

		n	知っている	知らない	無回答
全体		1675	45.7	44.2	10.1
性別	男	807	54.2	37.3	8.6
	女	773	38.7	53.0	8.3
年齢	20～29 歳	66	43.9	54.5	1.5
	30～39 歳	148	50.0	48.0	2.0
	40～49 歳	215	50.2	44.7	5.1
	50～59 歳	285	54.0	39.3	6.7
	60 歳以上	891	42.8	45.1	12.1

### (14) インターネットを使って利用したい市のサービスの有無

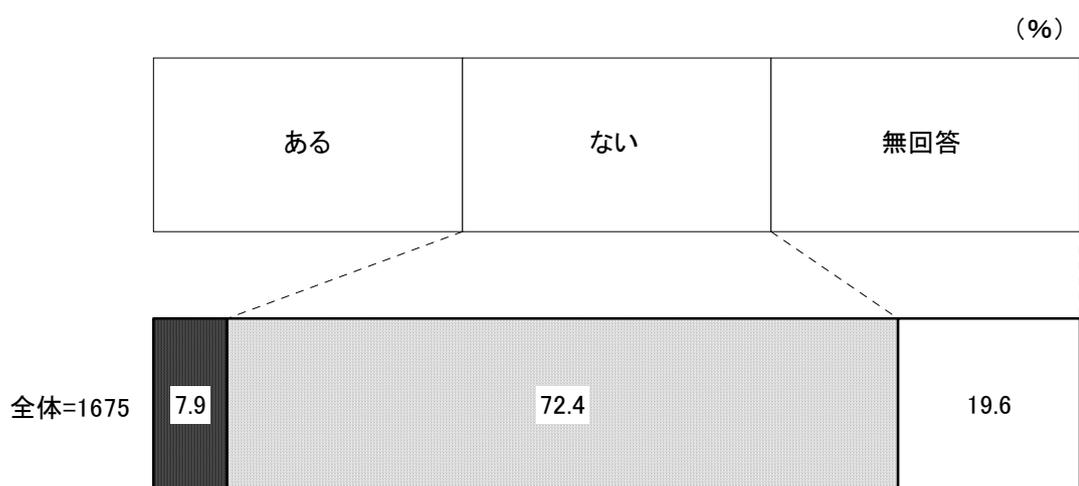
#### ◆利用したいサービスが「ない」が72.4%

インターネットを使って利用したい市のサービスが、「ない」が72.4%と多く、「ある」(7.9%)を大きく上回っている。

性別では、男性で「ある」が10.3%と女性よりやや多くなっている。

年齢別では、40代、50代で「ある」が1割強となっている。

#### (3) インターネットを使って利用したいと思う市のサービスがありますか。



(%)

		n	ある	ない	無回答
全体		1675	7.9	72.4	19.6
性別	男	807	10.3	71.4	18.3
	女	773	5.6	77.1	17.3
年齢	20～29歳	66	7.6	87.9	4.5
	30～39歳	148	7.4	86.5	6.1
	40～49歳	215	11.6	80.5	7.9
	50～59歳	285	12.6	74.7	12.6
	60歳以上	891	5.8	68.4	25.8

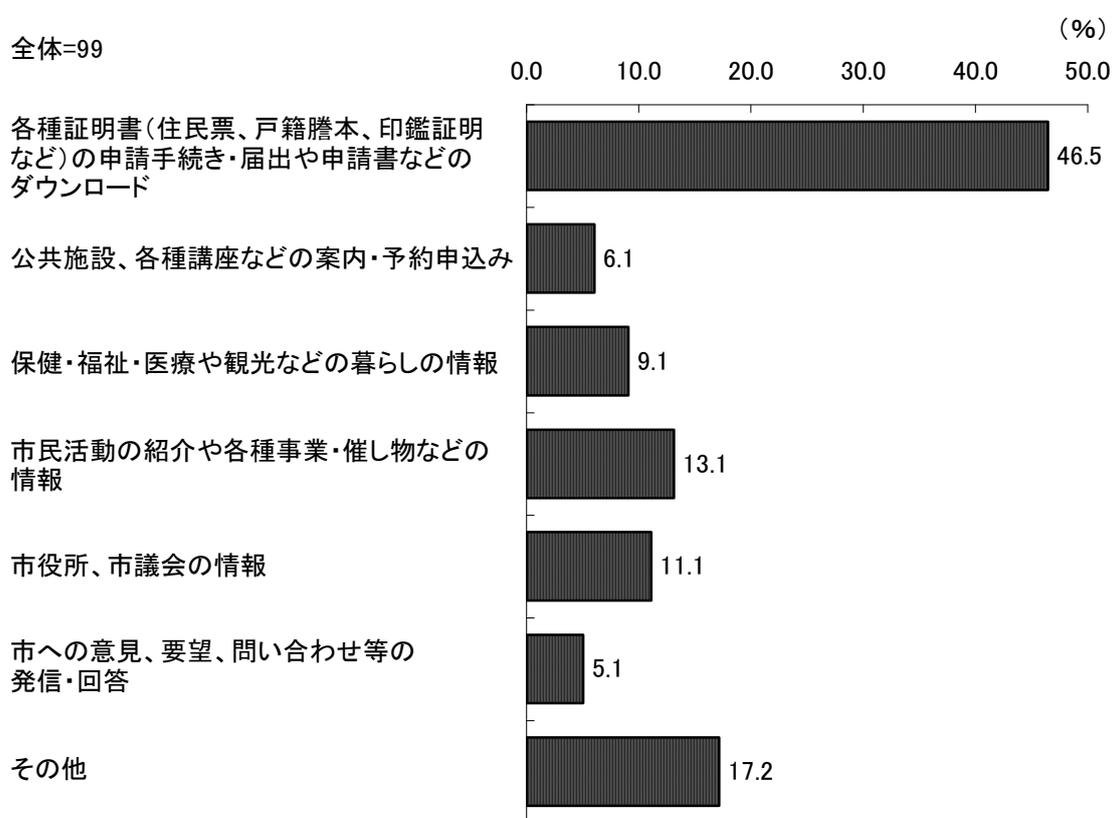
## (15) インターネットを使って利用したい市のサービス

### ◆「各種証明書の申請手続き・届出や申請書などのダウンロード」が最も多い

インターネットを使って利用したい市のサービスがあると回答した人に具体的なサービスを自由回答によりあげてもらったところ、「各種証明書の申請手続き・届出や申請書などのダウンロード」をあげる人が約半数と多くなっている。

(4) <(3)で「1. ある」とお答えになった方にお尋ねします>

具体的にどんなサービスを利用したいですか。自由にご記入ください。



## (16) 市のホームページの閲覧状況

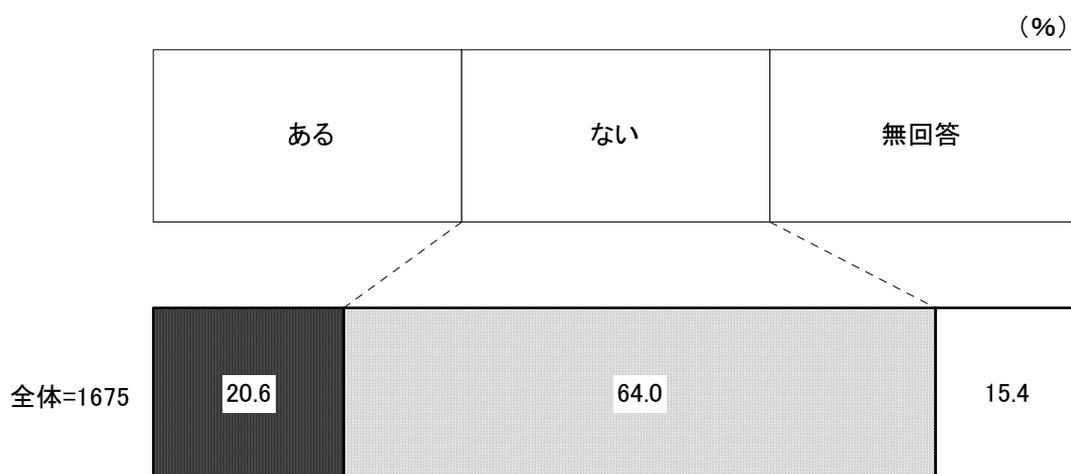
◆見たことがない市民が64.0%、見たことがある市民は20.6%

市のホームページ（携帯電話用サービスを含む）の閲覧状況は、「ない」が64.0%と多く、「ある」は20.6%にとどまる。

性別では、男性は「ある」が24.3%と女性よりやや多くなっている。

年齢別では、30代と40代で「ある」が4割弱と多くなっている。

(5)あなたは、市のホームページ(携帯電話用サービスを含む)を見たことがありますか。



(%)

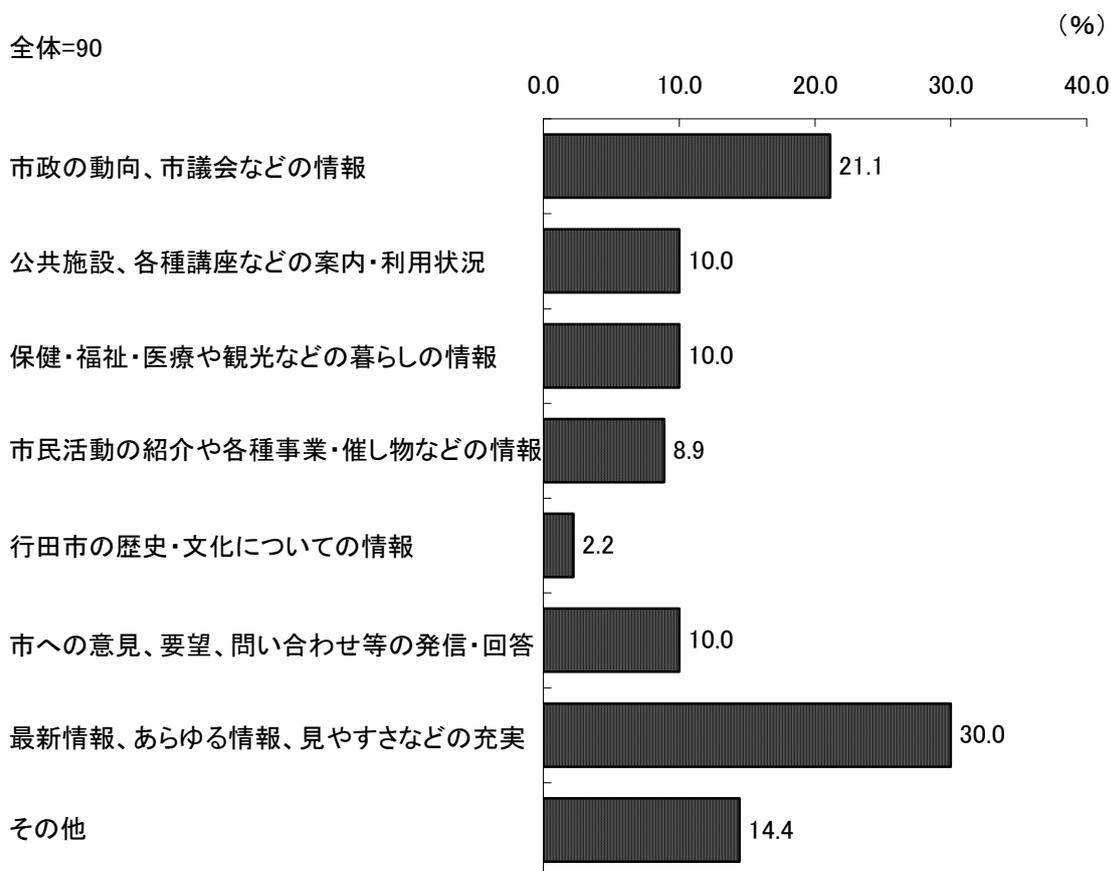
		n	ある	ない	無回答
全体		1675	20.6	64.0	15.4
性別	男	807	24.3	61.2	14.5
	女	773	18.6	68.3	13.1
年齢	20～29歳	66	28.8	68.2	3.0
	30～39歳	148	37.8	56.1	6.1
	40～49歳	215	37.7	52.1	10.2
	50～59歳	285	30.5	59.3	10.2
	60歳以上	891	11.1	70.1	18.7

## (17) 市のホームページに掲載してほしい情報

### ◆「最新情報、あらゆる情報、見やすさなどの充実」をあげる人が多い

市のホームページに掲載してほしい情報を自由回答により記入してもらったところ、「最新情報、あらゆる情報、見やすさなどの充実」をあげる人が 30.0%と最も多く、ついで「市政の動向、市議会などの情報」が 21.1%となっている。

(6)市のホームページに掲載してほしい情報があれば具体的にご記入ください。

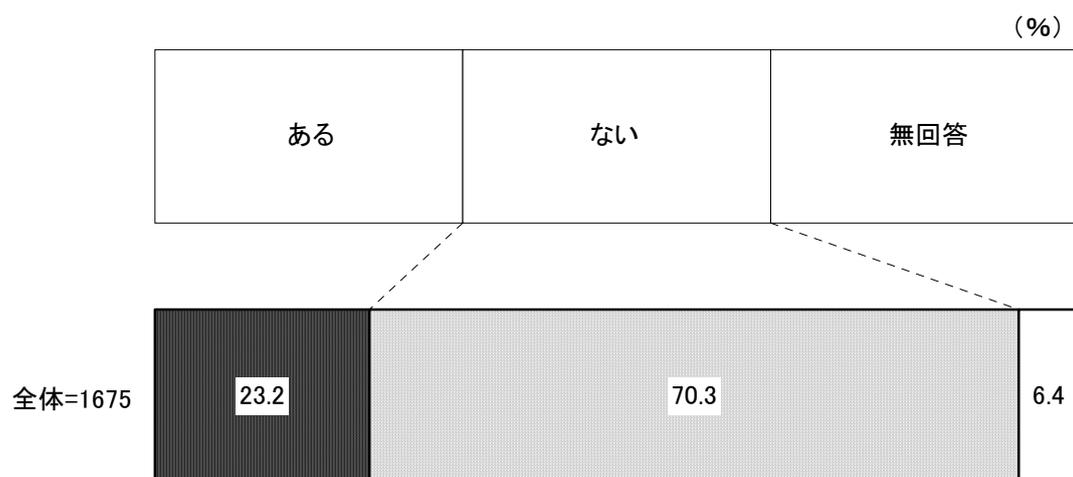


### (18) 市内循環バスの利用状況

#### ◆市内循環バスの利用者は23.2%

市内循環バスを利用したことが「ある」は23.2%にとどまり、「ない」が70.3%を占めている。

問 15(1)市内循環バスを利用したことはありますか。



性別にみると、女性の利用率が高くなっている。

年齢別では、30代と50代の利用率が低くなっている。

居住地区別では、行田、星宮、太井では「ある」との回答が30%を超えているが、下忍と太田では13.9%と低く、「ない」との回答が8割を超えている。

(%)

		n	ある	ない	無回答
全体		1675	23.2	70.3	6.4
性別	男	807	18.7	75.5	5.8
	女	773	28.1	67.4	4.5
年齢	20～29歳	66	27.3	71.2	1.5
	30～39歳	148	17.6	81.1	1.4
	40～49歳	215	24.2	72.6	3.3
	50～59歳	285	16.1	77.9	6.0
	60歳以上	891	25.8	67.3	6.8
居住地区	忍	135	23.0	71.9	5.2
	行田	102	34.3	58.8	6.9
	佐間	126	20.6	72.2	7.1
	持田	250	28.4	68.4	3.2
	星河	138	23.9	71.7	4.3
	長野	226	15.5	79.2	5.3
	星宮	41	34.1	61.0	4.9
	下忍	36	13.9	80.6	5.6
	荒木	75	14.7	77.3	8.0
	須加	35	25.7	62.9	11.4
	北河原	21	28.6	61.9	9.5
	埼玉	97	21.6	70.1	8.2
	太田	122	13.9	82.0	4.1
	太井	122	32.8	63.1	4.1
	南河原	59	18.6	71.2	10.2

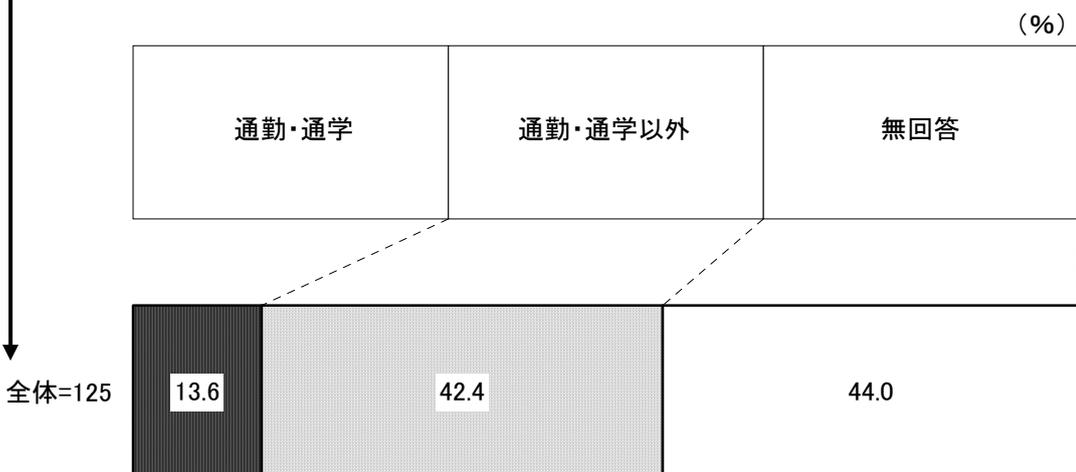
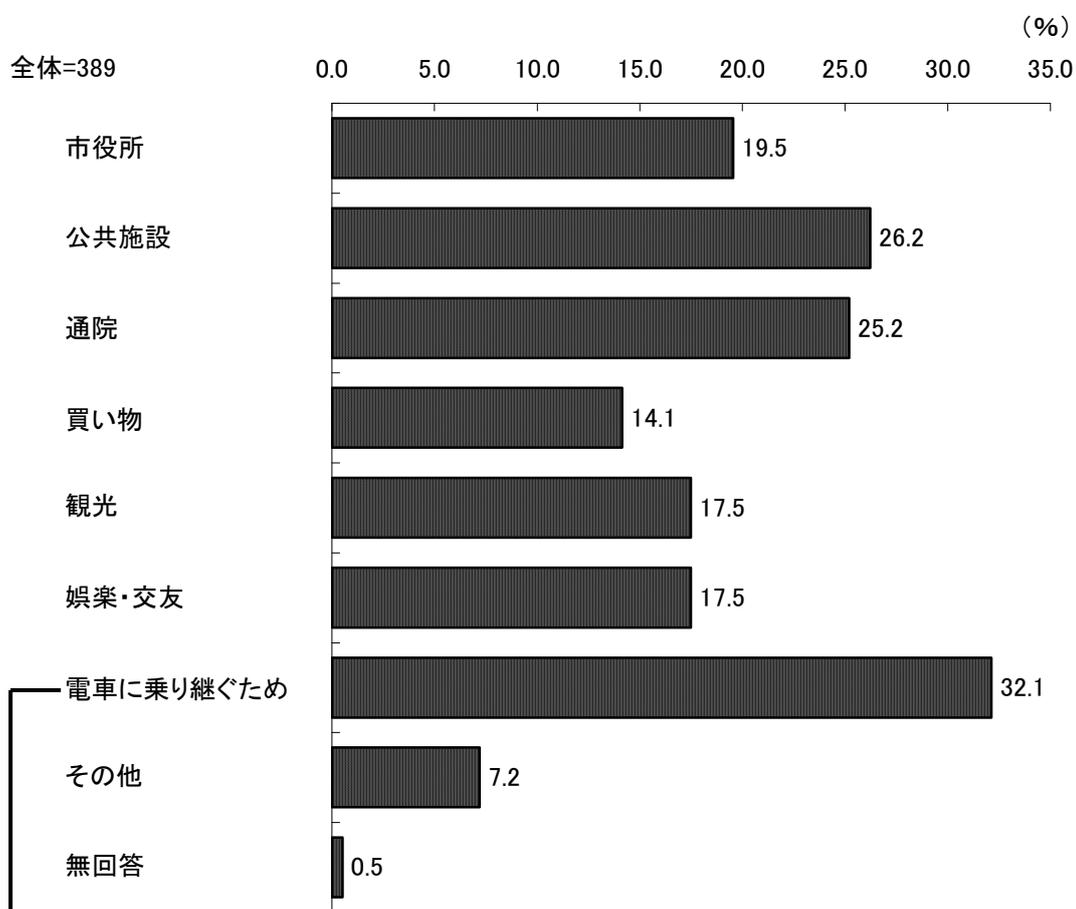
### (19) 市内循環バスの利用目的（複数回答）

◆ 「電車に乗り継ぐため」「公共施設」「通院」が3割前後

市内循環バスの利用目的は、「電車に乗り継ぐため」(32.1%)、「公共施設」(26.2%)、「通院」(25.2%)が3割前後で最も多くなっている。

「電車に乗り継ぐため」と回答した人の目的は、「通勤・通学」が13.6%、「通勤・通学以外」が42.4%となっている。

(2) <(1)で「1. ある」とお答えになった方にお尋ねします>  
 どのような目的で利用していますか。次の中から該当するものすべてを選び○をつけてください。



性別にみると、男性では「電車に乗り継ぐため」が 39.7%と最も多くなっている。一方、女性では「通院」が 28.6%と男性に比べ多くなっている。

年齢別では、20～40代では「電車に乗り継ぐため」が4割前後と最も多くなっている。これに対し、60歳以上では「通院」が 33.0%と最も多くなっている。また、20代と30代では「娯楽・交友」、40代と60歳以上では「公共施設」も30%以上となっている。

(%)

		n	市役所	公共施設	通院	買い物	観光	娯楽・交友	電車に乗り継ぐため	その他
全体		389	19.5	26.2	25.2	14.1	17.5	17.5	32.1	7.2
性別	男	151	19.2	26.5	17.9	7.9	17.9	15.9	39.7	7.3
	女	217	18.9	27.6	28.6	18.0	18.0	19.8	28.6	6.9
年齢	20～29歳	18	16.7	11.1	0.0	11.1	0.0	33.3	44.4	11.1
	30～39歳	26	0.0	11.5	0.0	11.5	15.4	38.5	46.2	7.7
	40～49歳	52	7.7	32.7	9.6	5.8	15.4	21.2	38.5	5.8
	50～59歳	46	15.2	23.9	15.2	17.4	21.7	8.7	32.6	15.2
	60歳以上	230	24.8	30.0	33.0	15.7	18.7	15.2	28.7	4.3

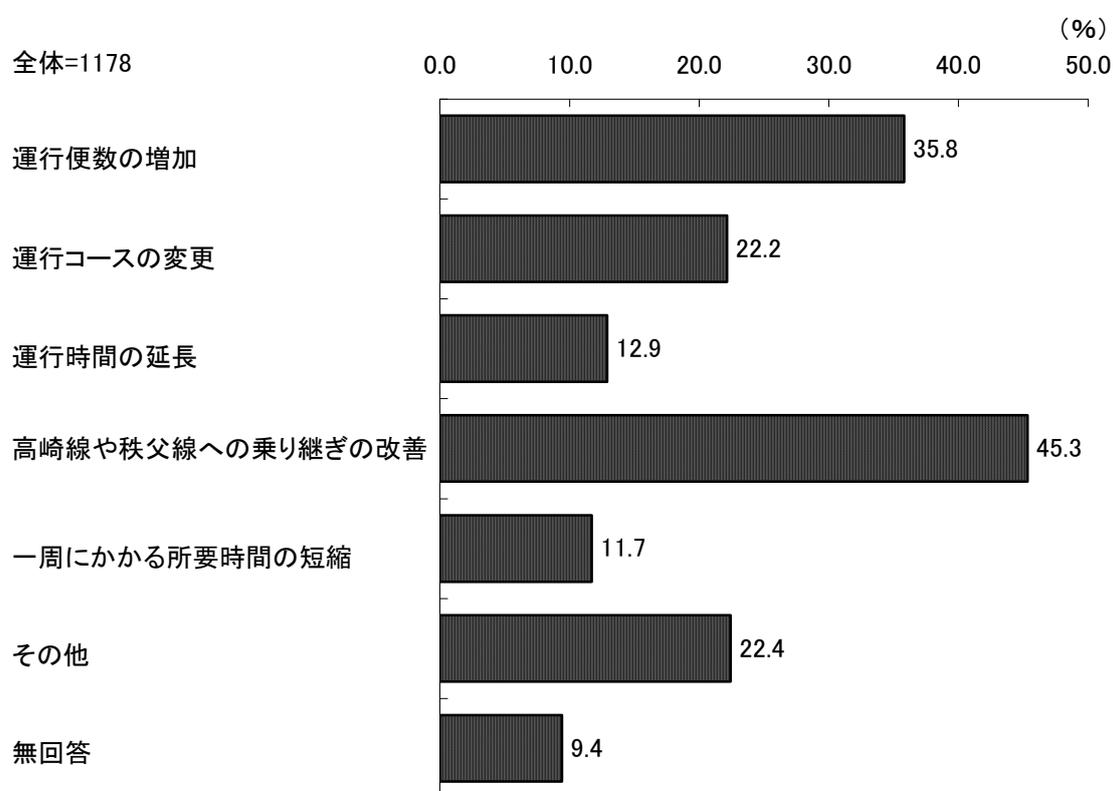
## (20) 市内循環バスの今後の利用条件（複数回答）

◆「高崎線や秩父線への乗り継ぎの改善」45.3%、「運行便数の増加」35.8%

市内循環バスを利用したことがない人の今後の利用条件については、「高崎線や秩父線への乗り継ぎの改善」が45.3%と最も多く、ついで「運行便数の増加」が35.8%となっている。

(3) <(1)で「2. ない」とお答えになった方にお尋ねします>

どのようになれば利用しますか。次の中から該当するものすべてを選び○をつけてください。



性別にみてもあまり大きな差はみられない。

年齢別では、20～50代で「高崎線や秩父線への乗り継ぎの改善」が5割を超えている。また、20代では「運行便数の増加」も5割を超え多くなっている。「運行時間の延長」は20代で、「運行コースの変更」は40代で約3割と他の年代より多くなっている。

居住地区別にみると、埼玉で「高崎線や秩父線への乗り継ぎの改善」が61.8%と目立って多くなっている。また、下忍では「運行コースの変更」、太井と南河原では「運行便数の増加」が5割近くと他の地区に比べ多くなっている。

(%)

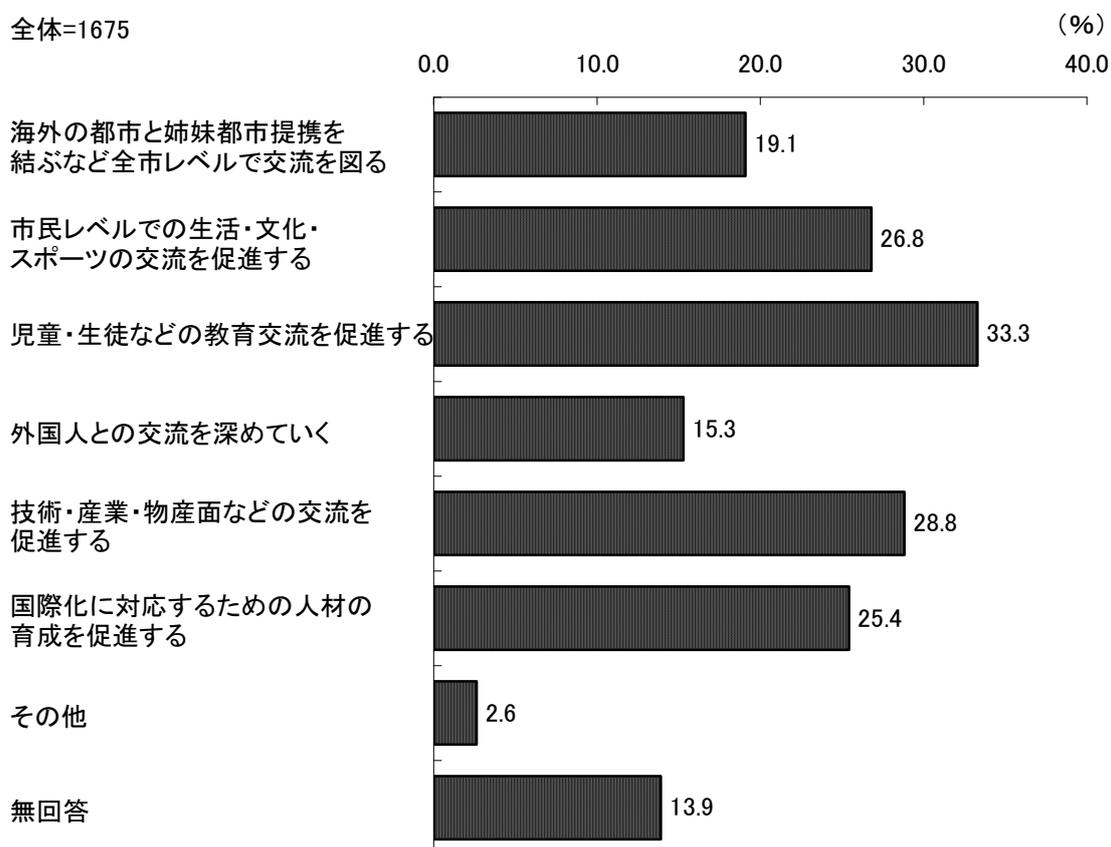
		n	運行便数の増加	運行コースの変更	運行時間の延長	高崎線や秩父線への乗り継ぎの改善	一周にかかる所要時間の短縮	その他
全体		1178	35.8	22.2	12.9	45.3	11.7	22.4
性別	男	609	37.4	21.3	14.9	45.5	9.2	22.3
	女	521	34.0	22.5	10.9	46.8	15.4	22.8
年齢	20～29歳	47	53.2	21.3	27.7	57.4	10.6	12.8
	30～39歳	120	42.5	21.7	14.2	52.5	10.8	21.7
	40～49歳	156	44.9	30.1	17.3	51.9	16.0	20.5
	50～59歳	222	39.6	25.7	18.5	53.2	13.1	20.3
	60歳以上	600	29.8	19.2	8.7	39.7	10.7	24.5
居住地区	忍	97	28.9	12.4	11.3	51.5	12.4	22.7
	行田	60	28.3	13.3	11.7	41.7	8.3	25.0
	佐間	91	34.1	19.8	8.8	53.8	19.8	16.5
	持田	171	41.5	22.2	14.6	42.7	9.4	20.5
	星河	99	36.4	24.2	10.1	43.4	9.1	26.3
	長野	179	36.9	21.2	12.8	50.3	13.4	16.8
	星宮	25	28.0	12.0	8.0	36.0	16.0	36.0
	下忍	29	27.6	48.3	6.9	37.9	10.3	17.2
	荒木	58	31.0	13.8	12.1	36.2	8.6	34.5
	須加	22	22.7	18.2	9.1	40.9	9.1	36.4
	北河原	13	38.5	30.8	23.1	53.8	7.7	23.1
	埼玉	68	39.7	33.8	16.2	61.8	13.2	10.3
	太田	100	34.0	25.0	18.0	44.0	13.0	28.0
	太井	77	46.8	35.1	22.1	29.9	9.1	27.3
南河原	42	45.2	19.0	9.5	50.0	19.0	21.4	

## (21) 望ましい国際交流の促進方法（複数回答）

◆「児童・生徒などの教育交流の促進」「技術・産業・物産面などの交流の促進」「市民レベルでの生活・文化・スポーツの交流の促進」「国際化に対応するための人材の育成の促進」が3割前後

望ましい国際交流の促進方法は、「児童・生徒などの教育交流を促進する」が33.3%と最も多く、ついで「技術・産業・物産面などの交流を促進する」(28.8%)、「市民レベルでの生活・文化・スポーツの交流を促進する」(26.8%)、「国際化に対応するための人材の育成を促進する」(25.4%)が続いている。

問 16 国際化社会に対応して本市の国際交流をどのように促進すべきだとお考えですか。次の中から2つまで選び○をつけてください。



性別では、男性は「市民レベルでの生活・文化・スポーツの交流を促進する」をあげる人が女性に比べて多くなっている。

年齢別では、30代は「児童・生徒などの教育交流を促進する」が46.6%と約半数を占めている。「海外の都市と姉妹都市提携を結ぶなど全市レベルで交流を図る」は20～40代で、「外国人との交流を深めていく」は20代で約3割となっている。

(%)

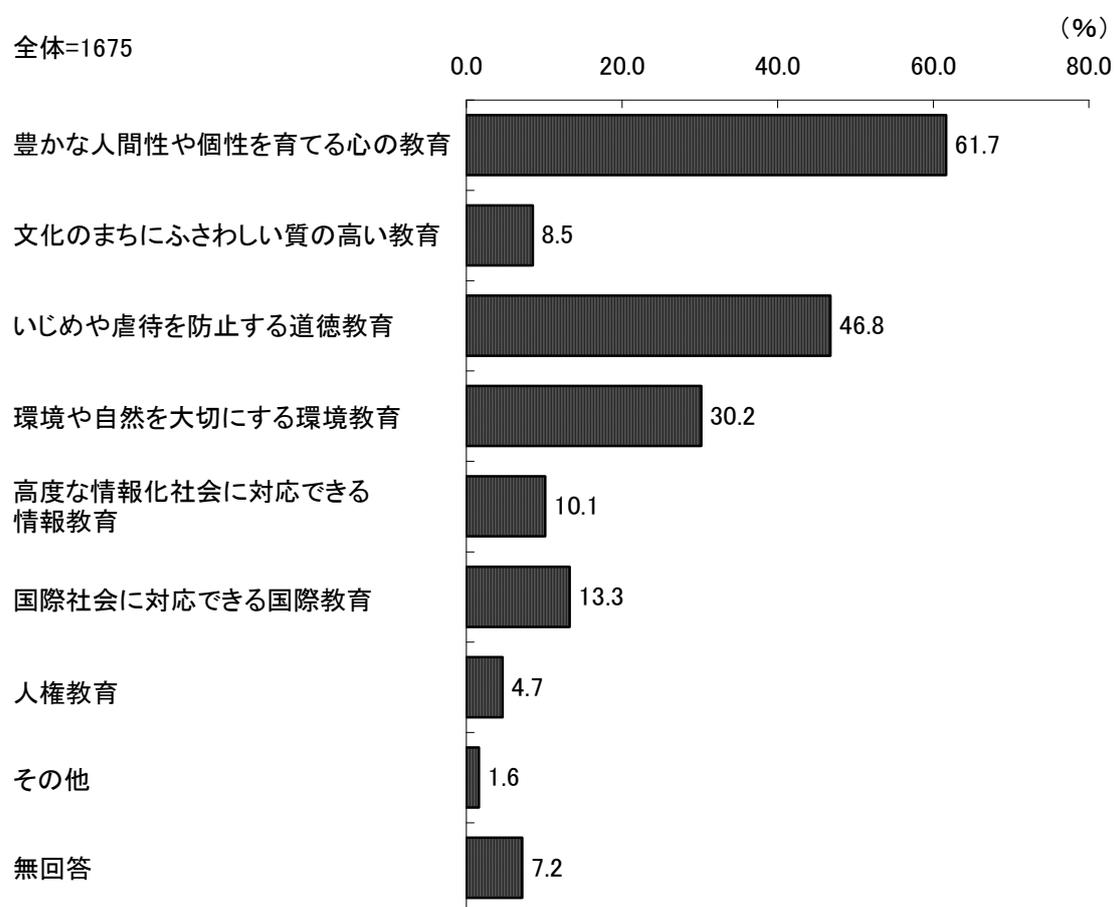
		n	海外の都市と姉妹都市提携を結ぶなど全市レベルで交流を図る	市民レベルでの生活・文化・スポーツの交流を促進する	児童・生徒などの教育交流を促進する	外国人との交流を深めていく	技術・産業・物産面などの交流を促進する	国際化に対応するための人材の育成を促進する	その他
全体		1675	19.1	26.8	33.3	15.3	28.8	25.4	2.6
性別	男	807	18.1	30.6	32.7	16.2	31.2	26.5	2.7
	女	773	21.1	22.9	36.1	15.4	27.3	25.5	2.7
年齢	20～29歳	66	31.8	22.7	34.8	27.3	33.3	24.2	1.5
	30～39歳	148	29.1	22.3	46.6	21.6	23.0	14.2	4.1
	40～49歳	215	27.0	25.1	36.7	20.0	23.7	23.3	3.3
	50～59歳	285	20.0	26.7	34.4	17.5	32.3	27.0	2.5
	60歳以上	891	14.7	28.4	31.2	12.0	30.0	28.1	2.6

## (22) 力を入れるべき教育（複数回答）

### ◆「豊かな人間性や個性を育てる心の教育」が61.7%

力を入れるべき教育は、「豊かな人間性や個性を育てる心の教育」が61.7%と最も多く、  
ついで「いじめや虐待を防止する道徳教育」（46.8%）、「環境や自然を大切にする環境教育」（30.2%）となっている。

問 17 市の教育方針として、今後どのような教育に力を入れるべきとお考えですか。次の中から2つまで  
選び○をつけてください。



性別では、男性で「高度な情報化社会に対応できる情報教育」が女性に比べやや多くなっている。

年齢別では、50代は「環境や自然を大切にする環境教育」が4割と他の年代に比べて多くなっている。また、「国際社会に対応できる国際教育」は年齢が若くなるほど多くなっている。

(%)

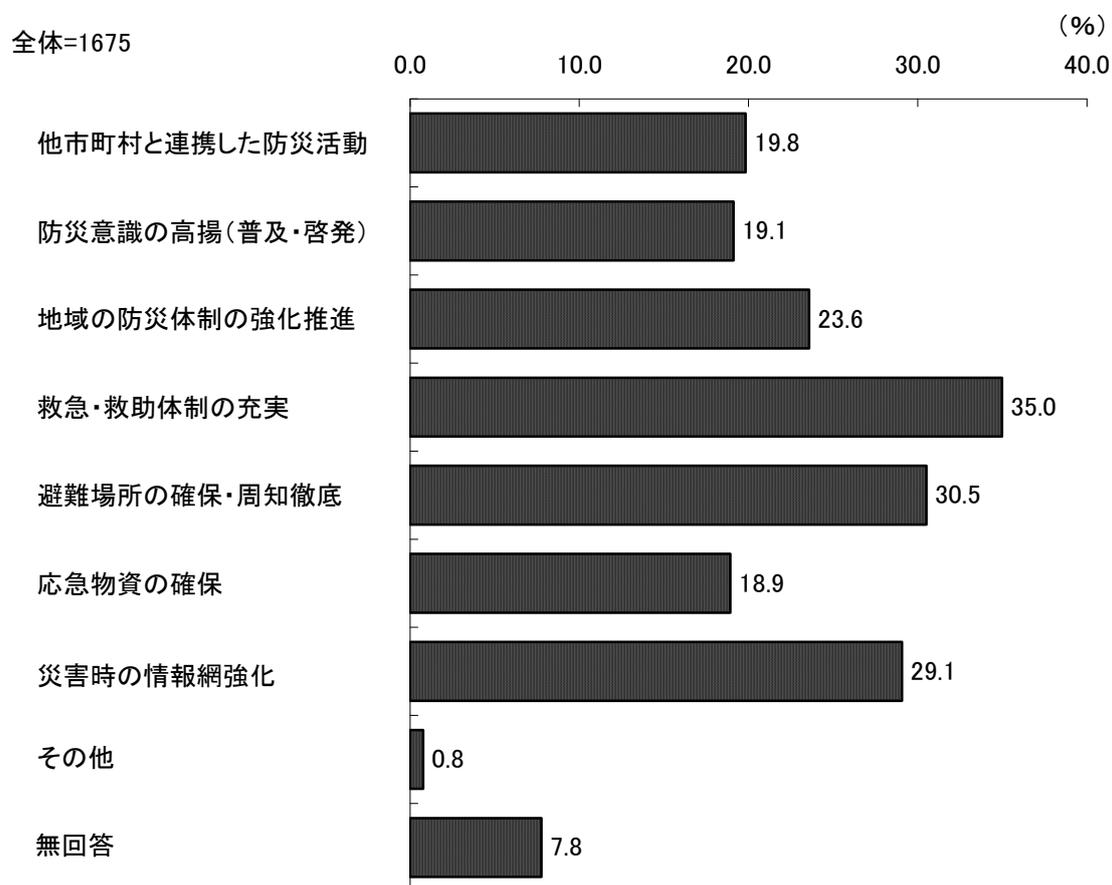
		n	豊かな人間性や個性を育てる心の教育	文化のまちにふさわしい質の高い教育	いじめや虐待を防止する道徳教育	環境や自然を大切にする環境教育	高度な情報化社会に対応できる情報教育	国際社会に対応できる国際教育	人権教育
全体		1675	61.7	8.5	46.8	30.2	10.1	13.3	4.7
性別	男	807	61.3	9.7	45.2	31.7	13.8	13.0	5.1
	女	773	64.4	7.5	49.2	29.6	6.2	14.4	4.3
年齢	20～29歳	66	65.2	6.1	45.5	33.3	12.1	21.2	6.1
	30～39歳	148	61.5	9.5	44.6	29.1	11.5	18.9	6.1
	40～49歳	215	61.9	8.4	48.8	27.4	10.2	16.3	4.2
	50～59歳	285	59.6	7.4	44.2	39.3	11.2	12.3	4.2
	60歳以上	891	63.7	8.9	48.1	28.3	9.2	11.7	4.6

### (23) 防災体制として重要なこと（複数回答）

◆「救急・救助体制の充実」「避難場所の確保・周知徹底」「災害時の情報網強化」が3割前後

防災体制として重要なことは、「救急・救助体制の充実」（35.0%）、「避難場所の確保・周知徹底」（30.5%）、「災害時の情報網強化」（29.1%）が3割前後と多くなっている。最も少ない「応急物資の確保」でも18.9%と2割近い人があげており、多様な施策が求められている。

問 18 市の防災体制として、どのような施策が重要だとお考えですか。次の中から2つまで選び○をつけてください。



性別では、男性は「他市町村と連携した防災活動」をあげる人がやや多くなっている。一方、女性は「避難場所の確保・周知徹底」がやや多くなっている。

年齢別では、20代では「救急・救助体制の充実」、30代では「応急物資の確保」が他の年代に比べて多くなっている。

(%)

		n	他市町村と連携した防災活動	防災意識の高揚(普及・啓発)	地域の防災体制の強化推進	救急・救助体制の充実	避難場所の確保・周知徹底	応急物資の確保	災害時の情報網強化
全体		1675	19.8	19.1	23.6	35.0	30.5	18.9	29.1
性別	男	807	23.3	21.8	26.8	35.6	27.8	17.2	27.6
	女	773	16.7	17.5	21.1	36.0	33.4	21.1	31.2
年齢	20～29 歳	66	19.7	21.2	24.2	45.5	36.4	21.2	30.3
	30～39 歳	148	18.2	18.2	15.5	39.2	34.5	28.4	25.7
	40～49 歳	215	18.1	20.5	20.0	36.3	30.2	24.2	28.8
	50～59 歳	285	17.2	18.2	27.0	32.6	31.6	20.7	31.6
	60 歳以上	891	21.5	20.1	25.0	35.0	29.3	15.3	29.2

## (24) ものづくり大学施設の見学・利用状況

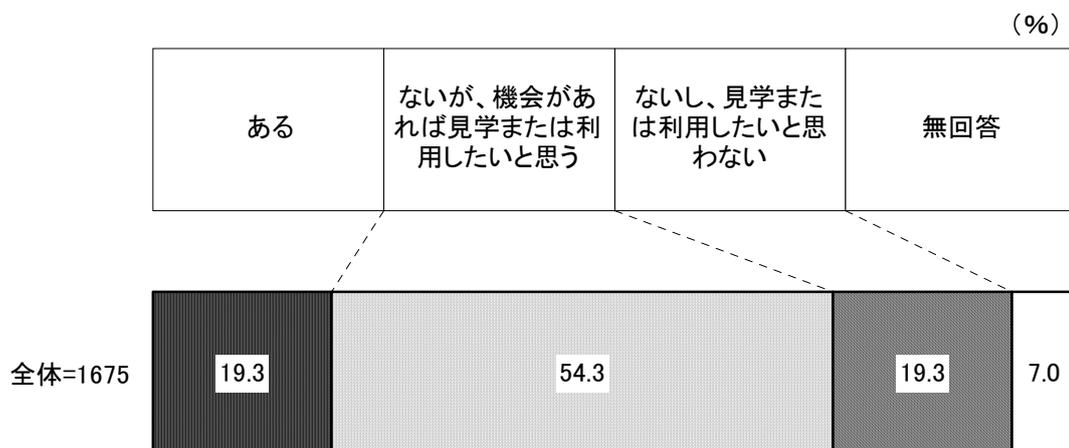
### ◆半数強の市民が、「見学・利用したことがないが機会があればしたい」と思っている

ものづくり大学施設の見学・利用状況は、「ないが、機会があれば見学または利用したいと思う」が54.3%と最も多い。「ある」、「ないし、見学または利用したいと思わない」は19.3%となっている。大学の見学・利用意向がある（「ある」、「ないが、機会があれば見学または利用したいと思う」と回答した）割合は73.6%と多数を占めている。

性別では、男性で「ないが、機会があれば見学または利用したいと思う」がやや多くなっている。

年齢別では、40代で「ある」が24.7%と最も多くなっている。

問 19(1)大学の施設を見学または利用したことがありますか。次の中から1つ選び○をつけてください。



(%)

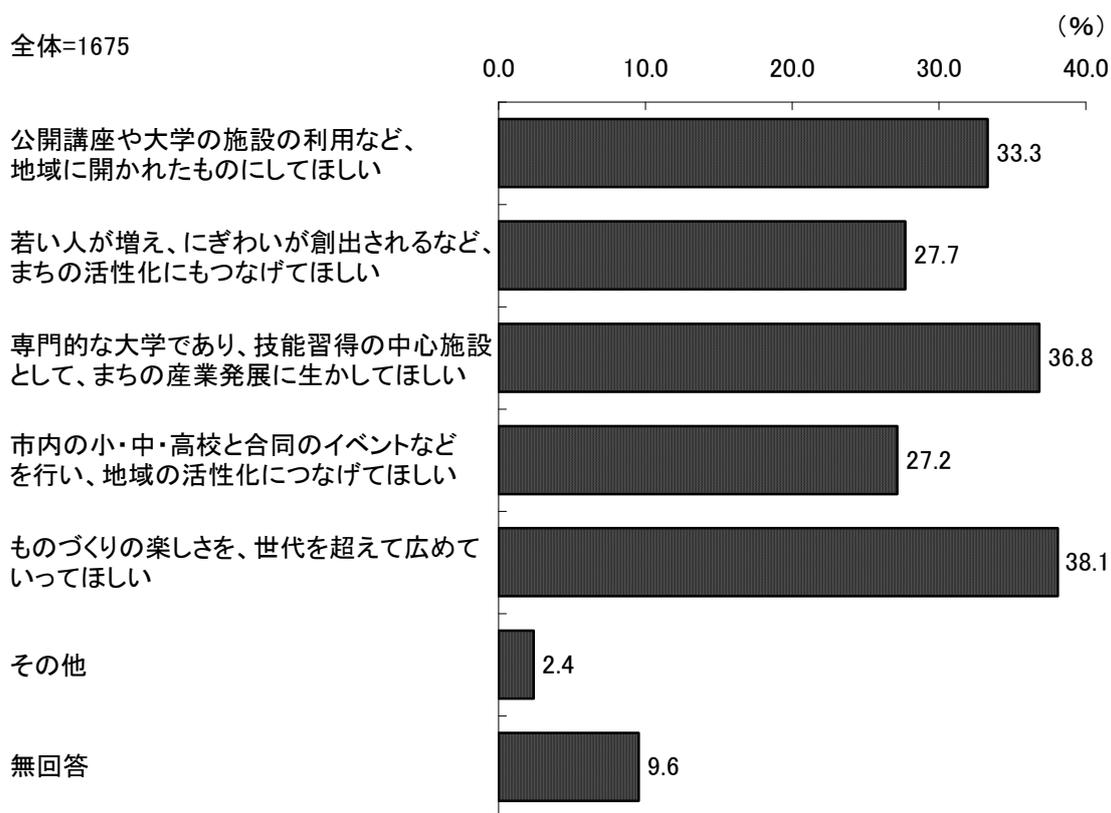
		n	ある	ないが、機会があれば見学または利用したいと思う	ないし、見学または利用したいと思わない	無回答
全体		1675	19.3	54.3	19.3	7.0
性別	男	807	18.8	58.2	18.0	5.0
	女	773	20.2	51.6	21.5	6.7
年齢	20～29 歳	66	10.6	53.0	34.8	1.5
	30～39 歳	148	14.9	60.1	23.6	1.4
	40～49 歳	215	24.7	55.3	17.7	2.3
	50～59 歳	285	21.1	56.5	17.5	4.9
	60 歳以上	891	19.1	53.4	18.7	8.8

## (25) ものづくり大学に期待すること（複数回答）

◆「ものづくりの楽しさを、世代を超えて広めてほしい」「専門的な大学であり、技能習得の中心施設として、まちの産業発展に生かしてほしい」「公開講座や大学の施設の利用など、地域に開かれたものにしてほしい」が上位

ものづくり大学に期待することとしては、「ものづくりの楽しさを、世代を超えて広めてほしい」が38.1%と最も多く、ついで「専門的な大学であり、技能習得の中心施設として、まちの産業発展に生かしてほしい」（36.8%）、「公開講座や大学の施設の利用など、地域に開かれたものにしてほしい」（33.3%）、「若い人が増え、にぎわいが創出されるなど、まちの活性化にもつなげてほしい」（27.7%）、「市内の小・中・高校と合同のイベントなどを行い、地域の活性化につなげてほしい」（27.2%）が3割前後となっており、多様な期待が寄せられている。

(2)市では、ものづくり大学を核としたまちづくりに力を入れています。あなたが、今後、大学に期待することは何ですか。次の中から2つまで選び○をつけてください。



性別では、男性で「公開講座や大学の施設の利用など、地域に開かれたものにしてほしい」がやや多くなっている。

年齢別では、50代は「公開講座や大学の施設の利用など、地域に開かれたものにしてほしい」が45.6%と約半数を占めている。また、30代では「若い人が増え、にぎわいが創出されるなど、まちの活性化にもつなげてほしい」や「市内の小・中・高校と合同のイベントなどを行い、地域の活性化につなげてほしい」が4割近くと他の年代に比べて多くなっている。

(%)

		n	公開講座や大学の施設の利用など、 地域に開かれたものにしてほしい	若い人が増え、にぎわいが創出される など、まちの活性化にもつなげてほしい	専門的な大学であり、技能習得の 中心施設として、まちの産業発展に 生かしてほしい	市内の小・中・高校と合同のイベント などを行い、地域の活性化に つなげてほしい	ものづくりの楽しさを、世代を超えて 広めてほしい	その他
全体		1675	33.3	27.7	36.8	27.2	38.1	2.4
性別	男	807	37.3	27.1	37.9	29.1	37.8	2.0
	女	773	30.9	28.8	36.6	26.0	39.5	2.8
年齢	20～29歳	66	40.9	31.8	42.4	27.3	25.8	9.1
	30～39歳	148	33.1	37.8	31.8	37.2	29.1	4.7
	40～49歳	215	38.1	23.3	37.2	35.8	33.5	3.7
	50～59歳	285	45.6	21.1	37.2	26.3	39.6	0.7
	60歳以上	891	28.7	29.4	37.6	24.1	41.4	1.9

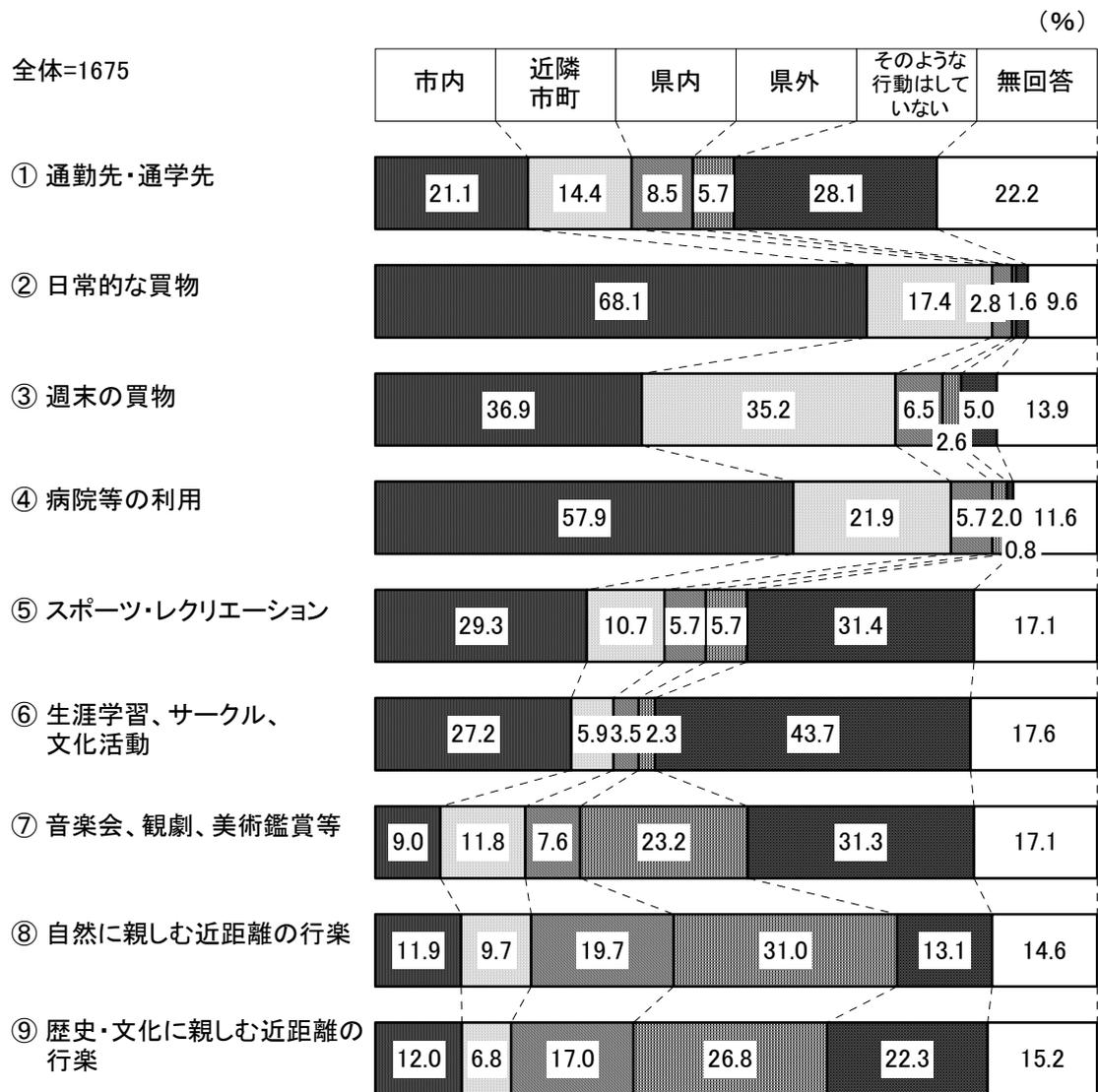
## (26) 市民の通勤・通学、買物等の主な行き先

### ◆「日常的な買物」と「病院等の利用」は「市内」が約6～7割

「市内」との回答が最も多いのは、「日常的な買物」(68.1%)、ついで「病院等の利用」(57.9%)となっている。「週末の買物」については、「市内」(36.9%)と「近隣市町」(35.2%)がほぼ同数となっている。

一方、「自然に親しむ近距離の行楽」「歴史・文化に親しむ近距離の行楽」「音楽会、観劇、美術鑑賞等」については「県外」が約2～3割となっている。

問 20 あなたの通勤・通学先や、買物、行楽などの主たる行き先はどこですか。次の項目ごとに該当する番号をそれぞれ1つ選び○をつけてください。



## 4. 男女平等意識について

### (1) 男女の地位の平等感について

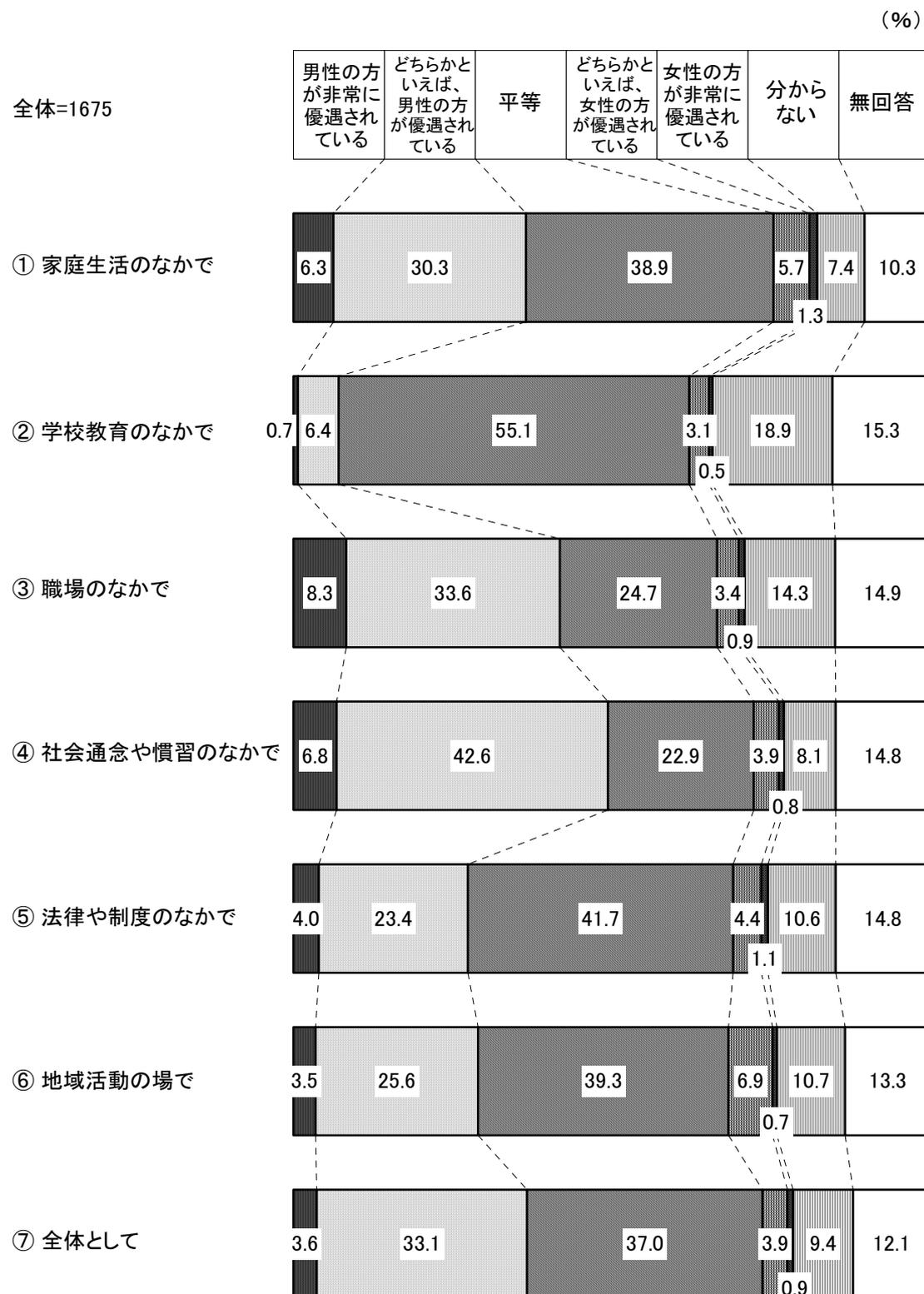
#### ◆ 「社会通念や慣習のなかで」「職場のなかで」は『男性の方が優遇されている』が4～5割

男女の地位の平等感について、「社会通念や慣習のなかで」については『男性の方が優遇されている』（「男性の方が非常に優遇されている」、「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」と回答した割合）が49.4%と約半数を占めている。「職場のなかで」についても『男性の方が優遇されている』とする人が41.9%となっている。

一方、『女性の方が優遇されている』（「女性の方が非常に優遇されている」、「どちらかといえば、女性の方が優遇されている」と回答した割合）はどの項目も1割に満たないが、「学校教育のなかで」は「平等」との回答が55.1%となっている。

また、「家庭生活のなかで」「全体として」では『男性の方が優遇されている』と「平等」との回答がそれぞれ30%台と意見が分かれている。

問 21(1) 男女の地位は平等になっていると思いますか。次の項目ごとに該当する番号をそれぞれ1つ選び○をつけてください。



「全体として」について性別にみると、男性では「平等」との回答が 45.8%と半数に近いが、女性では 29.0%にとどまり『男性の方が優遇されている』が 44.2%と半数近くとなっている。

年齢別にみると、30代と40代では『男性の方が優遇されている』が5割前後と多くなっているが、60歳以上では 30.8%と少ない。

全体として

(%)

		n	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば、男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば、女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	分からない	無回答
全体		1675	3.6	33.1	37.0	3.9	0.9	9.4	12.1
性別	男	807	2.1	30.0	45.8	4.7	1.2	5.8	10.3
	女	773	5.4	38.8	29.0	2.5	0.5	13.3	10.5
年齢	20～29歳	66	4.5	37.9	36.4	3.0	1.5	15.2	1.5
	30～39歳	148	4.7	46.6	33.8	4.7	0.7	8.1	1.4
	40～49歳	215	6.0	43.3	35.8	4.2	0.5	7.4	2.8
	50～59歳	285	5.3	36.5	42.1	3.5	0.7	6.0	6.0
	60歳以上	891	2.6	28.2	37.3	3.5	1.0	11.0	16.5

## (2) 「男は仕事、女は家庭」という男女の役割分担の考え方について

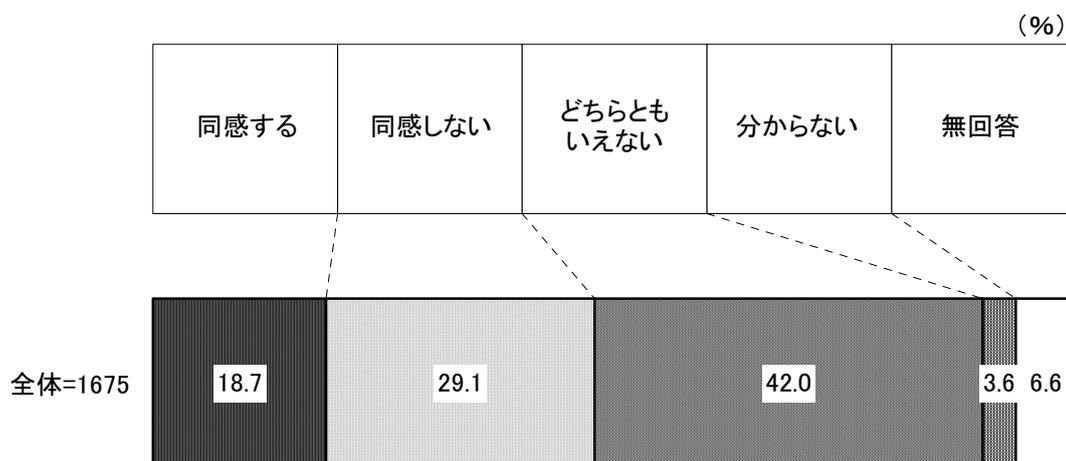
◆ 「同感する」18.7%、「同感しない」29.1%、「どちらともいえない」42.0%

「男は仕事、女は家庭」という男女の役割分担について、「同感する」18.7%、「同感しない」29.1%、「どちらともいえない」42.0%となっている。

性別にみると、男性で「同感する」が24.8%なのに対し、女性では12.8%にとどまり、「同感しない」が33.5%となっている。

年齢別では、60歳以上で「同感する」が23.1%と最も多くなっている。一方、20代と30代では「同感しない」が5割前後となっている。

(2)「男は仕事、女は家庭」という男女の役割分担の考え方がありますが、あなたはこの考え方に同感しますか。次の中から1つ選び○をつけてください。



(%)

		n	同感する	同感しない	どちらともいえない	分からない	無回答
全体		1675	18.7	29.1	42.0	3.6	6.6
性別	男	807	24.8	26.5	41.6	2.6	4.5
	女	773	12.8	33.5	43.3	4.7	5.7
年齢	20～29歳	66	15.2	45.5	36.4	3.0	0.0
	30～39歳	148	10.8	53.4	31.8	2.7	1.4
	40～49歳	215	13.0	38.1	43.3	2.8	2.8
	50～59歳	285	15.1	34.7	45.6	2.8	1.8
	60歳以上	891	23.1	21.1	42.9	4.2	8.8

### (3) 家庭での作業分担

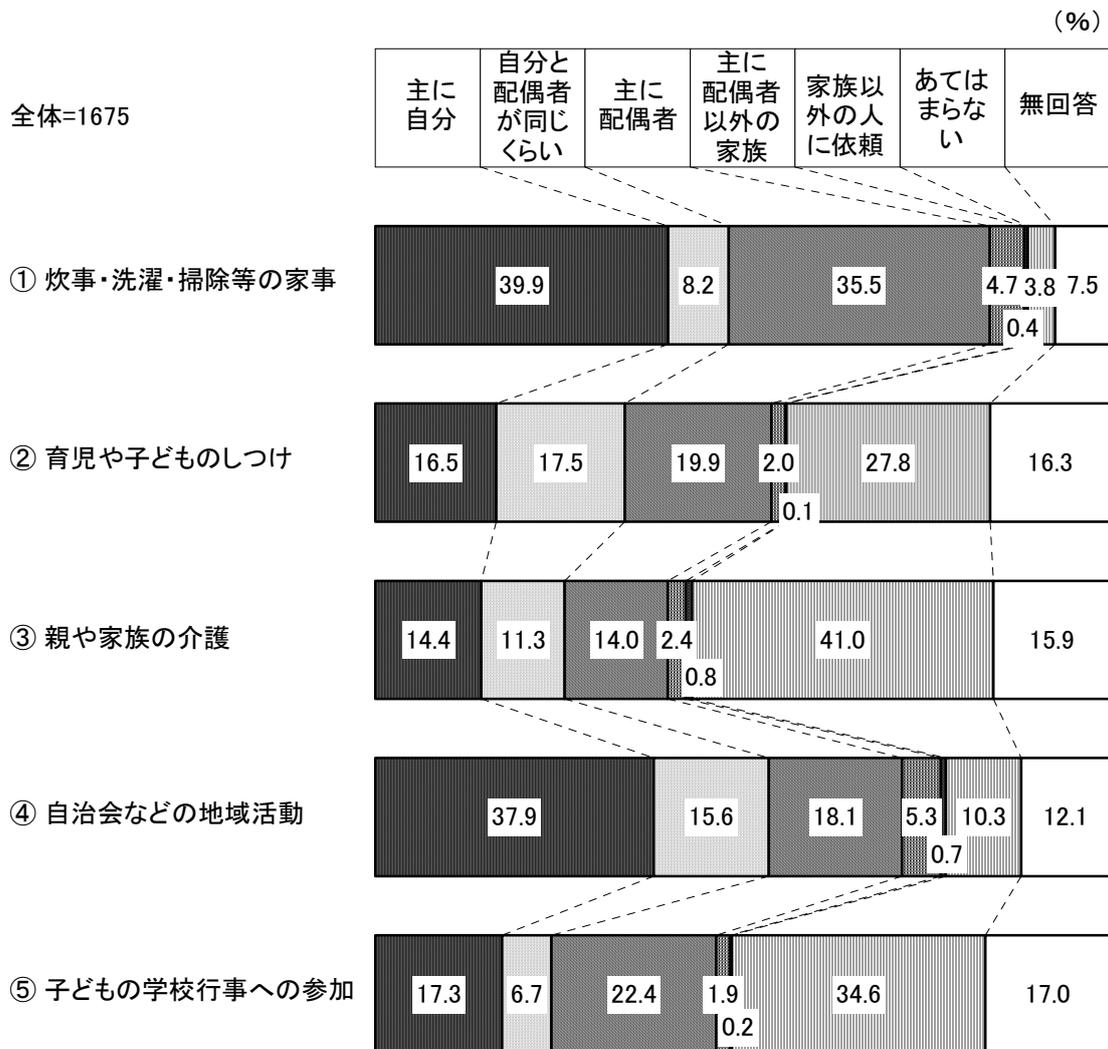
#### ◆「自治会などの地域活動」は「主に自分」が37.9%

家庭での作業分担については、「自治会などの地域活動」は「主に自分」との回答が37.9%と多くなっている。

一方、「炊事・洗濯・掃除等の家事」については、「主に自分」と「主に配偶者」との回答が約4割弱ずつ、「子どもの学校行事への参加」についても「主に自分」と「主に配偶者」が約2割ずつとなっている。

また、「育児や子どものしつけ」と「親や家族の介護」については「主に自分」「自分と配偶者が同じくらい」「主に配偶者」との回答がほぼ同数ずつとなっている。

(3) あなたの家庭では次のことがらを主にどなたが行っていますか。項目ごとに該当する番号をそれぞれ1つ選び○をつけてください。



性別でみると、女性では「主に自分」、男性では「主に配偶者」との回答が多く、どの項目においても女性が担っている割合が高い。「自分と配偶者が同じくらい」との回答は、男性と女性でやや差がみられる。

① 炊事・洗濯・掃除等の家事

		n	主に自分	自分と配偶者が同じくらい	主に配偶者	主に配偶者以外の家族	家族以外の人に依頼	あてはまらない	無回答
全体		1675	39.9	8.2	35.5	4.7	0.4	3.8	7.5
性別	男	807	10.0	12.0	67.5	3.2	0.0	2.4	4.8
	女	773	73.2	3.9	3.5	6.9	0.6	5.3	6.6

② 育児や子どものしつけ

		n	主に自分	自分と配偶者が同じくらい	主に配偶者	主に配偶者以外の家族	家族以外の人に依頼	あてはまらない	無回答
全体		1675	16.5	17.5	19.9	2.0	0.1	27.8	16.3
性別	男	807	1.7	22.4	37.1	1.1	0.0	25.3	12.4
	女	773	32.9	12.3	2.6	2.8	0.0	32.5	16.9

③ 親や家族の介護

		n	主に自分	自分と配偶者が同じくらい	主に配偶者	主に配偶者以外の家族	家族以外の人に依頼	あてはまらない	無回答
全体		1675	14.4	11.3	14.0	2.4	0.8	41.0	15.9
性別	男	807	3.8	15.5	25.2	1.6	0.9	41.6	11.4
	女	773	26.3	7.0	2.2	3.5	0.8	43.3	16.9

④ 自治会などの地域活動

		n	主に自分	自分と配偶者が同じくらい	主に配偶者	主に配偶者以外の家族	家族以外の人に依頼	あてはまらない	無回答
全体		1675	37.9	15.6	18.1	5.3	0.7	10.3	12.1
性別	男	807	30.0	21.7	29.0	2.7	0.4	7.3	8.9
	女	773	46.3	10.3	7.8	8.3	1.0	14.0	12.3

⑤ 子どもの学校行事への参加

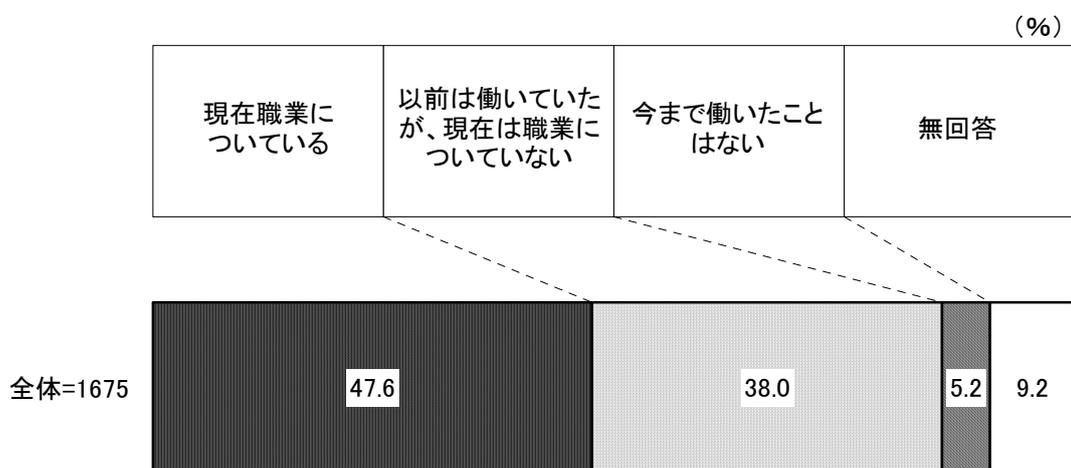
		n	主に自分	自分と配偶者が同じくらい	主に配偶者	主に配偶者以外の家族	家族以外の人に依頼	あてはまらない	無回答
全体		1675	17.3	6.7	22.4	1.9	0.2	34.6	17.0
性別	男	807	2.0	8.9	40.9	1.4	0.1	33.7	13.0
	女	773	34.2	4.4	3.6	2.5	0.1	37.8	17.5

#### (4) 就業状況

- ◆「現在職業についている」47.6%、「以前は働いていたが、現在は職業についていない」38.0%、「今まで働いたことはない」5.2%

現在の就業状況については、「現在職業についている」47.6%、「以前は働いていたが、現在は職業についていない」38.0%、「今まで働いたことはない」5.2%となっている。  
性別では、男性の就業率が高くなっている。

- (4)あなたは、現在収入のある職業(パート・アルバイトを含む)についていますか。次の中から1つ選び○をつけてください。



(%)

		n	現在職業についている	以前は働いていたが、現在は職業についていない	今まで働いたことはない	無回答
全体		1675	47.6	38.0	5.2	9.2
性別	男	807	56.5	35.2	1.7	6.6
	女	773	41.4	41.7	8.5	8.4

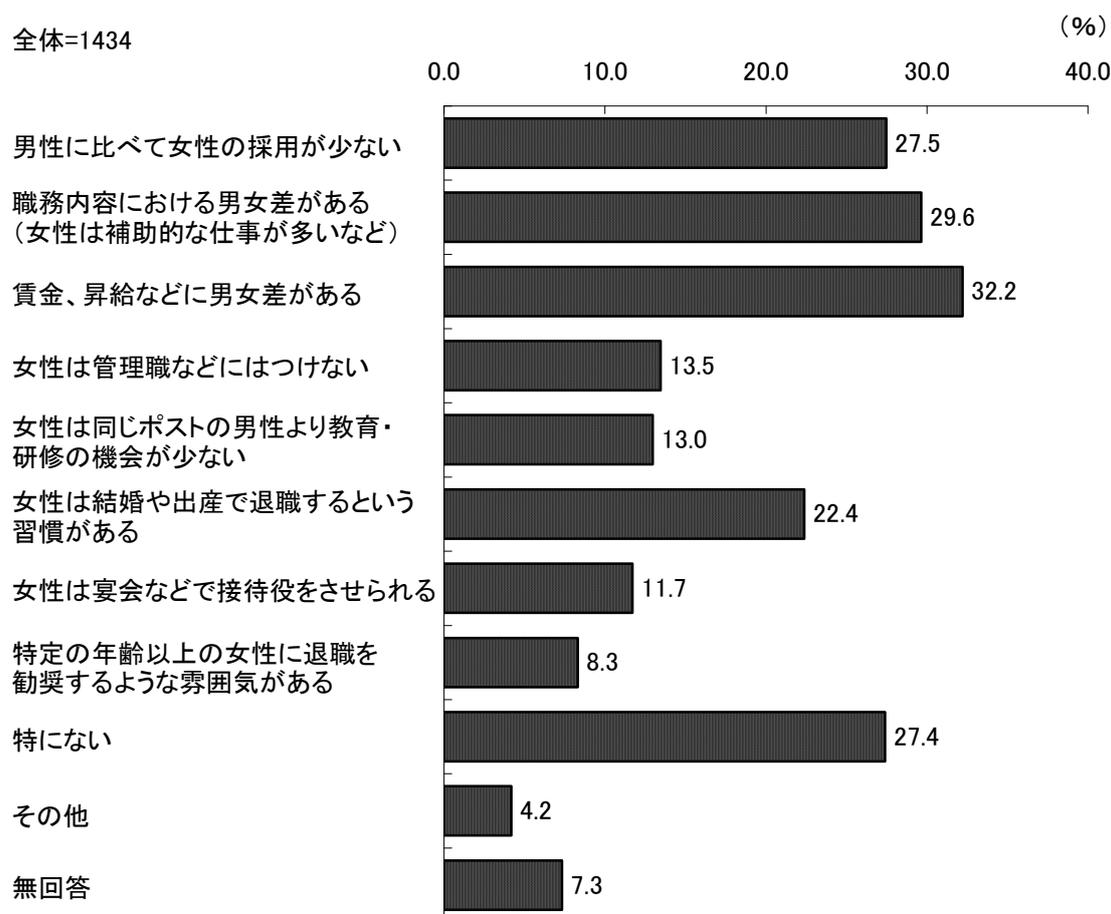
## (5) 職場での男女間の差 (複数回答)

◆「賃金、昇給などに男女差がある」「職務内容における男女差がある(女性は補助的な仕事が多いなど)」「男性に比べて女性の採用が少ない」が3割前後

職場での男女間の差については、「賃金、昇給などに男女差がある」(32.2%)、「職務内容における男女差がある(女性は補助的な仕事が多いなど)」(29.6%)、「男性に比べて女性の採用が少ない」(27.5%)が3割前後で最も多く、ついで「女性は結婚や出産で退職するという習慣がある」が22.4%で続いている。「特にない」との回答も27.4%となっている。

(5) <(4)で「1. 現在職業についている」「2. 以前は働いていたが、現在は職業についていない」とお答えになった方にお尋ねします>

あなたの職場では、仕事の内容や待遇面で、女性に対して次のようなことがありますか。または、過去にありましたか。次の中から該当するものすべてを選び○をつけてください。



性別では、男性では「男性に比べて女性の採用が少ない」が37.4%と女性に比べ多くなっている。一方、女性では「女性は宴会などで接待役をさせられる」が男性よりやや多くなっている。

年齢別では、20代で「女性は結婚や出産で退職するという習慣がある」が、40代で「職務内容における男女差がある（女性は補助的な仕事が多いなど）」がやや多くなっている。

職業別では、管理職、公務員、教員、製造業、小売業等従事者、運転手で「男性に比べて女性の採用が少ない」が4割前後、会社等事務従事者と製造業、小売業等従事者、運転手で「職務内容における男女差がある（女性は補助的な仕事が多いなど）」が4割弱となっている。

(%)

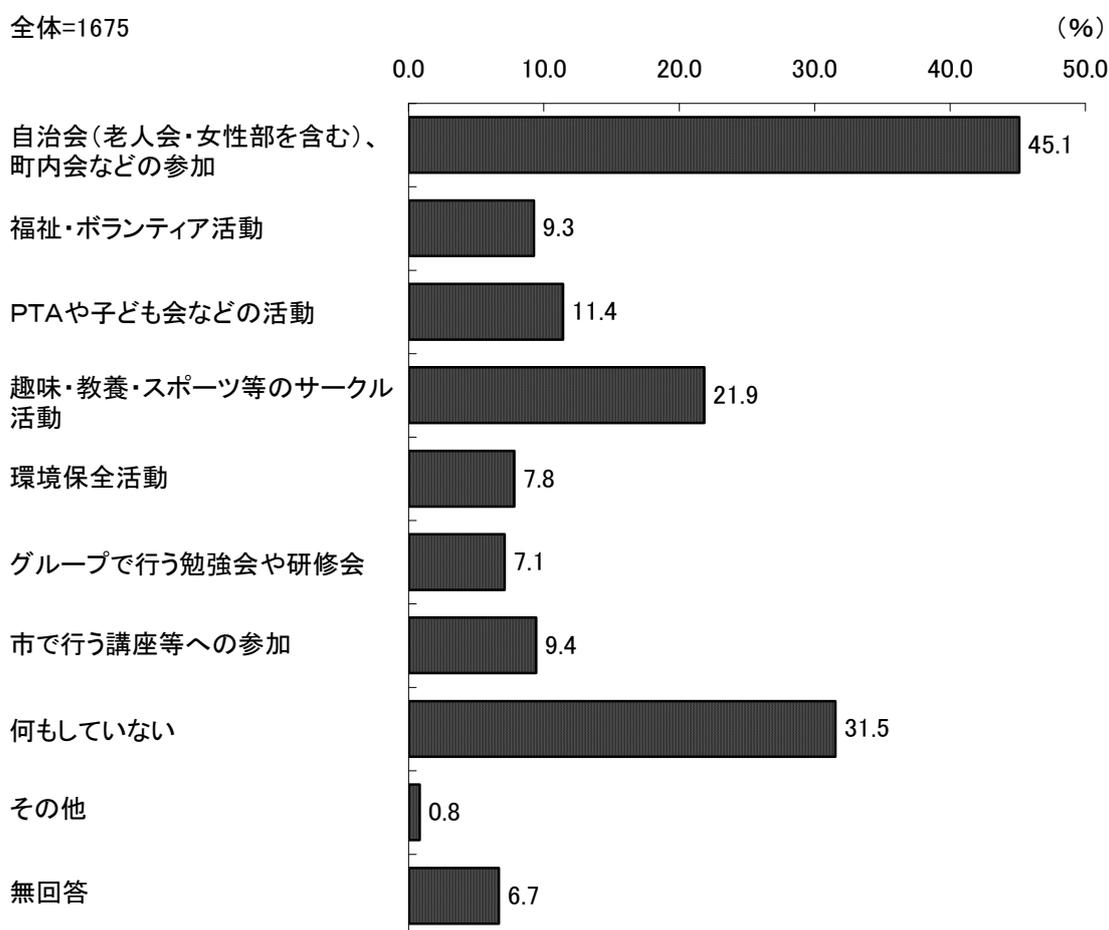
		n	男性に比べて女性の採用が少ない	職務内容における男女差がある (女性は補助的な仕事が多いなど)	賃金、昇給などに男女差がある	女性は管理職などにはつけない	女性は同じポストの男性より 教育・研修の機会が少ない	女性は結婚や出産で退職する という習慣がある	女性は宴会などで接待役を させられる	特定の年齢以上の女性に退職を 勧奨するような雰囲気がある	特 に な い
全体		1434	27.5	29.6	32.2	13.5	13.0	22.4	11.7	8.3	27.4
性別	男	740	37.4	31.8	29.3	12.2	14.3	21.6	8.5	6.4	25.0
	女	642	15.1	26.9	34.7	14.6	10.7	23.2	15.4	9.8	31.8
年齢	20～29歳	60	25.0	18.3	13.3	5.0	5.0	30.0	15.0	1.7	28.3
	30～39歳	145	31.0	26.2	26.9	13.8	7.6	24.8	18.6	4.1	31.7
	40～49歳	211	30.3	37.0	32.2	17.1	8.5	27.5	18.0	7.6	28.4
	50～59歳	264	27.3	25.8	33.0	15.9	14.0	24.6	7.2	7.6	28.8
	60歳以上	713	25.7	30.3	34.1	11.9	15.6	18.7	9.8	9.8	26.8
職業	専門職	67	20.9	16.4	9.0	4.5	3.0	26.9	10.4	7.5	38.8
	管理職	83	39.8	30.1	28.9	13.3	15.7	21.7	7.2	4.8	27.7
	会社等事務従事者	108	30.6	38.0	39.8	19.4	12.0	24.1	15.7	4.6	20.4
	公務員、教員	51	37.3	19.6	7.8	3.9	2.0	13.7	7.8	3.9	45.1
	製造業、小売業等従事者、運転手	144	45.1	36.1	33.3	16.7	14.6	24.3	9.0	7.6	18.1
	農林漁業、畜産業	31	19.4	12.9	9.7	6.5	6.5	3.2	3.2	0.0	19.4
	サービス業	81	19.8	23.5	25.9	12.3	17.3	19.8	13.6	12.3	40.7
	自営業	88	22.7	14.8	25.0	10.2	8.0	17.0	8.0	5.7	33.0
	学生	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦	223	13.0	25.1	37.7	15.7	7.2	26.0	16.6	9.4	33.2
	無職	417	27.6	35.7	38.8	12.9	18.2	23.7	11.8	10.3	22.5
	その他	93	28.0	32.3	30.1	17.2	15.1	18.3	10.8	9.7	34.4

## (6) 社会活動への参加状況（複数回答）

◆「自治会（老人会・女性部を含む）、町内会などの参加」45.1%、「何もしていない」31.5%

この1年間の社会活動への参加状況は、「自治会（老人会・女性部を含む）、町内会などの参加」が45.1%と最も多く、ついで「趣味・教養・スポーツ等のサークル活動」が21.9%となっている。一方、「何もしていない」も31.5%と約3人に1人の割合となっている。

問 22(1)あなたは、この1年間に社会活動に参加したことがありますか。次の中から該当するものすべてを選び○をつけてください。



性別にみると、男性では「環境保全活動」、女性では「PTAや子ども会などの活動」がやや多くなっている。

年齢別にみると、40代以上で「自治会（老人会・女性部を含む）、町内会などの参加」が半数近くとなっている。また、「PTAや子ども会などの活動」は30代で31.1%、40代で45.6%と多くなっている。一方、20代では「何もしていない」が63.6%を占めている。

(%)

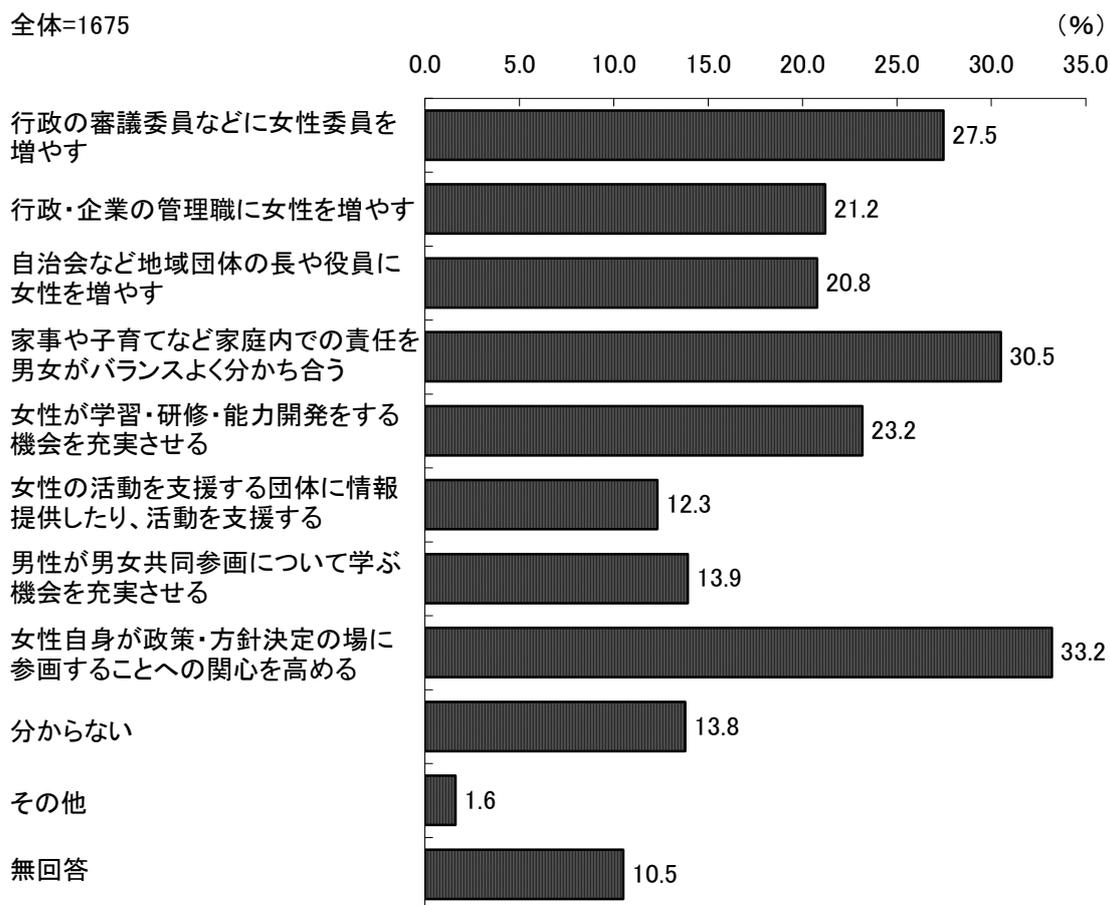
		n	自治会（老人会・女性部を含む）、町内会などの参加	福祉・ボランティア活動	PTAや子ども会などの活動	趣味・教養・スポーツ等のサークル活動	環境保全活動	グループで行う勉強会や研修会	市で行う講座等への参加	何もしていない
全体		1675	45.1	9.3	11.4	21.9	7.8	7.1	9.4	31.5
性別	男	807	47.1	10.8	8.8	23.9	11.0	7.4	8.2	32.0
	女	773	44.2	8.0	15.1	21.3	4.4	7.2	11.3	32.1
年齢	20～29歳	66	19.7	3.0	3.0	7.6	1.5	3.0	4.5	63.6
	30～39歳	148	35.1	3.4	31.1	17.6	2.0	2.7	4.1	39.9
	40～49歳	215	47.9	6.0	45.6	23.3	7.0	7.0	7.4	21.4
	50～59歳	285	47.4	9.1	8.4	20.7	12.3	6.3	7.4	35.4
	60歳以上	891	48.1	11.9	2.2	24.4	8.1	8.6	12.1	29.2

(7) 女性が政策立案や方針決定をする場に進出するために必要なこと（複数回答）

◆「女性自身が政策・方針決定の場に参画することへの関心を高める」「家事や子育てなど家庭内での責任を男女がバランスよく分かち合う」「行政の審議委員などに女性委員を増やす」が3割前後

女性が政策立案や方針決定をする場に進出するために必要なことは、「女性自身が政策・方針決定の場に参画することへの関心を高める」（33.2%）、「家事や子育てなど家庭内での責任を男女がバランスよく分かち合う」（30.5%）、「行政の審議委員などに女性委員を増やす」（27.5%）が3割前後で最も多く、ついで「女性が学習・研修・能力開発をする機会を充実させる」（23.2%）、「行政・企業の管理職に女性を増やす」（21.2%）、「自治会など地域団体の長や役員に女性を増やす」（20.8%）が2割強で続き、意見は多岐にわたっている。

(2) あなたは、女性が政策立案や方針決定をする場に進出するためには何が必要だとお考えですか。次の中から3つまで選び○をつけてください。



性別にみると、男性は「行政・企業の管理職に女性を増やす」や「自治会など地域団体の長や役員に女性を増やす」がやや多くなっているが、女性は「女性の活動を支援する団体に情報提供したり、活動を支援する」がやや多くなっている。

年齢別にみると、年齢が若いほど「家事や子育てなど家庭内での責任を男女がバランスよく分かち合う」が多くなっており、20代では51.5%となっている。また、30代では「行政・企業の管理職に女性を増やす」、50代では「女性自身が政策・方針決定の場に参画することへの関心を高める」が多くなっている。

(%)

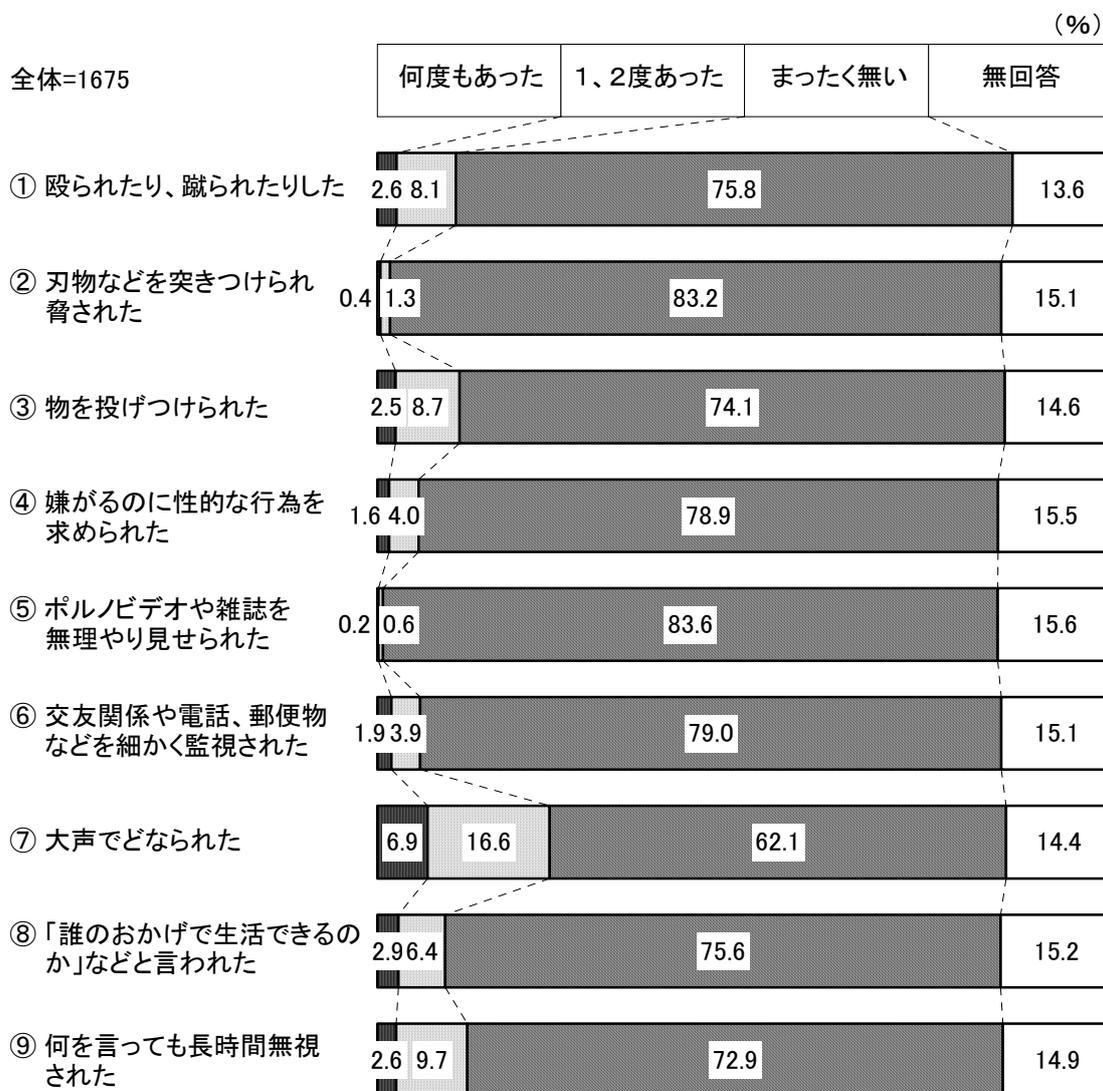
		n	行政の審議委員などに女性委員を増やす	行政・企業の管理職に女性を増やす	自治会など地域団体の長や役員に女性を増やす	家事や子育てなど家庭内での責任を男女がバランスよく分かち合う	女性が学習・研修・能力開発をする機会を充実させる	女性の活動を支援する団体に情報提供したり、活動を支援する	女性が男女共同参画について学ぶ機会を充実させる	女性自身が政策・方針決定の場に参画することへの関心を高める	分からない
全体		1675	27.5	21.2	20.8	30.5	23.2	12.3	13.9	33.2	13.8
性別	男	807	31.1	25.3	25.8	29.1	24.8	9.8	14.4	35.9	11.5
	女	773	25.0	18.0	16.3	32.5	22.3	15.5	13.7	31.6	17.1
年齢	20～29 歳	66	27.3	21.2	12.1	51.5	27.3	16.7	15.2	21.2	13.6
	30～39 歳	148	29.1	32.4	8.8	41.9	23.6	16.2	8.8	31.1	17.6
	40～49 歳	215	31.2	22.3	18.6	39.5	20.0	10.7	14.0	34.0	12.6
	50～59 歳	285	29.5	27.0	26.7	28.1	24.9	16.1	17.5	41.8	9.5
	60 歳以上	891	26.5	17.8	22.7	26.2	23.6	10.8	13.7	32.3	14.9

## (8) DV (ドメスティックバイオレンス) の有無について

### ◆「大声でどなられた」が『あった』は23.5%と約4人に1人の割合

配偶者やパートナーからのDV (ドメスティックバイオレンス) については、『あった』(「何度もあった」、「1、2度あった」と回答した割合) が最も多いのは、「大声でどなられた」で 23.5%と約4人に1人の割合となっている。「何を言っても長時間無視された」「物を投げつけられた」「殴られたり、蹴られたりした」についても『あった』とする人が1割強みられる。

問 23(1) あなたは、これまでに、あなたの配偶者やパートナーから次のような行為をされたことがありますか。項目ごとに該当する番号をそれぞれ1つ選び○をつけてください。



性別にみると、女性の3割が「大声でどなられた」と回答している。

年齢別にみると、30代で「物を投げつけられた」が21.6%、30代と40代で「大声でどなられた」が30%台と他の年代に比べて多くなっている。

『あった』の割合

(%)

		n	殴られたり、蹴られたりした	刃物などを突きつけられ脅された	物を投げつけられた	嫌がるのに性的な行為を求められた	ポルノビデオや雑誌を無理やり見せられた	交友関係や電話、郵便物などを細かく監視された	大声でどなられた	「誰のおかげで生活できるのか」などと言われた	何を言っても長時間無視された
全体		1675	10.7	1.7	11.2	5.6	0.8	5.8	23.5	9.3	12.3
性別	男	807	5.5	1.2	8.5	1.6	0.2	4.6	18.8	4.4	13.3
	女	773	16.4	2.2	14.5	9.8	1.4	7.1	29.4	14.2	12.1
年齢	20～29歳	66	13.6	3.0	10.6	12.2	1.5	10.6	21.2	10.6	10.6
	30～39歳	148	15.6	3.4	21.6	10.1	0.7	7.4	31.8	12.2	11.5
	40～49歳	215	13.0	2.3	15.3	7.9	0.5	9.8	35.9	13.0	17.7
	50～59歳	285	11.9	2.1	12.0	6.0	2.5	8.1	27.8	9.5	17.9
	60歳以上	891	8.8	1.0	8.4	3.8	0.3	3.4	18.7	7.8	9.8

## (9) DV（ドメスティックバイオレンス）についての相談の有無

### ◆「相談した」は19.3%

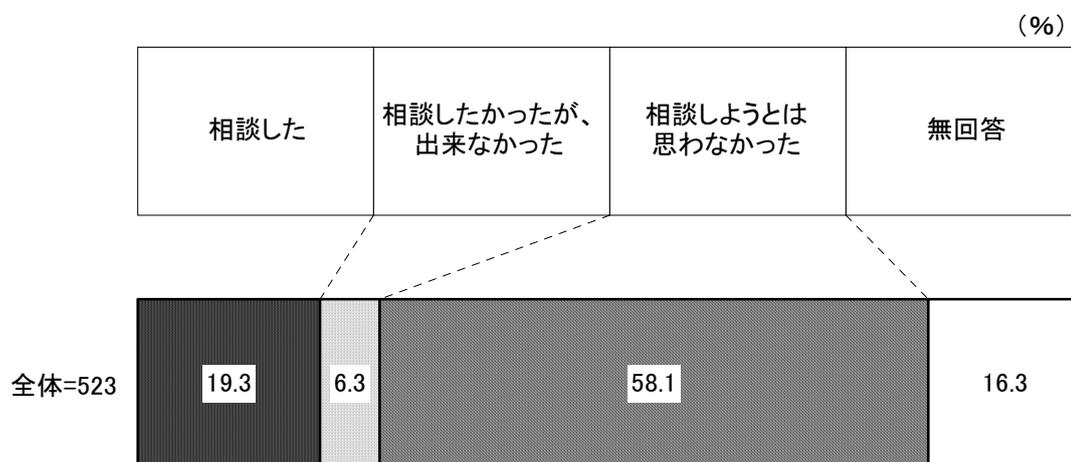
DV(ドメスティックバイオレンス)について、「相談しようとは思わなかった」が58.1%と半数以上を占め、「相談した」は19.3%となっている。

性別では、女性は27.1%が「相談した」としている。

年齢別では、年齢が若いほど「相談した」との回答が多くなっている。

(2) <(1)で1つでも「何度もあった」「1、2度あった」とお答えになった方にお尋ねします>

あなたはこれまでにその相手から受けた行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。次の中から1つ選び○をつけてください。



(%)

		n	相談した	相談したかったが、出来なかった	相談しようとは思わなかった	無回答
全体		523	19.3	6.3	58.1	16.3
性別	男	209	7.7	7.2	69.9	15.3
	女	295	27.1	5.4	50.2	17.3
年齢	20～29 歳	20	35.0	0.0	65.0	0.0
	30～39 歳	60	26.7	10.0	53.3	10.0
	40～49 歳	89	25.8	9.0	56.2	9.0
	50～59 歳	103	21.4	5.8	57.3	15.5
	60 歳以上	235	12.3	5.5	60.0	22.1

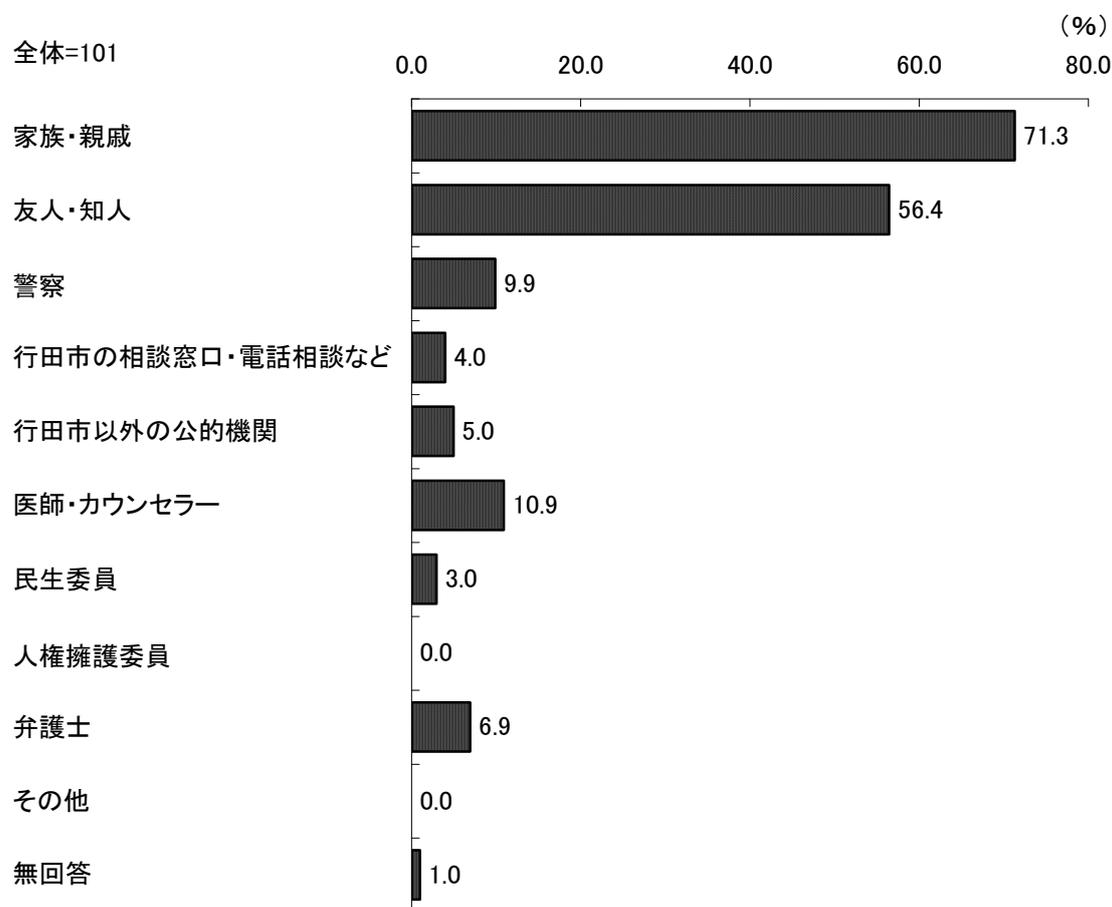
### (10) DV（ドメスティックバイオレンス）についての相談相手（複数回答）

◆「家族・親戚」71.3%、「友人・知人」56.4%

DV（ドメスティックバイオレンス）についての相談相手は、「家族・親戚」が71.3%と多数を占め、ついで「友人・知人」が56.4%となっている。

性別にみると、男性では「医師・カウンセラー」、女性では「警察」もやや多くなっている。

(3) <(2)で「1. 相談した」とお答えになった方にお尋ねします>  
 あなたが相談した人や場所を教えてください。次の中から該当するものすべてを選び○をつけてください。



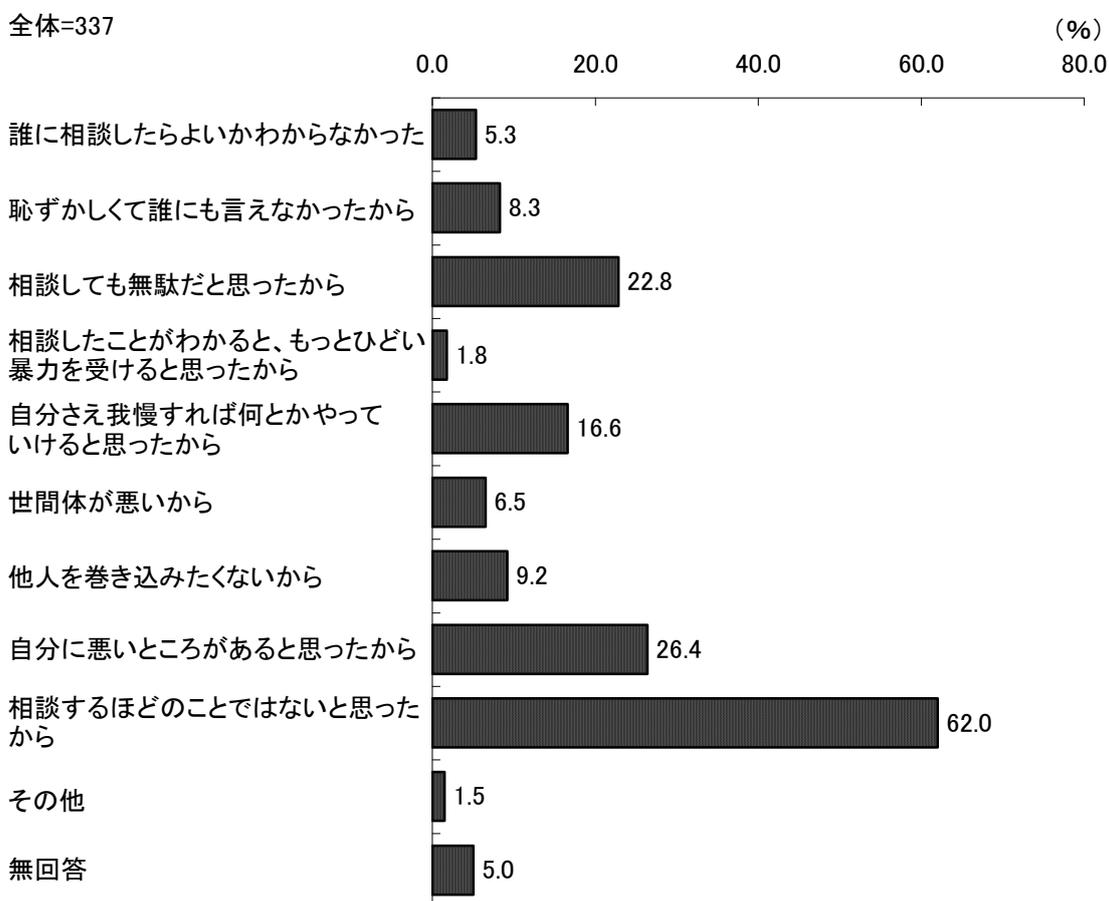
		n	家族・親戚	友人・知人	警察	電話相談など 行田市の相談窓口・ 機関	行田市以外の公的 機関	医師・カウンセラー	民生委員	人権擁護委員	弁護士	その他	無回答
全体		101	71.3	56.4	9.9	4.0	5.0	10.9	3.0	0.0	6.9	0.0	1.0
性別	男	16	87.5	43.8	6.3	0.0	0.0	18.8	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0
	女	80	71.3	60.0	11.3	5.0	5.0	8.8	1.3	0.0	7.5	0.0	1.3

(11) DV (ドメスティックバイオレンス) について相談できなかった理由 (複数回答)

◆「相談するほどのことではないと思ったから」が62.0%

DV (ドメスティックバイオレンス) について相談できなかった理由については、「相談するほどのことではないと思ったから」が62.0%と群を抜いて多く、ついで「自分に悪いところがあると思ったから」(26.4%)、「相談しても無駄だと思ったから」(22.8%)、「自分さえ我慢すれば何とかやっていたらよかったから」(16.6%)となっている。

(4) <(2)で「2. 相談したかったが、出来なかった」「3. 相談しようと思わなかった」とお答えになった方にお尋ねします>  
 あなたが誰(どこ)にも相談できなかったのはなぜですか。次の中から該当するものすべてを選び○をつけてください。



性別にみると、男性では「自分に悪いところがあると思ったから」、女性では「相談しても無駄だと思ったから」との回答が3割前後と多くなっている。また、女性では「自分さえ我慢すれば何とかやっつけていけると思ったから」との回答も2割強みられる。

		n	誰に相談したらよいかわからなかった	恥ずかしくて誰にも言えなかったから	相談しても無駄だと思ったから	ひどい暴力を受けると思ったから	相談したことがわかると、もっといけると思ったから	自分さえ我慢すれば何とかやっつけていけると思ったから	世間体が悪いから	他人を巻き込みたくないから	自分に悪いところがあると思ったから	相談するほどのことではないと思ったから	その他	無回答
全体		337	5.3	8.3	22.8	1.8	16.6	6.5	9.2	26.4	62.0	1.5	5.0	
性別	男	161	4.3	8.1	18.0	1.9	11.2	7.5	5.6	32.9	68.3	0.0	6.2	
	女	164	6.7	7.3	28.7	1.2	21.3	4.9	12.8	19.5	57.3	3.0	2.4	

## (12) 「ワーク・ライフ・バランス」の認知状況

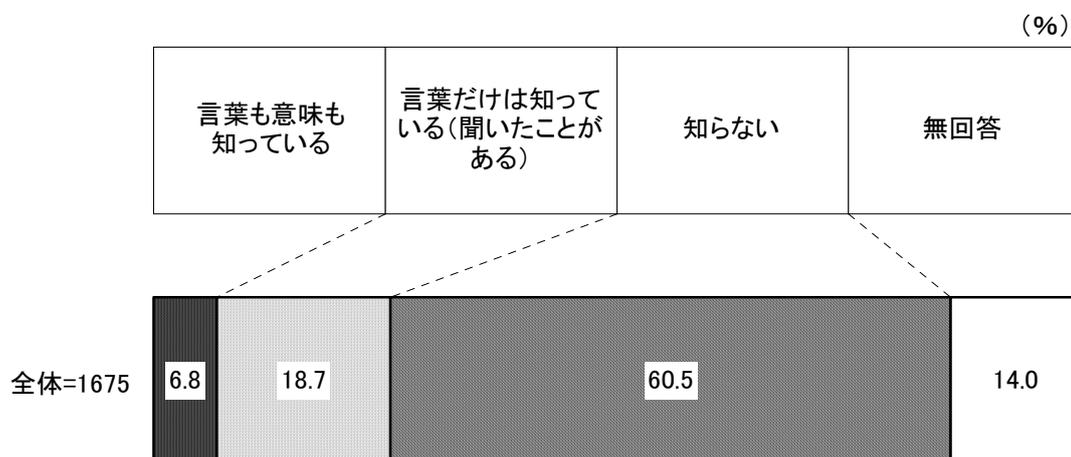
### ◆認知率は25.5%

「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を「知らない」が60.5%を占め、「言葉も意味も知っている」は6.8%にとどまり、「言葉だけは知っている（聞いたことがある）」（18.7%）を合わせると25.5%の認知率となっている。

性別では、男性の認知率がやや高くなっている。

年齢別では、30代の認知率が低くなっている。

問24 平成19年12月に政府、地方公共団体、経済界、労働界の合意により「ワーク・ライフ・バランス憲章」が制定されましたが、あなたは「ワーク・ライフ・バランス」という言葉をご存知ですか。次の中から1つ選び○をつけてください。



(%)

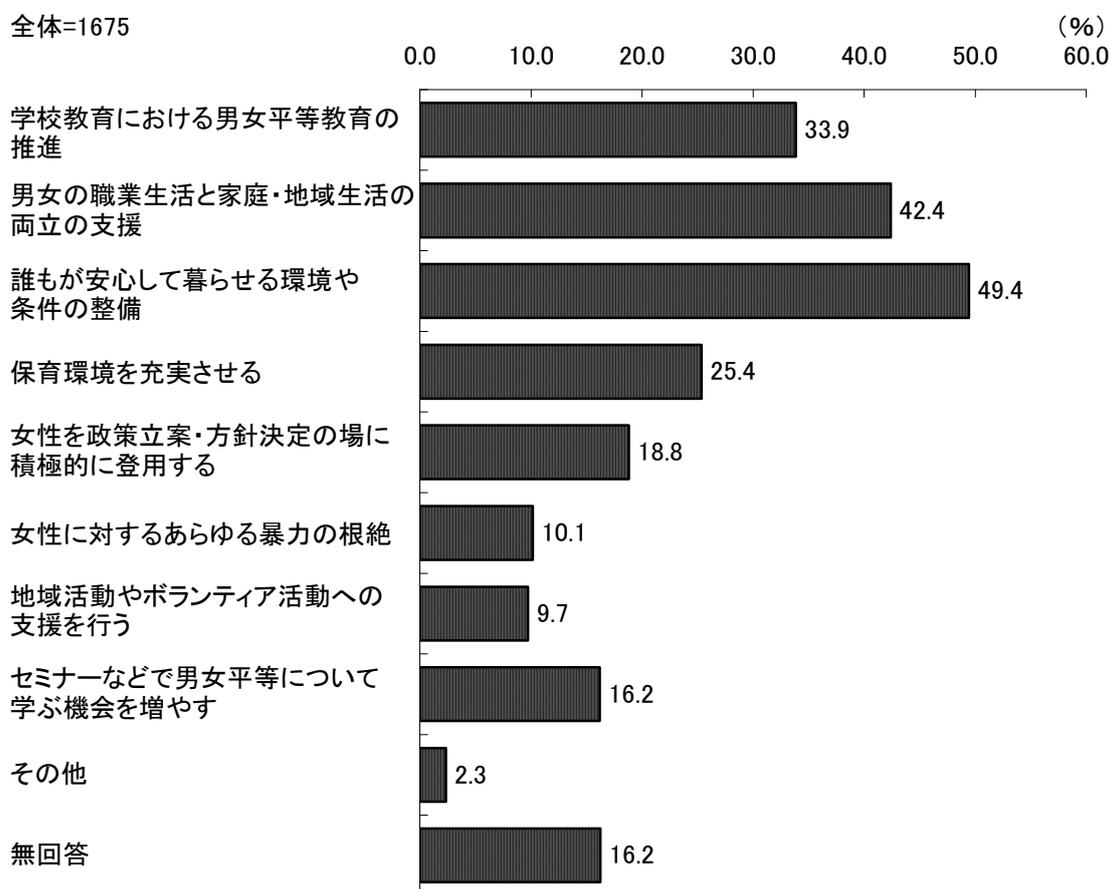
		n	言葉も意味も知っている	言葉だけは知っている(聞いたことがある)	知らない	無回答
全体		1675	6.8	18.7	60.5	14.0
性別	男	807	8.7	19.7	57.1	14.5
	女	773	5.4	17.2	67.5	9.8
年齢	20～29歳	66	1.5	19.7	75.8	3.0
	30～39歳	148	4.1	12.2	83.1	0.7
	40～49歳	215	11.2	16.3	64.7	7.9
	50～59歳	285	11.9	15.4	61.1	11.6
	60歳以上	891	5.3	21.1	56.6	17.1

### (13) 男女共同参画社会の実現のために重要なこと（複数回答）

◆「誰もが安心して暮らせる環境や条件の整備」「男女の職業生活と家庭・地域生活の両立の支援」が40%台

男女共同参画社会の実現のために重要なことは、「誰もが安心して暮らせる環境や条件の整備」(49.4%)と「男女の職業生活と家庭・地域生活の両立の支援」(42.4%)が40%台と最も多く、ついで「学校教育における男女平等教育の推進」(33.9%)、「保育環境を充実させる」(25.4%)が続いている。

問 25 男女共同参画社会の実現のためには何が重要だとお考えですか。次の中から3つまで選び○をつけてください。



性別にみても大きな差はみられない。

年齢別にみると、20代で「男女の職業生活と家庭・地域生活の両立の支援」が68.2%、「誰もが安心して暮らせる環境や条件の整備」が59.1%、「保育環境を充実させる」が42.4%と多くなっている。また、30～50代でも「男女の職業生活と家庭・地域生活の両立の支援」が50%台となっている。

(%)

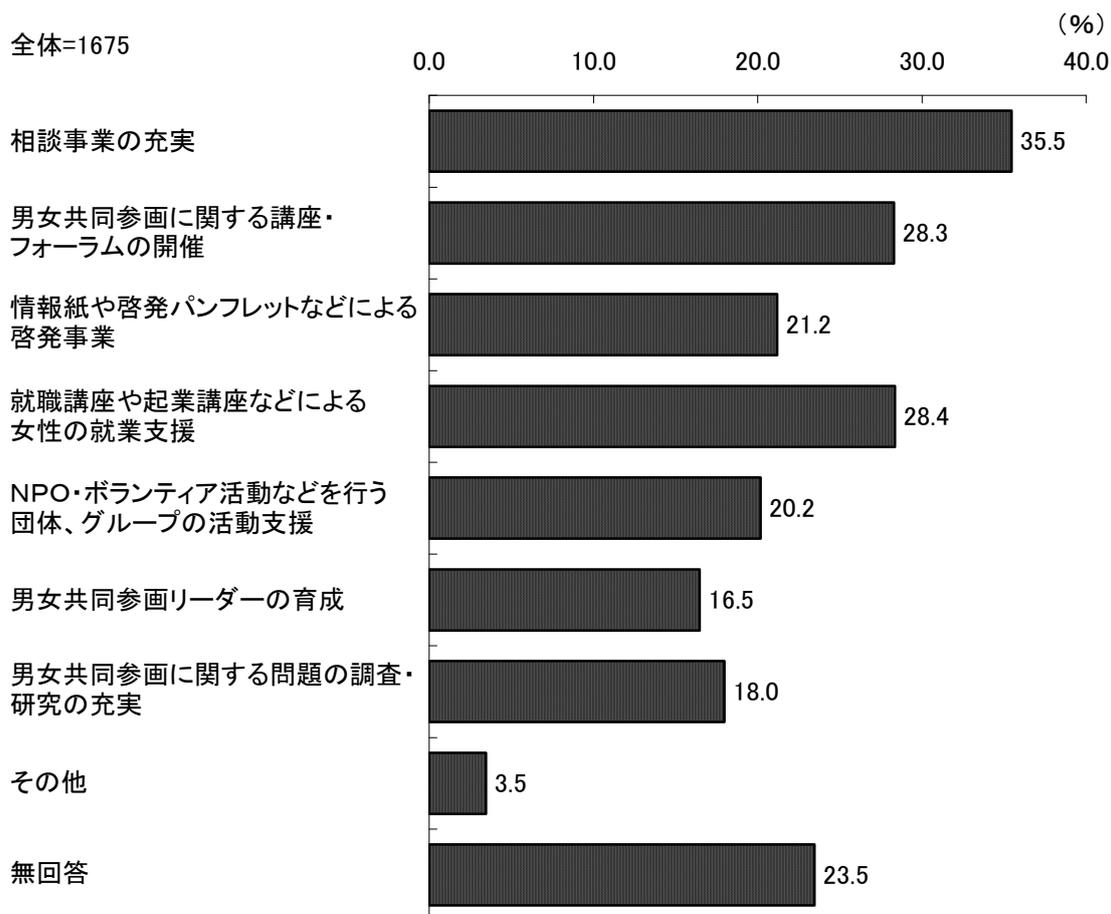
		n	学校教育における男女平等教育の推進	男女の職業生活と家庭・地域生活の両立の支援	誰もが安心して暮らせる環境や条件の整備	保育環境を充実させる	女性を政策立案・方針決定の場に積極的に登用する	女性に対するあらゆる暴力の根絶	地域活動やボランティア活動への支援を行う	セミナーなどで男女平等について学ぶ機会を増やす
全体		1675	33.9	42.4	49.4	25.4	18.8	10.1	9.7	16.2
性別	男	807	35.6	42.6	49.7	27.5	20.7	9.7	9.9	16.0
	女	773	33.4	45.0	50.6	24.7	18.4	10.9	9.6	16.4
年齢	20～29歳	66	22.7	68.2	59.1	42.4	13.6	16.7	4.5	13.6
	30～39歳	148	33.8	57.4	47.3	37.2	18.9	14.9	7.4	6.1
	40～49歳	215	35.3	57.7	44.7	27.0	17.2	11.2	5.6	13.0
	50～59歳	285	31.9	52.3	54.4	29.1	18.2	10.9	9.5	15.1
	60歳以上	891	35.4	33.1	49.8	21.4	20.5	8.9	11.3	19.2

#### (14) 「VIVAぎょうだ」に期待すること（複数回答）

◆「相談事業の充実」「就職講座や起業講座などによる女性の就業支援」「男女共同参画に関する講座・フォーラムの開催」「情報紙や啓発パンフレットなどによる啓発事業」「NPO・ボランティア活動などを行う団体、グループの活動支援」など要望は多岐にわたる

男女共同参画推進センター「VIVAぎょうだ」に期待することは、「相談事業の充実」(35.5%)、「就職講座や起業講座などによる女性の就業支援」(28.4%)、「男女共同参画に関する講座・フォーラムの開催」(28.3%)、「情報紙や啓発パンフレットなどによる啓発事業」(21.2%)、「NPO・ボランティア活動などを行う団体、グループの活動支援」(20.2%)など要望は多岐にわたっている。

問 26 市では、男女共同参画推進センター「VIVAぎょうだ」を設置・運営していますが、今後どのような事業を期待しますか。次の中から3つまで選び○をつけてください。



性別にみても特に大きな差はみられない。

年齢別にみると、20代と30代で「相談事業の充実」と「就職講座や起業講座などによる女性の就業支援」が約4～5割と多くなっている。

(%)

		n	相談事業の充実	男女共同参画に関する講座・フォーラムの開催	情報紙や啓発パンフレットなどによる啓発事業	就職講座や起業講座などによる女性の就業支援	NPO・ボランティア活動などを行う団体、グループの活動支援	男女共同参画リーダーの育成	男女共同参画に関する問題の調査・研究の充実
全体		1675	35.5	28.3	21.2	28.4	20.2	16.5	18.0
性別	男	807	33.7	31.0	23.8	26.8	20.9	19.2	21.2
	女	773	38.9	27.2	18.9	31.4	19.8	14.5	15.5
年齢	20～29歳	66	47.0	25.8	25.8	39.4	24.2	13.6	18.2
	30～39歳	148	44.6	21.6	20.3	45.3	19.6	14.2	14.9
	40～49歳	215	37.7	25.6	20.0	36.3	20.5	17.2	15.8
	50～59歳	285	34.4	31.2	21.1	33.3	20.4	19.3	17.9
	60歳以上	891	34.0	30.3	21.4	22.1	20.1	16.5	19.3

## 5. 市政や市役所について

### (1) 行政への信頼度

◆『信頼派』64.1%、『非信頼派』24.1%

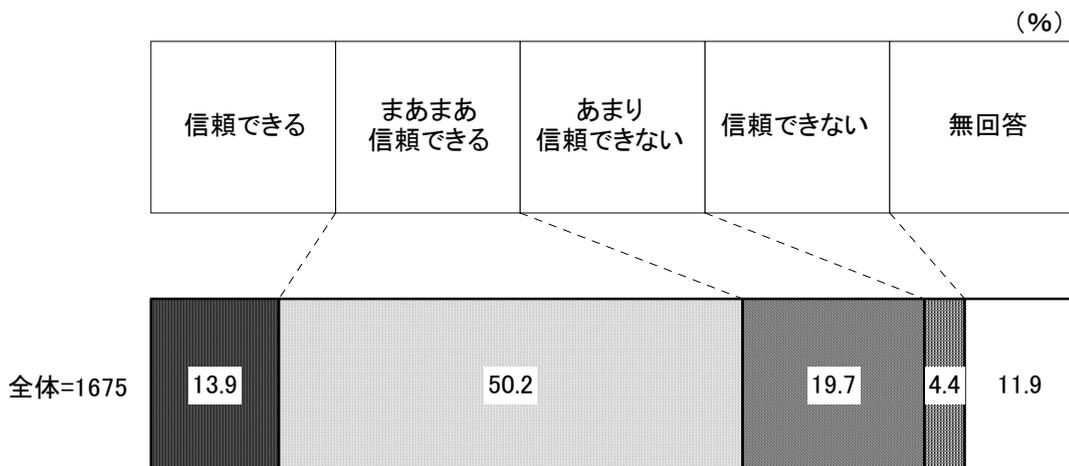
行政への信頼度は、「信頼できる」(13.9%)と「まあまあ信頼できる」(50.2%)を合わせた『信頼派』は64.1%、「あまり信頼できない」(19.7%)と「信頼できない」(4.4%)を合わせた『非信頼派』は24.1%となっている。

性別では、特に大きな差はみられない。

年齢別では、20代、30代、60歳以上で『信頼派』が約7割となっている。

問27 市政や市役所についてどんな印象を持っていますか。次の項目ごとに該当する番号をそれぞれ1つ選び○をつけてください。

#### (1) 行政への信頼度



(%)

		n	信頼できる	まあまあ信頼できる	あまり信頼できない	信頼できない	無回答
全体		1675	13.9	50.2	19.7	4.4	11.9
性別	男	807	14.9	51.8	18.2	4.7	10.4
	女	773	13.1	50.8	22.3	3.9	10.0
年齢	20～29歳	66	3.0	65.2	25.8	3.0	3.0
	30～39歳	148	10.1	58.1	23.0	6.8	2.0
	40～49歳	215	5.6	48.8	31.6	8.8	5.1
	50～59歳	285	8.8	50.2	26.7	5.3	9.1
	60歳以上	891	18.9	49.5	14.4	2.7	14.6

## (2) 各種施策の実行能力

### ◆ 『実行能力がある』 55.7%、 『実行能力がない』 29.4%

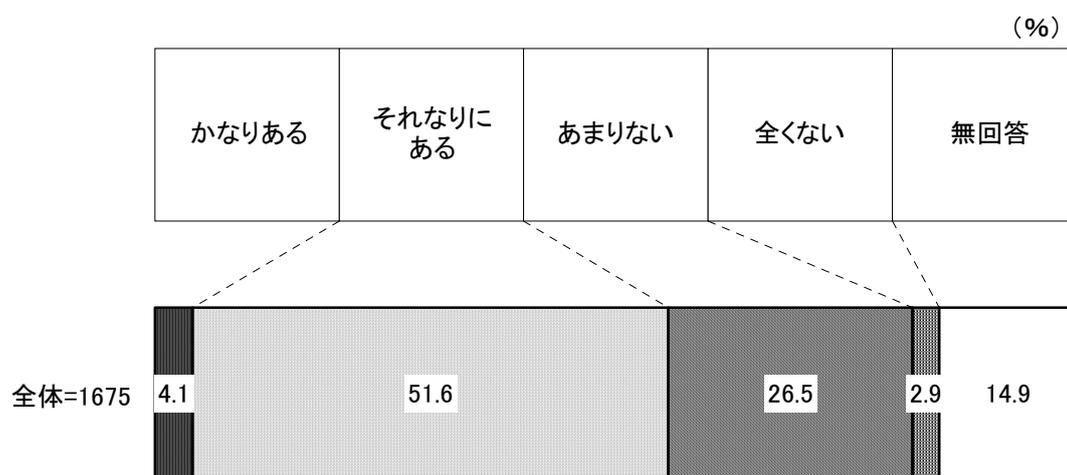
各施策の実行能力は、「それなりにある」が 51.6%と半数を占め、「かなりある」(4.1%)を合わせると 55.7%が『実行能力がある』としている。

一方、「あまりない」(26.5%)と「全くない」(2.9%)を合わせた『実行能力がない』とする人は 29.4%と約 3 人に 1 人の割合となっている。

性別では、特に大きな差はみられない。

年齢別では、『実行能力がある』とした割合は、30代と 60歳以上では 60%以上となっているが、20代と 40代では 40%台と少ない。

### (2)各施策の実行能力



(%)

		n	かなりある	それなりにある	あまりない	全くない	無回答
全体		1675	4.1	51.6	26.5	2.9	14.9
性別	男	807	5.0	53.7	26.0	3.0	12.4
	女	773	3.1	51.9	27.9	2.8	14.2
年齢	20～29歳	66	0.0	48.5	43.9	3.0	4.5
	30～39歳	148	4.1	57.4	32.4	4.1	2.0
	40～49歳	215	2.3	43.7	40.9	5.6	7.4
	50～59歳	285	0.7	51.9	33.3	3.2	10.9
	60歳以上	891	5.7	54.3	19.1	2.0	18.9

### (3) 市役所の利用しやすさ

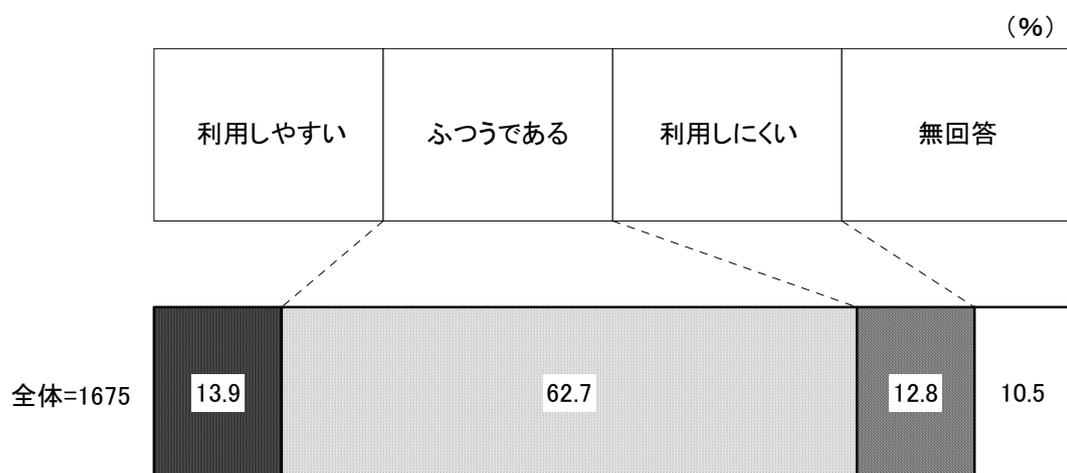
#### ◆ 「ふつうである」 62.7%

市役所の利用しやすさは、「ふつうである」が 62.7%と多数を占めている。「利用しやすい」は 13.9% 「利用しにくい」は 12.8%となっている。

性別では、特に大きな差はみられない。

年齢別では、20代で「利用しにくい」が3割と多くなっている。

### (3)市役所の利用しやすさ



(%)

		n	利用しやすい	ふつうである	利用しにくい	無回答
全体		1675	13.9	62.7	12.8	10.5
性別	男	807	14.3	64.1	12.0	9.7
	女	773	13.8	63.3	14.6	8.3
年齢	20~29 歳	66	10.6	57.6	30.3	1.5
	30~39 歳	148	12.2	68.9	18.2	0.7
	40~49 歳	215	7.4	67.9	20.9	3.7
	50~59 歳	285	7.0	67.4	16.5	9.1
	60 歳以上	891	18.5	60.5	8.2	12.8

#### (4) 窓口の対応

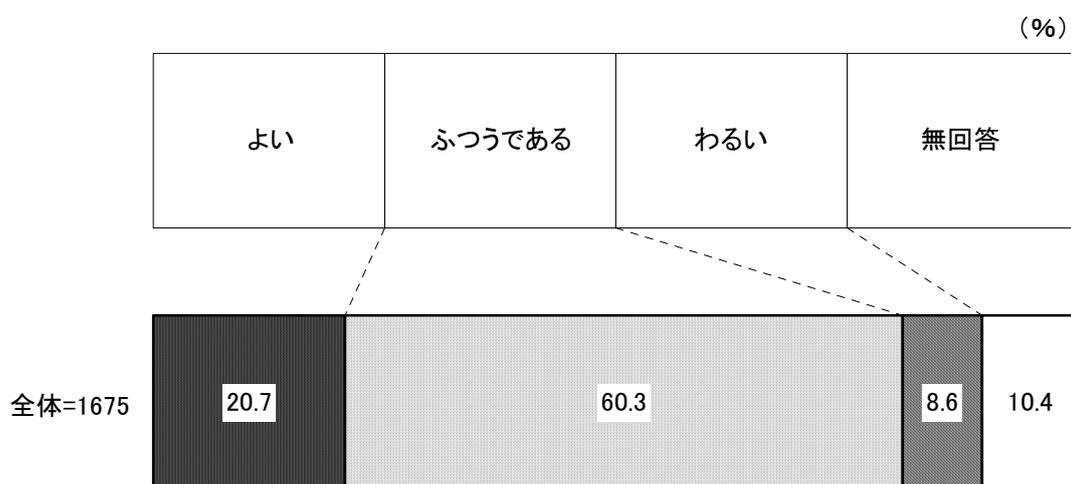
##### ◆ 「ふつうである」 60.3%

窓口の対応は、「ふつうである」が 60.3%と最も多くなっている。「よい」は 20.7%、「わるい」は 8.6%となっている。

性別では、男性で「よい」とする人がやや多い。

年齢別では、60 歳以上は「よい」とする人が 25.8%と他の年代の約 2 倍の割合となっている。

#### (4) 窓口の対応



(%)

		n	よい	ふつうである	わるい	無回答
全体		1675	20.7	60.3	8.6	10.4
性別	男	807	23.4	58.9	8.2	9.5
	女	773	18.4	63.8	9.8	8.0
年齢	20~29 歳	66	12.1	71.2	15.2	1.5
	30~39 歳	148	18.2	66.9	14.2	0.7
	40~49 歳	215	13.0	69.3	13.5	4.2
	50~59 歳	285	14.7	64.2	11.9	9.1
	60 歳以上	891	25.8	56.5	5.4	12.3

## (5) 市民の声を反映しやすくするために必要なこと

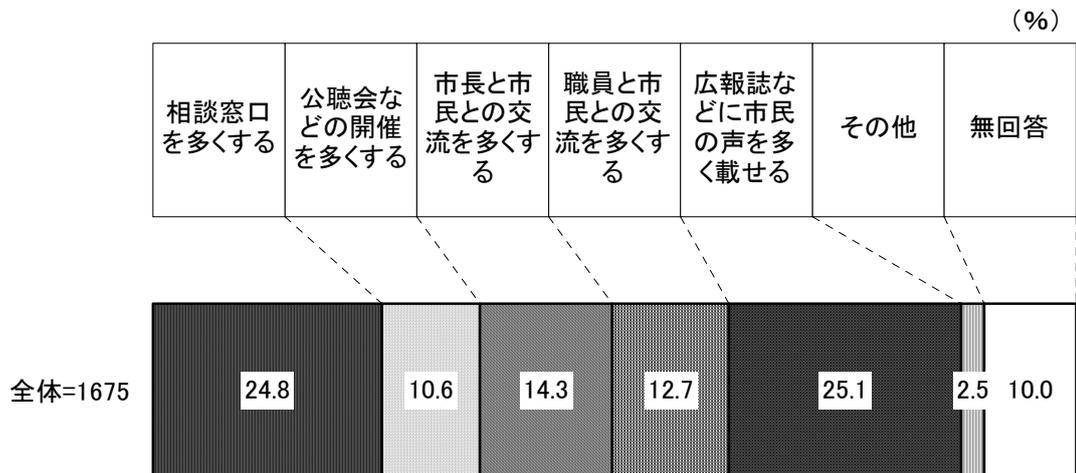
### ◆「広報紙などに市民の声を多く載せる」と「相談窓口を多くする」が25%

市民の声を反映しやすくするために必要なことは、「広報誌などに市民の声を多く載せる」(25.1%)と「相談窓口を多くする」(24.8%)が25%と最も多く、ついで「市長と市民との交流を多くする」(14.3%)、「職員と市民との交流を多くする」(12.7%)、「公聴会などの開催を多くする」(10.6%)となっている。

性別では、男性は「職員と市民との交流を多くする」、女性は「広報誌などに市民の声を多く載せる」がやや多くなっている。

年齢別では、20代は「相談窓口を多くする」が34.8%と多くなっている。

問 28 市政に市民の声を反映しやすくするためには、どんなことに力を入れることが必要だとお考えですか。次の中から1つ選び○をつけてください。



(%)

		n	相談窓口を多くする	公聴会などの開催を多くする	市長と市民との交流を多くする	職員と市民との交流を多くする	広報誌などに市民の声を多く載せる	その他	無回答
全体		1675	24.8	10.6	14.3	12.7	25.1	2.5	10.0
性別	男	807	23.3	12.6	15.4	15.7	23.0	2.5	7.4
	女	773	27.3	9.1	14.2	9.8	27.6	2.5	9.6
年齢	20～29 歳	66	34.8	9.1	13.6	10.6	24.2	6.1	1.5
	30～39 歳	148	28.4	8.1	13.5	12.2	30.4	4.1	3.4
	40～49 歳	215	28.8	8.4	14.9	8.8	27.4	5.1	6.5
	50～59 歳	285	23.2	11.6	15.1	10.9	26.7	4.6	8.1
	60 歳以上	891	23.6	11.8	14.6	14.6	23.2	0.7	11.6

## (6) 市政への参加について

### ◆何らかの形で参加や意見を述べたいとする人が47.0%

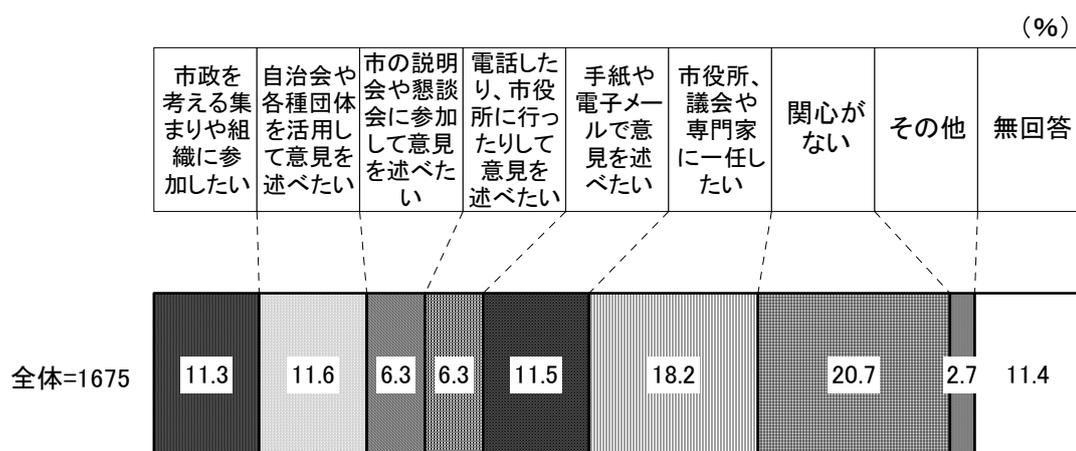
市政への参加については、「自治会や各種団体を活用して意見を述べたい」(11.6%)、「手紙や電子メールで意見を述べたい」(11.5%)、「市政を考える集まりや組織に参加したい」(11.3%)、「市の説明会や懇談会に参加して意見を述べたい」(6.3%)、「電話したり、市役所に行ったりして意見を述べたい」(6.3%)と何らかの形で参加や意見を述べたいと考える人が約半数となっている。

一方、「関心がない」(20.7%)と「市役所、議会や専門家に一任したい」(18.2%)とする人は38.9%となっている。

性別では、女性は「関心がない」が26.1%と約4人に1人の割合となっている。

年齢別では、20代と30代では「手紙や電子メールで意見を述べたい」、40歳以下では「関心がない」が3割前後となっている。

問 29 市政への参加についてどのようにお考えですか。次の中から1つ選び○をつけてください。



(%)

		n	市政を考 える集まり や組織に 参加 したい	自治会や 各種団体 を活用して 意見を 述べたい	市の説明 会や懇談 会に参加 して意見を 述べたい	電話した り、市役所 に行ったり して意見を 述べたい	手紙や電 子メールで 意見を 述べたい	市役所、 議会や 専門家に 一任したい	関心が ない
全体		1675	11.3	11.6	6.3	6.3	11.5	18.2	20.7
性別	男	807	14.1	12.9	8.8	7.3	12.8	18.7	16.6
	女	773	8.5	10.1	4.0	5.2	11.4	17.7	26.1
年齢	20～29 歳	66	7.6	4.5	1.5	10.6	28.8	9.1	34.8
	30～39 歳	148	5.4	6.1	2.0	3.4	31.8	14.9	31.1
	40～49 歳	215	8.4	10.7	6.0	3.7	21.4	10.7	28.4
	50～59 歳	285	13.3	15.4	8.1	4.9	13.0	14.4	21.8
	60 歳以上	891	12.7	11.8	7.1	7.5	4.7	22.6	16.4

## (7) 今後の行政運営について望ましいと思う方向

### ◆『行政の責任で進める』が46.8%

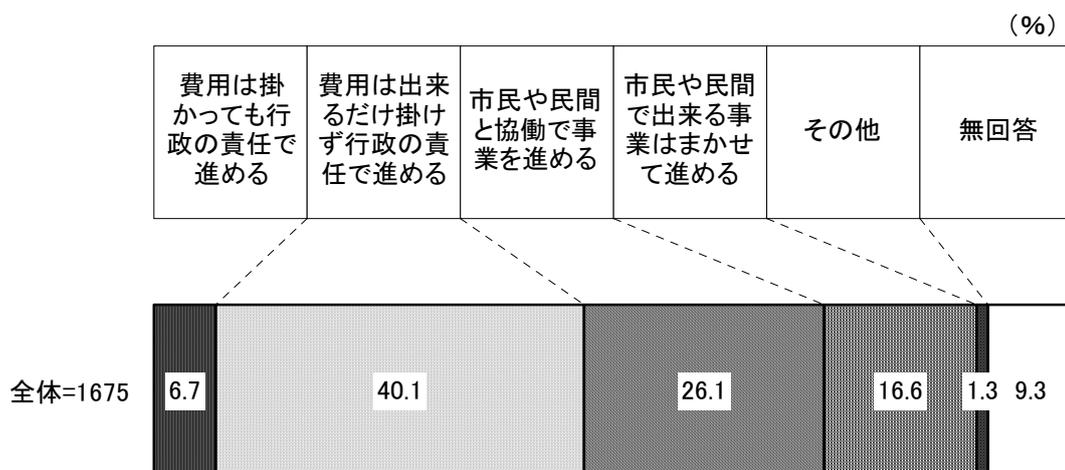
今後の行政運営について望ましいと思う方向については、「費用は出来るだけ掛けず行政の責任で進める」が40.1%と最も多く、「費用は掛かっても行政の責任で進める」(6.7%)を合わせると46.8%が『行政の責任で進める』としている。

一方、「市民や民間と協働で事業を進める」は26.1%、「市民や民間で出来る事業はまかせて進める」は16.6%となっている。

性別では、特に大きな差はみられない。

年齢別では、30代、50代、60歳以上は『行政の責任で進める』が5割近いが、20代では34.9%にとどまり、「市民や民間と協働で事業を進める」が47.0%と多くなっている。

問 30 今後の行政運営について、どのような方向が望ましいと思いますか。次の中から1つ選び○をつけてください。



(%)

		n	費用は掛かっても行政の責任で進める	費用は出来るだけ掛けず行政の責任で進める	市民や民間と協働で事業を進める	市民や民間で出来る事業はまかせて進める	その他	無回答
全体		1675	6.7	40.1	26.1	16.6	1.3	9.3
性別	男	807	8.2	40.4	26.6	18.7	0.6	5.5
	女	773	5.2	41.3	26.9	14.7	2.1	9.8
年齢	20～29歳	66	6.1	28.8	47.0	15.2	3.0	0.0
	30～39歳	148	10.8	36.5	30.4	16.2	2.0	4.1
	40～49歳	215	6.5	35.3	28.8	22.3	1.4	5.6
	50～59歳	285	4.2	43.5	30.5	15.8	1.1	4.9
	60歳以上	891	7.0	42.3	22.7	15.6	1.1	11.3

### (8) 古代蓮（行田蓮）を第2の市の花にすることについて

◆「賛成」55.9%、「反対」3.1%、「どちらでもよい」36.3%

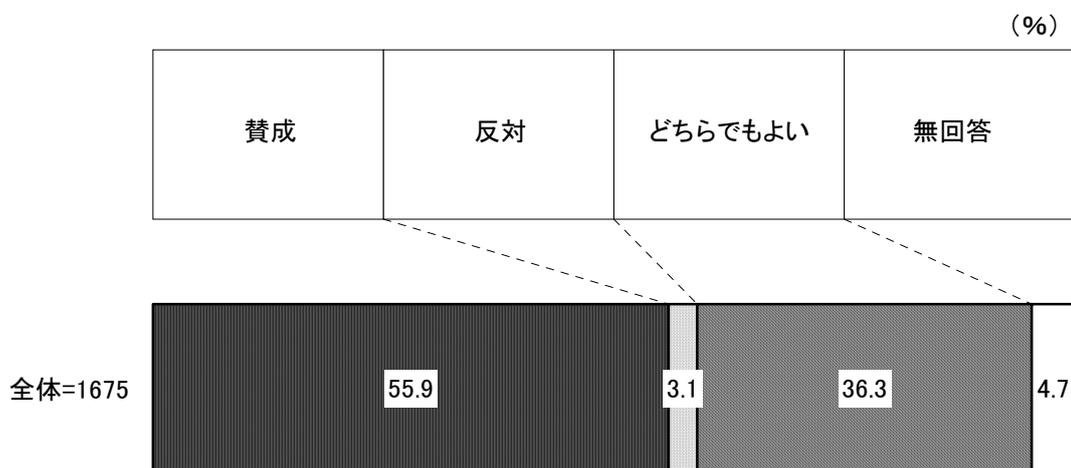
古代蓮（行田蓮）を第2の市の花にすることについては、「賛成」が55.9%と半数強を占めている。

一方、「反対」は3.1%と少ないが、「どちらでもよい」とする人も36.3%と4割近くとなっている。

性別では、特に大きな差はみられない。

年齢別では、20代と30代で「賛成」が6割以上となっている。

問31 古代蓮(行田蓮)を第2の市の花にすることについてどのようにお考えですか。次の中から1つ選び○をつけてください。



(%)

		n	賛成	反対	どちらでもよい	無回答
全体		1675	55.9	3.1	36.3	4.7
性別	男	807	54.9	4.1	37.8	3.2
	女	773	58.1	2.2	35.7	4.0
年齢	20～29歳	66	60.6	1.5	37.9	0.0
	30～39歳	148	62.2	0.0	37.8	0.0
	40～49歳	215	54.9	2.8	39.1	3.3
	50～59歳	285	57.2	4.2	36.5	2.1
	60歳以上	891	54.5	3.6	36.1	5.7

### **III. 自由回答一覽**

## 1. 自由回答意見記述者数

### (1) 性・年齢別意見記述者数

計408名

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	計
男性	7	16	29	46	111	0	209
女性	10	24	29	34	86	0	183
不明	0	1	0	1	4	10	16
計	17	41	58	81	201	10	408

### (2) 分野別意見数

計497件

都市整備	環境の整備	保健・医療・福祉 の充実	教育・文化	産業・観光の 振興
76	21	44	30	39
行政	合併	アンケート	その他	
204	4	40	39	

※自由回答を内容により各分野に分けたため、記述者数とは一致しない。

## 2. 分野別意見一覧

### (1) 都市整備

#### ○道路、橋、交通について

- ・ベビーカーで歩道を歩いていると、段差が多く、登り降りが大変である。お年寄りや車いす等の人も不便に感じていると思うので整備してほしい。
- ・道路整備を重点にお願いしたい。
- ・市内の歩道が悪い。斜めの道は歩きづらい。
- ・主要部の道路の整備だけではなく、全体を考えてほしい。特に歩道の整備は近隣市町村より劣っていると思う。
- ・行田市内の道路には歩道がない所が多いので、子供を歩かせたりすることが心配である。通学路だけでも歩道の設置を望む。
- ・道路の段差、凸凹道、狭い道など、歩行者と自転車に安全でやさしい道作りを推進してほしい。
- ・整備は舗装路だけでなく砂利道等の雑草がたくさん生えている所など歩行や通行に支障をきたす、環境が悪化している所を優先して行っていただきたい。
- ・循環バスの利用が充実するようにルート、時間を考えてほしい。
- ・循環バスを全線、JR 行田駅に行くよう改善してほしい。JR 行田駅は市の表玄関なのだからもう少し活発に利用したい。
- ・交通が不便で車がないと買い物にも医療機関にも行けない。
- ・循環バスをもう少し活用できるものにしてほしい。

#### ○公園・緑地などについて

- ・古代蓮の里のトイレがとても汚い。今とても蓮がきれいに咲いていて、いろいろな地域の人たちも来ると思うので、もっと清掃したほうが良い。
- ・公園には、小学生以上の遊具はどこでも設置してあるが、幼児が安全に遊べるところがなく、小学生と一緒に使用していると大きい子が幼児とぶつかったりして危ない。幼児だけの専用遊具を同じ公園内に設置してもえると安心して遊ばせられる。
- ・子供が安心して遊べる公園が少ないと思う。
- ・公園などの樹木の強い剪定を見ると、できるだけ自然な形を保つべきだと思う。人工臭を感じて落ち着かない気がする。
- ・古代蓮の里の見学歩道の掛け替え費用が高すぎたのではないか。また、期間がかかりすぎていると思う。園内の除草の回数が多すぎではないか。ネジ花、ユウゲシヨウなどは除草の際に残してほしい。また、蝶やテントウ虫のすめる公園にしてほしい。

#### ○防犯・防災について

- ・防災ぎょうだの放送がよく聞こえない。(車の通りが多いので)
- ・危険な犯罪、外国人の取り締まりを強化してほしい。
- ・夜間の警察によるパトカーのパトロールを増加してほしい。
- ・通学路の街灯を増やしてほしい。
- ・不審者が多いので警察のパトロールを多くしてほしい。

#### ○上下水道、都市ガスの整備

- ・上下水道の整備を進めてほしい。
- ・本下水、都市ガス環境整備。
- ・下水道工事の遅さには失望している。

## ○その他

- ・下水溝に土砂が入り、住宅の生活雨水の流れを止めている。蚊等が発生していて夏は大変である。また、下水溝の建設構造も下流が上流より高く、常に水が溜まった状態であったり、同じ道路でも反対の下水溝にはほとんど水がなく、いつも乾いていたりする。高額の費用をかけて整備するのだから、もう少しきっちりとしたものをつくってほしい。

## (2) 環境の整備

### ○ごみの収集、リサイクルについて

- ・ごみの収集所は、分別ができていないため収集されないものが散らかっている。掃除はいつも同じ人がしているので、各家庭の間の所に出しておくことが良いと思う。
- ・ごみ処理問題が遅れているので推進してほしい。
- ・古紙の回収を希望。
- ・燃えないごみは現在週1回の収集だが、少なすぎると思う。5月などは休日が重なり、3週間分もたまってしまいごみを出すことが出来なかった。クリーンセンターに持って行くのは手間がかかる。せめて週2回に増やしてほしい。
- ・資源ごみの収集が月1回では少なすぎる。燃えるごみの収集は毎日必要ない。紙袋での収集しかしていないが、炉をいためない素材は他にもある。紙だと雨の日にごみは出しづらい。

### ○騒音・悪臭などについて

- ・下水道の蓋が整備されてないため、悪臭がひどい。

## ○その他

- ・行田市桜町地内は桜の時期になると桜はきれいだが、川が大変汚い。夏になると臭い。
- ・環境汚染が進まないことを願う。昔はホテルがたくさんいてきれいだった。

## (3) 保健・医療・福祉の充実

### ○高齢者について

- ・高齢者の就労に対して、もっと積極的な施策がほしい。
- ・高齢でひとり暮らしのため視野が狭いので、老人会、サロン会などの時、市職員にいろいろ参考になる話をしてほしい。
- ・採算のとれる老人ホームを増やして、その方面で行田市の名を上げてはと思う。
- ・体の不自由な高齢者が通院する際の移動手段を確保してほしい。

### ○保健・医療について

- ・病院の充実に力を入れてもらいたい。市内の病院の評判が極めて悪い。
- ・医療費削減対策。(早期ラジオ体操励行、太極拳等)

### ○児童・子育て支援について

- ・子育て支援のさらなる充実を望む。
- ・育児手当の対象年齢を義務教育のある中学生まで上げるべき。
- ・子育て、妊娠、出産などの支援金や補助を増やしてほしい。
- ・子供の医療費の免除を中学生(15歳まで)に延ばしてほしい。

## ○その他

- ・ひとり親に対しての配慮を強化してほしい。
- ・福祉の面では費用を増やしていった方が良いと思う。
- ・身体障害者、高齢者への経済的、家事支援などさらに充実してもらいたい。

## (4) 教育・文化

### ○教育・文化施設について

- ・公民館、図書館を夏期休暇中は開放してほしい。
- ・市民プールの駐車場がいつもいっぱい。
- ・図書館でネットができないのは遅れていると思う。

### ○スポーツ施設などについて

- ・子供のスポーツ環境に力を入れてほしい。例えば、野球人口とサッカー人口ではサッカー人口が多いのに、行田市だけサッカー場がない。
- ・行田市営の公認パークゴルフ場を新設してほしい。
- ・子供がやっているスポーツ（サッカー）のグラウンドがない。野球などと共同で使える場所はなかなか空いていない。河川敷などをもっと有効活用できないものか。

### ○教育環境などについて

- ・ゆとり教育をやめるべきだと思う。
- ・学区（指定校）の区切り方の見直し。生活道路で区切られてしまうと隣近所で行き来はあり地区などの班は一緒なのに、学校が分かれてしまう。親も子も困惑。学区など決定する人は実際の住所の数字だけにとらわれず、細かな調査も必要だと思う。
- ・教育、小・中学校の先生方の充実。子供に対する情熱がほしい。
- ・行田市内に偏差値 60 前後の進学校（高校）をつくってほしい。
- ・学校校庭の芝生化。

### ○その他

- ・子どもには、なるべく市の事業（スポーツ、イベント、お祭り）に参加させたいが、なかなか時間がとれない。なるべく長期休業中に合わせてやってほしい。学校が休みだと子どもが暇している。

## (5) 産業・観光の振興

- ・商店を元気にして活気ある町にしてみたい。
- ・企業の誘致、大型商店（スーパー）等の誘致など、人が町から出て行かないよう活気のあるまちづくりをしてもらいたい。
- ・学校、企業への誘致を積極的に支援し、町の活性化を図る。
- ・近隣市町にあるような何でもそろうショッピングモールを建ててほしい。
- ・町中にデパートがほしい。
- ・城下町の古いのれん商法では町の発展、進化はこれ以上の期待は…。
- ・埼玉古墳群は世界遺産には絶対にならないので、そんなことに無駄にお金を使わないでほしい。現実的ではない。
- ・企業誘致や第一次産業である農業に参入できるような制度を確立する市が重要と考える。
- ・世界遺産活動を実施している様子は感じているが、莫大なコストをかけてまでその活動を続ける必要はないと思う。さきたま古墳公園及び古代蓮の里を整備し、市外からも期待通りの観光客が集まっているのであれば、世界遺産という「称号」は要らないと思う。それでも近い将来、低予算で達成できる勝算があるのであれば、行田市の名を一気に有名にさせるチャンスなので頑張っていたきたい。

## (6) 行政

### ○職員について

- ・まだまだ市民の側に立った市職員の対応に至っておらず、相談に行っても親身さや真剣さはない。職員には高い公僕としての意識改革を求めたい。
- ・もっと元気で明るく大きな声で対応してほしい。
- ・市職員の話しかけにくいところや態度の悪さを改善した方がよい。お客様としてもっとしっかり接客した方がよい。
- ・市役所等の窓口業務は多忙とは思いますが、接客面からも来客があった場合に素早い対応をお願いしたい。
- ・市役所の職員のコソコソ話す姿が不快である。
- ・市職員が多すぎると思う。雑談をしている人が多い。
- ・行田市の職員は他市の職員に比べ親しみやすく親切。

### ○税金・財政について

- ・行田市は特に税金が高いように思う。
- ・税金は大切に有意義に使う。
- ・経費に無駄がないか、徹底して見直してもらいたい。
- ・財政の将来展望をもっと責任をもって示してほしい。
- ・利用者の少ない施設は血税がもったいない。
- ・市の財政の無駄づかいはやめてほしい。

### ○市政について

- ・以前より市政は情報開示が進んで明るいイメージを持つようになって良い事だと思う。もっと開かれた行政を推進してほしい。
- ・縦割り行政のデメリットが多々ある。
- ・今の市政方針に充分満足している。
- ・現在の市政に感謝している。今後とも改革などやらず、現在の行田市であってほしい。
- ・難しいことかも知れないが、国の方針と少し違っても市民にとって良い事は進めてほしい。

### ○行政改革、庁舎などについて

- ・職員の勤務時間を、うまく割りふる工夫等をして、平日の窓口時間を 17 時 15 分より延長してほしい。
- ・市役所が薄暗くて、つい足が遠のいてしまう。明るくて清潔に。
- ・市役所を建て直して行田市の顔にする。
- ・役所の駐車場が少ない。
- ・市へ提案した事がどうなったのか答えがない。「なんでも、すぐやる課」を設けてほしい。
- ・庁舎が老朽してはいるが、カウンター外の整理整頓を少し気にかけても良いのでは。

### ○広報・広聴、市政への市民の参加について

- ・広報誌の充実。
- ・市政の課題、問題点が分からない。広報機会を増やし、市民と議題の共有を図るべき。
- ・一目で行田市のことがわかるものを転入届提出の際もらえるとありがたい。
- ・市長と語る対話集会では市長はじめ各課の取り組みが真摯な態度で大変好感がもてた。今後市民の声を大切にし、様々な活動を展開してほしい。
- ・市長への手紙は、内容を充分考え、つじつまが合うように考慮してほしい。

### ○将来のまちづくり

- ・今後、よりよいまちづくりになってほしいと心より願っている。
- ・市民がずっと住み続けたいと思えるような市になるよう期待している。
- ・人が集まる町にしていきたい。
- ・人がたくさん集まってくる活気のある行田市にしてほしい。
- ・子供と高齢者が安心して住める市にしてほしい。

## ○その他

- ・市議会議員の定数削減、歳費の日当制を望む。
- ・住基ネットの活用が有意義にされていないような気がする。システム上の問題か。
- ・情報公開の条例がある一方で、個人情報の保護条例があるが、これらによって本来の市政や市民生活が沈滞したりする面が出てくる。このようなことがないように行政のリーダーシップが問われてくる。十分な配慮が要求される。

## (7) 合併について

- ・市町村合併について、これからどのような行田市にして行くのか、まったく見えて来ない。
- ・熊谷市と合併した方がよい。
- ・他市町村との合併を推進し、行政費用の削減をすること。

## (8) アンケートについて

- ・高齢者に対する意見や要望の問がない。
- ・居住年数が3年未満の者には難しい質問が多い。もっと居住年数の長い人にこのアンケートを届けたら良いと思う。
- ・アンケートの目的不明。謝礼なし。
- ・アンケート類がよく届くので本当に無作為にしているのか。
- ・このアンケートの結果の集計はどのように活用されるのか。そして、どのようにフォローするのか。
- ・このようなアンケートをとることに驚いた。市民の声など取り入れる行政ではないと思っていた。
- ・これだけ時間を費やさせたのだから、このアンケート結果をしっかりと反映させてほしい。
- ・市政に参加する機会などはないと思うので、たまに今回のようにさまざまな事に関して市民へアンケートなどすると良いと思う。

## (9) その他

- ・ほとんどの市町村（自治体）で運営している墓地公園をつくってもらいたい。
- ・市の介護調査に来る人に不満があった。
- ・最近の仕事が少なすぎるのにハローワークが閉まるのが早すぎる。こんな時期だからこそ長くするべきではないか。
- ・持田地区をもっと発展させてほしい。
- ・先祖から受け継がれてきた農地や河川を子孫に引き継ぐようにしてほしい。
- ・シンボルはもういない。税金のムダ。シンボルを作っても、町はさびれていくのはなぜか。答えは失敗だから。

## **IV. 調查票**

# 行 田 市 民 意 識 調 査

～皆さんの協力をお願いします～

市民意識調査とは、市民の皆さんが必要としていることなどを把握し、各種行政施策の基礎資料とするために実施するものです。

この調査は、住民基本台帳（平成21年5月31日現在）から無作為に選ばれた20歳以上の市民の方3,000人を対象に行います。なお、この調査は無記名で行い、回答は統計的に処理しますので、お答えいただいた方を特定することはなく、ご迷惑をお掛けすることはありません。

市民意識調査は市民の皆さんの声を市政に反映させるための取り組みです。ご協力をお願いいたします。

平成21年7月

## ご記入にあたってのお願い

1. 必ずあて名のご本人がお答えください。
  2. お答えは、最初から1問ずつ、全部の質問にお答えください。
  3. お答えは、該当するものに○をつけてください。なお、質問によっては回答が複数になるものもありますので、質問をよくお読みください。
  4. お答えの中で「その他」を選んだときは、お手数ですが、その内容を（ ）内に具体的にご記入ください。
  5. この調査でわからない点がありましたら、広報広聴課広報広聴担当へお尋ねください。（TEL 556-1111 内線318）
- \* この調査票をご記入いただきましたら、恐縮ですが、同封の返信用封筒で7月22日（水）までにご返送ください。なお、切手は不要です。  
あなたのご回答を心よりお待ち申し上げます。

I. はじめに、調査結果を統計的に集計・分析するために、あなた自身のことについてお尋ねします。該当するものに1つ○をつけてください。

F 1 性別	1. 男	2. 女
--------	------	------

F 2 年齢	1. 20～29 歳	4. 50～59 歳
	2. 30～39 歳	5. 60 歳以上
	3. 40～49 歳	

F 3 職業	1. 専門職（医師、税理士、専門技術職など） 2. 管理職（会社の重役、課長など） 3. 会社等事務従事者 4. 公務員、教員 5. 製造業、小売業等従事者、運転手 6. 農林漁業、畜産業 7. サービス業（理・美容、マッサージ、接客業など） 8. 自営業（商、工、建築業、製造業など） 9. 学生 10. 主婦 11. 無職 12. その他
--------	--

F 4 居住年数	1. 3年未満	4. 15年以上 20年未満
	2. 3年以上 7年未満	5. 20年以上
	3. 7年以上 15年未満	

F 5 居住地区	1. 忍	5. 星河	9. 荒木	13. 太田
	2. 行田	6. 長野	10. 須加	14. 太井
	3. 佐間	7. 星宮	11. 北河原	15. 南河原
	4. 持田	8. 下忍	12. 埼玉	

F 6 家族構成	1. 夫婦だけ	4. 単身世帯
	2. 二世代世帯	5. その他
	3. 三世代世帯	

F 7 住居形態	1. 一戸建（持ち家）
	2. マンション等（持ち家）
	3. 一戸建（借家）
	4. 民間アパート・マンション（借家）
	5. 給与住宅（社宅、寮、公務員宿舎など）
	6. その他

## II. まちの暮らしやすさなどについて、お尋ねします

問1 行田市の住み心地についてお尋ねします。

(1) 行田市の住み心地はいかがですか。次の中から1つ選び○をつけてください。

- |                 |       |                  |       |
|-----------------|-------|------------------|-------|
| 1. 住みよい         | →(2)へ | 4. どちらかといえば住みにくい | →(3)へ |
| 2. どちらかといえば住みよい | →(2)へ | 5. 住みにくい         | →(3)へ |
| 3. ふつう          | →(4)へ |                  |       |

(2) <(1)で「1. 住みよい」「2. どちらかといえば住みよい」とお答えになった方にお尋ねします> そのように思われる理由を、次の中から3つまで選び○をつけてください。

- |   |
|---|
| 1. 住み慣れている                                    |
| 2. 人間関係（近所付き合いなど）がよい                          |
| 3. まちの雰囲気がよい                                  |
| 4. 道路、排水などの都市施設が整っている                         |
| 5. 文化、スポーツなどの公共施設が整っている                       |
| 6. 交通の便がよい                                    |
| 7. 買い物の便がよい                                   |
| 8. 子どもの教育環境がよい                                |
| 9. 自然環境がよい                                    |
| 10. 公害（騒音・振動・悪臭など）がない                         |
| 11. 商売や仕事の便がよい                                |
| 12. その他（ <span style="float: right;">）</span> |

(3) <(1)で「4. どちらかといえば住みにくい」「5. 住みにくい」とお答えになった方にお尋ねします> そのように思われる理由を、次の中から3つまで選び○をつけてください。

- |   |
|---|
| 1. 住み慣れていない                                   |
| 2. 人間関係（近所付き合いなど）がわるい                         |
| 3. まちの雰囲気がわるい                                 |
| 4. 道路、排水などの都市施設が整っていない                        |
| 5. 文化、スポーツなどの公共施設が整っていない                      |
| 6. 交通の便がわるい                                   |
| 7. 買い物の便がわるい                                  |
| 8. 子どもの教育環境がわるい                               |
| 9. 自然環境がわるい                                   |
| 10. 公害（騒音・振動・悪臭など）がある                         |
| 11. 商売や仕事の便がわるい                               |
| 12. その他（ <span style="float: right;">）</span> |

(4) 今後も行田市に住み続けたいとお考えですか。次の中から1つ選び○をつけてください。

- |               |
|---------------|
| 1. 一生住み続けたい   |
| 2. ある程度住み続けたい |
| 3. 移転したい      |
| 4. どちらともいえない  |

問2 行田市の生活環境や市の施設についてどのように感じていますか。次の項目ごとに該当する番号をそれぞれ1つ選び○をつけてください。

	満足している	どちらかといえ ば満足している	ふつうである	どちらかといえ ば不満である	不満である
(1) 道路・交通					
① 道路の整備について	1	2	3	4	5
② バスの便と路線網について	1	2	3	4	5
③ 鉄道の便について	1	2	3	4	5
④ 交通安全対策について	1	2	3	4	5

(2) 生活環境

① 上水道の整備について	1	2	3	4	5
② 下水道の整備について	1	2	3	4	5
③ ごみの収集処理について	1	2	3	4	5
④ 自然環境及び公園・緑地について	1	2	3	4	5
⑤ 子どもの遊び場について	1	2	3	4	5
⑥ 災害時の避難体制について	1	2	3	4	5
⑦ 防犯体制について	1	2	3	4	5
⑧ 河川・用水の整備について	1	2	3	4	5
⑨ 悪臭・騒音・振動などの公害について	1	2	3	4	5
⑩ 日用品などの買物の便利さについて	1	2	3	4	5

(3) 教育・文化・コミュニティ

① 小・中学校などの教育施設について	1	2	3	4	5
② 小・中学校などの教育内容や取り組みについて	1	2	3	4	5
③ 幼稚園などの幼児施設について	1	2	3	4	5
④ 公民館や図書館などの公共施設について	1	2	3	4	5
⑤ 公共施設の集会機能について	1	2	3	4	5
⑥ スポーツ・レクリエーション施設について	1	2	3	4	5
⑦ 生涯学習などの学習機会について	1	2	3	4	5
⑧ 文化・趣味・スポーツなどの地域活動やサークル活動への参加機会について	1	2	3	4	5
⑨ 広報誌などの広報活動について	1	2	3	4	5
⑩ 観光施設について	1	2	3	4	5

(4) 保健・医療・福祉

① 健診などの保健活動について	1	2	3	4	5
② 医療機関・医療体制について	1	2	3	4	5
③ 夜間・休日などの救急医療について	1	2	3	4	5
④ 保育所等の児童福祉について	1	2	3	4	5
⑤ 高齢者に対する福祉について	1	2	3	4	5
⑥ 障害者に対する福祉について	1	2	3	4	5

問3 これからの市政において、特に力を入れてほしいものは何ですか。次の中から3つまで選び○をつけてください。

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1. 道路や橋、交通の整備   | 14. 公共施設の市町村間の相互利用 |
| 2. 市街地や住宅の整備    | 15. 農業の活性化         |
| 3. 公園・街路樹整備     | 16. 工業の活性化         |
| 4. 水や緑など自然環境の保全 | 17. 商業の活性化         |
| 5. 歴史・文化遺産の保全   | 18. 観光・レクリエーションの充実 |
| 6. ごみ処理やリサイクル   | 19. 学校教育の充実        |
| 7. 消防や防災・防犯     | 20. 社会教育・生涯学習の充実   |
| 8. 保健や医療の充実     | 21. 文化・スポーツの振興     |
| 9. 社会福祉の充実      | 22. 市財政の健全化、行政の合理化 |
| 10. 男女共同参画社会の推進 | 23. 市政への住民参加       |
| 11. 国際交流の推進     | 24. 児童・生徒の保護対策     |
| 12. 情報公開の推進     | 25. その他 ( )        |
| 13. 広域行政の推進     |                    |

問4 行田市が、将来どんなまちになったらよいとお考えですか。次の中から2つまで選び○をつけてください。

- |                         |
|-------------------------|
| 1. 歴史・文化や自然を生かしたまち      |
| 2. 観光資源を生かした観光振興のまち     |
| 3. 商業や産業が発展し、経済活動が盛んなまち |
| 4. 生活環境の整ったまち           |
| 5. 教育・文化の充実したまち         |
| 6. 社会福祉の充実したまち          |
| 7. その他 ( )              |

### Ⅲ. 地域との関わりについて、お尋ねします

問5 地域的な活動（「地域のまちづくり」や「コミュニティ（地域社会）づくり」など）についてお尋ねします。

(1) 地域的な活動への参加についてどのようにお考えですか。次の中から1つ選び○をつけてください。

- |               |       |                  |      |
|---------------|-------|------------------|------|
| 1. 積極的に参加する   | →(2)へ | 3. 参加したいが時間や暇がない | →問6へ |
| 2. 求められれば参加する | →(2)へ | 4. わずらわしいので参加しない | →問6へ |
|               |       | 5. 意識していない       | →問6へ |

(2) < (1) で「1. 積極的に参加する」「2. 求められれば参加する」とお答えになった方にお尋ねします> 主にどのような地域活動に参加したいとお考えですか。次の中から該当するものすべてを選び○をつけてください。

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 地域の清掃活動                        |
| 2. 地域のリサイクル活動                     |
| 3. スポーツ活動（少年野球・バレーボール・サッカー等の指導など） |
| 4. お祭り                            |
| 5. P T A                          |
| 6. その他 ( )                        |

問6 ボランティア活動について、お尋ねします。

(1) あなたは、ボランティア活動に参加していますか。次の中から1つ選び○をつけてください。

- |               |       |                |       |
|---------------|-------|----------------|-------|
| 1. 積極的に参加している | →(2)へ | 3. 参加したいが機会がない | →(3)へ |
| 2. ときおり参加している | →(2)へ | 4. 参加していない     |       |

(2) <(1)で「1. 積極的に参加している」「2. ときおり参加している」とお答えになった方にお尋ねします> 主にどのようなボランティア活動に参加されていますか。次の中から該当するものすべてを選び○をつけてください。

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 福祉活動（高齢者・傷病者・身障者の介護など）         |
| 2. 環境浄化活動（道路・公園・河川等の清掃など）         |
| 3. スポーツ活動（少年野球・バレーボール・サッカー等の指導など） |
| 4. 文化活動（書道・絵画・手芸等の指導など）           |
| 5. 交通安全活動（交通事故防止運動など）             |
| 6. 青少年健全育成活動（非行防止運動、キャンプ等の指導など）   |
| 7. 国際交流活動                         |
| 8. 子育て支援活動                        |
| 9. その他（ )                         |

(3) <(1)で「3. 参加したいが機会がない」とお答えになった方にお尋ねします> どのような理由なのか、次の中から該当するものすべてを選び○をつけてください。

- |                            |
|----------------------------|
| 1. 仕事が忙しくて時間がとれない          |
| 2. 活動に参加している知人がいない         |
| 3. どのようなボランティア団体があるのかわからない |
| 4. 活動に関する情報が得られない          |
| 5. その他（ )                  |

#### IV. 今後のまちづくりについて、お尋ねします

問7 少子・高齢化社会に対応したまちづくりについてお尋ねします。

(1) 今後の少子化社会に対応するためにはどのような施策が重要だとお考えですか。次の中から3つまで選び○をつけてください、

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1. 多様な保育ニーズ（一時保育や延長保育など）への対応       |
| 2. 放課後児童対策の充実                      |
| 3. 子育てや教育などの相談機能の強化                |
| 4. 子育てしやすい住環境の整備                   |
| 5. 子育てしやすい都市環境（道路、駅、公共施設など）の整備     |
| 6. 保健・医療の充実                        |
| 7. 女性の就労機会の拡大や就労環境の整備              |
| 8. 各種助成制度の充実等の経済的支援                |
| 9. 地域的な子育て支援（情報の提供や高齢者、異年齢者との交流など） |
| 10. 援助活動など地域の人材の活用・育成              |
| 11. 子育て等の学習機会の提供                   |
| 12. 父親の育児参加の推進                     |
| 13. その他（ )                         |

(2) 今後の高齢化社会に対応するためにはどのような施策が重要だとお考えですか。次の中から3つまで選び○をつけてください。

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 介護保険制度の充実                      |
| 2. 相談窓口の充実や相談機能の強化                |
| 3. 生涯学習等の学習機会の充実                  |
| 4. ボランティアなどの地域の人材の活用と育成           |
| 5. 高齢者にやさしいバリアフリーなまちづくりの推進        |
| 6. 老人福祉センターなど、高齢者の余暇活動のための施設の充実   |
| 7. 高齢者の就労機会の充実                    |
| 8. 高齢者のいきがいを高める事業や他世代とのふれあいの機会の充実 |
| 9. 保健・医療の充実による高齢者の健康づくりの推進        |
| 10. 介護予防教室などのための公共施設の有効活用         |
| 11. 悪質商法の被害防止対策の充実                |
| 12. 高齢者の財産保護や虐待防止対策の推進            |
| 13. いきいきサロンなど、地域で交流できる場の提供        |
| 14. その他 ( )                       |

問8 環境にやさしいまちづくりについてお尋ねします。

(1) 行田市の環境は良いと感じますか。次の項目ごとに該当する番号をそれぞれ1つ選び○をつけてください。

	良いと感じる	良いと感じる	どちらかといえば	ふつうである	悪いと感じる	どちらかといえば	悪いと感じる
① 緑の整備状況	1	2	3	4	5		
② 生き物の営みの保護と育成状況	1	2	3	4	5		
③ 池や川の水のきれいさ	1	2	3	4	5		
④ 空気のきれいさ	1	2	3	4	5		
⑤ 歴史や文化との調合	1	2	3	4	5		
⑥ 公園の整備状況	1	2	3	4	5		
⑦ 道のきれいさ (たばこやごみのポイ捨てがない)	1	2	3	4	5		
⑧ ごみ分別の状況	1	2	3	4	5		
⑨ 資源・エネルギーの有効利用	1	2	3	4	5		
⑩ 市全体の環境配慮の意識	1	2	3	4	5		

(2) 市の環境を保全・改善するためにはどのような施策が重要だとお考えですか。次の中から3つまで選び○をつけてください。

1. リサイクル活動の促進
2. ごみの分別収集等の強化
3. 環境条例・環境協定の制定
4. 環境マネジメントシステム (ISO 14000) の導入
5. ごみにならない製品の製造・販売・購入の促進
6. 工場や道路・鉄道などの騒音・振動・悪臭などの防止・削減
7. 廃棄物の総量削減
8. 公園等公共緑地の整備、民有地における緑地協定など緑地の保全・創造
9. エコビジネス (環境に配慮した業務を行うビジネス) の育成
10. 低公害車の普及促進
11. 市内の総合的な自動車交通総量の削減
12. 水辺環境の保全整備
13. 土地利用の制限強化
14. 環境保全の普及・啓発活動
15. その他 ( )

(3) 市のごみ収集体制 (収集回数や分別方法など) についてどのようにお考えですか。次の中から2つまで選び○をつけてください。

1. 現在の収集回数・分別方法でよい
2. 収集回数を増やしたほうがよい  
\*増やしたほうがよいものを次の①～⑤の中からすべて選び○をつけてください。  
① 燃えるごみ ② 燃えないごみ ③ 粗大ごみ ④ 有害ごみ ⑤ 資源物
3. 収集回数を減らしたほうがよい  
\*減らしたほうがよいものを次の①～⑤の中からすべて選び○をつけてください。  
① 燃えるごみ ② 燃えないごみ ③ 粗大ごみ ④ 有害ごみ ⑤ 資源物
4. もっと細かく分別したほうがよい
5. 分別の種類を減らしたほうがよい
6. ごみの有料化を検討したほうがよい
7. その他 ( )

問9 健康でいきいきとしたまちづくりについてお尋ねします。

(1) あなたは、健康についてどのようなイメージをもっていますか。次の中から2つまで選び○をつけてください。

1. 心身ともに健やかなこと
2. 快食、快眠、快便
3. 病気や障害があっても生きがいを持っていること
4. 何事も前向きに考えられる
5. 幸せなこと
6. 長生きできること
7. その他 ( )

(2) 健康づくりのためには何が重要だとお考えですか。次の中から3つまで選び○をつけてください。

- |   |
|---|
| 1. 定期健診などによる健康管理                              |
| 2. 健康を保つための食事と食育の推進                           |
| 3. 食生活の改善による生活習慣病の予防                          |
| 4. 適度なスポーツなどによる体力づくり                          |
| 5. 過労防止のための適切な睡眠・休息                           |
| 6. ストレス発散や気分転換                                |
| 7. 禁煙   |
| 8. 飲酒を控える                                     |
| 9. 健康講座・健康相談への参加や情報収集                         |
| 10. 身近な人や仲間との交流・支えあい（自主グループでの活動など）            |
| 11. その他（ <span style="float: right;">）</span> |

問10 歴史や文化遺産を生かしたまちづくりのためにはどのような施策が重要だとお考えですか。次の中から3つまで選び○をつけてください。

- |   |
|---|
| 1. 屋敷林のある田園風景等の保全                             |
| 2. 城下町としての街並みの保全                              |
| 3. まちの風景の魅力度をアップさせるための計画づくり                   |
| 4. 川辺や橋を整備し、うるおいのあるものにする                      |
| 5. 街路樹や歩道、車道を整備し、ゆとりのあるものとする                  |
| 6. 公共建物をシンボル性のあるものとする                         |
| 7. まちの風景は我が家からという発想を持つ                        |
| 8. さきたま古墳群を核とした世界遺産を目指すまちづくり                  |
| 9. 足袋蔵など歴史的建造物を保存・活用した風格のあるまちづくり              |
| 10. その他（ <span style="float: right;">）</span> |

問11 市の商業や産業の振興のためにはどのような施策が重要だとお考えですか。次の中から2つまで選び○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 新しい産業資源の発掘                                |
| 2. 歴史・文化資産を生かした施設や産業づくり                      |
| 3. 豊かな自然を生かしたレジャー・レクリエーション施設づくり              |
| 4. 農産物の加工開発や新しい農業経営の研究                       |
| 5. 商店街の整備                                    |
| 6. 企業の誘致                                     |
| 7. 若い世代の台頭や後継者の育成                            |
| 8. 市の計画や積極的な支援                               |
| 9. その他（ <span style="float: right;">）</span> |

問 12 市民の憩いの場であり、また子どもたちの遊び場である公園・緑地の維持管理についてどのようにすべきだとお考えですか。次の中から1つ選び○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 公園・緑地の清掃は住民が積極的に参加すべきである                  |
| 2. 公園・緑地の設備や立て札などは市で管理し、あとは利用者のモラルにまかせるべきである |
| 3. 公園・緑地は公共のものであり、基本的に市が管理すべきである             |
| 4. その他 ( )                                   |

問 13 あなたは、市から提供される情報でもっと詳しく知りたいものがありますか。次の中から3つまで選び○をつけてください。

- |                               |
|-------------------------------|
| 1. 市政の動向                      |
| 2. 困ったときに利用できる相談窓口などの案内情報     |
| 3. 催し物やイベントなどに関する情報           |
| 4. 文化・学習活動やスポーツ活動の情報          |
| 5. 各種サークル活動の情報                |
| 6. ボランティア活動についての情報            |
| 7. 保健・医療・福祉についての情報            |
| 8. 教育に関する情報                   |
| 9. ダイオキシンの環境に関する情報            |
| 10. 行田市の歴史・文化についての情報          |
| 11. 観光・レクリエーションなどのレジャーについての情報 |
| 12. その他 ( )                   |

問 14 インターネットの利用状況などについてお尋ねします。

(1) あなたの家庭にインターネットが利用できるパソコンはありますか。次の中から1つ選び○をつけてください。

- |                       |
|-----------------------|
| 1. ある                 |
| 2. 今はないが、将来保有するつもりである |
| 3. 保有するつもりはない         |

(2) インターネットに接続されたパソコンを利用して、国・県・市へ申請届出することができる手続きがあることを知っていますか。

- |          |         |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

(3) インターネットを使って利用したいと思う市のサービスがありますか。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. ある → (4) へ | 2. ない → (5) へ |
|---------------|---------------|

(4) <(3)で「1. ある」とお答えになった方にお尋ねします> 具体的にどんなサービスを利用したいですか。自由にご記入ください。

------------------

(5) あなたは、市のホームページ(携帯電話用サービスを含む)を見たことがありますか。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

(6) 市のホームページに掲載してほしい情報があれば具体的にご記入ください。

--

問 15 市内循環バスについてお尋ねします。

(1) 市内循環バスを利用したことはありますか。

1. ある → (2) へ	2. ない → (3) へ
---------------	---------------

(2) <(1)で「1. ある」とお答えになった方にお尋ねします> どのような目的で利用していますか。次の中から該当するものすべてを選び○をつけてください。

1. 市役所
2. 公共施設
3. 通院
4. 買い物
5. 観光
6. 娯楽・交友
7. 電車に乗り継ぐため (ア. 通勤・通学 イ. 通勤・通学以外)
8. その他 ( )

(3) <(1)で「2. ない」とお答えになった方にお尋ねします。> どのようになれば利用しますか。次の中から該当するものすべてを選び○をつけてください。

1. 運行便数の増加
2. 運行コースの変更
3. 運行時間の延長
4. 高崎線や秩父線への乗り継ぎの改善
5. 一周にかかる所要時間の短縮
6. その他 ( )

問 16 国際化社会に対応して本市の国際交流をどのように促進すべきだとお考えですか。次の中から2つまで選び○をつけてください。

1. 海外の都市と姉妹都市提携を結ぶなど全市レベルで交流を図る
2. 市民レベルでの生活・文化・スポーツの交流を促進する
3. 児童・生徒などの教育交流を促進する
4. 外国人との交流を深めていく
5. 技術・産業・物産面などの交流を促進する
6. 国際化に対応するための人材の育成を促進する
7. その他 ( )

問 17 市の教育方針として、今後どのような教育に力を入れるべきとお考えですか。次の中から2つまで選び○をつけてください。

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 豊かな人間性や個性を育てる心の教育 | 5. 高度な情報化社会に対応できる情報教育 |
| 2. 文化のまちにふさわしい質の高い教育 | 6. 国際社会に対応できる国際教育     |
| 3. いじめや虐待を防止する道徳教育   | 7. 人権教育               |
| 4. 環境や自然を大切にする環境教育   | 8. その他 ( )            |

問 18 市の防災体制として、どのような施策が重要だとお考えですか。次の中から2つまで選び○をつけてください。

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. 他市町村と連携した防災活動  | 5. 避難場所の確保・周知徹底 |
| 2. 防災意識の高揚（普及・啓発） | 6. 応急物資の確保      |
| 3. 地域の防災体制の強化推進   | 7. 災害時の情報網強化    |
| 4. 救急・救助体制の充実     | 8. その他 ( )      |

問 19 地域に開かれた大学を目指しているものづくり大学についてお尋ねします。

(1) 大学の施設を見学または利用したことがありますか。次の中から1つ選び○をつけてください。

- |                            |
|----------------------------|
| 1. ある                      |
| 2. ないが、機会があれば見学または利用したいと思う |
| 3. ないし、見学または利用したいと思わない     |

(2) 市では、ものづくり大学を核としたまちづくりに力を入れています。あなたが、今後、大学に期待することは何ですか。次の中から2つまで選び○をつけてください。

- |   |
|---|
| 1. 公開講座や大学の施設の利用など、地域に開かれたものにしてほしい        |
| 2. 若い人が増え、にぎわいが創出されるなど、まちの活性化にもつなげてほしい    |
| 3. 専門的な大学であり、技能習得の中心施設として、まちの産業発展に生かしてほしい |
| 4. 市内の小・中・高校と合同のイベントなどを行い、地域の活性化につなげてほしい  |
| 5. ものづくりの楽しさを、世代を超えて広めてほしい                |
| 6. その他 ( )                                |

問 20 あなたの通勤・通学先や、買物、行楽などの主たる行き先はどこですか。次の項目ごとに該当する番号をそれぞれ1つ選び○をつけてください。

	市内	近隣市町	県内	県外	そのような行動はしていない
① 通勤先・通学先	1	2	3	4	5
② 日常的な買物	1	2	3	4	5
③ 週末の買物	1	2	3	4	5
④ 病院等の利用	1	2	3	4	5
⑤ スポーツ・レクリエーション	1	2	3	4	5
⑥ 生涯学習、サークル、文化活動	1	2	3	4	5
⑦ 音楽会、観劇、美術鑑賞等	1	2	3	4	5
⑧ 自然に親しむ近距離の行楽	1	2	3	4	5
⑨ 歴史・文化に親しむ近距離の行楽	1	2	3	4	5

## V. 男女平等意識について、お尋ねします

問 21 男女の地位の平等感についてお尋ねします。

(1) 男女の地位は平等になっていると思いますか。次の項目ごとに該当する番号をそれぞれ1つ選び○をつけてください。

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば、男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば、女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	分からない
① 家庭生活のなかで	1	2	3	4	5	6
② 学校教育のなかで	1	2	3	4	5	6
③ 職場のなかで	1	2	3	4	5	6
④ 社会通念や慣習のなかで	1	2	3	4	5	6
⑤ 法律や制度のなかで	1	2	3	4	5	6
⑥ 地域活動の場で	1	2	3	4	5	6
⑦ 全体として	1	2	3	4	5	6

(2) 「男は仕事、女は家庭」という男女の役割分担の考え方がありますが、あなたはこの考え方に同感しますか。次の中から1つ選び○をつけてください。

1. 同感する	3. どちらともいえない
2. 同感しない	4. 分からない

(3) あなたの家庭では次のことがらを主にどなたが行っていますか。項目ごとに該当する番号をそれぞれ1つ選び○をつけてください。

	主に自分	自分と配偶者が同じくらい	主に配偶者	家族主に配偶者以外の	頼る家族以外の人に依	あてはまらない
① 炊事・洗濯・掃除等の家事	1	2	3	4	5	6
② 育児や子どものしつけ	1	2	3	4	5	6
③ 親や家族の介護	1	2	3	4	5	6
④ 自治会などの地域活動	1	2	3	4	5	6
⑤ 子どもの学校行事への参加	1	2	3	4	5	6

(4) あなたは、現在収入のある職業（パート・アルバイトを含む）についていますか。次の中から1つ選び○をつけてください。

1. 現在職業についている	→ (5) へ
2. 以前は働いていたが、現在は職業についていない	→ (5) へ
3. 今まで働いたことはない	

(5) < (4) で「1. 現在職業についている」「2. 以前は働いていたが、現在は職業についていない」とお答えになった方にお尋ねします> あなたの職場では、仕事の内容や接遇面で、女性に対して次のようなことがありますか。または、過去にありましたか。次の中から該当するものすべてを選び○をつけてください。

1. 男性に比べて女性の採用が少ない
2. 職務内容における男女差がある（女性は補助的な仕事が多いなど）
3. 賃金、昇給などに男女差がある
4. 女性は管理職などにはつけない
5. 女性は同じポストの男性より教育・研修の機会が少ない
6. 女性は結婚や出産で退職するという習慣がある
7. 女性は宴会などで接待役をさせられる
8. 特定の年齢以上の女性に退職を勧奨するような雰囲気がある
9. 特にない
10. その他 ( )

問 22 社会活動への参加の現状についてお尋ねします。

(1) あなたは、この1年間に社会活動に参加したことがありますか。次の中から該当するものすべてを選び○をつけてください。

- |                             |
|-----------------------------|
| 1. 自治会（老人会・女性部を含む）、町内会などの参加 |
| 2. 福祉・ボランティア活動              |
| 3. P T Aや子ども会などの活動          |
| 4. 趣味・教養・スポーツ等のサークル活動       |
| 5. 環境保全活動                   |
| 6. グループで行う勉強会や研修会           |
| 7. 市で行う講座等への参加              |
| 8. 何もしていない                  |
| 9. その他（ )                   |

(2) あなたは、女性が政策立案や方針決定をする場に進出するためには何が必要だとお考えですか。次の中から3つまで選び○をつけてください。

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 行政の審議委員などに女性委員を増やす             |
| 2. 行政・企業の管理職に女性を増やす               |
| 3. 自治会など地域団体の長や役員に女性を増やす          |
| 4. 家事や子育てなど家庭内での責任を男女がバランスよく分かち合う |
| 5. 女性が学習・研修・能力開発をする機会を充実させる       |
| 6. 女性の活動を支援する団体に情報提供したり、活動を支援する   |
| 7. 男性が男女共同参画について学ぶ機会を充実させる        |
| 8. 女性自身が政策・方針決定の場に参画することへの関心を高める  |
| 9. 分からない                          |
| 10. その他（ )                        |

問 23 人権・DV（ドメスティックバイオレンス）について、お尋ねします。

(1) あなたは、これまでに、あなたの配偶者やパートナーから次のような行為をされたことがありますか。項目ごとに該当する番号をそれぞれ1つ選び○をつけてください。

	何度もあった	1、2度あった	まったく無い
① 殴られたり、蹴られたりした	1	2	3
② 刃物などを突きつけられ脅された	1	2	3
③ 物を投げつけられた	1	2	3
④ 嫌がるのに性的な行為を求められた	1	2	3
⑤ ポルノビデオや雑誌を無理やり見せられた	1	2	3
⑥ 交友関係や電話、郵便物などを細かく監視された	1	2	3
⑦ 大声でどなられた	1	2	3
⑧ 「誰のおかげで生活できるのか」などと言われた	1	2	3
⑨ 何を言っても長時間無視された	1	2	3

(2) <(1)で1つでも「何度もあった」「1、2度あった」とお答えになった方にお尋ねします> あなたはこれまでにその相手から受けた行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。次の中から1つ選び○をつけてください。

- |                    |         |
|--------------------|---------|
| 1. 相談した            | → (3) へ |
| 2. 相談しなかったが、出来なかった | → (4) へ |
| 3. 相談しようとは思わなかった   | → (4) へ |

(3) <(2)で「1. 相談した」とお答えになった方にお尋ねします> あなたが相談した人や場所を教えてください。次の中から該当するものすべてを選び○をつけてください。

- |                    |              |
|--------------------|--------------|
| 1. 家族・親戚           | 6. 医師・カウンセラー |
| 2. 友人・知人           | 7. 民生委員      |
| 3. 警察              | 8. 人権擁護委員    |
| 4. 行田市の相談窓口・電話相談など | 9. 弁護士       |
| 5. 行田市以外の公的機関      | 10. その他 ( )  |

(4) <(2)で「2. 相談しなかったが、出来なかった」、「3. 相談しようとは思わなかった」とお答えになった方にお尋ねします> あなたが誰(どこ)にも相談できなかったのはなぜですか。次の中から該当するものすべてを選び○をつけてください。

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 誰に相談したらよいかわからなかった              |
| 2. 恥ずかしくて誰にも言えなかったから              |
| 3. 相談しても無駄だと思ったから                 |
| 4. 相談したことがわかると、もっとひどい暴力を受けると思ったから |
| 5. 自分さえ我慢すれば何とかやっていけると思ったから       |
| 6. 世間体が悪いから                       |
| 7. 他人を巻き込みたくないから                  |
| 8. 自分に悪いところがあると思ったから              |
| 9. 相談するほどのことではないと思ったから            |
| 10. その他 ( )                       |

問 24 平成19年12月に政府、地方公共団体、経済界、労働界の合意により「ワーク・ライフ・バランス憲章」が制定されましたが、あなたは「ワーク・ライフ・バランス」という言葉をご存知ですか。次の中から1つ選び○をつけてください。

- |                         |
|-------------------------|
| 1. 言葉も意味も知っている          |
| 2. 言葉だけは知っている(聞いたことがある) |
| 3. 知らない                 |

問 25 男女共同参画社会の実現のためには何が重要だとお考えですか。次の中から3つまで選び○をつけてください。

- |                            |
|----------------------------|
| 1. 学校教育における男女平等教育の推進       |
| 2. 男女の職業生活と家庭・地域生活の両立の支援   |
| 3. 誰もが安心して暮らせる環境や条件の整備     |
| 4. 保育環境を充実させる              |
| 5. 女性を政策立案・方針決定の場に積極的に登用する |
| 6. 女性に対するあらゆる暴力の根絶         |
| 7. 地域活動やボランティア活動への支援を行う    |
| 8. セミナーなどで男女平等について学ぶ機会を増やす |
| 9. その他 ( )                 |

問 26 市では、男女共同参画推進センター「V I V Aぎょうだ」を設置・運営していますが、今後どのような事業を期待しますか。次の中から3つまで選び○をつけてください。

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 1. 相談事業の充実                           |
| 2. 男女共同参画に関する講座・フォーラムの開催             |
| 3. 情報紙や啓発パンフレットなどによる啓発事業             |
| 4. 就職講座や起業講座などによる女性の就業支援             |
| 5. N P O ・ ボランティア活動などを行う団体、グループの活動支援 |
| 6. 男女共同参画リーダーの育成                     |
| 7. 男女共同参画に関する問題の調査・研究の充実             |
| 8. その他 ( )                           |

## VI 市政や市役所について、お尋ねします

問 27 市政や市役所についてどんな印象を持っていますか。次の項目ごとに該当する番号をそれぞれ1つ選び○をつけてください。

(1) 行政への信頼度

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. 信頼できる     | 3. あまり信頼できない |
| 2. まあまあ信頼できる | 4. 信頼できない    |

(2) 各施策の実行能力

- |            |          |
|------------|----------|
| 1. かなりある   | 3. あまりない |
| 2. それなりにある | 4. 全くない  |

(3) 市役所の利用しやすさ

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1. 利用しやすい | 3. 利用しにくい |
| 2. ふつうである |           |

(4) 窓口の対応

- |           |        |
|-----------|--------|
| 1. よい     | 3. わるい |
| 2. ふつうである |        |

問 28 市政に市民の声を反映しやすくするためには、どんなことに力を入れることが必要だとお考えですか。次の中から1つ選び○をつけてください。

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1. 相談窓口を多くする      | 4. 職員と市民との交流を多くする   |
| 2. 公聴会などの開催を多くする  | 5. 広報誌などに市民の声を多く載せる |
| 3. 市長と市民との交流を多くする | 6. その他 ( )          |

問 29 市政への参加についてどのようにお考えですか。次の中から1つ選び○をつけてください。

- |                            |
|----------------------------|
| 1. 市政を考える集まりや組織に参加したい      |
| 2. 自治会や各種団体を活用して意見を述べたい    |
| 3. 市の説明会や懇談会に参加して意見を述べたい   |
| 4. 電話したり、市役所に行ったりして意見を述べたい |
| 5. 手紙や電子メールで意見を述べたい        |
| 6. 市役所、議会や専門家に一任したい        |
| 7. 関心がない                   |
| 8. その他 ( )                 |

問 30 今後の行政運営について、どのような方向が望ましいと思いますか。次の中から1つ選び○をつけてください。

- |                         |
|-------------------------|
| 1. 費用は掛かっても行政の責任で進める    |
| 2. 費用は出来るだけ掛けず行政の責任で進める |
| 3. 市民や民間と協働で事業を進める      |
| 4. 市民や民間で出来る事業はまかせて進める  |
| 5. その他 ( )              |

問 31 古代蓮（行田蓮）を第2の市の花にすることについてどのようにお考えですか。次の中から1つ選び○をつけてください。

- |       |            |
|-------|------------|
| 1. 賛成 | 3. どちらでもよい |
| 2. 反対 |            |

問 32 市政に対してのご意見、ご要望、お気づきの点がありましたら自由にご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

■ご協力ありがとうございました

## **V. 集計表**

## F1 性別

	全体	男	女	無回答
実数(人)	1675	807	773	95
%	100.0	48.2	46.1	5.7

## F2 年齢

	全体	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	無回答
実数(人)	1675	66	148	215	285	891	70
%	100.0	3.9	8.8	12.8	17.0	53.2	4.2

## F3 職業

	全体	専門職 (医師、税 理士、専 門技術職 など)	管理職 (会社 の重役、課 長など)	会社等事 務従事者	公務員、 教員	製造業、 小売業等 従事者、 運転手	農林漁 業、畜産 業	サービス 業(理・美 容、マッ サージ、 接客業な ど)	自営業 (商、工、 建築業、 製造業な ど)
実数(人)	1675	69	88	112	52	153	37	84	95
%	100.0	4.1	5.3	6.7	3.1	9.1	2.2	5.0	5.7

	全体	学生	主婦	無職	その他	無回答
実数(人)	1675	1	260	534	107	83
%	100.0	0.1	15.5	31.9	6.4	5.0

## F4 居住年数

	全体	3年未満	3年以上 7年未満	7年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上	無回答
実数(人)	1675	108	126	175	98	1094	74
%	100.0	6.4	7.5	10.4	5.9	65.3	4.4

## F5 居住地区

	全体	忍	行田	佐間	持田	星河	長野	星宮	下忍
実数(人)	1675	135	102	126	250	138	226	41	36
%	100.0	8.1	6.1	7.5	14.9	8.2	13.5	2.4	2.1

	全体	荒木	須加	北河原	埼玉	太田	太井	南河原	無回答
実数(人)	1675	75	35	21	97	122	122	59	90
%	100.0	4.5	2.1	1.3	5.8	7.3	7.3	3.5	5.4

## F6 家族構成

	全体	夫婦だけ	二世帯世 帯	三世帯世 帯	単身世帯	その他	無回答
実数(人)	1675	362	596	110	259	258	90
%	100.0	21.6	35.6	6.6	15.5	15.4	5.4

## F7 住居形態

	全体	一戸建 (持ち家)	マンション 等(持ち 家)	一戸建 (借家)	民間ア パート・マ ンション (借家)	給与住宅 (社宅、 療、公務 員宿舎な ど)	その他	無回答
実数(人)	1675	1336	8	65	121	16	64	65
%	100.0	79.8	0.5	3.9	7.2	1.0	3.8	3.9

問1(1)行田市の住み心地はいかがですか。次の中から1つ選び○をつけてください。

	全体	住みよい	どちらか といえば 住みよい	ふつう	どちらか といえば 住みにく い	住みにく い	無回答
実数(人)	1675	316	430	583	211	58	77
%	100.0	18.9	25.7	34.8	12.6	3.5	4.6

(2) <(1)で「1. 住みよい」「2. どちらかといえば住みよい」とお答えになった方にお尋ねします> そのように思われる理由を、次の中から3つまで選び○をつけてください。

	全体	住み慣れている	人間関係(近所付き合いなどがよい)	まちの雰囲気(よい)	道路、排水などの都市施設が整っている	文化、スポーツなどの公共施設が整っている	交通の便がよい	買い物の便がよい	子どもの教育環境がよい
実数(人)	746	566	280	96	126	73	92	203	42
%	100.0	75.9	37.5	12.9	16.9	9.8	12.3	27.2	5.6

	全体	自然環境がよい	公害(騒音・振動・悪臭など)がない	商売や仕事の便がよい	その他	無回答
実数(人)	746	247	148	23	21	3
%	100.0	33.1	19.8	3.1	2.8	0.4

(3) <(1)で「4. どちらかといえば住みにくい」「5. 住みにくい」とお答えになった方にお尋ねします> そのように思われる理由を、次の中から3つまで選び○をつけてください。

	全体	住み慣れていない	人間関係(近所付き合いなどがわるい)	まちの雰囲気(わるい)	道路、排水などの都市施設が整っていない	文化、スポーツなどの公共施設が整っていない	交通の便がわるい	買い物の便がわるい	子どもの教育環境がわるい
実数(人)	269	17	44	51	95	36	188	127	30
%	100.0	6.3	16.4	19.0	35.3	13.4	69.9	47.2	11.2

	全体	自然環境がわるい	公害(騒音・振動・悪臭など)がある	商売や仕事の便がわるい	その他	無回答
実数(人)	269	22	34	33	32	1
%	100.0	8.2	12.6	12.3	11.9	0.4

(4) 今後も行田市に住み続けたいとお考えですか。次の中から1つ選び○をつけてください。

	全体	一生住み続けたい	ある程度住み続けたい	移転したい	どちらともいえない	無回答
実数(人)	1675	813	334	98	253	177
%	100.0	48.5	19.9	5.9	15.1	10.6

問2 行田市の生活環境や市の施設についてどのように感じていますか。次の項目ごとに該当する番号をそれぞれ1つ選び○をつけてください。

(1) 道路・交通

	全体	満足している	どちらかといえば満足している	ふつうである	どちらかといえば不満である	不満である	無回答
① 道路の整備について	1675 100.0	154 9.2	259 15.5	776 46.3	277 16.5	123 7.3	86 5.1
② バスの便と路線網について	1675 100.0	73 4.4	123 7.3	599 35.8	427 25.5	312 18.6	141 8.4
③ 鉄道の便について	1675 100.0	79 4.7	125 7.5	567 33.9	423 25.3	332 19.8	149 8.9
④ 交通安全対策について	1675 100.0	59 3.5	143 8.5	1013 60.5	220 13.1	89 5.3	151 9.0

## (2)生活環境

	全体	満足している	どちらかといえば満足している	ふつうである	どちらかといえば不満である	不満である	無回答
① 上水道の整備について	1675 100.0	346 20.7	301 18.0	776 46.3	72 4.3	63 3.8	117 7.0
② 下水道の整備について	1675 100.0	258 15.4	230 13.7	644 38.4	199 11.9	227 13.6	117 7.0
③ ごみの収集処理について	1675 100.0	395 23.6	407 24.3	537 32.1	159 9.5	68 4.1	109 6.5
④ 自然環境及び公園・緑地について	1675 100.0	151 9.0	331 19.8	770 46.0	224 13.4	73 4.4	126 7.5
⑤ 子どもの遊び場について	1675 100.0	53 3.2	159 9.5	785 46.9	399 23.8	124 7.4	155 9.3
⑥ 災害時の避難体制について	1675 100.0	55 3.3	159 9.5	1041 62.1	205 12.2	67 4.0	148 8.8
⑦ 防犯体制について	1675 100.0	52 3.1	135 8.1	983 58.7	271 16.2	75 4.5	159 9.5
⑧ 河川・用水の整備について	1675 100.0	62 3.7	163 9.7	928 55.4	279 16.7	104 6.2	139 8.3
⑨ 悪臭・騒音・振動などの公害について	1675 100.0	78 4.7	209 12.5	850 50.7	272 16.2	133 7.9	133 7.9
⑩ 日用品などの買物の便利さについて	1675 100.0	169 10.1	335 20.0	635 37.9	288 17.2	149 8.9	99 5.9

## (3)教育・文化・コミュニティ

	全体	満足している	どちらかといえば満足している	ふつうである	どちらかといえば不満である	不満である	無回答
① 小・中学校などの教育施設について	1675 100.0	91 5.4	241 14.4	1024 61.1	78 4.7	18 1.1	223 13.3
② 小・中学校などの教育内容や取り組みについて	1675 100.0	63 3.8	209 12.5	1024 61.1	104 6.2	33 2.0	242 14.4
③ 幼稚園などの幼児施設について	1675 100.0	75 4.5	191 11.4	1003 59.9	125 7.5	34 2.0	247 14.7
④ 公民館や図書館などの公共施設について	1675 100.0	133 7.9	342 20.4	825 49.3	168 10.0	31 1.9	176 10.5
⑤ 公共施設の集会機能について	1675 100.0	76 4.5	232 13.9	980 58.5	160 9.6	47 2.8	180 10.7
⑥ スポーツ・レクリエーション施設について	1675 100.0	80 4.8	226 13.5	886 52.9	238 14.2	57 3.4	188 11.2
⑦ 生涯学習などの学習機会について	1675 100.0	50 3.0	160 9.6	1090 65.1	144 8.6	26 1.6	205 12.2
⑧ 文化・趣味・スポーツなどの地域活動やサークル活動への参加機会について	1675 100.0	59 3.5	190 11.3	1057 63.1	146 8.7	36 2.1	187 11.2
⑨ 広報誌などの広報活動について	1675 100.0	84 5.0	262 15.6	1034 61.7	94 5.6	23 1.4	178 10.6
⑩ 観光施設について	1675 100.0	47 2.8	176 10.5	853 50.9	322 19.2	94 5.6	183 10.9

(4)保健・医療・福祉

	全体	満足している	どちらかといえば満足している	ふつうである	どちらかといえば不満である	不満である	無回答
① 健診などの保健活動について	1675 100.0	96 5.7	278 16.6	923 55.1	179 10.7	62 3.7	137 8.2
② 医療機関・医療体制について	1675 100.0	82 4.9	213 12.7	838 50.0	308 18.4	104 6.2	130 7.8
③ 夜間・休日などの救急医療について	1675 100.0	67 4.0	167 10.0	784 46.8	371 22.1	129 7.7	157 9.4
④ 保育所等の児童福祉について	1675 100.0	34 2.0	122 7.3	1046 62.4	214 12.8	46 2.7	213 12.7
⑤ 高齢者に対する福祉について	1675 100.0	49 2.9	147 8.8	887 53.0	361 21.6	112 6.7	119 7.1
⑥ 障害者に対する福祉について	1675 100.0	39 2.3	95 5.7	961 57.4	290 17.3	102 6.1	188 11.2

問3 これからの市政において、特に力を入れてほしいものは何ですか。次の中から3つまで選び○をつけてください。

	全体	道路や橋、交通の整備	市街地や住宅の整備	公園・街路樹整備	水や緑など自然環境の保全	歴史・文化遺産の保全	ごみ処理やリサイクル	消防や防災・防犯	保健や医療の充実
実数(人)	1675	366	96	193	287	120	300	228	668
%	100.0	21.9	5.7	11.5	17.1	7.2	17.9	13.6	39.9
	全体	社会福祉の充実	男女共同参画社会の推進	国際交流の推進	情報公開の推進	広域行政の推進	公共施設の市町村間の相互利用	農業の活性化	工業の活性化
実数(人)	1675	474	16	23	61	24	85	209	96
%	100.0	28.3	1.0	1.4	3.6	1.4	5.1	12.5	5.7
	全体	商業の活性化	観光・レクリエーションの充実	学校教育の充実	社会教育・生涯学習の充実	文化・スポーツの振興	市財政の健全化、行政の合理化	市政への住民参加	児童・生徒の保護対策
実数(人)	1675	300	114	202	92	79	417	76	132
%	100.0	17.9	6.8	12.1	5.5	4.7	24.9	4.5	7.9
	全体	その他	無回答						
実数(人)	1675	45	53						
%	100.0	2.7	3.2						

問4 行田市が将来どんなまちになったらよいとお考えですか。次の中から2つまで選び○をつけてください。

	全体	歴史・文化や自然を生かしたまち	観光資源を生かした観光振興のまち	商業や産業が発展し、経済活動が盛んなまち	生活環境の整ったまち	教育・文化の充実したまち	社会福祉の充実したまち	その他	無回答
実数(人)	1675	488	181	613	762	229	807	23	47
%	100.0	29.1	10.8	36.6	45.5	13.7	48.2	1.4	2.8

問5(1) 地域的な活動への参加についてどのようにお考えですか。次の中から1つ選び○をつけてください。

	全体	積極的に参加する	求められれば参加する	参加したいが時間や暇がない	わずらわしいので参加しない	意識していない	無回答
実数(人)	1675	157	649	354	164	265	86
%	100.0	9.4	38.7	21.1	9.8	15.8	5.1

(2) <(1)で「1. 積極的に参加する」「2. 求められれば参加する」とお答えになった方にお尋ねします>主にどのような地域活動に参加したいとお考えですか。次の中から該当するものすべてを選び○をつけてください。

	全体	地域の清掃活動	地域のリサイクル活動	スポーツ活動(少年野球・バレーボール・サッカー等の指導など)	お祭り	PTA	その他	無回答
実数(人)	806	480	396	129	322	90	61	20
%	100.0	59.6	49.1	16.0	40.0	11.2	7.6	2.5

問6(1)あなたは、ボランティア活動に参加していますか。次の中から1つ選び○をつけてください。

	全体	積極的に参加している	ときおり参加している	参加したいが機会がない	参加していない	無回答
実数(人)	1675	103	233	250	970	119
%	100.0	6.1	13.9	14.9	57.9	7.1

(2) <(1)で「1. 積極的に参加している」「2. ときおり参加している」とお答えになった方にお尋ねします>主にどのようなボランティア活動に参加されていますか。次の中から該当するものすべてを選び○をつけてください。

	全体	福祉活動(高齢者・傷病者・身障者の介護など)	環境浄化活動(道路・公園・河川等の清掃など)	スポーツ活動(少年野球・バレーボール・サッカー等の指導など)	文化活動(書道・絵画・手芸等の指導など)	交通安全活動(交通事故防止運動など)	青少年健全育成活動(非行防止運動、キャンプ等の指導など)	国際交流活動	子育て支援活動
実数(人)	336	65	168	50	33	48	19	6	25
%	100.0	19.3	50.0	14.9	9.8	14.3	5.7	1.8	7.4
	全体	その他	無回答						
実数(人)	336	37	7						
%	100.0	11.0	2.1						

(3) <(1)で「3. 参加したいが機会がない」とお答えになった方にお尋ねします>どのような理由なのか、次の中から該当するものすべてを選び○をつけてください。

	全体	仕事が忙しくて時間がとれない	活動に参加している知人がいない	どういうボランティア団体があるのかわからない	活動に関する情報が得られない	その他	無回答
実数(人)	250	130	73	106	109	9	3
%	100.0	52.0	29.2	42.4	43.6	3.6	1.2

問7(1)今後の少子化社会に対応するためにはどのような施策が重要だとお考えですか。次の中から3つまで選り○をつけてください。

	全体	多様な保育ニーズ（一時保育や延長保育など）への対応	放課後児童対策の充実	子育てや教育などの相談機能の強化	子育てしやすい住環境の整備	子育てしやすい都市環境（道路、駅、公共施設など）の整備	保健・医療の充実	女性の就労機会の拡大や就労環境の整備	各種助成制度の充実等の経済的支援
実数(人)	1675	611	333	179	429	264	729	414	549
%	100.0	36.5	19.9	10.7	25.6	15.8	43.5	24.7	32.8

	全体	地域的な子育て支援(情報の提供や高齢者、異年齢者との交流など)	援助活動など地域の人材の活用・育成	子育て等の学習機会の提供	父親の育児参加の推進	その他	無回答
実数(人)	1675	304	211	60	104	53	134
%	100.0	18.1	12.6	3.6	6.2	3.2	8.0

(2)今後の高齢化社会に対応するためにはどのような施策が重要だとお考えですか。次の中から3つまで選り○をつけてください。

	全体	介護保険制度の充実	相談窓口の充実や相談機能の強化	生涯学習等の学習機会の充実	ボランティアなどの地域の人材の活用と育成	高齢者にやさしいバリアフリーなまちづくりの推進	老人福祉センターなど、高齢者の余暇活動のための施設の充実	高齢者の就労機会の充実	高齢者のいきがいを高める事業や他世代とのふれあいの機会の充実
実数(人)	1675	931	313	118	252	400	419	360	379
%	100.0	55.6	18.7	7.0	15.0	23.9	25.0	21.5	22.6

	全体	保健・医療の充実による高齢者の健康づくりの推進	介護予防教室などのための公共施設の有効活用	悪質商法の被害防止対策の充実	高齢者の財産保護や虐待防止対策の推進	いきいきサロンなど、地域で交流できる場の提供	その他	無回答
実数(人)	1675	670	141	153	125	260	29	78
%	100.0	40.0	8.4	9.1	7.5	15.5	1.7	4.7

問8(1)行田市の環境は良いと感じますか。次の項目ごとに該当する番号をそれぞれ1つ選び○をつけてください。

	全体	良いと感じる	どちらかといえば良いと感じる	ふつうである	どちらかといえば悪いと感じる	悪いと感じる	無回答
① 緑の整備状況	1675 100.0	173 10.3	401 23.9	802 47.9	130 7.8	23 1.4	146 8.7
② 生き物の営みの保護と育成状況	1675 100.0	51 3.0	200 11.9	966 57.7	207 12.4	49 2.9	202 12.1
③ 池や川の水のきれいさ	1675 100.0	33 2.0	144 8.6	708 42.3	475 28.4	147 8.8	168 10.0
④ 空気のきれいさ	1675 100.0	88 5.3	344 20.5	889 53.1	149 8.9	30 1.8	175 10.4
⑤ 歴史や文化との調合	1675 100.0	85 5.1	450 26.9	830 49.6	98 5.9	20 1.2	192 11.5
⑥ 公園の整備状況	1675 100.0	68 4.1	302 18.0	801 47.8	261 15.6	60 3.6	183 10.9
⑦ 道のきれいさ (たばこやごみのポイ捨てがない)	1675 100.0	45 2.7	187 11.2	785 46.9	367 21.9	126 7.5	165 9.9
⑧ ごみ分別の状況	1675 100.0	90 5.4	340 20.3	781 46.6	225 13.4	73 4.4	166 9.9
⑨ 資源・エネルギーの有効利用	1675 100.0	31 1.9	119 7.1	1010 60.3	251 15.0	56 3.3	208 12.4
⑩ 市全体の環境配慮の意識	1675 100.0	30 1.8	175 10.4	974 58.1	263 15.7	58 3.5	175 10.4

(2)市の環境を保全・改善するためにはどのような施策が重要だとお考えですか。次の中から3つまで選び○をつけてください。

	全体	リサイクル活動の促進	ごみの分別収集等の強化	環境条例・環境協定の制定	環境マネジメントシステム(ISO 14000)の導入	ごみにならない製品の製造・販売・購入の促進	工場や道路・鉄道などの騒音・振動・悪臭などの防止・削減	廃棄物の総量削減	公園等公共緑地の整備、民有地における緑地協定など緑地の保全・創造	無回答
実数(人)	1675	666	463	194	92	575	266	323	445	
%	100.0	39.8	27.6	11.6	5.5	34.3	15.9	19.3	26.6	
	全体	エコビジネス(環境に配慮した業務を行うビジネス)	低公害車の普及促進	市内の総合的な自動車交通総量の削減	水辺環境の保全整備	土地利用の制限強化	環境保全の普及・啓発活動	その他	無回答	
実数(人)	1675	254	178	70	377	147	238	24	103	
%	100.0	15.2	10.6	4.2	22.5	8.8	14.2	1.4	6.1	

(3)市のごみ収集体制(収集回数や分別方法など)についてどのようにお考えですか。次の中から2つまで選び○をつけてください。

	全体	現在の収集回数・分別方法でよい	収集回数を増やしたほうがよい	収集回数を減らしたほうがよい	もっと細かく分別したほうがよい	分別の種類を減らしたほうがよい	ごみの有料化を検討したほうがよい	その他	無回答
実数(人)	1675	922	700	102	194	186	158	65	76
%	100.0	55.0	41.8	6.1	11.6	11.1	9.4	3.9	4.5

※<(3)で「2. 収集回数を増やしたほうがよい」とお答えになった方にお尋ねします>増やしたほうがよいものを次の①～⑤の中からすべて選び○をつけてください。

	全体	燃えるごみ	燃えないごみ	粗大ごみ	有害ごみ	資源物	無回答
実数(人)	700	107	405	290	121	147	47
%	100.0	15.3	57.9	41.4	17.3	21.0	6.7

※<(3)で「3. 収集回数を減らしたほうがよい」とお答えになった方にお尋ねします>減らしたほうがよいものを次の①～⑤の中からすべて選び○をつけてください。

	全体	燃えるごみ	燃えないごみ	粗大ごみ	有害ごみ	資源物	無回答
実数(人)	102	65	4	8	13	8	12
%	100.0	63.7	3.9	7.8	12.7	7.8	11.8

問9(1)あなたは、健康についてどのようなイメージをもっていますか。次の中から2つまで選び○をつけてください。

	全体	心身ともに健やかなこと	快食、快眠、快便	病気や障害があっても生きがいを保持している	何事も前向きに考えられる	幸せなこと	長生きできること	その他	無回答
実数(人)	1675	1246	415	409	575	316	134	10	43
%	100.0	74.4	24.8	24.4	34.3	18.9	8.0	0.6	2.6

(2)健康づくりのためには何が重要だとお考えですか。次の中から3つまで選び○をつけてください。

	全体	定期健診などによる健康管理	健康を保つための食事と食育の推進	食生活の改善による生活習慣病の予防	適度なスポーツなどによる体力づくり	過労防止のための適切な睡眠・休息	ストレス発散や気分転換	禁煙	飲酒を控える
実数(人)	1675	968	532	519	692	385	779	195	70
%	100.0	57.8	31.8	31.0	41.3	23.0	46.5	11.6	4.2

	全体	健康講座・健康相談への参加や情報収集	身近な人や仲間との交流・支えあい(自主グループでの活動など)	その他	無回答
実数(人)	1675	91	382	7	42
%	100.0	5.4	22.8	0.4	2.5

問10 歴史や文化遺産を生かしたまちづくりのためにはどのような施策が重要だとお考えですか。次の中から3つまで選び○をつけてください。

	全体	屋敷林のある田園風景等の保全	城下町としての街並みの保全	まちの風景の魅力をアップさせるための計画づくり	川辺や橋を整備し、うるおいのあるものにする	街路樹や歩道、車道を整備し、ゆとりのあるものとする	公共建物をシンボル性のあるものとする	まちの風景は我が家からという発想を持つ	さきたま古墳群を核とした世界遺産を目指すまちづくり
実数(人)	1675	311	794	476	454	736	99	203	500
%	100.0	18.6	47.4	28.4	27.1	43.9	5.9	12.1	29.9

	全体	足袋蔵など歴史的建造物を保存・活用した風格のあるまちづくり	その他	無回答
実数(人)	1675	568	40	79
%	100.0	33.9	2.4	4.7

問 11 市の商業や産業の振興のためにはどのような施策が重要だとお考えですか。次の中から2つまで選び○をつけてください。

		新しい産業資源の発掘	歴史・文化資産を生かした施設や産業づくり	豊かな自然を生かしたレジャー・レクリエーション施設づくり	農産物の加工開発や新しい農業経営の研究	商店街の整備	企業の誘致	若い世代の台頭や後継者の育成	市の計画や積極的な支援
	全体								
実数(人)	1675	325	416	309	389	548	372	508	237
%	100.0	19.4	24.8	18.4	23.2	32.7	22.2	30.3	14.1
	全体	その他	無回答						
実数(人)	1675	29	82						
%	100.0	1.7	4.9						

問 12 市民の憩いの場であり、また子どもたちの遊び場である公園・緑地の維持管理についてどのようにすべきだとお考えですか。次の中から1つ選び○をつけてください。

		公園・緑地の清掃は住民が積極的に参加すべきである	公園・緑地の設備や立て札などは市で管理し、あとは利用者のモラルにまかせるべきである	公園・緑地は公共のものであり、基本的に市が管理すべきである	その他	無回答
	全体					
実数(人)	1675	513	310	693	31	128
%	100.0	30.6	18.5	41.4	1.9	7.6

問 13 あなたは、市から提供される情報でもっと詳しく知りたいものがありますか。次の中から3つまで選び○をつけてください。

		市政の動向	困ったときに利用できる相談窓口などの案内情報	催し物やイベントなどに関する情報	文化・学習活動やスポーツ活動の情報	各種サークル活動の情報	ボランティア活動に関する情報	保健・医療・福祉に関する情報	教育に関する情報
	全体								
実数(人)	1675	550	946	333	187	111	158	1000	172
%	100.0	32.8	56.5	19.9	11.2	6.6	9.4	59.7	10.3
	全体	ダイオキシンなどの環境に関する情報	行田市の歴史・文化に関する情報	観光・レクリエーションなどのレジャーに関する情報	その他	無回答			
実数(人)	1675	147	225	216	25	140			
%	100.0	8.8	13.4	12.9	1.5	8.4			

問 14(1)あなたの家庭にインターネットが利用できるパソコンはありますか。次の中から1つ選び○をつけてください。

		ある	今はないが、将来保有するつもりである	保有するつもりはない	無回答
	全体				
実数(人)	1675	907	248	390	130
%	100.0	54.1	14.8	23.3	7.8

(2) インターネットに接続されたパソコンを利用して、国・県・市へ申請届出することができる手続きがあることを知っていますか。

	全体	知っている	知らない	無回答
実数(人)	1675	765	740	170
%	100.0	45.7	44.2	10.1

(3) インターネットを使って利用したいと思う市のサービスがありますか。

	全体	ある	ない	無回答
実数(人)	1675	133	1213	329
%	100.0	7.9	72.4	19.6

(4) <(3)で「1. ある」とお答えになった方にお尋ねします>具体的にどんなサービスを利用したいですか。自由にご記入ください。

	全体	各種証明書(住民票、戸籍謄本、印鑑証明など)の申請手続き・届出や申請書などのダウンロード	公共施設、各種講座などの案内・予約申込み	保健・福祉・医療や観光などの暮らしの情報	市民活動の紹介や各種事業・催し物などの情報	市役所、市議会の情報	市への意見、要望、問い合わせ等の発信・回答	その他
実数(人)	99	46	6	9	13	11	5	17
%	100.0	46.5	6.1	9.1	13.1	11.1	5.1	17.2

(5) あなたは、市のホームページ(携帯電話用サービスを含む)を見たことがありますか。

	全体	ある	ない	無回答
実数(人)	1675	345	1072	258
%	100.0	20.6	64.0	15.4

(6) 市のホームページに掲載してほしい情報があれば具体的にご記入ください。

	全体	市政の動向、市議会などの情報	公共施設、各種講座などの案内・利用状況	保健・福祉・医療や観光などの暮らしの情報	市民活動の紹介や各種事業・催し物などの情報	行田市の歴史・文化についての情報	市への意見、要望、問い合わせ等の発信・回答	最新情報、あらゆる情報、見やすさなどの充実	その他
実数(人)	90	19	9	9	8	2	9	27	13
%	100.0	21.1	10.0	10.0	8.9	2.2	10.0	30.0	14.4

問 15(1) 市内循環バスを利用したことはありますか。

	全体	ある	ない	無回答
実数(人)	1675	389	1178	108
%	100.0	23.2	70.3	6.4

(2) <(1)で「1. ある」とお答えになった方にお尋ねします>どのような目的で利用していますか。次の中から該当するものすべてを適宜○をつけてください。

	全体	市役所	公共施設	通院	買い物	観光	娯楽・交友	電車に乗り継ぐため	その他
実数(人)	389	76	102	98	55	68	68	125	28
%	100.0	19.5	26.2	25.2	14.1	17.5	17.5	32.1	7.2
	全体	無回答							
実数(人)	389	2							
%	100.0	0.5							

※<(2)で「7. 電車に乗り継ぐため」とお答えになった方にお尋ねします>どのような目的で利用していますか。

	全体	通勤・通学	通勤・通学以外	無回答
実数(人)	125	17	53	55
%	100.0	13.6	42.4	44.0

(3)<(1)で「2. ない」とお答えになった方にお尋ねします>どのようになれば利用しますか。次の中から該当するものすべてを選び○をつけてください。

	全体	運行便数の増加	運行コースの変更	運行時間の延長	高崎線や秩父線への乗り継ぎの改善	一周にかかる所要時間の短縮	その他	無回答
実数(人)	1178	422	261	152	534	138	264	111
%	100.0	35.8	22.2	12.9	45.3	11.7	22.4	9.4

問 16 国際化社会に対応して本市の国際交流をどのように促進すべきだとお考えですか。次の中から2つまで選び○をつけてください。

	全体	海外の都市と姉妹都市提携を結ぶなど全市レベルで交流を図る	市民レベルでの生活・文化・スポーツの交流を促進する	児童・生徒などの教育交流を促進する	外国人との交流を深めていく	技術・産業・物産面などの交流を促進する	国際化に対応するための人材の育成を促進する	その他	無回答
実数(人)	1675	320	449	558	256	483	426	44	233
%	100.0	19.1	26.8	33.3	15.3	28.8	25.4	2.6	13.9

問 17 市の教育方針として、今後どのような教育に力を入れるべきとお考えですか。次の中から2つまで選び○をつけてください。

	全体	豊かな人間性や個性を育てる心の教育	文化のまちにふさわしい質の高い教育	いじめや虐待を防止する道徳教育	環境や自然を大切にする環境教育	高度な情報化社会に対応できる情報教育	国際社会に対応できる国際教育	人権教育	その他
実数(人)	1675	1033	143	784	506	170	222	78	27
%	100.0	61.7	8.5	46.8	30.2	10.1	13.3	4.7	1.6

	全体	無回答
実数(人)	1675	120
%	100.0	7.2

問 18 市の防災体制として、どのような施策が重要だとお考えですか。次の中から2つまで選び○をつけてください。

	全体	他市町村と連携した防災活動	防災意識の高揚(普及・啓発)	地域の防災体制の強化推進	救急・救助体制の充実	避難場所の確保・周知徹底	応急物資の確保	災害時の情報網強化	その他
実数(人)	1675	332	320	395	586	511	317	487	13
%	100.0	19.8	19.1	23.6	35.0	30.5	18.9	29.1	0.8

	全体	無回答
実数(人)	1675	130
%	100.0	7.8

問 19(1)ものづくり大学の施設を見学または利用したことがありますか。次の中から1つ選び○をつけてください。

	全体	ある	ないが、機会があれば見学または利用したいと思う	ないし、見学または利用したいと思わない	無回答
実数(人)	1675	324	910	324	117
%	100.0	19.3	54.3	19.3	7.0

(2)市では、ものづくり大学を核としたまちづくりに力を入れています。あなたが、今後、大学に期待することは何ですか。次の中から2つまで選び○をつけてください。

	全体	公開講座や大学の施設の利用など、地域に開かれたものにしてほしい	若い人が増え、にぎわいが創出されるなど、まちの活性化にもつなげてほしい	専門的な大学であり、技能習得の中心施設として、まちの産業発展に生かしてほしい	市内の小・中・高校と合同のイベントなどを行い、地域の活性化につなげてほしい	ものづくりの楽しさを、世代を超えて広めてほしい	その他	無回答
実数(人)	1675	558	464	617	455	638	40	160
%	100.0	33.3	27.7	36.8	27.2	38.1	2.4	9.6

問 20 あなたの通勤・通学先や、買物、行楽などの主たる行き先はどこですか。次の項目ごとに該当する番号をそれぞれ1つ選び○をつけてください。

	全体	市内	近隣市町	県内	県外	そのような行動はしていない	無回答
① 通勤先・通学先	1675 100.0	354 21.1	241 14.4	142 8.5	96 5.7	470 28.1	372 22.2
② 日常的な買物	1675 100.0	1140 68.1	291 17.4	47 2.8	9 0.5	27 1.6	161 9.6
③ 週末の買物	1675 100.0	618 36.9	589 35.2	109 6.5	43 2.6	83 5.0	233 13.9
④ 病院等の利用	1675 100.0	970 57.9	366 21.9	96 5.7	34 2.0	14 0.8	195 11.6
⑤ スポーツ・レクリエーション	1675 100.0	491 29.3	180 10.7	96 5.7	96 5.7	526 31.4	286 17.1
⑥ 生涯学習、サークル、文化活動	1675 100.0	455 27.2	98 5.9	58 3.5	38 2.3	732 43.7	294 17.6
⑦ 音楽会、観劇、美術鑑賞等	1675 100.0	151 9.0	197 11.8	127 7.6	389 23.2	525 31.3	286 17.1
⑧ 自然に親しむ近距離の行楽	1675 100.0	199 11.9	163 9.7	330 19.7	519 31.0	220 13.1	244 14.6
⑨ 歴史・文化に親しむ近距離の行楽	1675 100.0	201 12.0	114 6.8	284 17.0	449 26.8	373 22.3	254 15.2

問 21(1)男女の地位は平等になっていると思いますか。次の項目ごとに該当する番号をそれぞれ1つ選び○をつけてください。

	全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば、男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば、女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	分からない	無回答
① 家庭生活のなかで	1675 100.0	105 6.3	507 30.3	651 38.9	95 5.7	21 1.3	124 7.4	172 10.3
② 学校教育のなかで	1675 100.0	12 0.7	107 6.4	923 55.1	52 3.1	9 0.5	316 18.9	256 15.3
③ 職場のなかで	1675 100.0	139 8.3	562 33.6	414 24.7	57 3.4	15 0.9	239 14.3	249 14.9
④ 社会通念や慣習のなかで	1675 100.0	114 6.8	714 42.6	384 22.9	65 3.9	14 0.8	136 8.1	248 14.8
⑤ 法律や制度のなかで	1675 100.0	67 4.0	392 23.4	698 41.7	74 4.4	18 1.1	178 10.6	248 14.8
⑥ 地域活動の場で	1675 100.0	58 3.5	428 25.6	659 39.3	116 6.9	11 0.7	180 10.7	223 13.3
⑦ 全体として	1675 100.0	61 3.6	554 33.1	619 37.0	66 3.9	15 0.9	158 9.4	202 12.1

(2)「男は仕事、女は家庭」という男女の役割分担の考え方がありますが、あなたはこの考え方に同感しますか。次の中から1つ選び○をつけてください。

	全体	同感する	同感しない	どちらとも いえない	分らない	無回答
実数(人)	1675	314	487	704	60	110
%	100.0	18.7	29.1	42.0	3.6	6.6

(3)あなたの家庭では次のことがらを主にどなたが行っていますか。項目ごとに該当する番号をそれぞれ1つ選び○をつけてください。

	全体	主に自分	自分と配偶者が 同じくらい	主に配偶者	主に配偶者以外の 家族	家族以外の人に 依頼	あてはまらない	無回答
① 炊事・洗濯・掃除等の家事	1675 100.0	668 39.9	138 8.2	595 35.5	79 4.7	7 0.4	63 3.8	125 7.5
② 育児や子どものしつけ	1675 100.0	276 16.5	293 17.5	334 19.9	33 2.0	1 0.1	465 27.8	273 16.3
③ 親や家族の介護	1675 100.0	242 14.4	190 11.3	235 14.0	41 2.4	14 0.8	687 41.0	266 15.9
④ 自治会などの地域活動	1675 100.0	635 37.9	262 15.6	304 18.1	88 5.3	12 0.7	172 10.3	202 12.1
⑤ 子どもの学校行事への参加	1675 100.0	289 17.3	113 6.7	375 22.4	32 1.9	3 0.2	579 34.6	284 17.0

(4)あなたは、現在収入のある職業(パート・アルバイトを含む)についていますか。次の中から1つ選び○をつけてください。

	全体	現在職業についている	以前は働いていたが、現在は職業についていない	今まで働いたことはない	無回答
実数(人)	1675	798	636	87	154
%	100.0	47.6	38.0	5.2	9.2

(5) <(4)で「1. 現在職業についている」「2. 以前は働いていたが、現在は職業についていない」とお答えになった方にお尋ねします> あなたの職場では、仕事の内容や接遇面で、女性に対して次のようなことがありますか。または、過去にありましたか。次の中から該当するものすべてを選び○をつけてください。

	全体	男性に比べて女性の採用が少ない	職務内容における男女差がある(女性は補助的な仕事が多いなど)	賃金、昇給などに男女差がある	女性は管理職などにはつけない	女性は同じポストの男性より教育・研修の機会が少ない	女性は結婚や出産で退職するという習慣がある	女性は宴会などで接待役をさせられる	特定の年齢以上の女性に退職を勧奨するような雰囲気がある
実数(人)	1434	394	425	462	193	186	321	168	119
%	100.0	27.5	29.6	32.2	13.5	13.0	22.4	11.7	8.3

	全体	特にない	その他	無回答
実数(人)	1434	393	60	105
%	100.0	27.4	4.2	7.3

問 22(1)あなたは、この1年間に社会活動に参加したことがありますか。次の中から該当するものすべてを選び○をつけてください。

	全体	自治会(老人会・女性部を含む)、町内会などの参加	福祉・ボランティア活動	PTAや子ども会などの活動	趣味・教養・スポーツ等のサークル活動	環境保全活動	グループで行う勉強会や研修会	市で行う講座等への参加	何もしていない
実数(人)	1675	756	155	191	366	131	119	158	528
%	100.0	45.1	9.3	11.4	21.9	7.8	7.1	9.4	31.5

	全体	その他	無回答
実数(人)	1675	14	112
%	100.0	0.8	6.7

(2)あなたは、女性が政策立案や方針決定をする場に進出するためには何が必要だとお考えですか。次の中から3つまで選び○をつけてください。

	全体	行政の審議委員などに女性委員を増やす	行政・企業の管理職に女性を増やす	自治会など地域団体の長や役員に女性を増やす	家事や子育てなど家庭内での責任を男女がバランスよく分かち合う	女性が学習・研修・能力開発をする機会を充実させる	女性の活動を支援する団体に情報提供したり、活動を支援する	男性が男女共同参画について学ぶ機会を充実させる	女性自身が政策・方針決定の場に参画することへの関心を高める
実数(人)	1675	460	355	348	511	388	206	233	556
%	100.0	27.5	21.2	20.8	30.5	23.2	12.3	13.9	33.2

	全体	分からない	その他	無回答
実数(人)	1675	231	27	176
%	100.0	13.8	1.6	10.5

問23(1)あなたは、これまでに、あなたの配偶者やパートナーから次のような行為をされたことがありますか。項目ごとに該当する番号をそれぞれ1つ選び○をつけてください。

	全体	何度もあった	1、2度あった	まったく無い	無回答
① 殴られたり、蹴られたりした	1675 100.0	44 2.6	135 8.1	1269 75.8	227 13.6
② 刃物などを突きつけられ脅された	1675 100.0	7 0.4	22 1.3	1393 83.2	253 15.1
③ 物を投げつけられた	1675 100.0	42 2.5	146 8.7	1242 74.1	245 14.6
④ 嫌がるのに性的な行為を求められた	1675 100.0	27 1.6	67 4.0	1321 78.9	260 15.5
⑤ ポルノビデオや雑誌を無理やり見せられた	1675 100.0	3 0.2	10 0.6	1401 83.6	261 15.6
⑥ 交友関係や電話、郵便物などを細かく監視された	1675 100.0	32 1.9	66 3.9	1324 79.0	253 15.1
⑦ 大声でどなられた	1675 100.0	115 6.9	278 16.6	1040 62.1	242 14.4
⑧ 「誰のおかげで生活できるのか」などと言われた	1675 100.0	48 2.9	107 6.4	1266 75.6	254 15.2
⑨ 何を言っても長時間無視された	1675 100.0	43 2.6	162 9.7	1221 72.9	249 14.9

(2) <(1)で1つでも「何度もあった」「1、2度あった」とお答えになった方にお尋ねします>あなたはこれまでにその相手から受けた行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。次の中から1つ選び○をつけてください。

	全体	相談した	相談したかったが、出来なかった	相談しようとは思わなかった	無回答
実数(人)	523	101	33	304	85
%	100.0	19.3	6.3	58.1	16.3

(3) <(2)で「1. 相談した」とお答えになった方にお尋ねします>あなたが相談した人や場所を教えてください。次の中から該当するものすべてを選び○をつけてください。

	全体	家族・親戚	友人・知人	警察	行田市市の相談窓口・電話相談など	行田市以外の公的機関	医師・カウンセラー	民生委員	人権擁護委員
実数(人)	101	72	57	10	4	5	11	3	0
%	100.0	71.3	56.4	9.9	4.0	5.0	10.9	3.0	0.0

	全体	弁護士	その他	無回答
実数(人)	101	7	0	1
%	100.0	6.9	0.0	1.0

(4) <(2)で「2. 相談したかったが、出来なかった」「3. 相談しようと思わなかった」とお答えになった方にお尋ねします>あなたが誰(どこ)にも相談できなかったのはなぜですか。次の中から該当するものすべてを選び○をつけてください。

	全体	誰に相談したらよいかわからなかった	恥ずかしくて誰にも言えなかったから	相談しても無駄だと思ったから	相談したことがわかると、もっとひどい暴力を受けると思ったから	自分さえ我慢すれば何とかやっていると thought から	世間体が悪いから	他人を巻き込みたくないから	自分に悪いところがあると思ったから
実数(人)	337	18	28	77	6	56	22	31	89
%	100.0	5.3	8.3	22.8	1.8	16.6	6.5	9.2	26.4

	全体	相談するほどのことではないと思ったから	その他	無回答
実数(人)	337	209	5	17
%	100.0	62.0	1.5	5.0

問 24 平成19年12月に政府、地方公共団体、経済界、労働界の合意により「ワーク・ライフ・バランス憲章」が制定されましたが、あなたは「ワーク・ライフ・バランス」という言葉をご存知ですか。次の中から1つ選び○をつけてください。

	全体	言葉も意味も知っている	言葉だけは知っている(聞いたことがある)	知らない	無回答
実数(人)	1675	114	314	1013	234
%	100.0	6.8	18.7	60.5	14.0

問 25 男女共同参画社会の実現のためには何が重要だとお考えですか。次の中から3つまで選び○をつけてください。

	全体	学校教育における男女平等教育の推進	男女の職業生活と家庭・地域生活の両立の支援	誰もが安心して暮らせる環境や条件の整備	保育環境を充実させる	女性を政策立案・方針決定の場に積極的に登用する	女性に対するあらゆる暴力の根絶	地域活動やボランティア活動への支援を行う	セミナーなどで男女平等について学ぶ機会を増やす
実数(人)	1675	567	710	828	425	315	170	163	271
%	100.0	33.9	42.4	49.4	25.4	18.8	10.1	9.7	16.2

	全体	その他	無回答
実数(人)	1675	39	272
%	100.0	2.3	16.2

問 26 市では、男女共同参画推進センター「VIVAぎょうだ」を設置・運営していますが、今後どのような事業を期待しますか。次の中から3つまで選び○をつけてください。

	全体	相談事業の充実	男女共同参画に関する講座・フォーラムの開催	情報紙や啓発パンフレットなどによる啓発事業	就職講座や起業講座などによる女性の就業支援	NPO・ボランティア活動などを行う団体、グループの活動支援	男女共同参画リーダーの育成	男女共同参画に関する問題の調査・研究の充実	その他
実数(人)	1675	594	474	355	475	338	276	301	58
%	100.0	35.5	28.3	21.2	28.4	20.2	16.5	18.0	3.5

	全体	無回答
実数(人)	1675	393
%	100.0	23.5

問 27 市政や市役所についてどんな印象を持っていますか。次の項目ごとに該当する番号をそれぞれ1つ選び○をつけてください。

(1) 行政への信頼度

	全体	信頼できる	まあまあ信頼できる	あまり信頼できない	信頼できない	無回答
実数(人)	1675	232	841	330	73	199
%	100.0	13.9	50.2	19.7	4.4	11.9

(2) 各施策の実行能力

	全体	かなりある	それなりにある	あまりない	全くない	無回答
実数(人)	1675	69	864	444	48	250
%	100.0	4.1	51.6	26.5	2.9	14.9

(3) 市役所の利用しやすさ

	全体	利用しやすい	ふつうである	利用しにくい	無回答
実数(人)	1675	233	1051	215	176
%	100.0	13.9	62.7	12.8	10.5

(4) 窓口の対応

	全体	よい	ふつうである	わるい	無回答
実数(人)	1675	347	1010	144	174
%	100.0	20.7	60.3	8.6	10.4

問 28 市政に市民の声を反映しやすくするためには、どんなことに力を入れることが必要だとお考えですか。次の中から1つ選び○をつけてください。

	全体	相談窓口を多くする	公聴会などの開催を多くする	市長と市民との交流を多くする	職員と市民との交流を多くする	広報誌などに市民の声を多く載せる	その他	無回答
実数(人)	1675	415	178	240	212	421	42	167
%	100.0	24.8	10.6	14.3	12.7	25.1	2.5	10.0

問 29 市政への参加についてどのようにお考えですか。次の中から1つ選び○をつけてください。

	全体	市政を考える集まりや組織に参加したい	自治会や各種団体を活用して意見を述べたい	市の説明会や懇談会に参加して意見を述べたい	電話したり、市役所に行ったりして意見を述べたい	手紙や電子メールで意見を述べたい	市役所、議会や専門家に一任したい	関心がない	その他
実数(人)	1675	190	195	105	105	192	305	347	45
%	100.0	11.3	11.6	6.3	6.3	11.5	18.2	20.7	2.7
	全体	無回答							
実数(人)	1675	191							
%	100.0	11.4							

問 30 今後の行政運営について、どのような方向が望ましいと思いますか。次の中から1つ選び○をつけてください。

	全体	費用は掛かっても行政の責任で進める	費用は出来るだけ掛けず行政の責任で進める	市民や民間と協働で事業を進める	市民や民間で出来る事業はまかせて進める	その他	無回答
実数(人)	1675	113	671	437	278	21	155
%	100.0	6.7	40.1	26.1	16.6	1.3	9.3

問 31 古代蓮(行田蓮)を第2の市の花にすることについてどのようにお考えですか。次の中から1つ選び○をつけてください。

	全体	賛成	反対	どちらでもよい	無回答
実数(人)	1675	937	52	608	78
%	100.0	55.9	3.1	36.3	4.7

---

行田市民意識調査  
報告書

発行日／平成21年9月

発行／行田市 総合政策部 広報広聴課

〒361-8601 埼玉県行田市本丸2-5

TEL.048-556-1111

印刷／株式会社 ぎょうせい

---